

令和 2 年度決算における
主要な施策の成果の説明書

大 和 市

令和2年度決算における主要な施策の成果について

令和2年度一般会計並びに特別会計の決算を議会の認定に付するにあたり、地方自治法第233条第5項の規定により提出します。

大和市長 大 木 哲

目 次

1. 令和2年度決算の状況	1
令和2年度歳入歳出決算総括表	2
2. 令和2年度一般会計決算	3
(1) 決算の概要	3
決算の状況	3
(2) 歳入決算の概要	4
①総括	4
歳入の状況	5
自主・依存財源	6
②市税	7
市税の状況	7
③市債	8
市債の状況	8
市債に関する参考資料	9
(3) 歳出決算の概要	10
①総括	10
歳出の状況（目的別）	10
歳出の状況（性質別）	11
目的別・性質別経費の状況（クロス表）	12
(4) 健全化判断比率	13
(5) 地方消費税（社会保障財源）交付金の充当	14
(6) 森林環境譲与税の充当	14
(7) 令和2年度一般会計施策の成果	16
3. 令和2年度国民健康保険事業特別会計	273
4. 令和2年度介護保険事業特別会計	275
5. 令和2年度後期高齢者医療事業特別会計	277
6. 索引	279

1. 令和2年度決算の状況

令和2年度一般会計決算にみる本市の財政は、歳入の総額が、対前年度+275.2億円(+35.0%)の1,061.4億円、歳出の総額が、対前年度+262.4億円(+34.4%)の1,024.3億円と、大幅な増加となりました。また、実質収支は、対前年度+11.5億円(+49.4%)の34.7億円となりました。これらは、新型コロナウイルス感染症への対応を図るため11回にわたる補正予算を措置したことなどによるものです。

歳入では、新型コロナウイルス感染症に関わる国庫支出金や、令和元年10月の消費税率引き上げに伴い地方消費税交付金が増加しました。

一方、歳出では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って、特別定額給付金給付事業や、新型コロナウイルス感染症拡大防止および雇用維持給付金支給事業、市立小・中学校の児童・生徒に1人1台の情報端末を整備するGIGAスクール端末整備事業などを実施しました。

そして、「健康都市 やまと」の実現に向けては、人の健康分野において、保育施設の整備を積極的に行い、6年連続で待機児童数ゼロを達成したほか、まちの健康分野においては、やまと公園改修整備事業を実施するなど、都市の魅力づくりに努めました。また、社会の健康分野においては、企業活動促進支援事業などにより地域経済の振興・活性化を図りました。

今後の財政運営について、新型コロナウイルス感染症の収束を見通すことが難しい中であって、少子高齢化の進展に伴う社会保障関係経費の増加が見込まれるなど、引き続き厳しい状況が予測されることから、事業の選択と集中により、限りある財源をバランスよく配分し、健全性に配慮しつつ対応してまいります。

令和2年度歳入歳出決算総括表

歳入

(単位：千円、%)

会 計		令和2年度	令和元年度	比 較	増減率
一 般 会 計		(106,035,162) 106,135,162	(78,517,444) 78,617,444	(27,517,718) 27,517,718	(35.0) 35.0
特 別 会 計	国民健康保険事業	21,293,016	22,283,359	△ 990,343	△ 4.4
	下水道事業	—	7,357,630	△ 7,357,630	皆減
	渋谷土地区画整理事業	—	1,056,335	△ 1,056,335	皆減
	介護保険事業	16,487,250	15,779,443	707,807	4.5
	後期高齢者医療事業	3,157,466	2,881,686	275,780	9.6
	計	40,937,732	49,358,453	△ 8,420,721	△ 17.1
合 計		(146,972,894) 147,072,894	(127,875,897) 127,975,897	(19,096,997) 19,096,997	(14.9) 14.9
純 計		(142,145,285) 142,245,285	(120,477,157) 120,577,157	(21,668,128) 21,668,128	(18.0) 18.0

歳出

(単位：千円、%)

会 計		令和2年度	令和元年度	比 較	増減率
一 般 会 計		(102,327,018) 102,427,018	(76,090,732) 76,190,732	(26,236,286) 26,236,286	(34.5) 34.4
特 別 会 計	国民健康保険事業	21,045,205	22,032,937	△ 987,732	△ 4.5
	下水道事業	—	5,256,182	△ 5,256,182	皆減
	渋谷土地区画整理事業	—	1,056,335	△ 1,056,335	皆減
	介護保険事業	16,097,253	15,461,145	636,108	4.1
	後期高齢者医療事業	3,020,076	2,776,932	243,144	8.8
	計	40,162,534	46,583,531	△ 6,420,997	△ 13.8
合 計		(142,489,552) 142,589,552	(122,674,263) 122,774,263	(19,815,289) 19,815,289	(16.2) 16.2
純 計		(137,661,943) 137,761,943	(115,275,523) 115,375,523	(22,386,420) 22,386,420	(19.4) 19.4

※ () 内は、まほろば市民債借換債を除いた数値です。

※ 純計とは、一般会計と特別会計間での繰出金、繰入金を除いた額です。

2. 令和2年度一般会計決算

(1) 決算の概要

「実質収支」は、**3,467,056** 千円となりました。

歳入総額は106,135,162千円で、前年度と比較して27,517,718千円、35.0%増加しました。また、歳出総額は、102,427,018千円で、前年度と比較して26,236,286千円、34.4%増加しました。

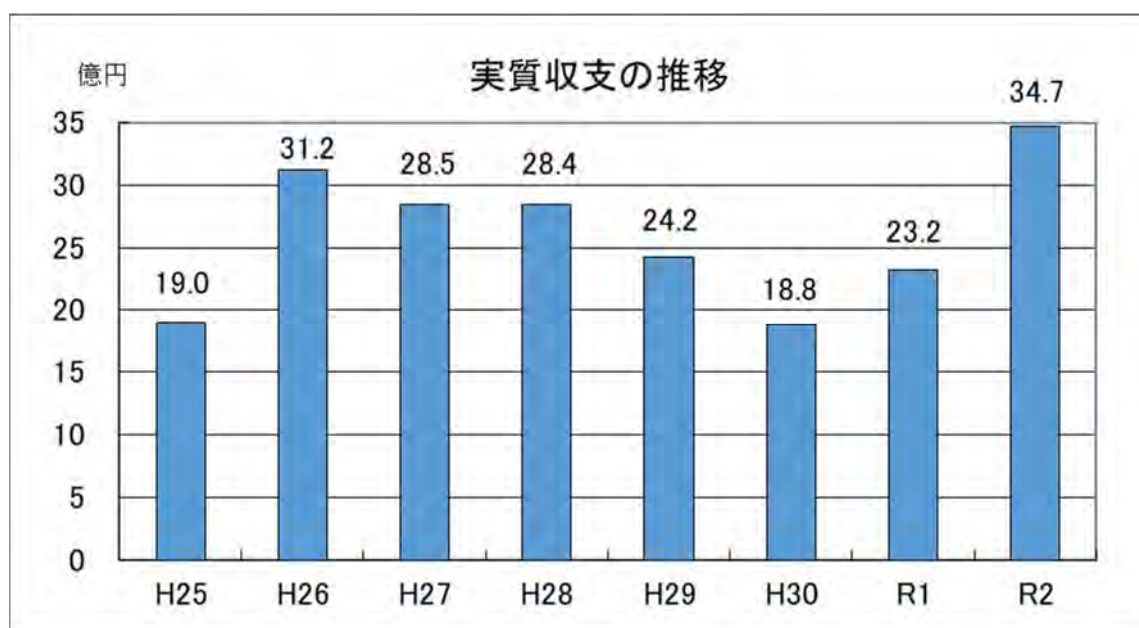
また、実質収支額（決算剰余金）は、前年度と比較して1,146,026千円、49.4%増加の3,467,056千円となりました。

決算の状況

(単位：千円、%)

区 分	令和2年度	令和元年度	比 較	増減率
歳 入	106,135,162	78,617,444	27,517,718	35.0
歳 出	102,427,018	76,190,732	26,236,286	34.4
形 式 収 支	3,708,143	2,426,711	1,281,432	52.8
翌年度繰越財源	241,086	105,681	135,405	128.1
実 質 収 支	3,467,056	2,321,030	1,146,026	49.4

※端数処理のため、形式収支が歳入と歳出の差し引きと、実質収支が形式収支と翌年度繰越財源の差し引きと一致しない場合があります。



(2) 歳入決算の概要

① 総括

「歳入総額」は、106,135,162千円となりました。

前年度と比較して27,517,718千円、35.0%増加し、収入率は、98.3%となりました。主な内訳は、以下のとおりです。

○ 市税

市民税及び固定資産税の増加により、前年度と比較して398,538千円、1.1%増加の36,920,159千円となりました。

○ 地方消費税交付金

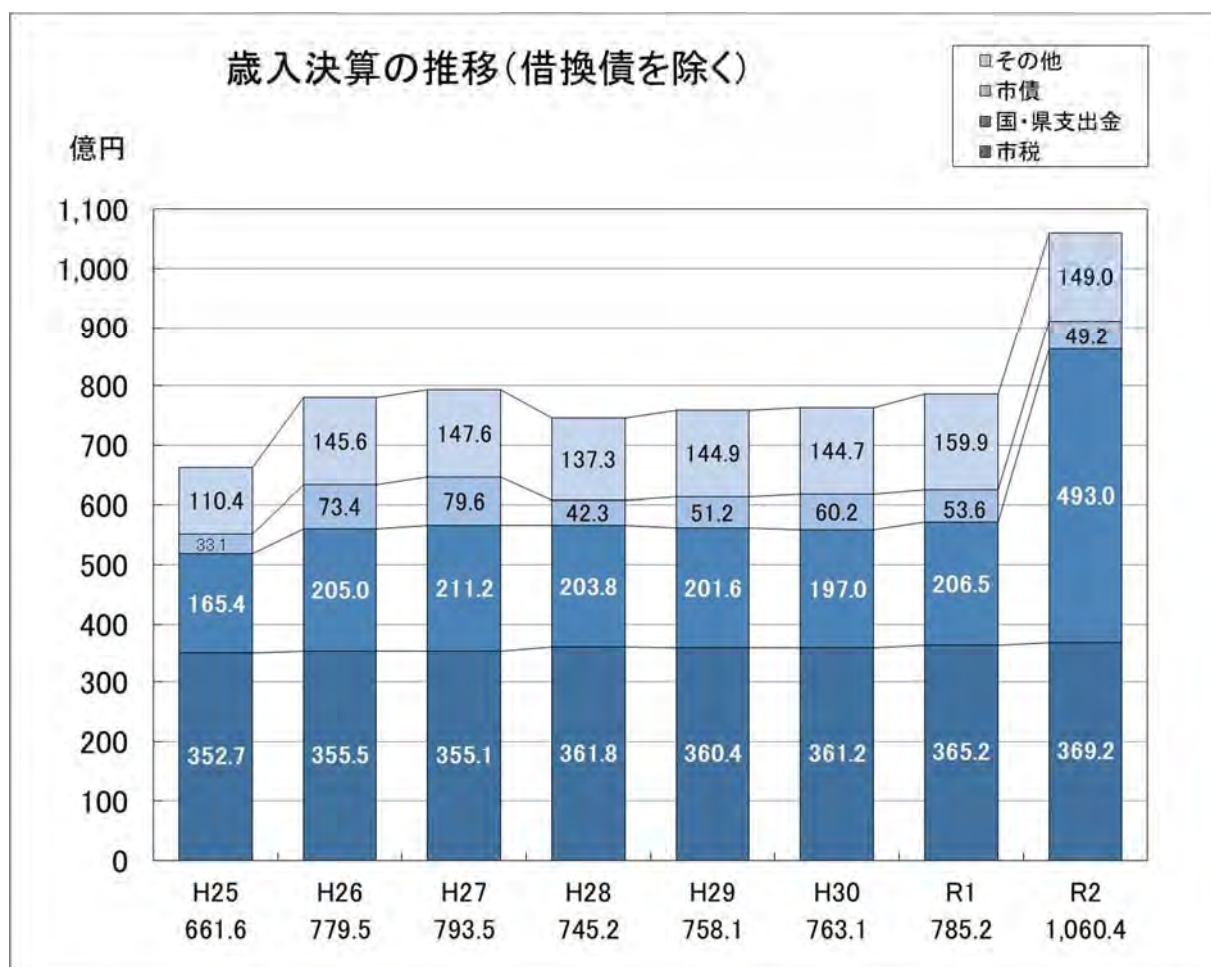
令和元年10月からの消費税率の引き上げにより、前年度と比較して861,933千円、22.8%増加の4,647,570千円となりました。

○ 国庫支出金

特別定額給付金給付事業補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増などにより、前年度と比較して28,097,255千円、183.3%増加の43,429,873千円となりました。

○ 市債

北大和小学校増築事業に係る市債の発行額減少などにより、前年度と比較して435,100千円、8.0%減少の5,022,900千円となりました。



歳入の状況

(単位：千円、%)

区 分	令和2年度			令和元年度		対前年度比較	
	予算現額	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
1 市 税	36,333,000	36,920,159	34.8	36,521,621	46.5	398,538	1.1
2 地 方 譲 与 税	405,000	396,563	0.4	387,257	0.5	9,306	2.4
3 利 子 割 交 付 金	44,000	22,700	0.0	22,662	0.0	38	0.2
4 配 当 割 交 付 金	216,000	191,865	0.2	209,007	0.3	△ 17,142	△ 8.2
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	200,000	227,109	0.2	125,732	0.2	101,377	80.6
6 法 人 事 業 税 交 付 金	130,000	159,966	0.2	0	—	159,966	皆増
7 地 方 消 費 税 交 付 金	4,750,000	4,647,570	4.4	3,785,637	4.8	861,933	22.8
8 ゴルフ場利用税交付金	11,000	7,945	0.0	11,158	0.0	△ 3,213	△ 28.8
9 環 境 性 能 割 交 付 金	71,000	69,303	0.1	33,578	0.0	35,725	106.4
10 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金 等	360,953	362,066	0.3	360,953	0.5	1,113	0.3
11 地 方 特 例 交 付 金	279,000	301,060	0.3	525,053	0.7	△ 223,993	△ 42.7
12 地 方 交 付 税	1,182,338	1,216,540	1.1	1,292,998	1.7	△ 76,458	△ 5.9
13 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	30,000	34,913	0.0	31,004	0.0	3,909	12.6
14 負 担 金	682,855	601,288	0.6	889,353	1.1	△ 288,065	△ 32.4
15 使 用 料 及 び 手 数 料	1,534,741	1,476,609	1.4	1,599,067	2.0	△ 122,458	△ 7.7
16 国 庫 支 出 金	44,007,802	43,429,873	40.9	15,332,618	19.5	28,097,255	183.3
17 県 支 出 金	6,098,974	5,866,869	5.5	5,312,191	6.8	554,678	10.4
18 財 産 収 入	76,369	71,809	0.1	575,575	0.7	△ 503,766	△ 87.5
19 寄 附 金	86,163	71,698	0.1	18,994	0.0	52,704	277.5
20 繰 入 金	1,967,580	1,964,559	1.8	2,657,583	3.4	△ 693,024	△ 26.1
21 繰 越 金	1,206,711	1,206,712	1.1	1,235,136	1.6	△ 28,424	△ 2.3
22 諸 収 入	1,825,203	1,864,975	1.8	2,124,752	2.7	△ 259,777	△ 12.2
23 市 債	5,750,263	5,022,900	4.7	5,458,000	6.9	△ 435,100	△ 8.0
24 自 動 車 取 得 税 交 付 金	0	111	0.0	107,515	0.1	△ 107,404	△ 99.9
合 計	107,248,952	106,135,162	100.0	78,617,444	100.0	27,517,718	35.0

自主・依存財源

(単位：千円、%)

区 分		令和2年度		令和元年度		対前年度比較	
		決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
自主財源	市 税	36,920,159	34.8	36,521,621	46.5	398,538	1.1
	使用料及び手数料	1,476,609	1.4	1,599,067	2.0	△ 122,458	△ 7.7
	繰 入 金	1,964,559	1.8	2,657,583	3.4	△ 693,024	△ 26.1
	繰 越 金	1,206,712	1.1	1,235,136	1.6	△ 28,424	△ 2.3
	諸 収 入	1,864,975	1.8	2,124,752	2.7	△ 259,777	△ 12.2
	そ の 他	744,795	0.7	1,483,922	1.9	△ 739,127	△ 49.8
	計	44,177,809	41.6	45,622,081	58.0	△ 1,444,272	△ 3.2
依存財源	地 方 譲 与 税	396,563	0.4	387,257	0.5	9,306	2.4
	地方消費税交付金	4,647,570	4.4	3,785,637	4.8	861,933	22.8
	自動車取得税交付金	111	0.0	107,515	0.1	△ 107,404	△ 99.9
	環境性能割交付金	69,303	0.1	33,578	0.0	35,725	106.4
	地方特例交付金	301,060	0.3	525,053	0.7	△ 223,993	△ 42.7
	国庫支出金	43,429,873	40.9	15,332,618	19.5	28,097,255	183.3
	県 支 出 金	5,866,869	5.5	5,312,191	6.8	554,678	10.4
	市 債	5,022,900	4.7	5,458,000	6.9	△ 435,100	△ 8.0
	そ の 他	2,223,104	2.1	2,053,514	2.6	169,590	8.3
計	61,957,353	58.4	32,995,363	42.0	28,961,990	87.8	
合 計	106,135,162	100.0	78,617,444	100.0	27,517,718	35.0	

※端数処理のため「自主財源」「依存財源」の構成比は、内訳計と一致しない場合があります。

<解 説>

- 自主財源とは、市税や使用料など市が自主的に収入することができる財源です。この自主財源が多ければ多いほど、市の行政活動の自主性と安定性が確保されていると言えます。
- 依存財源とは、国や県の意思決定によって交付される、補助金などの財源です。依存財源の多くは、使途が制限されています。
- 令和2年度収入総額 106,135,162 千円のうち、自主財源の割合は 41.6%となっています。前年度と比較して、自主財源が 1,444,272 千円減少し、自主財源割合は 16.4 ポイント減少しました。自主財源割合の減少は、繰入金などの自主財源が減少した一方で、国庫支出金などの依存財源が増加したことによるものです。

② 市税

収入総額は、36,920,159千円となりました。

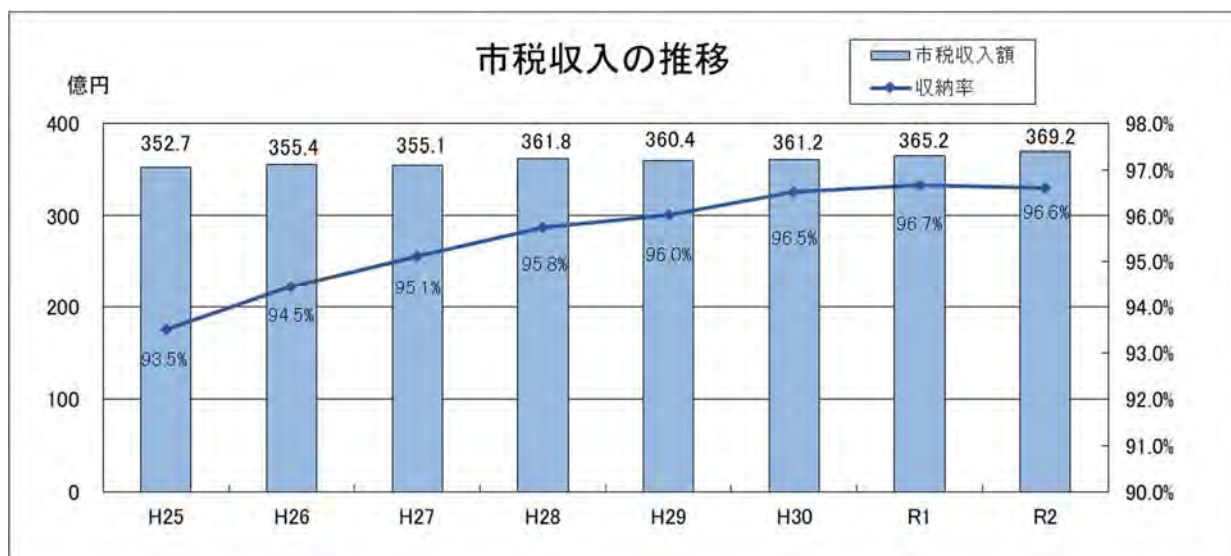
前年度と比較して398,538千円、1.1%増加し、収納率は96.6%となりました。

市民税は、給与所得等の伸びによる個人市民税の増などにより、35,568千円の増収、固定資産税も、新築家屋の増加などにより、350,192千円の増収となりました。

市税の状況

(単位：千円、%)

区 分	令和2年度	令和元年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
市 民 税	17,949,178	17,913,610	35,568	0.2
個人	16,240,423	15,902,843	337,580	2.1
法人	1,708,755	2,010,767	△ 302,012	△ 15.0
固 定 資 産 税	14,906,152	14,555,960	350,192	2.4
土地・家屋	12,961,753	12,669,946	291,807	2.3
償却資産	1,859,066	1,796,876	62,190	3.5
国有資産等所在 市町村交付金	85,333	89,138	△ 3,805	△ 4.3
軽自動車税	273,195	255,728	17,467	6.8
市たばこ税	1,634,116	1,689,098	△ 54,982	△ 3.3
都市計画税	2,157,518	2,107,225	50,293	2.4
合 計	36,920,159	36,521,621	398,538	1.1



③ 市債

発行総額は、5,022,900千円となりました。

北大和小学校増築事業に係る市債の発行額の減少などにより、前年度と比較して435,100千円、8.0%減少の5,022,900千円となりました。

市債の状況

(単位：千円)

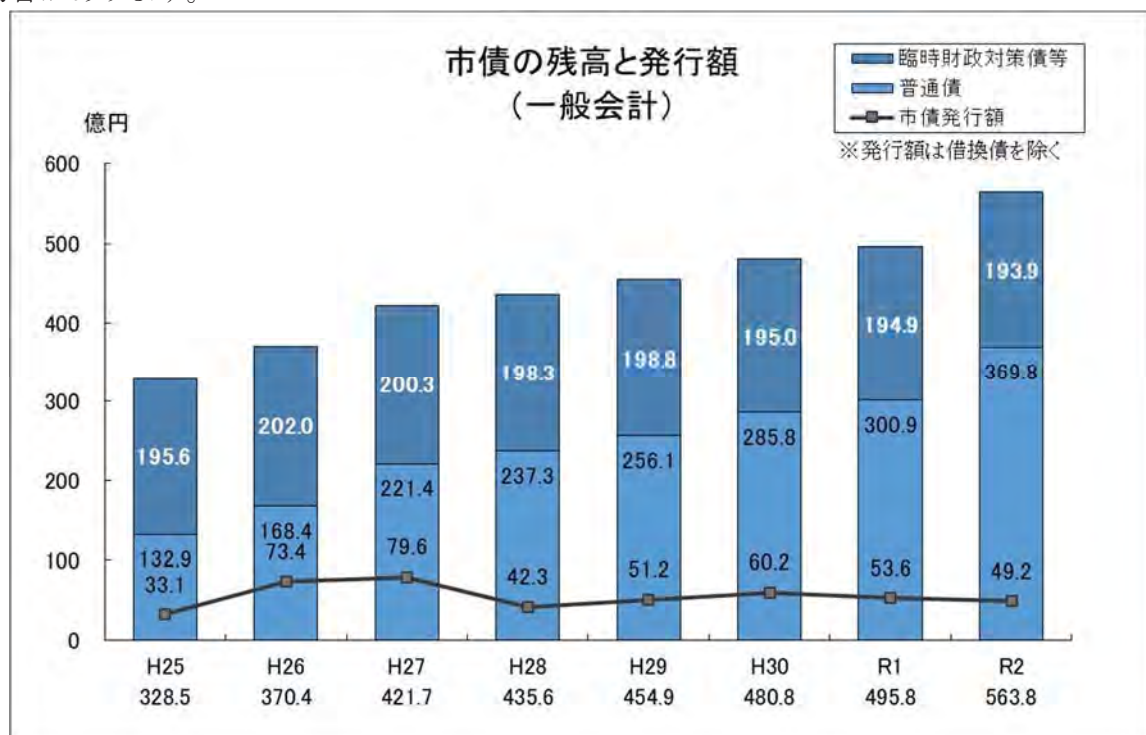
区分	令和元年度 末現在高	令和2年度		令和2年度 末現在高	
		発行額	償還元金		
一般会計債	普通債	30,086,386	(3,283,900) 3,383,900	(3,109,537) 3,209,537	36,982,917
	減税補てん債	782,584	0	192,120	590,464
	臨時財政対策債	18,707,860	1,358,200	1,543,695	18,522,366
	減収補てん債	0	280,800	0	280,800
	計	49,576,830	(4,922,900) 5,022,900	(4,845,352) 4,945,352	56,376,547
渋谷土地区画整理事業債	6,722,168	-	-	-	
企業債(下水道)	27,857,112	2,379,400	2,440,148	27,796,363	
企業債(病院)	4,537,719	925,000	1,173,936	4,288,783	
合計	88,693,829	(8,227,300) 8,327,300	(8,459,436) 8,559,436	88,461,693	

※令和2年度()内は、平成27年度まほろば市民債借換債を除いた数値です。

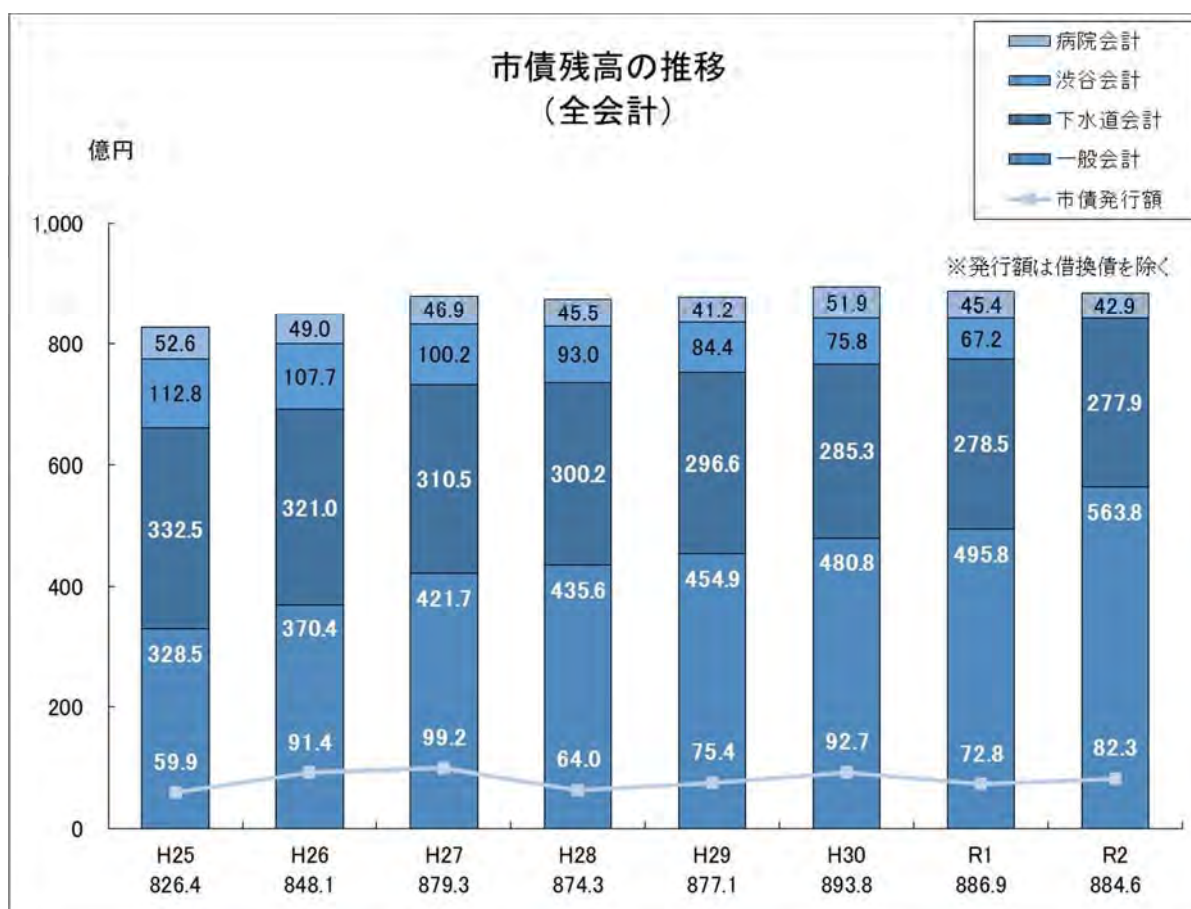
※渋谷土地区画整理事業債は、特別会計の廃止に伴い、令和2年度から一般会計債に含めています。

※下水道事業は、令和2年度に公営企業会計へ移行しました。

※端数処理のため、令和元年度末現在高からの増減の結果は、令和2年度末現在高と一致しない場合があります。



市債に関する参考資料



<解 説>

- 一般会計の市債残高は、渋谷土地地区画整理事業特別会計が令和2年度から一般会計に統合し、普通債が増加したことなどにより、令和2年度末で56,376,547千円(前年度比0.1%、77,549千円増)となっています。
- 全会計の市債残高は、平成9年度の112,293,549千円をピークに平成25年度の82,637,492千円まで減少傾向にありましたが、平成26年度以降、公債費(返済)を上回る額を市債発行(借入)したため増加に転じました。令和2年度は、一般会計の残高が増加したものの、病院事業会計などの残高が減少し、年度末残高は88,461,693千円(前年度比0.3%、232,136千円減)となりました。

(3) 歳出決算の概要

① 総括

「歳出総額」は、102,427,018千円となりました。

前年度と比較して26,236,286千円、34.4%増加し、執行率は95.5%となりました。主な内訳は、以下のとおりです。

○ 総務費

特別定額給付金給付事業などの増加により、前年度と比較して23,619,466千円、298.8%増の31,524,042千円となりました。

○ 民生費

保育所等施設型給付事業や自立支援給付事業などの増加により、前年度と比較して2,177,497千円、6.1%増の37,896,646千円となりました。

○ 商工費

新型コロナウイルス感染症拡大防止および雇用維持給付金支給事業やプレミアム付商品券発行支援事業などの増加により、前年度と比較して475,180千円、35.7%増の1,804,484千円となりました。

○ 土木費

渋谷土地区画整理事業特別会計繰出金や下水道事業会計負担金などの減少により、前年度と比較して709,157千円、10.7%減の5,938,020千円となりました。

○ 教育費

GIGAスクール端末整備事業やGIGAスクールネットワーク整備事業などの増加により、前年度と比較して469,089千円、5.6%増の8,801,578千円となりました。

○ 公債費

前年度と比較して1,041,232千円、24.8%増の5,236,907千円となりました。

歳出の状況（目的別）

（単位：千円、%）

区 分	令和2年度			令和元年度		対前年度比較	
	予算現額	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
1 議会費	408,442	381,102	0.4	389,989	0.5	△ 8,887	△ 2.3
2 総務費	32,107,615	31,524,042	30.8	7,904,576	10.4	23,619,466	298.8
3 民生費	39,450,968	37,896,646	37.0	35,719,149	46.9	2,177,497	6.1
4 衛生費	8,833,576	7,997,260	7.8	8,439,758	11.1	△ 442,498	△ 5.2
5 労働費	239,116	221,639	0.2	413,789	0.6	△ 192,150	△ 46.4
6 農林費	126,909	110,538	0.1	108,979	0.1	1,559	1.4
7 商工費	1,910,535	1,804,484	1.8	1,329,304	1.8	475,180	35.7
8 土木費	6,827,411	5,938,020	5.8	6,647,177	8.7	△ 709,157	△ 10.7
9 消防費	2,629,098	2,512,994	2.4	2,699,237	3.5	△ 186,243	△ 6.9
10 教育費	9,367,250	8,801,578	8.6	8,332,489	10.9	469,089	5.6
11 災害復旧費	20,000	0	0.0	0	0.0	0	—
12 公債費	5,265,542	5,236,907	5.1	4,195,675	5.5	1,041,232	24.8
13 諸支出金	1,830	1,808	0.0	10,610	0.0	△ 8,802	△ 83.0
14 予備費	60,660	0	0.0	0	0.0	0	—
合 計	107,248,952	102,427,018	100.0	76,190,732	100.0	26,236,286	34.4

歳出の状況（性質別）

（単位：千円、％）

区 分	令和2年度		令和元年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	43,638,484	42.6	40,183,548	52.7	3,454,936	8.6
人件費	13,077,262	12.8	11,875,800	15.6	1,201,462	10.1
扶助費	25,324,315	24.7	24,112,073	31.7	1,212,242	5.0
公債費	5,236,907	5.1	4,195,675	5.5	1,041,232	24.8
投資的経費	4,330,248	4.2	5,327,826	7.0	△ 997,578	△ 18.7
補助事業	1,535,333	1.5	1,899,914	2.5	△ 364,581	△ 19.2
単独事業	2,794,915	2.7	3,427,912	4.5	△ 632,997	△ 18.5
物件費	14,290,071	14.0	13,565,349	17.8	724,722	5.3
維持補修費	1,241,607	1.2	1,194,079	1.6	47,528	4.0
補助費等	32,846,398	32.1	6,279,963	8.2	26,566,435	423.0
繰出金	4,828,068	4.7	7,400,220	9.7	△ 2,572,152	△ 34.8
貸付金	1,220,000	1.2	2,220,000	2.9	△ 1,000,000	△ 45.0
積立金	32,142	0.0	19,747	0.0	12,395	62.8
合 計	102,427,018	100.0	76,190,732	100.0	26,236,286	34.4



目的別・性質別経費の状況（クロス表）

(単位：千円、%)

区分	議会費	総務費	民生費	衛生費	労働費	農林費	商工費	土木費	消防費	教育費	公債費	諸支出金	合計	構成割合
人件費	348,461	4,070,941	2,535,822	1,306,513	25,544	92,610	90,661	852,780	2,033,496	1,720,434			13,077,262	12.8
物件費	22,046	2,639,348	1,114,335	3,961,220	13,555	6,396	16,516	1,346,602	304,607	4,865,446			14,290,071	14.0
維持補修費		28,142	31,056	414,164				556,627	12,455	199,163			1,241,607	1.2
扶助費			25,026,774	38,548						258,993			25,324,315	24.7
補助費等	10,595	24,558,121	3,932,207	2,078,980	32,540	11,532	647,307	1,423,572	25,640	125,904			32,846,398	32.1
公債費											5,236,907		5,236,907	5.1
積立金		3,038	27,279							17		1,808	32,142	0.0
貸付金			20,000		150,000		1,050,000						1,220,000	1.2
繰出金			4,827,609					459					4,828,068	4.7
建設事業		224,452	381,564	197,835				1,757,980	136,796	1,631,621			4,330,248	4.2
補助事業		12,984	142,462	664				585,433		793,790			1,535,333	1.5
単独事業		211,468	239,102	197,171				1,172,547	136,796	837,831			2,794,915	2.7
合計	381,102	31,524,042	37,896,646	7,997,260	221,639	110,538	1,804,484	5,938,020	2,512,994	8,801,578	5,236,907	1,808	102,427,018	100.0
構成割合	0.4	30.8	37.0	7.8	0.2	0.1	1.8	5.8	2.4	8.6	5.1	0.0	100.0	

※公債費の決算額には、平成27年度まほろば市民債借換分の100,000千円が含まれています。

(4) 健全化判断比率

財政の健全化に関する比率について、監査委員の審査を受け、その意見を付けて市議会へ報告し、公表をするものです。

【健全化判断比率及び資金不足比率】

指 標	説 明	大和市	大和市	早期健全化 基準	財政再生 基準	
		令和2年度	令和元年度			
健全化 判断 比率	①実質赤字比率	一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する割合	—	—	11.39%	20%
	②連結実質赤字比率	全会計を対象とした赤字の標準財政規模に対する割合	—	—	16.39%	30%
	③実質公債費比率	一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する割合	1.8%	1.2%	25%	35%
	④将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合	39.2%	38.2%	350%	
⑤資金不足比率 (公営企業ごと)	資金不足額の事業規模に対する比率	—	—	経営健全化基準 20%		

<用語解説>

- ア. 一般会計等 ～ 大和市では、一般会計および旧渋谷土地区画整理事業特別会計（令和2年度から一般会計に統合しています）。
- イ. 早期健全化基準 ～ ①から④の指標のうち、1つでも基準以上となった場合、「財政健全化計画」を作成し、議会の議決を経たうえで、県知事に報告しなければなりません。
- ウ. 財政再生基準 ～ ①から③の指標のうち、1つでも基準以上となった場合、「財政再生計画」を作成し、議会の議決を経たうえで、県知事に報告しなければなりません。
- エ. 経営健全化基準 ～ 公営企業会計ごとに算定した資金不足比率が基準以上となった場合、「経営健全化計画」を策定し、議会の議決を経たうえで、県知事に報告しなければなりません。
※大和市で地方財政健全化法上の資金不足比率の対象となる会計は、病院事業会計および下水道事業会計です。
- オ. 標準財政規模 ～ 地方公共団体の一般財源の標準的な規模を示す指標（臨時財政対策債を含む）です。

(5) 地方消費税（社会保障財源）交付金の充当

令和2年度の地方消費税（社会保障財源）交付金約25億1千万円を下表のとおり充当しました。

(単位：千円)

区分	主な事業	事業費	うち、一般財源の額	地方消費税 充当額
社会福祉	生活保護事業 保育所等施設型給付事業 自立支援給付事業 ほか	28,029,590	8,172,959	1,242,381
社会保険	介護保険事業特別会計繰出金 後期高齢者医療広域連合負担金事務 国民健康保険事業特別会計繰出金 ほか	5,771,108	4,637,437	704,941
保健衛生	健康診査事業 予防接種事業 休日夜間急患診療所運営事業 ほか	3,926,262	3,722,809	565,911
合計		37,726,960	16,533,205	2,513,233

(6) 森林環境譲与税の充当

令和2年度の森林環境譲与税約1千9百万円を下表のとおり充当しました。

(単位：千円)

事業名	用途	事業費	森林環境 譲与税 充当額
緑地保全事業	森林間伐業務委託	6,830	19,038
	保全緑地案内看板設置委託		
	樹木病虫害防除委託		
既設公園等大規模改修事業	泉の森展望デッキ改修工事	10,995	19,038
	ふれあいの森東ヶ里 ふれあい橋改修工事	15,323	
合計		33,148	19,038

(7) 令和2年度一般会計施策の成果

決算書ページ 87	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 01	一般管理費	
事業名	22 海外友好都市交流事業				担当課	国際・男女共同参画課	
目的	海外友好都市と市民相互の理解を深め、国際社会の平和と発展に寄与します。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 2,094	
					令和2年度 予算現額	2,743	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・やまと国際交流指針に基づき、海外友好都市との交流事業を推進します。 ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による渡航制限により、青少年交流事業を実施できませんでした。 				令和2年度 決算額	600	
					令和2年度 財源内訳		
					国庫支出金	0	
					県支出金	0	
					地方債	0	
					その他	0	
令和3年度 予算額	2,593						
活動内容							
指標	1	友好都市との交流イベントの数	2		3		
		相互訪問等					
	予定(目標)	2回					
	令和2年度実績	0回					
	令和元年度実績	1回					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による渡航制限により、青少年交流事業は実施できませんでした。</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・韓国語通訳賃金 600千円 ・光明市友好交流事業委託 0千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年交流事業実施の際には、参加者が学校活動等と重複して、活動時間が限られるため、より効果的に参加希望者の活動・交流が充実するよう事業内容等の工夫を図る必要があります。 ・当該交流事業の再開については、安全面における配慮を十分に尽くして実施します。 						

決算書ページ 89	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 02	人事管理費
事業名	04 一般研修事業				担当課	人財課
目的	職員としての基本能力、地方分権を担う職員として施策を推進する能力の向上を目指します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					3,401	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 基本研修を実施します。 (新採用職員研修、新任管理・監督者研修、各公務意識研修、ファシリテーション研修、民法研修、行政法研修他) 政策形成能力育成研修を実施します。 (政策形成基礎研修、政策法務研修(入門・実践)) 				令和2年度 予算現額	
					3,644	
					令和2年度 決算額	
					2,281	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	2,281					
令和3年度 予算額						
3,329						
活動内容						
指標	1	一般研修実施回数	2	一般研修受講者数	3	研修開催日数
	一般研修を実施した回数		一般研修を受講した延べ職員数		研修を開催した延べ日数	
	予定(目標)	24 回	2,850 人	49 日		
	令和2年度実績	14 回	325 人	17 日		
令和元年度実績	23 回	2,886 人	48 日			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>新採用職員研修(前期等2研修)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全2日 6.5時間 受講者 64人【5研修 全19日 282人】 <p>公務意識研修(セクハラ・パワハラ防止研修)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全0日 2時間 受講者 74人【2研修 全2日 2,179人】 <p>その他基本研修(ファシリテーション、民法、行政法等8研修)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全9日 63時間 受講者135人【10研修 全14日 246人】 <p>管理・監督者研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 全0日 0時間 受講者 0人【3研修 全5日 131人】 <p>政策形成能力育成研修(政策形成基礎、政策法務入門、政策法務3研修)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全6日 35時間 受講者 52人【3研修 全8日 48人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 新採用職員研修～その他基本研修 1,623千円 政策形成能力育成研修 658千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 選択制研修制度により、職員自らが必要とする知識や技能についてタイミング良く習得できるようになり、研修効果は向上していると考えられます。 職員が研修に集中して取り組めるよう、周囲の職員の協力体制など職場環境の整備を図るとともに、習得した知識や技能を効果的に普及させていくための工夫が必要です。 また、集合研修の開催にあたっては、受講者数の上限設定や感染対策の徹底を図り実施していますが、引き続き、オンライン研修の実施など、コロナ禍における研修の実施手法について研究していきます。 					

決算書ページ 89	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 02	人事管理費
事業名	08 職員健康管理事務				担当課	人財課
目的	職員の心身の健康の維持増進を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					21,493	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 定期健康診断により職員の健康状態を把握し、必要に応じて健康指導を行います。 職員の健康障害の防止対策を充実するため衛生委員会を開催します。 健康管理講習会（メンタルヘルス研修等）を開催して職員の健康の維持増進を図ります。 産業医、臨床心理士等の専門家による健康相談を実施します。 				令和2年度 予算現額	
					22,567	
					令和2年度 決算額	
					21,085	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	273					
一般財源	20,812					
令和3年度 予算額						
26,408						
活動内容						
指標	1	定期健康診断実施回数	2	本庁舎衛生委員会開催回数	3	健康管理講習会開催回数
		法令に基づき、年2回（8月、2月）健康診断を実施		法令に基づき設置が義務付けられている同委員会の開催回数		新採用職員、管理監督者などを対象に実施
	予定（目標）	2 回	3 回	15 回	2,700 件	産業医、臨床心理士、保健師が行った健康相談件数
	令和2年度実績	2 回	3 回	0 回	3,357 件	
	令和元年度実績	2 回	3 回	16 回	2,696 件	
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<p><一般健康診断>（年度末在籍職員の定期健診受診者年間実数）</p> <ul style="list-style-type: none"> 正職、週20時間以上勤務の非常勤職員 1,930人（受診率98%） 【1,871人（97%）】 <特殊健康診断委託、予防接種委託等> 有機溶剤 8月 7人、2月 7人 【8月 7人、2月 6人】 B型肝炎 延べ49人【延べ32人】 ・破傷風 延べ49人【延べ63人】 <ストレスチェック> 受検者 1,729人（受検率91%） 【1,684人（90%）】 <その他> ・産業医相談25回【25回】 ・臨床心理士相談36回【36回】 精神科医相談48回【48回】 <決算額の内訳> 一般健康診断 12,878千円 ・各種健康相談 6,606千円 特殊健康診断 967千円 ・その他 634千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 定期健康診断、人間ドック、産業医面談等により職員の健康状態の確認と健康指導を行いました。 今後も全ての職員の健康状態を把握し、適切な健康指導ができるよう努めていきます。 ストレスチェックの集団分析結果等を活用して、職場環境の更なる改善を図ります。 					

決算書ページ 91	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 04	広報連絡費
事業名	03 市政等PR事業				担当課	広報広聴課
目的	冊子、視聴覚媒体などのほか、マスコミなどを通じて市政情報を発信します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					61,634	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティFMやテレビ、インターネット動画などの音声・映像媒体、チラシや広報PRボードの活用など、幅広い手段で市政PRを図ります。 ・市の重要な施策を分かりやすく紹介する「やまとニュース」を年12回発行します。 ・市長会見やニュースリリースをタイムリーに行い、市政の報道を促します。 ・市勢などを紹介する「市勢ガイド」を発行します。 				令和2年度 予算現額	
					72,915	
					令和2年度 決算額	
					72,340	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	1,814
地方債	0					
その他	403					
一般財源	70,123					
令和3年度 予算額						
62,611						
活動内容						
指標	1	ニュースリリース件数	2	記者会見回数	3	放送回数
	ニュースリリースによる情報提供件数		定期及び臨時の記者会見を実施した回数		テレビ及びラジオの放送委託で放送した回数	
	4	やまとニュース発行回数				
	タブロイド判「やまとニュース」の発行回数					
予定(目標)	150	件	5	回	1,906	回
令和2年度実績	90	件	10	回	1,790	回
令和元年度実績	202	件	6	回	1,832	回
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<p>市政などについて、さまざまな媒体を活用し、広く市民にPRを図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ広報（tvk「猫ひたワイド」）：年24回放送 【 24回】 ・やまとニュース年12回発行（各115,000部） 【 12回】 ・FMやまと「市政情報やまと」：360日1,596回【1,597回】 ・FMやまと特別番組・PRスポット：20種170回 【211回】 ・市長報告：0回 【 68回】 ・記者会見：10回【6回】 ・ニュースリリース90回【202回】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・FMやまと「市政情報やまと」 27,256千円 ・FMやまと特別番組・PRスポット 2,025千円 ・やまとニュース・ポスター作成 12,672千円 ・その他 30,387千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・やまとニュースの発行やFMやまとでのラジオ放送など、年間を通じて市政情報を効果的に発信しました。また、新型コロナウイルス対応として、臨時的にちらしの全戸配布や、広報PRボードへのポスター掲示も実施し、市民への迅速な情報提供をすることができました。 ・SNSの活用により、新型コロナウイルスに関するものを筆頭に、さまざまな情報を広く周知することができました。また、市の魅力を伝えるホームページと、子育て支援に関するホームページを開設したことで、市民サービスの向上のみならず大和市としての訴求力を高めています。 					

決算書ページ 93	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 09	企画費	
事業名	02 健康都市推進事業					担当課	総合政策課
目的	健康都市の考え方について広く啓発を行うとともに、健康都市関連施策の推進を図ります。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	1,219
						令和2年度 予算現額	1,706
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 健康都市について、普及啓発を行います。 健康都市推進に向けて関係部署と調整を図ります。 健康都市連合、同連合日本支部等に参加し、情報の収集、発信に努めます。 					令和2年度 決算額	487
						令和2年度 財源内訳	
						国庫支出金	0
						県支出金	0
						地方債	0
						その他	0
						一般財源	487
令和3年度 予算額	1,318						
活動内容							
指標	1 健康都市推進庁内検討会議開催回数	2 健康都市推進市民会議開催回数	3 大和市健康都市シンボルマーク利用の申請・届出件数	4 健康都市連合関係イベント・会議への参加回数			
	健康都市推進のための庁内調整を行う会議の開催回数	健康都市推進に関する市民による会議の開催回数	健康都市シンボルマークの利用の際に必要な申請・届出の件数	健康都市連合、同連合日本支部の総会・大会等への参加回数			
	予定(目標)	2 回	2 回	30 件	1 回		
	令和2年度実績	1 回	2 回	12 件	1 回		
令和元年度実績	2 回	2 回	26 件	1 回			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康都市連合等の都市間のネットワークを通じて、施策の情報交換、意見交換を行いました。 健康都市推進市民会議で意見を聴取するとともに、関係部署と調整を図りながら、健康都市プログラムの改訂および進行管理を行いました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 健康都市イベント関係経費 0千円 健康都市連合関係経費 65千円 健康都市普及啓発等 422千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、健康都市連合国際大会が翌年度に延期されたこと、健康都市やまとフェアを中止したことなどにより、予算の執行率が下がりました。 健康都市に関する取り組みを広く市民に発信し、1人でも多くの方が自らの健康について考え、行動できるよう促していくことが必要となります。 						

決算書ページ 95	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 09	企画費		
事業名	08 ITサービス運用管理事業					担当課	デジタル戦略課	
目的	各種デジタルサービスの提供を通じて、市民生活の利便性向上を図ります。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	23,234	
						令和2年度 予算現額	23,424	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> アクセシビリティ（利用しやすさ）に配慮してホームページを公開します。 パソコン、携帯電話、スマートフォン等を活用して市民が行政情報を得やすい環境を提供します。 インターネットを利用した電子申請等を実施し、行政手続きを手軽に行うことができる環境を提供します。 					令和2年度 決算額	22,937	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	0	
						地方債	0	
						その他	495	
令和3年度 予算額	66,566							
活動内容								
指標	1	PSメール配信回数	2	電子申請・届出システム追加手続き数	3	公開している地図の数	4	
		PSメールを配信した数		新たに電子申請・届出システムを利用した手続きの数		公開型GISサービスにて利用できる地図		
	予定(目標)	330 回		1 種類		20 種類		
	令和2年度実績	293 回		6 種類		20 種類		
令和元年度実績	319 回		3 種類		20 種類			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>各種IT技術を活用した行政サービスを提供しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページ、FAQサービス、メール配信サービス及び施設予約システム等の運用管理 神奈川県市町村電子自治体共同運営協議会への参加 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページ作成システム使用料 8,404千円 FAQシステム使用料 3,049千円 メール配信サービス使用料 2,772千円 施設予約システム使用料 4,593千円 電子申請等システム等負担金 1,566千円 その他 2,553千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術分野における技術革新は著しく、新たな行政サービスの提供の在り方について、継続的に検討していく必要があります。 市民に分かりやすく、かつ情報にアクセスしやすい環境を整えていく必要があります。 							

決算書ページ 95	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 09	企画費	
事業名	10 IT推進事業				担当課	デジタル戦略課	
目的	デジタル施策を推進し、市民サービスの質的向上や業務改善を図ります。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 0	
					令和2年度 予算現額	8,273	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 各課が調達、運用する情報システムの導入サポートなどを行うことで、行政サービスのデジタル化を進めます。 また、社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の円滑且つ効果的な運用を進めます。 				令和2年度 決算額	6,057	
					令和2年度 財源内訳		
					国庫支出金	0	
					県支出金	0	
					地方債	0	
					その他	0	
令和3年度 予算額	8,421						
活動内容							
指標	1	システム導入サポート回数	2		3		
	各課がシステムを導入する際のヒアリング回数						
	予定(目標)	50 回					
	令和2年度実績	61 回					
令和元年度実績	45 回						
具体的内容	<p>行政におけるデジタル化の推進を図りました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> AI-OCR、RPA、ぴったりサービス等の運用管理 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> AI-OCR使用料 1,210千円 ぴったりサービス使用料 647千円 RPAライセンス料 2,550千円 アドバイザー募集委託料 1,650千円 				【 】内は前年度数値		
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 各業務における課題や、市民ニーズが多様化する中で、適切にシステム調達を図る必要があります。 マイナンバー制度について、市民が利用しやすいよう環境整備や周知に取り組んでいく必要があります。 AI、RPAなど急速に進化し続けているデジタル技術を活用した業務改善等を推進していく必要があります。 						

決算書ページ 95	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 09	企画費	
事業名	13 男女共同参画意識啓発事業				担当課	国際・男女共同参画課	
目的	男女共同参画の意識の浸透・向上を図ります。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 429	
					令和2年度 予算現額	649	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画に係る意識を効果的に浸透、向上させることができる場と機会をより多く提供します。 行政と市民が一体となり、市民の視点を取り入れた、男女共同参画意識啓発事業の展開を図ります。 あらゆる分野で市民が男女共同参画の視点が持てるよう、広報啓発活動の充実を図ります。 				令和2年度 決算額	134	
					令和2年度 財源内訳		
					国庫支出金	0	
					県支出金	0	
					地方債	0	
					その他	0	
令和3年度 予算額	286						
活動内容							
指標	1	啓発事業の開催回数	2	セミナー・フォーラムの参加者数	3	情報誌の年間発行部数	
		キャンペーンやセミナー、フォーラム開催回数		男女共同参画意識啓発のため講座等の参加者数		情報誌「わくわく」の発行部数	
	予定(目標)	5 回	230 人	10,000 部			
	令和2年度実績	2 回	0 人	10,000 部			
令和元年度実績	5 回	306 人	10,000 部				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>市民及び職員に対し、男女共同参画に係る意識を啓発するためのキャンペーン・パネル展の開催及び情報誌の発行を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーン（男女共同参画週間・DV防止） 1回【2回】 ・フォーラム（人権の集いと共催事業） 0回【1回】 ・市民セミナー 0回【2回】 ・職員研修（女性のためのキャリアデザイン） 0回【1回】 ・男女共同参画情報誌「わくわく」の発行 1回【1回】 ・企業表彰（女性活躍及びワークライフバランス） 1社【2社】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー等講師謝礼 0千円 ・講師派遣手数料 0千円 ・情報誌作成委託 99千円 ・その他 35千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集客を伴う事業は実施できませんでしたが、密を避ける形でのパネル展や企業表彰により啓発を行いました。 ・普及啓発活動の実施内容について、効果的な手法を適宜検討していくとともに、幅広く市民の理解促進につながるような事業展開を行う必要があります。 						

決算書ページ 95	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 09	企画費
事業名	14 国際化推進事業				担当課	国際・男女共同参画課
目的	日本語が母語ではない外国人市民の支援や、日本人市民向けに日本で暮らす外国人市民に関する理解を促進するよう働きかけ、多文化共生社会の実現を目指します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					14,347	
手段手法	・(公財)大和市国際化協会と連携して国際化を推進します。				令和2年度 予算現額	
					14,692	
					令和2年度 決算額	
					13,080	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	13,080					
令和3年度 予算額						
12,672						
活動内容						
指標	1	通訳相談件数	2	生活ガイド配布部数	3	協働事業の実施回数
	国際化協会及び市役所において、協会の通訳者が対応		(スペイン語版・英語版・中国語版)		「つるま読み書きの部屋」開催	
	予定(目標)	2,000 件	900 部	24 回		
	令和2年度実績	2,387 件	933 部	0 回		
令和元年度実績	1,528 件	990 部	16 回			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際化推進事業として多言語通訳窓口設置、通訳・翻訳ボランティア派遣、情報誌やFMやまとによる情報提供、外国人市民サミット等を委託しました。 外国人市民支援事業として、日本語支援要員の配置や、小中学校の児童生徒への日本語指導、学習支援のコーディネート等を委託しました。 <p>通訳員による相談件数 2,387件【1,528件】</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 国際化推進業務委託 10,807千円 外国人市民支援事業委託 2,171千円 やまと世界料理の屋台村事業委託 0千円 その他 102千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 通訳・翻訳業務について、医療、保健、教育、雇用などの外国人市民が地域で生活する上で必要となる情報を適切に提供できるよう、相談支援体制を充実させていく必要があります。 コロナ禍において、生活困窮等の通訳相談件数が増加しましたが、適切に関係部署に繋げるなど、外国人市民を支援することができたと考えます。 					

決算書ページ 95	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 09	企画費		
事業名	17 平和都市推進事業					担当課	国際・男女共同参画課	
目的	各種事業を実施することにより、平和意識の普及及び啓発を図ります。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	1,821	
						令和2年度 予算現額	2,092	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 多くの市民に平和の尊さ、大切さを考える機会として、市民等で組織する大和市平和都市推進事業実行委員会とともに「平和映画上映会」や「パネル展」を実施します。 ヒロシマ平和学習派遣、語り部の学校派遣などを通して、児童・生徒の平和意識を高めます。 					令和2年度 決算額	740	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	0	
						地方債	0	
						その他	0	
令和3年度 予算額	1,812							
活動内容								
指標	1 実施事業数(含む定例会)	2 語り部の派遣事業	3 語り部の講話を記録に残す事業	4				
	平和都市推進事業の実施回数	学校からの求めに応じた語り部の派遣した回数	戦時体験の講話を記録に残す事業実施回数					
	予定(目標)	14 回	12 回	1 回				
	令和2年度実績	11 回	3 回	2 回				
令和元年度実績	14 回	10 回	0 回					
具体的内容	【 】内は前年度数値							
	<p><主要な事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> パネル展 : 入場者数 140名 【330名】 ピースリングバスツアー : 実施せず 0名 【35名】 戦時体験講演会 : 実施せず 0名 【72名】 語り部の講話を記録に残す事業 : 動画収録実施人数 6名 【0名】 語り部を学校に派遣する事業 : 中学校2, 高等学校1計3校 【10校】 ヒロシマ平和学習派遣事業 : 実施せず 0名 【6名】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 平和都市推進事業実施委託料 668千円 旅費 0千円 日本非核宣言自治体協議会 負担金 60千円 その他 12千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集客を伴う事業は実施できませんでしたが、パネル展は規模を縮小し実施することができました。また、戦争の実相、教訓を風化させないため、次世代への継承について検討し、語り部登録者に伝承者を2名加え、また、広く市民に視聴してもらえよう、語り部を動画として収録する事業を実施しました。 							

決算書ページ 95	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費
事業名	02 市民活動推進事業				担当課	市民活動課
目的	「新しい公共を創造する市民活動推進条例」の運用により、市民活動を活発にします。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					920	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・協働事業提案を募集し、推進していきます。 ・新しい公共を創造する市の施策や計画等に関する意見提案を受け課題解決を図ります。 ・協働推進庁内検討会議及び協働推進会議を開催し、協働事業の推進及び啓発を行います。 ・市民等が行う市民活動への支援、周知を行い、市民事業の裾野を広げます。 				令和2年度 予算現額	
					1,176	
					令和2年度 決算額	
					949	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	949					
令和3年度 予算額						
1,441						
活動内容						
指標	1	NPO法人数	2		3	
	NPO法人の設立数					
	予定 (目標)	75 法人				
	令和2年度 実績	63 法人				
令和元年度 実績	64 法人					
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働事業等提案募集要領に基づき協働事業等提案制度を実施しました。 ・採択された協働事業：1事業【3事業】 ・公共の場の確保（公開プレゼンテーションを実施） ・やまとボランティア総合案内所の運営：登録者503人、延べ2日 【登録者599人、延べ4日】 ・新しい公共を支える市民活動補償制度の運用：対象者数 3人 【対象者数 7人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい公共を支える市民活動保険料 505千円 ・その他 444千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動への入り口となるボランティアについて、身近な場所で気軽にボランティア情報を手に取ることができるよう、更なる情報提供に努めました。 ・市民活動センターと連携して協働事業等提案制度の周知に努めるとともに、提案しやすい環境づくりを検討していく必要があります。 					

決算書ページ 95	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費		
事業名	05 市民活動センター管理運営事業					担当課	市民活動課	
目的	社会資源の充実を図るための市民活動の拠点として設置された市民活動センターの管理運営を行います。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	6,960	
						令和2年度 予算現額	7,738	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動センターを市民活動団体との協働で管理運営します。 NPO団体等を支援する組織として助言、コーディネートを行います。 市民活動に関する情報の収集及び提供を行います。 社会資源の創出及び発信を行います。 市民活動団体と市の交流、情報共有を推進します。 ボランティア支援ネットワークの拠点として位置づけます。 					令和2年度 決算額	7,572	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金		0
						県支出金		0
						地方債		0
						その他		0
一般財源		7,572						
						令和3年度 予算額	7,021	
活 動 内 容								
指標	1	市民活動センター利用登録 団体数	2		3		4	
		市民活動センターを利用して活 動している団体数						
	予定 (目標)	200 団体						
	令和2年度 実績	200 団体						
	令和元年度 実績	169 団体						
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>「拠点やまと」との協働事業として、市民活動センター管理運営を行いました。 ※ 令和2年4月～6月まで所管施設を一部休館、以降に関しても、時間短縮開館や利用人数制限を実施しているため、利用件数等は減少しています。</p> <p><市民活動センター事業年間実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 会議室利用 586件【881件】 印刷機利用 98件【238件】 <p><主な実施事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 共育セミナーの開催 5回【10回】 カッコーフェスタ2020の開催 オンラインで14団体応募で実施 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 市民活動センター管理運営事業負担金 6,960千円 その他 612千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動センターは、市民活動団体との協働事業で実施しており、共に育ちあえる場として、市民活動の広がりや交流を積極的に進めました。 市民活動センターは、平成30年4月から市民活動拠点ベテルギウスに移転していますが、引き続き、より多くの市民、団体に活用いただけるよう周知を図るとともに、更なる事業の展開と充実を図っていきます。 							

決算書ページ 95	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費		
事業名	06 市民相談支援事業					担当課	市民相談課	
目的	日常生活での様々な悩みや困りごとの相談に応じるとともに、専門的な立場からのアドバイスを行い、市民が安心して生活を送ることができる環境を整えます。					令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 20,752	
						令和2年度 予算現額	25,633	
手段手法	・日常生活の困りごとや相続等の相談に対応する相談員を配置するほか、より専門的な知識が必要な相談窓口を定期的に開設して、市民に適切な相談の場を提供します。					令和2年度 決算額	22,629	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金		0
						県支出金		0
						地方債		0
						その他		0
令和3年度 予算額	22,629		25,259					
活動内容								
指標	1	市民一般相談・女性相談受理件数	2	法律相談受理件数	3	その他の専門相談受理件数	4	法律専門家に引き継ぐ多重債務相談受理件数
		市民一般相談件数・女性相談件数		法律相談件数		その他の専門相談件数		法律専門家に引き継ぐ多重債務相談件数
	予定(目標)	5,493 件	493 件	387 件	40 件			
	令和2年度実績	4,420 件	318 件	255 件	23 件			
令和元年度実績	4,597 件	374 件	355 件	35 件				
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>相談受理件数は、5,016件でした。 【5,361件】</p> <p><実績の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 市民相談員による相談 <ul style="list-style-type: none"> 一般相談 4,398件 【4,573件】 女性相談 22件 【24件】 専門相談員による相談 <ul style="list-style-type: none"> 法律相談 318件 【374件】 その他の専門相談 255件 【355件】 法律専門家に引き継ぐ多重債務相談 23件 【35件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 会計年度任用職員職員報酬 16,910千円 職員手当等 2,213千円 その他 3,506千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 現状の体制の相談事業については、市民の日常の困りごとの解決のために適切な専門相談の活用を含め、スムーズに実施できています。 今後も各相談員の相談技術の向上をはかりつつ、新型コロナウイルスに係る問合せについても、関係機関との連携や協力を強化し、相談体制を維持してまいります。 							

決算書ページ 95	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費		
事業名	09 地域防犯活動支援事業					担当課	生活あんしん課	
目的	まちぐるみの防犯活動を活発にします。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	1,139	
						令和2年度 予算現額	1,165	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 大和市防犯協会に対し補助金を交付するなど、活動への支援を行います。 自主防犯活動団体に対し、防犯物品購入費・青色防犯パトロール費・青色防犯パトロール車両購入費の補助をします。 市、警察、市防犯協会、市民、自治会、商店会、事業者、学校、NPO法人、防犯ボランティア団体などが連携し各団体や地域が一体となって防犯活動を実施します。※令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策で子どもに対する防犯教室を中止しました。 					令和2年度 決算額	977	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金		0
						県支出金		0
						地方債		0
						その他		0
一般財源		977						
						令和3年度 予算額	1,340	
活動内容								
指標	1	重点地区防犯キャンペーン等参加人数	2	大和市防犯協会ニュース配布枚数	3	地域防犯活動重点地区事業数	4	子ども向け防犯教室開催数
		地域安全活動重点地区における防犯キャンペーン等参加人数		キャンペーンや自治会で配付した枚数		地域安全活動重点地区における防犯関係事業の回数		子どもを対象にした防犯教室を開催した回数
	予定(目標)	700 人	4,000 枚	16 回	12 回			
	令和2年度実績	29 人	4,000 枚	6 回	0 回			
令和元年度実績	180 人	4,000 枚	7 回	8 回				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>大和市防犯協会に対し、補助金の交付と実施事業への協力をしました。また、防犯活動を実施している団体に対し、防犯物品購入費等の一部を補助しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 市民まつり出店 0回【 1回】 防犯活動パネル展 0回【 0回】 地域安全活動重点地区の指定 上草柳地区【深見南地区】 功労者表彰 17件【 14件】 防犯活動団体への補助金 15件【 18件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 大和市防犯協会補助金 260千円 防犯物品購入費・青色防犯パトロール費補助 717千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 自主防犯活動団体に対し「防犯物品購入費」、「青色防犯パトロール実施経費」の一部を補助することにより、地域の自主防犯活動の推進を図ることが出来ました。 しかしながら、新型コロナウイルス感染症への対策のため、人が集まる防犯活動の実施に制約が生じていることから、感染症対策をふまえた自主防犯活動の充実に向けて効果的な支援策を検討する必要があります。 							

決算書ページ 95	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費		
事業名	10 地域防犯活動推進事業					担当課	生活あんしん課	
目的	市民一人ひとりの自主防犯意識の高揚を図ります。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	26,744	
						令和2年度 予算現額	11,597	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 青色回転灯装備車両での防犯パトロールを行います。 市民対象の防犯教室を行います。 防犯活動団体への研修、表彰を行います。 市民との協働事業による防犯活動を行います。 防犯に関する各種キャンペーンを、大和警察署、関係各団体と協力のうえ実施します。 特殊詐欺対策のための電話機等購入費を補助します。 ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、防犯教室及び協働事業を中止しました。					令和2年度 決算額	11,004	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金		0
						県支出金		1,208
						地方債		0
						その他		0
令和3年度 予算額			8,573					
活動内容								
指標	1	防犯教室の実施回数	2	協働事業実施回数	3		4	
		市民を対象にした防犯教室の開催回数		協働事業により開催した事業の回数				
	予定(目標)	25 回		20 回				
	令和2年度実績	0 回		0 回				
	令和元年度実績	13 回		43 回				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>市民や事務所、防犯協会などの関係団体と連携し、防犯活動を推進しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 安全安心指導員による巡回パトロール ⇒大和駅周辺事業へ移行 防犯教室の実施 0回【 13回】 みんなでつくろう安全のまち事業(協働事業) 0回【 43回】 防犯情報メール配信 59回【 47回】 振り込め詐欺防止対策電話機等購入費補助金 498件【511件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 負担金(大和・綾瀬地区防犯協会連合会、協働事業) 2,104千円 振り込め詐欺防止対策電話機等購入費補助金 4,835千円 公用車白黒塗装委託料、SOSアプリ保守委託料 2,214千円 防犯啓発物品、印刷費、保険料、備品その他 1,851千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度より、客引き対策および安全安心指導員に関する事業を、本事業から大和駅周辺防犯特別対策事業へ移管したため、決算額が減少しています。 平成15年のピーク時に6,427件であった市内の犯罪認知件数は、令和2年は1,171件にまで減少し、ピーク時と比較し8割以上減少しました。 特殊詐欺については、電話機等購入費補助金の交付をはじめとする詐欺対策により、被害件数、被害金額ともに2年連続で前年を下回りました。 減少傾向にあるものの依然として多発している自転車盗および特殊詐欺について、引き続き対策を検討する必要があります。 							

決算書ページ 95	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費		
事業名	11 防犯灯設置事業					担当課	生活あんしん課	
目的	市民が夜間安心して街を歩けるようにします。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	53,223	
						令和2年度 予算現額	61,881	
手段手法	・防犯灯の設置及び維持管理を行っていきます。					令和2年度 決算額	55,525	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金		0
						県支出金		0
						地方債		0
						その他		0
						一般財源		55,525
令和3年度 予算額	50,672							
活 動 内 容								
指標	1	防犯灯の設置数、器具交換数等	2	防犯灯総数	3		4	
		新設、撤去、照度アップした灯数 (大和駅周辺事業分除く)		3月末日現在の防犯灯総数				
	予定 (目標)	150 灯		13,309 灯				
	令和2年度実績	154 灯		13,294 灯				
	令和元年度実績	234 灯		13,109 灯				
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>既設の防犯灯について維持管理を行いました。 自治会等の要望を受けLED防犯灯を新設しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 防犯灯維持管理 対象 13,294灯【13,109灯】 LED防犯灯賃貸借 対象 9,699灯【9,699灯】 防犯灯設置 (大和駅事業を除く) 新設 154灯【234灯】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 防犯灯電気料 21,350千円 防犯灯修繕費 1,411千円 防犯灯管理システム保守委託 264千円 LED防犯灯賃借料 21,256千円 防犯灯設置工事費 11,166千円 防犯灯管理プレート、保険料 78千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 市内全域での防犯灯数の増加により、夜間の通行に不安を感じる箇所での犯罪の抑止と市民の体感治安向上を図ることができました。 引き続き自治会や警察等と連携を図り、設置効果の高い場所や、新たに開発された場所等へ効率的に防犯灯の設置を進めて行く必要があります。 							

決算書ページ 95	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費		
事業名	12 自治会活動支援事業					担当課	生活あんしん課	
目的	市民の積極的なコミュニティ活動への参加を図ります。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	19,738	
						令和2年度 予算現額	22,564	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 大和市自治会連絡協議会（自治連）への支援を行います。（事業費等補助金の交付、事務局の設置場所や会議室等の場の提供等） 自治会館の賃貸借に係る費用等の一部補助、自治会加入パンフレット配布などによる自治会加入促進など、自治会活動の支援を行います。 自治会活動の充実と活性化を図るため、自治連と協力して、アンケート調査や各自治会の取り組みなどを調査研究します。 					令和2年度 決算額	20,446	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金		0
						県支出金		0
						地方債		0
						その他		2,500
一般財源		17,946						
						令和3年度 予算額	18,664	
活動内容								
指標	1	自治連の会議の開催回数	2	自治連の会報の発行回数	3	自治会加入パンフレットの配布枚数	4	
		総会、部会、三役会、理事会等、視察		会報「自治連やまと」の発行回数		市窓口等での配布枚数		
	予定(目標)	30 回	2 回	10,000 枚				
	令和2年度実績	26 回	2 回	9,442 枚				
	令和元年度実績	30 回	2 回	9,500 枚				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容>自治連及び自治会事業を支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治連事務局職員の人件費補助 1 2, 5 3 3 千円 【1 2, 0 7 5 千円】 自治会館土地・家屋賃借料の一部を補助 1 7 自治会 【1 7 自治会】 自治会館掲示板の新設・改修等 2 1 基 【2 3 基】 自治会活性化事業を補助 3 団体 【4 団体】 自治会活性化事業（ラジオ体操）奨励金 2 3 自治会 【2 0 自治会】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会連絡協議会事業費補助金 1 2, 5 3 3 千円 自治会館土地賃借料補助金 7 1 2 千円 自治会館家屋賃借料補助金 1, 2 4 7 千円 自治会掲示板設置改修費補助金 2, 9 6 4 千円 コミュニティ助成事業補助金 2, 5 0 0 千円 自治会活性化事業（ラジオ体操を含む） 4 9 0 千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 自治連及び自治会への支援により、自治会活動の活性化が図られています。 自治連と協力し自治会加入率の向上を目指し、地域コミュニティの醸成や地域における連帯感を高めることによって、自治会組織の活性化につなげます。 自治会活動活性化事業（ラジオ体操奨励金）の活用を促し、自治会活動の活性化と自治会加入率の向上を図ります。 							

決算書ページ 95	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費
事業名	13 自治会活動推進事業				担当課	生活あんしん課
目的	自治会活動を活発にします。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					41,121	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 大和市配布物等事務委託契約を大和市自治会連絡協議会(自治連)と締結し、自治会の役割を明確にしていきます。 自治連での定例会を通じ、情報交換を行います。 				令和2年度 予算現額	
					40,961	
					令和2年度 決算額	
					36,677	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	36,677					
令和3年度 予算額						
33,963						
活動内容						
指標	1 「市事務委託契約」による委託業務数	2 各種委員及び指導員等の推薦	3	4		
	年間市事務委託件数	各自治会からの推薦委員数				
	予定(目標)	100 件	400 人			
	令和2年度実績	54 件	358 人			
	令和元年度実績	93 件	358 人			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>配布物事務委託契約の締結により、市と自治会のそれぞれの役割分担を明確にして、効率的かつ効果的に自治会活動の推進を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 1回あたり広報配布数(年21回) 68,786枚 【69,472枚】 自治会加入世帯数(4月1日時点) 68,786世帯 【69,472世帯】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 配布物等事務委託 35,958千円 事業系ごみ袋の配布 631千円 永年表彰 42千円 その他 46千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 市が自治連に配布物を委託することにより、地域のコミュニケーションが活発化され、地域コミュニケーションの醸成に繋げることができました。 自治会加入世帯の増加と自治会組織力の強化に繋がる各種施策に取り組み、低下する自治会加入率の向上を図る必要があります。 					

決算書ページ 97	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費		
事業名	15 コミュニティセンター管理運営事業					担当課	生活あんしん課	
目的	市内コミュニティセンター20館の適切な管理運営を行います。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	125,872	
						令和2年度 予算現額	135,212	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 市内に20館あるコミュニティセンターについて、各会館の管理運営委員会と協定を締結し、指定管理者制度により施設維持管理及び事業を実施します。 各会館管理運営委員会会長から成る管理運営協議会を組織し、管理運営に関する各管理運営委員会との連絡調整を図ります。 					令和2年度 決算額	133,450	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	0	
						地方債	0	
						その他	2,968	
						一般財源	130,482	
令和3年度 予算額	139,034							
活動内容								
指標	1	管理運営協議会役員会等実施回数	2	コミュニティセンター管理運営委員会会長の会議実施回数	3	コミュニティセンター管理指導員会議実施回数	4	施設修繕件数
		20館をまとめる管理運営協議会の役員会等実施回数		20館をまとめる管理運営協議会の会長会実施回数		コミュニティセンター管理指導員による連絡調整会議の実施回数		施設を修繕した件数
	予定(目標)	4回	4回	12回	40件			
	令和2年度実績	9回	5回	1回	41件			
令和元年度実績	4回	4回	12回	42件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>指定管理者制度による施設維持管理及び事業を実施することで、効率的かつ効果的に会館の運営を行いました。</p> <p><事業内容></p> <p>年間総利用者数(20会館) 64,322人【254,633人】</p> <p>平均利用者数(1会館あたり) 3,216人【12,732人】</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 92,948千円 保守点検委託料 23,818千円 施設修繕費 10,168千円 その他 6,516千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 各会館とも経年による施設の劣化が目立つようになっており、修繕費の増加が見込まれます。 ユニバーサルデザイン、バリアフリー整備等のハード面の一層の充実が望まれます。 より効率的、効果的な管理運営手法について、引き続き検討が必要です。 							

決算書ページ	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	10	地域活動推進費	
97										
事業名	16 コミュニティセンター施設整備事業							担当課	生活あんしん課	
目的	施設利用者に安全で快適な利用環境を提供します。							令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 174,358	
								令和2年度 予算現額	23,242	
手段手法	・空調設備改修工事をはじめ、各種改修工事を計画的に実施します。							令和2年度 決算額	18,514	
								令和2年度 財源内訳		
								国庫支出金	5,462	
								県支出金	2,507	
								地方債	5,900	
								その他	0	
								令和3年度 予算額	114,363	
活動内容										
指標	1	施設点検回数	2	大規模工事件数	3		4			
		施設を点検した回数		空調改修、外壁塗装、屋上防水等の大規模工事						
	予定(目標)	20 回		0 件						
	令和2年度実績	20 回		0 件						
	令和元年度実績	20 回		3 件						
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>深見中会館の空調設備改修工事設計や測量等、及び下鶴間会館の移転用地取得に向けた補償費積算業務等のほか、中央林間会館の屋上防水・外壁塗装改修工事を実施しました。</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・深見中会館アスベスト定性分析業務委託 239千円 ・深見中会館空調設備改修工事設計業務委託 2,967千円 ・深見中会館外構改修工事測量業務委託 498千円 ・下鶴間会館移転用地補償費積算委託 1,463千円 ・下鶴間会館移転用地不動産鑑定料 354千円 ・中央林間会館屋上防水・外壁塗装改修工事 12,984千円 ・その他 9千円 									
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度よりも改修工事の件数が減少し、かつ規模も比較的小さかったため、決算額が減少しています。 ・経年による施設の劣化が目立つようになってきています。単年度に複数施設が建設されており、平準化した大規模改修などの事業実施が必要です。 ・継続的に事業を進めるために財源を確保していく必要があります。 									

決算書ページ 97	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費	
事業名	17 街頭防犯カメラ整備事業					担当課	生活あんしん課
目的	街頭における犯罪の発生抑止及び市民等の体感治安の向上を図ります。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	60,496
						令和2年度 予算現額	78,997
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・不特定多数の人が往来する公共の場所へ、街頭防犯カメラを設置します。 ・設置箇所には、看板などで防犯カメラが作動していることを知らせ、犯罪の抑止効果を高めます。 ・設置したカメラは、個人情報取り扱いなどのソフト面に配慮し、適切に管理します。 					令和2年度 決算額	68,721
						令和2年度 財源内訳	
						国庫支出金	0
						県支出金	0
						地方債	28,100
						その他	0
令和3年度 予算額	0						
活動内容							
指標	1	街頭防犯カメラの設置数	2	街頭防犯カメラの映像提供回数	3		4
	街頭防犯カメラの設置数 (大和駅周辺事業を除く)		街頭防犯カメラの映像提供回数				
	予定 (目標)	112 台	250 回				
	令和2年度実績	117 台	230 回				
令和元年度実績	66 台	251 回					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>公園・広場、防犯上特に必要な箇所に街頭防犯カメラを設置しました。 <設置台数> (大和駅周辺防犯特別対策事業分を除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園・広場等 2台 (1箇所) ・小学校通学路 44台 (18箇所) ・防犯上特に必要な箇所 13台 (6箇所) ・トイレのある公園 58台 (29箇所) 合計 117台 (54箇所) 【66台 (25箇所)】 令和2年度末累計 909台 (373箇所) <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小型公共表示設置業務、Wi-Fiルーター設置委託 3,599千円 ・街頭防犯カメラ設置工事設計監理業務委託料 6,359千円 ・街頭防犯カメラ設置工事・撤去工事費 58,763千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・街頭防犯カメラを公園や通学路など公共の場所に設置することにより、犯罪発生を抑止と市民等の体感治安の向上につながり、eモニターによる市民へのアンケートにおいても高い評価をいただきました。 ・街頭防犯カメラ設置箇所周辺における市民への周知方法を検討していく必要があります。 ・令和3年度は事業を休止したことから、令和4年度以降の事業実施に向けて検討が必要です。 						

決算書ページ 97	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費		
事業名	19 大和駅周辺防犯特別対策事業					担当課	生活あんしん課	
目的	大和駅周辺の防犯対策を強化し、イメージアップを図ります。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	34,174	
						令和2年度 予算現額	94,411	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 「大和市客引き行為、つきまとい行為等の防止に関する条例」に基づき、大和警察署と協力し指導、警告等を実施します。 大和駅周辺の街頭防犯カメラを増設します。 大和駅周辺に客引き防止のための横断幕を設置します。 					令和2年度 決算額	63,898	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	0	
						地方債	8,800	
						その他	0	
						令和3年度 予算額	4,818	
活動内容								
指標	1	街頭防犯カメラの新設数	2	防犯灯の新設数	3		4	
		大和駅周辺への街頭防犯カメラの新設数		大和駅周辺への防犯灯の新設数				
	予定(目標)	40	50					
	令和2年度実績	43	31					
	令和元年度実績	47	99					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>大和駅周辺に街頭防犯カメラおよびLED防犯灯を設置しました。 大和駅前に客引き行為等防止のための警告幕を設置しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 街頭防犯カメラ設置 43台(20箇所) 【47台(20箇所)】 LED防犯灯設置 31灯 【電柱共架 99灯】 客引き防止警告幕設置 7枚 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 安全安心指導員報酬・期末手当 25,878千円 街頭防犯カメラ設置工事設計監理業務委託料 3,200千円 街頭防犯カメラ設置工事費 25,780千円 防犯灯設置工事費 8,122千円 客引き防止警告幕作成委託費 92千円 その他 826千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 安全安心指導員に関する事業が地域防犯活動推進事業から移管したため決算額が増加しています。 大和駅周辺への街頭防犯カメラおよび防犯灯の重点的な設置により、市民の体感治安の向上を図るとともに、客引き等行為の通報を促すための警告幕を更新設置し、客引き等行為の抑止と市の取り組みの周知につながりました。 令和2年度末をもって安全安心指導員に係る事業を休止したことから、警察や商店会と連携を図り、大和駅周辺における防犯対策および客引き等行為対策の新たな手法を検討していく必要があります。 							

決算書ページ 97	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費		
事業名	20 人権啓発事業					担当課	国際・男女共同参画課	
目的	人権尊重の重要性を認識し、人権意識の普及高揚を図ります。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	1,775	
						令和2年度 予算現額	2,232	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・人権週間に関連した啓発事業、講演会を開催します。 ・市内小中学校向けに人権教室を開催します。 ・中学生人権作文・ポスターコンテストを実施します。 ・人権団体主催の講演会や研修会に市民・職員の参加、派遣を行います。 					令和2年度 決算額	1,481	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	352	
						地方債	0	
						その他	0	
						一般財源	1,129	
令和3年度 予算額	2,284							
活動内容								
指標	1	人権を考える集い参加者数	2	人権作文コンテスト応募者数	3	人権啓発実施回数	4	
	人権講演会等を実施します。		市内中学生の人権作文を募集します。		人権に関する啓発資料を配布します。			
	予定(目標)	300 人	650 人	3 回				
	令和2年度実績	0 人	0 人	4 回				
令和元年度実績	306 人	478 人	0 回					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>より多くの市民が人権について理解を深め、考える機会を提供できるよう、人権擁護委員とともに啓発活動を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な性を考える啓発リーフレット作成(新規) 30,000部 ・FMラジオスポット広告 14回【14回】 ・人権教室(小学校1校) 1回【8回】 ・人権を考える集い(実施せず) 0回【1回】 ・中学生人権作文・ポスターコンテスト(実施せず) 0回【1回】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発資料及び啓発用品 609千円 ・FMラジオスポット広告製作委託費 137千円 ・人権団体負担金 700千円 ・その他 35千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため集客を伴う事業は実施できませんでしたが、密集を避ける形でのパネル展示や、FMラジオでのスポットCM等により啓発を行いました。 ・多様な性のあり方に関する取組みとして「大和市パートナーシップ宣誓制度」を創設するとともに、理解促進のための啓発リーフレットを作成して、啓発活動に活用しました。 							

決算書ページ 97	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 10	地域活動推進費		
事業名	21 人権相談支援事業					担当課	国際・男女共同参画課	
目的	人権問題の解決を図ります。					令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 270	
						令和2年度 予算現額	272	
手段手法	・法務大臣より委嘱された人権擁護委員が人権相談を受付けます。					令和2年度 決算額	270	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金		0
						県支出金		0
						地方債		0
						その他		0
令和3年度 予算額			272					
活動内容								
指標	1	人権問題全般の相談開設数	2		3		4	
	人権擁護委員による当該年度相談開設数							
	予定(目標)	23 日						
	令和2年度実績	1 日						
令和元年度実績	25 日							
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>大和市人権擁護委員会に対して補助金を交付しました。 <事業内容> ・大和市人権相談 1回【24回】 (第2、4木曜日午後1時30分から午後4時) ・横浜地方法務局 厚木支局 常設相談当番 1回【6回】 (毎週木曜日午前9時30分から午後4時30分) ・横浜地方法務局 本局 集約相談当番 4回【7回】 (令和元年度より開始、電話相談のみ、 平日午前8時30分から午後5時15分) <決算額の内訳> ・大和市人権擁護委員会補助金 270千円</p>							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、地方法務局からの人権相談業務の開設自粛要請があり、開設数は大きく減少しました。 多様化する人権課題に対応できるよう、本市の人権擁護委員と連携して、相談体制の充実を図るとともに、相談窓口の周知に努めます。 							

決算書ページ 97	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 11	基地対策費		
事業名	01 基地対策涉外・要請等活動事業					担当課	基地対策課	
目的	航空機騒音、安全対策など諸問題の改善、解決を図ります。また、厚木基地に関わる現状や市の取り組みについて情報を提供します。					令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 393	
						令和2年度 予算現額	713	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 市独自の渉外事務として、国や米軍等との連絡・調整や情報収集等を行うとともに、苦情の対応・処理、国や米軍等への要望・要請を行います。また、県及び関係市とも連携して要請等の活動を行います。 ホームページなどを通じて情報提供を行います。 					令和2年度 決算額	257	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金	69	
						県支出金	0	
						地方債	0	
						その他	0	
						一般財源	188	
令和3年度 予算額	597							
活動内容								
指標	1	国、米軍への要請等実施回数	2	神奈川県基地関係県市連絡協議会会議等回数	3	厚木基地騒音対策協議会会議等回数	4	
		航空機騒音や事故等に関する要請実施回数		定例会等の実施回数		幹事会等の実施回数		
	予定(目標)	10 回	7 回	6 回				
	令和2年度実績	7 回	4 回	5 回				
	令和元年度実績	6 回	5 回	5 回				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 市独自の活動はもとより県や関係市とも連携しつつ、国や米軍等に対して、交渉・要請活動等を行いました。 厚木基地に関わる現状、本市の取り組みを市のホームページなどで情報提供しました。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 厚木基地に関する情報の収集や調査・研究 県や周辺市から構成される神奈川県基地関係県市連絡協議会や厚木基地騒音対策協議会などを通じて行う要請などの活動 厚木基地に関わる現状、本市の取り組みについて、市のホームページや広報やまと、冊子「大和市と厚木基地」などで情報提供 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 各種協議会にかかる負担金 115千円 ・その他 75千円 交渉、要請活動にかかる旅費 67千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 航空機騒音被害をはじめとする厚木基地の諸問題について、市単独はもとより県や周辺市とも連携しつつ、国や米側に対して要請活動を行いました。 国の安全保障政策や米軍の動向など、厚木基地に関連する国内外の情報の収集や調査研究を行いました。 市民からの航空機騒音に関する問い合わせに対し、丁寧な対応に努めました。 							

決算書ページ 97	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 11	基地対策費		
事業名	02 大和市基地対策協議会活動支援事業					担当課	基地対策課	
目的	市民、議会、行政の代表から組織される協議会を通じて厚木基地に起因する諸問題の解決を図ります。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	1,200	
						令和2年度 予算現額	1,200	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 協議会への補助金を交付します。 協議会の運営及び諸活動の支援を行います。 					令和2年度 決算額	1,200	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金		0
						県支出金		0
						地方債		0
						その他		0
						一般財源		1,200
令和3年度 予算額	1,200							
活動内容								
指標	1	国、米軍等への要望等の実施回数	2	総会等活動日数	3	部会、実行委員会活動日数	4	
		基地諸問題解決に向けた要望等の実施回数		総会を開催した回数		部会、実行委員会を開催した回数		
	予定(目標)	1 回	1 回	3 回				
	令和2年度実績	1 回	1 回	3 回				
令和元年度実績	1 回	1 回	3 回					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 大和市基地対策協議会に対して補助金を交付しました。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 総会、部会、実行委員会の開催 厚木基地に関連した情報の収集 厚木基地に起因する諸問題の解決に向けた国や米側への効果的な要請等 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 大和市基地対策協議会補助金 1,200千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 厚木基地の早期返還と基地対策の抜本的改善を図るという目標の下に、空母艦載機の着陸訓練を厚木基地で決して実施しないことや、騒音対策及び安全対策等の徹底などを国や米側に対して要請しました。 防衛省が行う住宅防音事業について、助成対象を拡大し、早期に事業を完了させるなど、基地周辺対策を拡充し、市民負担を軽減するよう国に要請しました。 							

決算書ページ 97	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 11	基地対策費
事業名	03 騒音測定事業				担当課	基地対策課
目的	航空機騒音被害の状況を把握し、厚木基地に関連した航空機騒音問題解決の一助とします。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					5,374	
手段手法	・市内5地点に設置した測定器により、常時、航空機騒音測定を行い、データの収集分析を行います。				令和2年度 予算現額	
					5,485	
					令和2年度 決算額	
					5,435	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	783
					県支出金	386
					地方債	0
その他	0					
一般財源	4,266					
令和3年度 予算額						
5,637						
活動内容						
指標	1 騒音測定日数	2 騒音測定箇所	3	4		
	自動記録騒音計により騒音測定を実施した日数		自動記録騒音計の設置箇所数			
	予定(目標)	365 日	5 地点			
	令和2年度実績	365 日	5 地点			
令和元年度実績	366 日	5 地点				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>市内5地点に設置した測定器による航空機騒音測定データの収集と分析を行いました。</p> <p><測定器の設置箇所></p> <ul style="list-style-type: none"> 厚木基地の滑走路から 北3km、北2km、北1km、東800m、南500mの各地点 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 騒音測定器等リース料 3,972千円 騒音測定専用回線使用料等 561千円 騒音計等保守管理委託 809千円 その他 93千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 市内5地点に設置した自動記録騒音計により、24時間365日航空機騒音測定を行いました。 収集したデータは、課内で分析、研究を行い、要望、要請活動等のための基礎資料などとして活用しました。 					

決算書ページ 97	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 12	市史編さん費		
事業名	02 地域歴史資料整理・保存事業					担当課	文化振興課	
目的	地域の歴史的資料を市民共通の財産として将来にわたり引き継ぐとともに、活用可能な状態とします。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	1,674	
						令和2年度 予算現額	2,030	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・中性紙の封筒・箱に収納するとともに、目録を整備します。 ・保存と活用のためマイクロフィルムなどへ媒体変換(複製作成)します。 ・歴史的資料が欠けている分野と時期については、資料を補完するため、聞き取り調査を実施します。 					令和2年度 決算額	2,002	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	0	
						地方債	0	
						その他	0	
令和3年度 予算額	1,335							
活動内容								
指標	1	マイクロフィルム撮影コマ数	2	製本数	3	史料の記録作業等件数	4	
		資料をマイクロフィルム撮影したコマ数		各資料を保存のため製本した冊数		記録と保存作業(整理・目録化・点検・分類)を行った件数		
	予定(目標)	4,000 コマ	30 冊	300 件				
	令和2年度実績	4,045 コマ	38 冊	336 件				
令和元年度実績	4,296 コマ	45 冊	358 件					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>地域の歴史資料を長期にわたり安寧に保存・活用できるよう、資料の目録化および翻刻を行うとともに、マイクロフィルムなどへの媒体変換も実施しました。</p> <p><資料の目録化・製本・媒体変換></p> <ul style="list-style-type: none"> ・翻刻・目録化 336点【 358点】 ・資料製本 38冊【 45冊】 ・マイクロフィルム化 4,045コマ【4,296コマ】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員報酬 143千円 ・資料整理謝礼 939千円 ・資料の製本費用 119千円 ・マイクロフィルム化費用 623千円 ・資料保存用品等、その他 178千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和48年頃に行なった悉皆調査時に目録化した市域の重要資料について、解説および利用のための環境整備は順調に進んでいます。 ・一方、まだ市では把握できていない各家所蔵の資料については、引き続き探索を続けていく必要があります。 							

決算書ページ 99	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 14	交通安全対策費
事業名	01 交通安全啓発事業				担当課	道路安全対策課
目的	交通安全意識を高め、事故を抑制します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					15,039	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児からシニア世代までを対象に、歩き方教室・自転車の乗り方教室・交通安全映画会等の各種交通安全教室を開催し交通安全に関する意識啓発を行います。 ・ ルール遵守とマナー向上のため、自転車安全利用講習会等の参加者に対し、大人には認定証を小学生には自転車運転免許証を発行して、TSマーク及びヘルメット助成を行います。 ・ スタントマンによる体験型交通安全教室を行い、中学生に対する交通安全啓発に努めます。 ・ 新入学児童全員に黄色い帽子を配布します。 				令和2年度 予算現額	
					19,827	
					令和2年度 決算額	
					15,880	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	15,880					
令和3年度 予算額						
29,490						
活動内容						
指標	1	交通安全教室等開催回数	2	交通安全教室等参加人数	3	TSマーク助成件数
		市で開催する教室等の開催回数		市で開催する教室等ののべ参加人数		TSマーク助成申請件数
	予定(目標)	300 件	35,000 人	200 件	300 件	
	令和2年度実績	108 件	9,541 人	82 件	87 件	
令和元年度実績	224 件	29,654 人	207 件	180 件		
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<p>交通安全教室等の実施により、交通ルールやマナーの意識高揚を図りました。また、TSマーク助成や自転車保険に加入しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全教育員の配置 ・ 自転車保険 ・ TSマーク、ヘルメット助成 ・ 交通安全教室の実施 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会計年度任用職員報酬 5,815千円 ・ 自転車保険 6,504千円 ・ TSマーク、ヘルメット助成金 253千円 ・ その他 3,308千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍においても、定員削減により密を回避するなど対策を講じて、一般、地域、小中学校・幼稚園等向けの交通安全教室を可能な限り実施しました。 ・ 自治会等の活動自粛の影響でシルバー交通安全教室(前年度20回実施)や交通安全映画会(前年度50回実施)の申し込みがほぼ皆減となったほか、イベント等(19回分)が中止となりました。 ・ 引き続き、感染症対策を講じながら、慎重に交通安全教室を開催し、啓発を実施します。 					

決算書ページ 99	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 14	交通安全対策費
事業名	05 放置自転車対策事業				担当課	道路安全対策課
目的	駅周辺に自転車等が放置されることを防止することにより、良好な生活環境を維持し、併せて災害時における活動スペースを確保します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					31,660	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺の自転車等の放置を防ぐため、適正駐輪の指導活動を実施します。 ・ 自転車等放置禁止区域に放置されている自転車等を移動します(所有者への返還にも努めます)。 				令和2年度 予算現額	
					36,009	
					令和2年度 決算額	
					34,119	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	2,481					
一般財源	31,638					
令和3年度 予算額						
37,028						
活動内容						
指標	1 適正駐輪指導数	2 放置自転車等の移動台数(放置禁止区域内)	3 放置自転車等台数(日・平均)	4		
	放置自転車・バイクへの年間指導札貼付数	年間移動台数	放置されていた自転車等の台数			
	予定(目標)	30,000 枚	1,000 台	40 台		
	令和2年度実績	23,776 枚	361 台	18 台		
令和元年度実績	27,627 枚	855 台	30 台			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>駅周辺における放置自転車等の削減に努めました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 放置対策全般に携わる交通安全巡視員の配置 ・ 大和駅を除く各駅周辺で指導警告を行う駅前常駐指導員の配置 ・ 放置対策に係る諸経費(看板、保管所警備料他) <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全巡視員報酬 19,745千円 ・ 駅前常駐指導業務委託 8,500千円 ・ その他 5,874千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通勤、通学等による駅周辺の放置自転車は減少しています。 ・ 放置自転車を防止するため、交通安全巡視員等の立哨や放置自転車への警告、移動等を粘り強く継続していきます。 					

決算書ページ 101	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 16	文化振興費
事業名	06 文化芸術振興事業				担当課	文化振興課
目的	市民の文化芸術活動の発表の場及び芸術鑑賞の機会を提供します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					14,361	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭、文芸祭を開催し、一般公募による文化芸術作品等の発表を行います。 コミュニティ音楽館を開催します。 芸術文化ホール等で文化芸術事業（委託）を開催します。 文化芸術団体や財団などと連携協力しながら、YAMATO ART100プロジェクトを実施します。 文化芸術情報サイト「大和文化百花」を活用し、情報発信を行います。 				令和2年度 予算現額	
					12,489	
					令和2年度 決算額	
					8,234	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	25					
一般財源	8,209					
令和3年度 予算額						
9,201						
活動内容						
指標	1	文化芸術作品の展示日数	2	コミュニティ音楽館の開催日数	3	文化芸術事業委託件数
		文化祭・文芸祭で一般公募展を開催した日数		コミュニティセンターで音楽会を開催した日数		(公財)大和市スポーツ・よか・みどり財団に委託した件数
	予定(目標)	23 日	15 日	2 件	100 日	4 YAMATO ART100の開催日数
	令和2年度実績	18 日	0 日	2 件	100 日	YAMATO ART100として開催した日数
令和元年度実績	15 日	13 日	2 件	100 日		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>文化祭一般公募展、フラワーハンギングバスケット事業、YAMATO ART100等を実施しました。</p> <p><文化祭></p> <p>出品数 : 257点【322点】</p> <p>来場者数 : 2,371人【3,553人】</p> <p><YAMATO ART100></p> <p>参加団体 : 24団体【64団体】</p> <p>参加イベント : 49イベント【107イベント】</p> <p>来場者数 : 13,654人【93,366人】</p> <p><決算額の内訳></p> <p>・文化芸術事業委託 7,143千円 ・文化祭、文芸祭 1,048千円</p> <p>・コミュニティ音楽館 0千円 ・その他 43千円</p>					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市民芸術祭やコミュニティ音楽館等の事業を中止したことにより、委託費や印刷製本費が減少しました。 一方、文化の灯をできるだけ消さないよう、感染対策を徹底した上で、文化祭一般公募展や文化芸術顕彰等に取り組みました。 令和3年度も感染対策を徹底し、新型コロナウイルスの感染状況等をふまえ、事業実施を適切に判断していきます。 					

決算書ページ 101	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 16	文化振興費		
事業名	08 文化創造担い手育成事業					担当課	文化振興課	
目的	これからの文化創造を牽引する若い世代の発表活動の支援を行うとともに、市民が日常生活の中で文化芸術を感じ、楽しめる機会を提供します。					令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 1,883	
						令和2年度 予算現額	2,645	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 公募型の「YAMATOイラストレーションデザインコンペ」を開催します。 コンペ入賞者の作品等を活用して、イラストレーションを日常の生活空間の中に取り入れる取り組みを行います。 					令和2年度 決算額	1,587	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	0	
						地方債	0	
						その他	0	
令和3年度 予算額	1,587							
令和3年度 予算額							2,139	
活動内容								
指標	1	YAMATOイラストデザインコンペ作品数	2	作品展等の開催回数	3	コンペ入賞者等の制作依頼件数	4	
		YAMATOイラストデザインコンペに応募のあった作品数		イラストレーションに関するイベント・展覧会の開催回数		コンペ入賞者にイラスト制作を依頼した年間件数		
	予定(目標)	500 点		1 回		20 件		
	令和2年度実績	595 点		0 回		11 件		
	令和元年度実績	522 点		1 回		16 件		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>及川正通氏を中心とした審査員の選考を経て、入賞作品等を決定しました。また、入賞者をイラストレーターとして起用し、市のイベントポスター等を制作しました。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため作品展の開催は中止とし、入賞作品及び入選作品をホームページに掲載しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 応募者(点数) : 416人(595点) 【396人(522点)】 入選作品展(中止) : 0人【1, 572人】 入賞者の活用実績 屋外広告物制度啓発チラシ、ヤマトン年賀状等 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> イラスト制作謝礼 445千円 募集中用ポスター等 434千円 記念品 195千円 アートフラッグ設置 317千円 その他 196千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> イラストレーションを通じて、魅力的な生活空間を創り出していくためには、民間事業者の協力が不可欠であり、入賞者の活用を促進するためのPRを定期的に行っていく必要があります。 							

決算書ページ 101	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 16	文化振興費
事業名	10 美術鑑賞推進事業				担当課	文化振興課
目的	美術鑑賞教育の推進を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					6,561	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 美術鑑賞教育をサポートするガイドスタッフを育成します。 小学校における対話による美術鑑賞授業にガイドスタッフを派遣します。 ボランティア発掘につなげるための取り組みを進めます。 				令和2年度 予算現額	
					6,704	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 美術鑑賞教育をサポートするガイドスタッフを育成します。 小学校における対話による美術鑑賞授業にガイドスタッフを派遣します。 ボランティア発掘につなげるための取り組みを進めます。 				令和2年度 決算額	
					3,410	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
					その他	0
一般財源	3,410					
				令和3年度 予算額		
				6,157		
活動内容						
指標	1	ガイドスタッフ育成研修の開催回数	2	ガイドスタッフを派遣した学校数	3	4
		ガイドスタッフ育成のための研修の開催回数		ガイドスタッフを派遣した学校数		
	予定(目標)	20 回	19 校			
	令和2年度実績	16 回	0 校			
	令和元年度実績	20 回	18 校			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市立小学校（19校）における対話による美術鑑賞授業を中止しました。</p> <p>次年度以降の事業実施にむけて、ガイドスタッフの募集及び育成のための研修を実施しました。</p> <p><事業の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ガイドスタッフ育成研修 : 16回【20回】 ガイドスタッフ登録者数 : 47名【44名】 対話による美術観賞事業実施校 : 0校【18校】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 美術観賞推進事業委託料 3,410千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 本事業の目的を達成するためには、優秀なガイドスタッフが不可欠であり、こうした人材を継続的、計画的に発掘、育成していく必要があります。 					

決算書ページ 101	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 16	文化振興費
事業名	11 芸術文化ホール管理運営事業				担当課	文化振興課
目的	やまと芸術文化ホールの円滑な管理運営を行います。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					285,242	
手段手法	・指定管理者による管理運営を行います。				令和2年度 予算現額	
					289,078	
					令和2年度 決算額	
					284,774	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	284,774					
令和3年度 予算額						
290,619						
活動内容						
指標	1	開館日数	2	利用者数	3	4
	芸術文化ホールの開館日数		ホール、ギャラリー、マルチスペース利用者数			
	予定 (目標)	359 日	250,000 人			
	令和2年度 実績	359 日	43,931 人			
令和元年度 実績	360 日	225,063 人				
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>指定管理者制度を活用し、芸術文化ホール（メインホール、サブホール、ギャラリー、マルチスペース）の管理運営を行いました。</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料 272,556千円 ・光熱水費 10,295千円 ・会計年度任用職員報酬等 1,811千円 ・その他 112千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の芸術文化ホールは、新型コロナウイルス感染拡大により、利用者数及び稼働率が大幅に減少しました。 ・今後も感染状況をみながら、感染拡大防止策を徹底し、安心・安全に利用できる体制を継続していきます。 					

決算書ページ 101	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 16	文化振興費		
事業名	12 文化創造拠点シリウス管理運営事業					担当課	図書・学び交流課	
目的	文化創造拠点シリウスの円滑な管理運営を行います。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	121,567	
						令和2年度 予算現額	129,134	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 市施設共用部の管理を行います。 管理組合や各施設所管課、指定管理者等との調整を行います。 大和市文化創造拠点等の次期指定管理者の選定を行います。 大和市文化創造拠点の管理等に関する審議を行うため、文化創造拠点等運営審議会を開催します。 					令和2年度 決算額	110,176	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金		0
						県支出金		0
						地方債		0
						その他		0
						一般財源		110,176
令和3年度 予算額			140,181					
活動内容								
指標	1	指定管理者及び関係各課との連絡調整会議実施回数	2		3		4	
	連絡調整会議を行った回数。							
	予定 (目標)	12	回					
	令和2年度実績	10	回					
令和元年度実績	12	回						
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>文化創造拠点等運営審議会において、令和元年度指定管理者評価を実施するとともに、令和3年度を始期とする第2期指定管理者の選定を行いました。また、施設の適切な管理を行うため、関係各課及び指定管理者等と定期的に調整を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 文化創造拠点等運営審議会の開催 指定管理者との連絡調整会議の開催 大和市文化創造拠点等の次期指定管理者の選定 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 報酬 214千円 光熱水費 23,988千円 負担金 83,692千円 その他 2,282千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による休館や開館時間の短縮により、文化創造拠点シリウスの年間来館者数は、前年度比の44.5%、134万人と大きく減少する結果となりました。 新型コロナウイルスの問題は息の長い対策が求められることから、今後の各施設の管理運営について、新しい生活様式に則した評価項目を検討していく必要があります。 							

決算書ページ 101	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 17	防災対策費
事業名	04 自主防災組織支援事業				担当課	危機管理課
目的	災害発生時に地域で自主的に防災活動が行えるよう支援します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					6,512	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災会員などを対象に、防災に関する基本的な知識を習得するための防災セミナーを実施します。 防災セミナーを修了した方のうち、防災協力員（防災リーダー）に登録した方を対象に、災害活動に必要な防災資機材の取扱いなどの研修会を実施します。 防災活動の強化向上のため、自主防災会に防災資機材の購入に要する費用を補助します。 避難生活施設運営委員会間の情報共有の場を設けます ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により防災セミナー、防災協力員研修会を中止しました。 				令和2年度 決算額	
					5,775	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
					その他	0
令和3年度 予算額	7,201					
活動内容						
指標	1	防災セミナー開催数	2	防災協力員研修会開催数	3	防災資機材購入費補助金交付自主防災会数
	防災意識向上のための防災セミナーの開催数		防災協力員として登録されている方を対象とした研修会開催数		防災資機材購入費補助金を交付した自主防災会数	
	4	避難生活施設運営委員会会長会議開催回数		避難生活施設運営委員会会長会議の開催回数		
	予定(目標)	3 回	3 回	65 団体	1 回	1 回
令和2年度実績	0 回	0 回	41 団体	1 回	1 回	
令和元年度実績	3 回	3 回	46 団体	1 回	1 回	
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<p>防災セミナー、防災協力員研修を開催するとともに、自主防災会に対して防災資機材購入費の補助を行い、地域防災力の向上に努めました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 防災セミナーの開催数 0回【 3回】 防災セミナーの修了者数 0名【 40名】 防災協力員研修の開催数 0回【 3回】 防災協力員研修の受講者延べ人数 0名【 171名】 防災資機材購入費補助件数 41団体【 46団体】 避難生活施設運営委員会会長会議 1回【 1回】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織防災資機材購入費補助金 3,651千円 消耗品 2,098千円 その他 26千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の活動が高まる中、必要となる防災資機材が多種多様化していることから、自主防災組織の実状に応じた支援が必要です。 地域の防災活動において、女性の視点が欠かせないため、より多くの女性の参画が求められています。 地域における災害対応力の向上を図るため、防災協力員の協力が重要です。 災害が多発する中、地域における共助の取り組みを推進する必要があります。 					

決算書ページ -	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 17	防災対策費
事業名	05 総合防災訓練運営事業				担当課	危機管理課
目的	大規模災害発生時における自助、地域共助、公助の促進のために、市、市民、防災関係機関等との相互連携の強化と、防災技術、知識の向上を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					2,193	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> すべての人に防災を身近に感じてもらえるよう、来場者が気軽に参加できる体験型ブースを中心に展覧します。 市の防災に関する取り組みを展覧ブースでの紹介や演習等により来場者に披露します。 ※防災フェスタ2020については、新型コロナウイルス感染症の影響で、中止しました。				令和2年度 予算現額	
					3,023	
					令和2年度 決算額	
					0	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	0					
令和3年度 予算額						
3,144						
活動内容						
指標	1 訓練の開催回数	2 参加団体数(企業・ボランティア団体等)	3	4		
	総合防災訓練の実施	総合防災訓練の防災関係団体の参加数				
	予定(目標)	1 回	28 団体			
	令和2年度実績	0 回	0 団体			
令和元年度実績	1 回	28 団体				
具体的内容	【 】内は前年度数値 防災フェスタ2020については、新型コロナウイルス感染症の影響で、中止しました。					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 今後も様々な世代が参加できるようなブースの展覧やイベント等を実施するように努めます。 					

決算書ページ 101	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 17	防災対策費	
事業名	06 防災備蓄品等維持管理事業					担当課	危機管理課
目的	災害時における市民生活に必要な物資を確保し、円滑に避難生活を送ることができる体制を整えます。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	33,049
						令和2年度 予算現額	86,780
手段手法	・備蓄品計画に基づき、避難生活施設（指定避難所）や地域活動拠点等に設置してある防災備蓄倉庫に災害用非常食、災害対策用資機材を備蓄します。					令和2年度 決算額	76,149
						令和2年度 財源内訳	
						国庫支出金	30,995
						県支出金	10,794
						地方債	0
						その他	0
令和3年度 予算額	37,284						
活動内容							
指標	1 備蓄食料数	2 新規整備食料数	3 毛布・アルミヒートブランケット整備数	4 防災備蓄倉庫等の修繕計画数			
	避難者用備蓄食料整備総数		更新を含め、新たに整備する食料数	避難生活施設・一時滞在施設等で使用する毛布等整備総数	既存施設修繕数		
	予定(目標)	201,073 食	46,900 食	37,005 枚	3 基		
	令和2年度実績	201,073 食	46,900 食	37,005 枚	4 基		
令和元年度実績	170,925 食	37,525 食	35,105 枚	1 基			
具体的内容	【 】内は前年度数値						
	<p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常食 46,900食 【37,525食】 ・携帯トイレ 28,720個 【0個】 ・アルミヒートブランケット 1,900枚 【1,900枚】 ・防災備蓄倉庫等修繕 4回 【1回】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常食 23,051千円 ・災害用消耗品 7,876千円 ・赤ちゃんまもるくん3消耗品 616千円 ・感染症対策衛生用品等 30,999千円 ・防災備蓄倉庫修繕 999千円 ・避難生活施設発電装置保守業務委託等 4,813千円 ・その他 7,795千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、保存年限を迎え、入替が必要となる備蓄食料が多いこと、避難所等における新型コロナウイルス感染症対策衛生用品等を整備したことから決算額が増額となっています。 ・避難生活施設等に設置した防災備蓄倉庫のうち、老朽化しているものについて、修繕が必要となります。 ・新たに設置したやまと防災パーク防災備蓄倉庫等を含めた大型防災備蓄倉庫における物資の適切な維持管理を行う必要があります。 						

決算書ページ 101	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 17	防災対策費
事業名	07 災害対策本部運営等事業				担当課	危機管理課
目的	自然災害や緊急事案において必要とされる情報収集や 応急活動の態勢を確保します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					17,213	
手段手法	・自然災害や緊急事案の規模に応じて、災害調整会議、 警戒本部、対策本部を設置し、発生した事案等に対し 迅速かつ適切な対策を行います。				令和2年度 予算現額	
					9,999	
					令和2年度 決算額	
					7,476	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	7,476					
令和3年度 予算額						
9,243						
活動内容						
指標	1	災害警戒本部等設置回数	2	災害調整会議設置回数(事 案数)	3	災害対策本部訓練
	自然災害に対する災害対策本部 、警戒本部設置回数(事案数)		自然災害に対する災害調整会議 設置回数(事案数)		災害対策本部設置運営訓練	
	予定 (目標)	1 回	1 回	1 回	1 回	
	令和2年度 実績	0 回	1 回	1 回	1 回	
令和元年度 実績	1 回	2 回	0 回	0 回		
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>複合災害に備えるために指定緊急避難所の開設訓練(説明会)を行いました。また、災害対策本部活動を円滑に行うために装備品の整備等を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・複合災害対策の訓練及び整備 開設訓練 2回(関係部署約40人) 消耗品 レインコート 約1,000着 ・災害対策本部における整備 装備品 モニター等 ・災害対策における整備 土のう 1,500袋 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策活動の装備品・消耗品 1,387千円 ・気象情報提供等業務委託料 4,488千円 ・通信運搬費 1,360千円 ・その他 241千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の決算額減少の主な理由としましては、令和元年度に実施した災害 応急活動に従事する職員用ヘルメット、ベストの整備事業が終了したことによ り、事業費が減少したものです。 ・全国各地で、自然災害が頻発し、当市においても大雨の対応など自然災害の備 えは重要であり、災害対策本部の円滑な運営を行えるよう、災害時の体制整備 を継続して行う必要があります。 					

決算書ページ 103	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 18	特別定額給付金給付費
事業名	01 特別定額給付金給付事業				担当課	市民活動課
目的	新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として、一律に特別定額給付金を支給します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					0	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 対象者1人あたり10万円を給付します。 申請に必要な書類を作成し発送します。 郵送またはオンラインにより申請を受け付け、原則として口座振り込みによる給付を行います。 				令和2年度 予算現額	
					24,263,607	
					令和2年度 決算額	
					24,101,072	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	24,101,072
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	0					
令和3年度 予算額		0				
活動内容						
指標	1	給付者数	2		3	
	給付が完了した人数					
	予定 (目標)	240,565 人				
	令和2年度 実績	239,595 人				
令和元年度 実績	0 人					
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>基準日（令和2年4月27日）において、本市住民基本台帳に記録されている対象者に「特別定額給付金申請書」を送付し、郵送またはオンラインにより給付申請を受け付け、給付を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 給付者数 239,595人 給付額 23,959,500千円 給付率 99.6% <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 事務費 141,572千円 事業費（特別定額給付金） 23,959,500千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 特別定額給付金により迅速かつ的確な市民の家計への支援を行いました。 					

決算書ページ 105	款 02	総務費	項 02	徴税费	目 02	賦課徴収費		
事業名	02 収納サービス向上推進事業					担当課	収納課	
目的	納税機会の拡充及び市税等の収納率の向上を図ります。					令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 16,099	
						令和2年度 予算現額	23,163	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 納付書に口座振替依頼書を同封する他、市内各金融機関に常置することにより口座振替を推進します。 コンビニエンスストアでの支払いやスマホアプリからのキャッシュレスでの納付を可能とすることにより納税機会を拡大し、自主納付を推進します。 					令和2年度 決算額	21,035	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	0	
						地方債	0	
						その他	0	
令和3年度 予算額	25,465							
活動内容								
指標	1	市税等の口座振替登録件数	2	コンビニエンスストアでの 収納件数	3	4		
		口座振替による納税義務者数		延べ件数				
	予定 (目標)	45,000 人		195,000 件				
	令和2年度 実績	45,758 人		210,414 件				
	令和元年度 実績	45,068 人		197,556 件				
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 当初納税通知書に口座振替依頼書を同封しました。 市内金融機関に口座振替依頼書を常置しました。 口座振替業務について金融機関とのやり取りを伝送化しました。 コンビニエンスストアでの収納を行いました。 キャッシュレス収納（モバイルレジ）を開始しました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 口座振替手数料 2,601千円 口座振替依頼書等印刷費 1,030千円 口座振替伝送委託費 1,459千円 コンビニエンスストア収納等委託費 13,350千円 その他 2,595千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 口座振替業務を伝送化したこと、モバイルレジを導入したこと、コンビニエンスストアでの収納件数が増えたことにより決算額が増額しました。 デジタル化の推進と新型コロナウイルス蔓延防止、更なる利便性向上を目指した納税環境の整備の必要があります。 							

決算書ページ 105	款 02	総務費	項 02	徴税费	目 02	賦課徴収費	
事業名	03 滞納整理・処分事務					担当課	収納課
目的	市税等収納率の向上及び滞納額の圧縮を図ります。					令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 27,306
						令和2年度 予算現額	27,503
手段手法	・市税等の納付の督促、納税相談、滞納整理及び滞納処分を行います。					令和2年度 決算額	19,510
						令和2年度 財源内訳	
						国庫支出金	0
						県支出金	0
						地方債	0
						その他	1,435
						一般財源	18,075
令和3年度 予算額	28,691						
活動内容							
指標	1	督促状発送件数	2	差押件数	3	公売等取立件数	4
		全税目の納期別発送件数		年度内差押件数		差押債権を現金化した件数	
	予定 (目標)	130,000 件	1,600 件	4,500 件			
	令和2年度 実績	117,917 件	1,021 件	1,980 件			
令和元年度 実績	127,963 件	1,650 件	3,261 件				
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給与や国税還付等の債権差押えや差押えた不動産の公売などを行いました、上半期は必要な処分以外は自粛しました。 ・早期に滞納となっている方への督促手段として電話催告業務を民間に委託し、催告業務の充実を図りました。 ・新型コロナウイルスの影響により納付が困難な方に対し、徴収猶予の特例制度を適用しました。(令和2年度許可件数 802件) <p><財産差押処分実績> 合計1,021件【1,650件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不動産 239件【227件】 ・生命保険等債権 232件【486件】 ・給与 414件【697件】 ・預貯金 134件【237件】 ・動産 2件【3件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話催告業務委託 8,344千円 ・督促状等作成業務委託 3,120千円 ・その他 8,046千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・決算額の減については、徴収嘱託員制度の廃止が主な要因です。 ・コロナウイルス感染拡大により滞納処分が困難な状況となりましたが、電話催告業務委託の継続実施や催告文書の一斉発送などを進めた結果、収納率について現年度分は減少したものの、滞納繰越分は上昇し、市税全体としては軽微な減少に留まり、概ね前年度と同程度の率となりました。 ・現年度課税分は翌年度に繰り越さずに収入化を図る必要がありますが、現年度分の収入未済額については前年度よりも増額しており、累積滞納額が増加することで、今後の収納率への悪影響が懸念されます。 						

決算書ページ 111	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 01	社会福祉総務費
事業名	12 民生委員児童委員活動支援事業				担当課	健康福祉総務課
目的	市民の地域における相談相手・支援者として、民生委員児童委員活動の円滑な推進体制を確保します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					35,606	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員法に基づき、推薦会を開催し民生委員児童委員の委嘱を行います。 市・地区民生委員児童委員協議会の事務局として庶務を行います。 民生委員児童委員の資質の向上を目的に研修会や情報交換会を行います。 民生委員児童委員協議会の円滑な運営を図るために活動費の助成を行います。 				令和2年度 予算現額	
					36,313	
					令和2年度 決算額	
					34,561	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	17,567
地方債	0					
その他	0					
一般財源	16,994					
令和3年度 予算額						
36,640						
活動内容						
指標	1 役員会開催	2 地区定例会開催数	3 相談・支援件数	4 推薦会開催回数		
	月1回×12月	月1回×12月×11地区	民生委員が行った個別相談・支援件数	民生委員推薦会の開催回数		
	予定(目標)	12 回	132 回	3,000 件	5 回	
	令和2年度実績	7 回	77 回	2,851 件	2 回	
令和元年度実績	11 回	110 回	2,254 件	5 回		
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<p>民生委員児童委員の活動に対して支援を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 民生嘱託員報酬対象者数(延べ人数) 3,150人【3,242人】 推薦会委員報酬対象者数(延べ人数) 21人【73人】 民生委員児童委員協議会部会開催回数 6回【18回】 (児童委員部会・生活福祉部会・広報部会) <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 民生嘱託員等報酬 11,866千円 旅費 2千円 負担金 22,693千円 (地区民児協活動費、民生委員児童委員活動費等) 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員児童委員は、民生委員法に基づき、地域の見守り役として非常に重要な役割を担っており、その支援については継続的、積極的に行っています。 民生委員のなり手不足が直近の課題です。 					

決算書ページ 111	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 01	社会福祉総務費
事業名	18 災害時避難行動要支援者対策事業				担当課	健康福祉総務課
目的	避難行動要支援者対策として平常時から要支援者の所在情報を把握するとともに、その情報を地域等と共有し、災害時における安否確認や避難支援等に活用します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					1,171	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 避難行動要支援者の情報把握のために調査を実施し、避難行動要支援者名簿の作成・管理を行います。 地域における避難支援等の取り組みが進むよう支援を行います。 				令和2年度 予算現額	
					910	
					令和2年度 決算額	
					430	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	430					
令和3年度 予算額						
580						
活動内容						
指標	1	調査等対象者数(送付者数)	2	支援への取り組み地区	3	名簿掲載者数
	避難行動要支援者名簿への掲載に関する意向調査等		避難行動要支援者情報の共有数		避難行動要支援者名簿に掲載されている同意者数	
	予定(目標)	4,000 人	150 件	4,660 人		
	令和2年度実績	4,186 人	149 件	4,575 人		
令和元年度実績	13,620 人	150 件	4,864 人			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>避難行動要支援者の情報を地域等に共有するための避難行動要支援者名簿を整備するとともに、各地域において避難支援等の体制整備に必要な支援を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 調査等対象者数(70歳以上世帯、要介護者、障がい者等) 4,186人【13,620人】 支援への取り組み地区数(自治会) 149件【150件】 名簿掲載者数(同意者数) 4,575人【4,864人】 地域(自治会)での制度説明会開催回数 103回【118回】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 通信運搬費(調査書類等郵送料) 290千円 消耗品費等(調査書類・封筒代等) 140千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍であっても、多くの自治会に対して、説明会が実施できました。また、説明会の実施がなかった自治会には、個別に説明を行いました。 令和3年度に災害対策基本法が改正される動きがあるため、国及び他市町村の動向に注視していきます。 					

決算書ページ 111	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 01	社会福祉総務費	
事業名	23 おひとり様などの終活支援事業				担当課	おひとりさま政策課	
目的	主に高齢のひとり暮らしの方々などが健康で安心して暮らせるよう、おひとりさま施策の推進を図ります。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 695	
					令和2年度 予算現額	2,639	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 協力葬祭事業者、司法書士等の専門家との連携により、葬儀・納骨・遺品整理などに関する情報発信や本人からの相談受付、葬儀生前契約に関するサポート等を行います。 高齢のひとり暮らしの方々などが利用可能な支援、相談できる窓口等を掲載したガイドブックを配布します。 				令和2年度 決算額	1,052	
					令和2年度 財源内訳		
					国庫支出金	0	
					県支出金	0	
					地方債	0	
					その他	0	
令和3年度 予算額	2,187						
活動内容							
指標	1	相談件数	2	講演会等の開催回数	3	4	
	葬儀や納骨に関する市民からの相談件数		終活に関する講演会・地区説明会などの開催				
	予定(目標)	100 件	1 回				
	令和2年度実績	161 件	3 回				
令和元年度実績	219 件	11 回					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>ひとり暮らし等の市民からの終活に関する相談を受け付け、葬儀の生前契約に関するサポート等を行うとともに、主にひとり暮らしの高齢の方のための生活ガイドブック(第二版)を発行しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 市民からの終活に関する相談の件数 161件【219件】 葬儀生前契約して市に登録した人数(累計) 43名【39名】 講演会・講習会の開催 3回【11回】 「生活お役立ちガイド(第二版)」の発行 5,000冊【12,000冊】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> もしもし電話対応謝礼 121千円 終活クイズ用消耗品 314千円 生活お役立ちガイド作成業務委託 616千円 その他 1千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響などにより、終活支援講演会などのイベントは中止を余儀なくされました。 そのような中においても、自宅でも終活に取り組めるよう「やまと終活クイズ」を開始し、さらに、高齢の方々が高齢の方々が自宅でも、日常の出来事などを気軽に話すことができるよう「ちょっと話そうもしもし電話」を開設するなどして支援してきました。 新型コロナウイルスの状況を注視しながら、特に高齢の方々「ひとりになってもひとりぼっちにさせない」ような施策を展開していく必要があります。 						

決算書ページ 111	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 01	社会福祉総務費
事業名	24 自殺対策事業				担当課	健康福祉総務課
目的	神奈川県との協力関係や庁内関係課による横断的な連携を図りながら、啓発活動などに取り組み、自殺で亡くなられる方が減少することを目指します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					871	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 大和市自殺対策庁内連絡会の設置により、自殺対策に取り組みます。 市民に対して自殺予防に関する人材育成・啓発・周知等を図ります。 				令和2年度 予算現額	
					1,367	
					令和2年度 決算額	
					697	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	345
地方債	0					
その他	0					
一般財源	352					
令和3年度 予算額						
1,124						
活動内容						
指標	1	やまと自殺対策フォーラム または講演会の参加人数	2	こころサポーター養成講座 受講人数	3	4
		フォーラムの参加人数または講演会の参加人数		地域における早期発見、対応の役割を果たす人材の養成人数		
	予定 (目標)	80 人	230 人			
	令和2年度 実績	0 人	25 人			
令和元年度 実績	154 人	266 人				
具体的 内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>やまと自殺対策講演会やこころサポーター（ゲートキーパー）養成講座など、自殺防止等の普及啓発を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> やまと自殺対策講演会（参加人数） 0人【154人】 こころサポーター講座（参加人数） 25人【266人】 こころサポーターフォローアップ研修（参加人数） 28人【50人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> やまと自殺対策講演会関係経費 0千円 人材育成関係経費 85千円 自殺防止等普及啓発関係経費 348千円 その他経費（こころの健康相談） 264千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、街頭キャンペーンや自殺対策講演会等、接触型の活動を自粛し、広報紙やSNSの活用等、非接触型の手法により自殺防止相談電話を広く周知しました。 コロナの先行きが不透明のため、こころサポーター養成講座等、従来の接触型の活動手法を検討し、自殺対策を展開していく必要があります。 					

決算書ページ 111	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 01	社会福祉総務費								
事業名	27 配偶者暴力等相談支援事業				担当課	生活援護課								
目的	配偶者等から暴力を受けた被害者への支援体制を強化することで、被害者保護の充実を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)									
					4,034									
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 配偶者等から暴力を受けた被害者を保護するため、必要な相談、指導・支援等を行います。 危険性が高く緊急避難を必要とする場合は、県のDV支援センター、女性相談所と連携を図りながら、保護施設に一時保護入所措置をします。 				令和2年度 予算現額									
					5,061									
					令和2年度 決算額									
					4,391									
					令和2年度 財源内訳									
					国庫支出金	1,920								
					県支出金	0								
地方債	0													
その他	0													
一般財源	2,471													
令和3年度 予算額														
5,290														
活動内容														
指標	1	婦人相談件数	2	一時保護件数	3	4								
	配偶者からの暴力や、生活上の相談件数		配偶者の暴力から避難するため、保護施設に一時避難した件数											
	予定(目標)	400 件	20 件											
	令和2年度実績	435 件	9 件											
令和元年度実績	371 件	9 件												
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ドメスティック・バイオレンス(DV)被害者等の相談に電話、窓口で応じます。 危険性が高く緊急避難を必要とする場合には、県のDV支援センターや女性相談所と連携を図り、保護施設への一時保護入所措置をしました。 <p><一時保護入所措置世帯数及び人数> 9世帯 12人【9世帯 19人】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護施設が満所若しくは、時間が遅く手続きに間に合わないときには、一時的にホテルなどの宿泊施設に宿泊するなどの措置を行います。 <p><シェルター代替緊急宿泊扶助世帯数及び人数> シェルター代替緊急宿泊扶助 0世帯 0人【1世帯 6人】</p> <p><決算額の内訳></p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>・緊急宿泊費等</td> <td>0千円</td> <td>・婦人相談員報酬</td> <td>4,327千円</td> </tr> <tr> <td>・シェルター負担金等</td> <td>0千円</td> <td>・その他</td> <td>64千円</td> </tr> </table>						・緊急宿泊費等	0千円	・婦人相談員報酬	4,327千円	・シェルター負担金等	0千円	・その他	64千円
・緊急宿泊費等	0千円	・婦人相談員報酬	4,327千円											
・シェルター負担金等	0千円	・その他	64千円											
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 被害者からの相談件数の増加は、新型コロナウイルス感染症の影響によるものと、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律が施行されてから徐々に社会的に認知されてきたこと等が要因として考えられます。 家庭内で起こる被害であるため潜在化しやすく、被害者が相談までに至らない現状を踏まえて、早期発見と迅速な対応が求められます。 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化することも予測し動向を注視することが必要です。 													

決算書ページ 113	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 01	社会福祉総務費
事業名	29 生活困窮者自立支援事業				担当課	生活援護課
目的	経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者の相談に応じ、本人の状況に合わせた支援を行うことで、自立促進を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					16,607	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 主任相談支援員等による就労その他の自立に関する相談支援を行います。 庁内連絡会を実施して他課との連携や、情報の共有を図ります。 離職及び就業機会の減少に伴う減収により住宅を失うおそれのある生活困窮者等に対し、住居確保給付金を支給します。 				令和2年度 予算現額	
					120,779	
					令和2年度 決算額	
					87,301	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	64,611
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	22,690					
令和3年度 予算額						
66,603						
活動内容						
指標	1	新規相談受付件数	2	年延べ支援実施件数	3	住居確保給付金支給決定者数
		電話、来所、訪問により新規相談を受け付けた件数		相談を受けて支援を実施した延べ件数		住居確保給付金の支給を決定した人数
	予定(目標)	300 件	- 件	248 人	20 人	
	令和2年度実績	700 件	502 件	334 人	32 人	
令和元年度実績	285 件	- 件	2 人	33 人		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談窓口を設置し、生活困窮者の相談に対して面談、電話で応じます。来所できない人に対しては相談員が訪問して対応します。 住居を失うおそれのある生活困窮者に住居確保給付金を支給しました。 <p><住居確保給付金支給世帯数及び人数> 新規：334世帯 563人 継続：0世帯 0人 【新規：2世帯 2人 継続：1世帯 4人】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主任相談支援員等による就労その他の自立に関する相談支援を行い、就労収入の増収を図ることが出来ました。 <p><就労収入増収者人数> 32人 【33人】</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 自立相談支援事業業務委託 14,558千円 住居確保給付金 70,654千円 過年度国庫負担金返還金 1,153千円 ・その他 936千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、住居確保給付金の支給要件が緩和されたことや同制度に関するチラシの全戸配布を行ったことなどから、相談件数及び支給件数が急増しました。 経済的に困窮し最低生活の維持が困難になるおそれのある方に対し、それぞれの状況に応じ、相談のみでなく一人一人に寄りそった支援を行う必要があります。 					

決算書ページ 113	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 02	障がい者福祉費
事業名	03 自立支援給付事業				担当課	障がい福祉課
目的	障がい者及び難病患者等が、日常生活及び社会生活を営むために、必要な支援を受けることができるようにします。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					3,422,116	
手段手法	障がい者及び難病患者等からの申請を受け、自立支援給付費を給付します。				令和2年度 予算現額	
					3,790,964	
					令和2年度 決算額	
					3,727,881	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	1,888,070
					県支出金	952,717
					地方債	0
その他	0					
一般財源	887,094					
令和3年度 予算額		4,084,968				
活動内容						
指標	1	居宅介護支給決定者数	2	短期入所支給決定者数	3	共同生活援助支給決定者数
		居宅介護支給決定者数		短期入所支給決定者数		共同生活援助支給決定者数
	4	補装具費の交付・修理件数				
		障がい児者に対する補装具費交付・修理件数				
予定 (目標)	374	人	348	人	235	人
令和2年度 実績	374	人	348	人	235	人
令和元年度 実績	345	人	331	人	197	人
具体的 内容	【 】内は前年度数値					
	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者及び難病患者等に対し、居宅介護や短期入所等の必要な支援に係る費用を給付します。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 居宅介護事業 48,916.75時間【46,449.25時間】 短期入所事業 5,265日【6,009日】 共同生活援助事業 2,975人月【2,597人月】 日中活動支援事業 12,431人月【11,848人月】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 居宅介護事業 252,518千円 短期入所事業 60,717千円 共同生活援助事業 636,355千円 日中活動支援事業 2,321,072千円 相談支援給付事業その他 457,219千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 障がい特性や生活環境に応じた障害福祉サービスの支給及び補装具費助成を行うことで、障がい者の自立した生活の一助となっています。 住み慣れた地域で生活することを推進するため、重度障がい者等既存のグループホームでは対応が難しい方でも対応できる日中支援型グループホーム等事業所と検討していく必要があります。 対象者の増加により各事業所とも慢性的に従事者が不足しており、国や県に報酬単価の見直し等働きかけを行いながら利用者のニーズに対応できるよう努めます。 					

決算書ページ 113	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 02	障がい者福祉費
事業名	04 地域生活支援事業				担当課	障がい福祉課
目的	障がい者及び難病患者等が、利用者の個々の状態に応じ、地域の実態に沿った支援を受け、地域生活を営むことができるようにします。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					176,189	
手段手法	障がい者や難病患者等、または福祉施設を運営する事業者等から申請を受け、市もしくは委託した団体等がその事業を実施します。				令和2年度 予算現額	
					185,871	
					令和2年度 決算額	
					165,900	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	43,009
					県支出金	25,242
					地方債	0
その他	0					
一般財源	97,649					
令和3年度 予算額		194,419				
活動内容						
指標	1	移動支援支給決定者数	2	日常生活用具の給付数	3	地域活動支援センター相談者数
		身体・知的・精神障がいの移動支援支給決定者数		身体・知的の重度障がい児者への給付件数		地域活動支援センター相談延べ人数
	4	グループホーム家賃助成件数	グループホーム入居者に対する月額家賃助成件数			
	予 定 (目 標)	424 人	4,712 件	3,800 人	1,957 件	
令 和 2 年 度 実 績	424 人	4,004 件	2,152 人	2,101 件		
令 和 元 年 度 実 績	409 人	4,712 件	2,791 人	1,729 件		
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で暮らす障がい者及び難病患者等が日常生活又は社会生活を営むことが出来るように事業を実施しました。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動支援事業 16,428.5時間【22,224.5時間】 ・日常生活用具給付 4,004件【4,712件】 ・GH家賃助成 2,101件【1,729件】 ・地域活動支援センター相談延べ人数 2,152人【2,791人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動支援事業 35,255千円 ・日常生活用具 42,214千円 ・GH家賃助成 22,443千円 ・地域活動支援センター運営 21,348千円 ・日中一時支援事業その他 44,640千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者や難病患者等が地域で生活していく上で必須の事業となります。 ・地域活動支援センター事業では、現状の創作・生産活動の場の提供の他、医療分野との連携の必要性が高まっていることから、対応策を検討していきます。 ・相談支援事業では、障がい特性に対する専門性の向上や医療分野との連携について、検討する必要があります。 					

決算書ページ 113	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 02	障がい者福祉費
事業名	05 自立支援医療等給付事業				担当課	障がい福祉課
目的	障がいを除去又は軽減し、日常生活能力の回復を図ります。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 425,571
					令和2年度 予算現額	461,251
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 身体に障がいのある児童及び18歳以上の身体障がい者から申請を受け、障がい軽減を目的とした手術等の医療費の支給を行います。 通院による精神医療を継続的に要する精神障がい者から、当該通院費の助成申請を受け、県へ進達し、受給者証の交付を行います。 				令和2年度 決算額	442,391
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	230,460
					県支出金	108,636
					地方債	0
					その他	0
					一般財源	103,295
令和3年度 予算額	474,242					
活動内容						
指標	1	身体障害者の自立支援医療給付者数	2	身体障害児の自立支援医療給付者数	3	精神障害者の自立支援医療給付者数
		更生医療（18歳以上の手術等への給付）		育成医療（18歳未満の手術等への給付）		精神通院医療（精神科通院医療費の給付）
	予定（目標）	359 人	8 人	4,200 人		
	令和2年度実績	330 人	11 人	4,619 人		
	令和元年度実績	327 人	9 人	4,060 人		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 4 】内は前年度数値</p> <p>身体に障がいのある児童及び身体障がい者の障がい軽減を目的とした手術等の医療費助成については、対象者からの申請を受け支給決定を行いました。また、精神障がい者の通院医療費助成については、県への進達事務を行いました。</p> <p><主な事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 更生医療（18歳以上の身体障がい者の手術等の医療費助成） 人工透析、抗免疫療法、人工股関節手術等 育成医療（18歳未満の身体に障がいのある児童の手術等の医療費助成） 口唇口蓋裂手術、側弯症手術等 精神障がい者を対象とした精神通院医療費助成 精神科通院費助成の申請の県への進達、受給者証の対象者への送付 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 自立支援医療給付費等 442,073千円 手数料等 318千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 更生医療については、心身障害者医療費助成制度の支給制限により、その対象とならない方の新規申請件数が増加傾向にあり、支給決定の事務量も増加しています。 精神医療通院の助成申請の新規・継続申請も増加傾向にあり、県への進達・交付の事務量も増加しています。 医療保険の特定疾病を併用する受給者の情報を的確に把握し、自立支援医療等給付事務の適正化を図る必要があります。 					

決算書ページ 113	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 02	障がい者福祉費
事業名	09 在宅重度障がい者サポート事業				担当課	障がい福祉課
目的	重度の障がい児者が快適な在宅生活を送れるようにします。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 44,076
					令和2年度 予算現額	52,962
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 福祉タクシー券の配布や紙おむつの支給、入浴サービスの提供、住宅設備改良の助成、福祉車両利用券の配布、自動車燃料費の給付を行います。 				令和2年度 決算額	43,611
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	4,000
					県支出金	4,609
					地方債	0
					その他	0
					一般財源	35,002
令和3年度 予算額	52,813					
活動内容						
指標	1	福祉タクシー利用者数	2	入浴サービス利用者数(訪問入浴)	3	福祉車両助成
		福祉タクシー利用券交付件数		訪問入浴利用回数		福祉車両利用助成件数
	予定(目標)	1,245 人	893 回	785 件	301 人	
	令和2年度実績	1,130 人	815 回	628 件	276 人	
令和元年度実績	1,140 人	709 回	679 件	283 人		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><利用人(件)数></p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉タクシー助成 : 1,130人【1,140人】 紙おむつ支給 : 56人【63人】 自動車燃料費助成 : 276人【283人】 入浴サービス : 13人【14人】 住宅設備改良費助成 : 7件【6件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉タクシー利用券 16,064千円 入浴サービス 8,445千円 自動車燃料費助成 5,466千円 福祉車両利用助成 4,525千円 紙おむつ支給 2,649千円 その他 6,462千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児者の増加により、受給者数が増えていますが、重度障がい児者が在宅生活を維持するために事業を継続していく必要があります。 					

決算書ページ 113	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 02	障がい者福祉費
事業名	12 市障害者福祉手当支給事業				担当課	障がい福祉課
目的	障がい児者を経済的に支援し、生活の安定と福祉の増進を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					146,361	
手段手法	年に2回(9月・3月)、大和市に居住している重度・中度の障がい児者に手当を支給します。				令和2年度 予算現額	
					148,572	
					令和2年度 決算額	
					148,368	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	148,368					
令和3年度 予算額						
149,484						
活動内容						
指標	1 受給対象件数	2	3	4		
	年間延べ受給件数					
	予定(目標)	49,418 件				
	令和2年度実績	49,456 件				
	令和元年度実績	48,787 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>在宅の重度、中度の障がい児者に対して手当を年2回支給しました。 <受給者数(延べ)> 49,456人【48,787人】 <受給内容> 月額: 3,000円 ※重度・中度の障がい児者 1～4級の身体障害者手帳の交付を受けている方 IQ50以下の方(療育手帳A1、A2、B1の該当者) 1～2級の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方 【支給制限】・障害児福祉手当、特別障害者手当、特別児童扶養手当や障害基礎年金を受給している場合 ・福祉施設に入所している場合 ・所得が一定以上あるとき</p> <p><決算額の内訳> ・大和市障害者福祉手当 148,368千円</p>					
評価課題	<p>・新規認定の増加に伴い、事業費は徐々に増加しています。手当の増額や対象者の範囲拡大を望む声もありますが、将来にわたり事業を安定的に運営していくことが重要であると捉え、当面は、現状のまま事業を継続していく予定です。</p>					

決算書ページ 113	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 02	障がい者福祉費
事業名	14 心身障害者医療費助成事業				担当課	障がい福祉課
目的	重度障がい児者にかかわる医療費の負担軽減を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					416,193	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重度障がい児者からの心身障害者医療の助成申請に基づき対象者に医療証を交付します。 ・ 医療機関又は個人に対して医療費（健康保険診療）の自己負担分を支払います。 				令和2年度 予算現額	
					441,607	
					令和2年度 決算額	
					394,160	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	178,353
地方債	0					
その他	0					
一般財源	215,807					
令和3年度 予算額						
419,665						
活動内容						
指標	1	医療証交付件数	2	医療費助成件数	3	医療費助成額
	医療証の交付対象者数（年度末時点）		医療費の助成件数（同医療機関、同診療科目、同月で1件）		医療費の助成額（健康保険の自己負担分の助成額）	
	予定（目標）	2,750 件	89,350 件	432,147 千円		
	令和2年度実績	2,721 件	80,026 件	386,279 千円		
令和元年度実績	2,721 件	89,348 件	409,319 千円			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 心身障害者医療の助成申請受付後、医療証の交付を行い、医療費を助成します。 <医療費助成件（人）数> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療費助成 80,026件【89,348件】 ・ 対象者数 2,721人【2,721件】 <助成対象者（重度障がい児者）> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身体障害手帳1・2級 2,081人【2,094人】 ・ IQ35以下（療育手帳A1・A2該当） 541人【530人】 ・ 精神保健福祉手帳1級 99人【97人】 <決算額の内訳> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療費助成額 386,279千円 ・ その他 7,881千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所得制限や年齢制限が定着してきたことにより、事業を安定して継続できる環境が整いつつあり、当面は現状のまま継続していく方針です。 					

決算書ページ 115	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 02	障がい者福祉費
事業名	18 障がい者地域作業所等運営支援事業				担当課	障がい福祉課
目的	企業就労等が困難な障がい者に対して、福祉的就労の場を確保します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					16,160	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 市内の旧障がい者地域作業所を運営する団体に対して、家賃補助を行います。 				令和2年度 予算現額	
					17,091	
					令和2年度 決算額	
					13,923	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	13,923					
令和3年度 予算額						
14,373						
活動内容						
指標	1	家賃補助を行った地域作業所数	2		3	
	2		3		4	
	予定(目標)	2箇所				
	令和2年度実績	2箇所				
令和元年度実績	2箇所					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 身体・知的・精神の障がい者の福祉的就労の場となっている旧地域作業所等が安定して事業が継続できるよう家賃補助等の支援を実施しました。 <p><旧地域作業所等助成件数></p> <ul style="list-style-type: none"> 7事業所【7事業所】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 賃借料：4事業所 10,507千円 補助金：2事業所 2,640千円 負担金：1事業所 776千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き障がい福祉サービスの情報提供等運営面で支援を行っていきませんが、障害者総合支援法の施行に伴い、市が関与する必要性が低くなりつつあることから、事業所と協議を行いながら、現状の支援スキームを見直していきます。 					

決算書ページ 115	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 02	障がい者福祉費
事業名	23 松風園防音設備整備事業				担当課	障がい福祉課
目的	厚木基地の航空騒音による影響を軽減し、障がい福祉サービス提供環境の向上を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					3,145	
手段手法	<p>老朽化してきている防音設備（空調、建具、内装）の機能復旧を計画的に行っていきます。</p> <p>一部の利用の補完のため園庭に仮設園舎を設置します。</p> <p>。 本体の空調設備工事中に、各居室に仮設空調を設置します。</p>				令和2年度 予算現額	
					59,122	
					令和2年度 決算額	
					52,827	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	23,724
					県支出金	0
					地方債	9,000
その他	0					
一般財源	20,103					
令和3年度 予算額						
190,586						
活動内容						
指標	1	第1松風園開園日数	2	第2松風園開園日数	3	4
	年間開園日数		年間開園日数			
	予定 (目標)	230	260			
	令和2年度実績	233	265			
令和元年度実績	232	265				
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松風園における防音設備の整備・機能復旧を行います。 ・一部の利用の補完のため園庭に仮設園舎を設置します。 ・本体の空調設備工事中に、各居室に仮設空調を設置します。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調設備改修工事 35,601千円 ・仮設園舎賃貸借料 15,420千円 ・仮設空調設備賃貸借料 1,666千円 ・本体工事に伴う付帯工事 132千円 ・その他 8千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2～3年度にかけて空調設備工事を実施していることから、決算額が増加しています。 ・空調設備改修工事に伴い、仮設園舎と仮設空調の賃貸借を行っています。 ・空調工事も予定通り進んでおり、仮設園舎と仮設空調については、令和3年12月に撤去予定です。 					

決算書ページ 115	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 03	老人福祉費
事業名	05 生きがい対応型デイサービス事業				担当課	健康づくり推進課
目的	地域における高齢な方の自立支援及び介護保険法による地域支援事業への円滑な移行を推進します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					17,204	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上の市民を対象にひまわりサロンを開催し、地域の人との交流を図りつつ、閉じこもりを防止します。また、介護予防に関する普及啓発も行います。 ・地域包括支援センターと連携し、介護予防事業の推進を図ります。 				令和2年度 予算現額	
					18,169	
					令和2年度 決算額	
					17,020	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	17,020					
令和3年度 予算額						
14,349						
活動内容						
指標	1	利用者数	2	実施回数	3	健康・介護予防に関する知識の普及啓発
		ひまわりサロン利用者数		ひまわりサロン実施回数		専門職による実施回数
	予定(目標)	12,000 人	573 回	40 回		
	令和2年度実績	3,290 人	259 回	19 回		
令和元年度実績	9,008 人	514 回	29 回			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひまわりサロンを開催し、健康状態の維持・改善を図るとともに介護予防を推進します。 ＜事業内容＞ 実施場所：コミュニティセンター等 16か所【 16か所】 実施回数： 259回【 514回】 対象者数： 3,290人【9,008人】 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年4月1日～7月31日、令和3年1月8日～3月21日まで事業中止（計314回）。 ＜決算額の内訳＞ 生きがい対応型デイサービス事業委託料 16,808千円 保険料等 81千円 自動車整備費等 131千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策のため、開催人数、時間等を工夫して実施しています。緊急事態宣言により開催を中止とした時期には、介護予防の取り組みを継続していただけるよう、電話や個別訪問による声かけ等を実施しました。 ・利用者が年々高齢化してきており、状態に即した介護予防プログラムの実施が必要です。また、超高齢社会に伴い、介護予防の取り組みが必要な方への利用を促進していく必要があります。 					

決算書ページ 115	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 03	老人福祉費
事業名	07 老人福祉施設建設等支援事業				担当課	介護保険課
目的	老人福祉施設等の整備を推進します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					15,711	
手段手法	・老人福祉施設等の整備を行う法人等に建設費等の補助を行います。				令和2年度 予算現額	
					19,964	
					令和2年度 決算額	
					15	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	15					
令和3年度 予算額						
41,168						
活動内容						
指標	1	建設費等補助金交付対象事業所数	2	特別養護老人ホームの床数	3	4
		市の補助を受ける社会福祉法人等の事業所数		市内に整備されている特別養護老人ホームの床数		
	予定(目標)	1 件	861 床			
	令和2年度実績	0 件	861 床			
令和元年度実績	3 件	861 床				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>令和元年に開設した看護小規模多機能型居宅介護事業所に係る補助金に関する仕入れ控除税額相当額を神奈川県へ返還しました。</p> <p><返還対象事業所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・セントケア看護小規模上草柳（令和元年12月開所） <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・返還金 15千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・定期巡回・随時対応訪問介護看護事業所の応募がなかったことから、補助金の執行はなく、決算額が減少しました。 ・令和3年度には看護小規模多機能型居宅介護事業所を整備するなど、第8期介護保険事業計画（令和3年～5年）に基づいて、取り組みを進めます。 					

決算書ページ 115	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 03	老人福祉費	
事業名	13 シルバー人材センター支援事業				担当課	人生100年推進課	
目的	高年齢者の経験と能力を生かし、生きがいとして就業の機会を提供している（公社）大和市シルバー人材センターの運営を支援します。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 48,776	
					令和2年度 予算現額	48,525	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 補助金を交付します。 事業運転資金の貸付等の支援を実施します。 				令和2年度 決算額	48,525	
					令和2年度 財源内訳		
					国庫支出金	0	
					県支出金	0	
					地方債	0	
					その他	20,000	
令和3年度 予算額	43,525						
活動内容							
指標	1	契約受注総件数に占める民間件数の割合	2		3		
		「保健と福祉」施設の福祉～派遣区分事業実績から計算					
	予定(目標)	94 %					
	令和2年度実績	96 %					
	令和元年度実績	96 %					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> (公社)大和市シルバー人材センターに対して補助金の交付及び事業資金の貸付けを実施しました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 事業補助金 28,415千円 事業貸付金 20,000千円 その他 110千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 高年齢者の就業の機会を確保し、その能力の積極的な活用を図ることで、高年齢者の福祉の増進に資するよう（公社）シルバー人材センターに対する支援を継続して実施していく必要があります。 						

決算書ページ 115	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 03	老人福祉費
事業名	14 老人クラブ育成支援事業				担当課	人生100年推進課
目的	概ね60歳以上であるシニアクラブ会員の社会参加を積極的に進め、健康づくり・生きがいを図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					9,283	
手段手法	・シニアクラブの育成を図るため、補助金を交付します。				令和2年度 予算現額	
					12,427	
					令和2年度 決算額	
					11,331	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	2,132
					地方債	0
その他	0					
一般財源	9,199					
令和3年度 予算額		11,959				
活動内容						
指標	1	単位シニアクラブ数	2	シニアクラブ会員数	3	4
	大和市シニアクラブ連合会加入のシニアクラブ数					
	予定(目標)	85 団体	4,500 人			
	令和2年度実績	80 団体	3,914 人			
令和元年度実績	82 団体	4,157 人				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>単位シニアクラブ及び大和市シニアクラブ連合会に対して補助金を交付しました。</p> <p><主な活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブ数：80クラブ【82クラブ】 ・仲間を増やす活動の展開 加入促進活動等支援として「そうめん・うどん販売」「ハム販売」を開始 ・健康づくり、介護予防活動の推進 健康講座としてウクレレ漫談や「ゆめクラブ大和ウォーキング」の実施 ・地域の支え合い活動の推進 友愛研修会として「友愛活動とフレイル予防」を開催 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シニアクラブ連合会補助金 9,123千円 ・単位シニアクラブ育成補助金 2,208千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・大和市シニアクラブ連合会では、補助対象となり得る事業の一部を過年度事業（平成19年度事業廃止）による収入の積立金により令和元年度まで実施してきましたが、令和2年度から補助対象として実施することになったことから、決算額が増額となりました。 ・高齢者自身の生きがいを高めることを目的に、会員数を増やすことが課題です。 					

決算書ページ 115	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 03	老人福祉費	
事業名	16 高齢者見守り事業				担当課	人生100年推進課	
目的	在宅高齢者の日常生活における不安を解消します。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 14,856	
					令和2年度 予算現額	17,828	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者見守り（緊急通報）システムにより、相談や緊急時の対応を行います。 ・ 声かけ訪問調査、在宅介護認定者調査を実施し、高齢者の見守り支援に活用します。また、介護予防アンケートを実施する年度については、当アンケート内に調査項目を設定し、調査を行います。 				令和2年度 決算額	15,759	
					令和2年度 財源内訳		
					国庫支出金	0	
					県支出金	0	
					地方債	0	
					その他	0	
令和3年度 予算額	15,759						
					令和3年度 予算額	19,415	
活動内容							
指標	1	高齢者見守り（緊急通報）システム利用者数 (年度末)	2	在宅高齢者調査件数 戸別訪問調査及び介護認定者郵送調査	3	4	
	予定 (目標)	740 人	0 人				
	令和2年度 実績	682 人	0 人				
	令和元年度 実績	667 人	369 人				
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者見守り（緊急通報）システムにより、ひとり暮らし高齢者等の安否確認を行いました。 ・ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言期間において、外出自粛等により、外部との接触がもともと少ない在宅高齢者が孤立化する可能性が高いことから、令和元年度に実施した在宅高齢者声掛け訪問調査に基づく在宅高齢者への見守り連絡（当課職員による電話掛け）を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者数 357名 ・ 有効回答数 310名（回答率 86.8%） <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者見守り（緊急通報）システム事業委託 15,759千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひとり暮らし高齢者等が増えていく中で、緊急時の対応、安否確認等に対応できる高齢者見守り（システム）は有効であり、令和2年度は、60件を超える救急車出動要請、70件を超える安否確認出動を行いました。 ・ ひとり暮らしの認知症の高齢者や、難聴の高齢者等への緊急時の対応や安否確認の方法については、電話回線を用いる高齢者見守り（緊急通報）システムに加えて、民生委員や近隣住民による見守り体制を整備していく必要があります。また、固定電話回線の契約がないためにシステムを利用できない高齢者について、新たな仕組みによる見守り体制の構築も今後の課題となります。 						

決算書ページ 117	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 03	老人福祉費
事業名	22 施設入所等措置事業				担当課	人生100年推進課
目的	在宅生活の維持が困難な高齢の方の日常生活の場を確保します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					36,019	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 相談、通報時において、経済的及び環境上の理由等により、居宅での養護や介護サービスの利用が困難である高齢の方に対して、老人福祉法に基づく措置を行います。 				令和2年度 予算現額	
					46,440	
					令和2年度 決算額	
					37,472	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	5,681					
一般財源	31,791					
令和3年度 予算額						
46,432						
活動内容						
指標	1	養護老人ホーム入所申請受付数	2	養護老人ホーム新規入所者数	3	養護老人ホーム被措置者数
	高齢者・保健福祉サービス審議会での入所決定件数		入所者数		年度末被措置者数	
	予定(目標)	4 件	4 人	18 人		
	令和2年度実績	4 件	4 人	16 人		
令和元年度実績	1 件	0 人	13 人			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 養護老人ホームへ入所措置を行いました。 やむを得ない事由により、介護保険サービスを受けられない高齢者に対して、行政の権限で短期入所生活介護等の措置を実施しました。 <p><実績の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 市内施設 ※新規入所者4名、逝去等により1名退所 養護老人ホーム敬愛の園 16人【13人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 老人ホーム入所措置費 37,407千円 その他 65千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な高齢者に対し、必要時に迅速・適切に入所措置を図っていきます。 					

決算書ページ 117	款 03	民生費	項 01	社会福祉費	目 03	老人福祉費	
事業名	26 認知症施策推進事業				担当課	人生100年推進課	
目的	認知症の人やその家族が安心して暮らせる環境を整えます。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 976	
					令和2年度 予算現額	1,460	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・はいかい高齢者SOSネットワーク登録者を被保険者、保険契約者を大和市として、個人賠償責任保険と傷害保険に加入します。傷害保険を基本契約、個人賠償責任保険は特約とします。 ・認知症施策の推進に必要な認知症サポート医の確保のため、国が実施する認知症サポート医研修受講費を負担します。 				令和2年度 決算額	890	
					令和2年度 財源内訳		
					国庫支出金	0	
					県支出金	0	
					地方債	0	
					その他	0	
令和3年度 予算額	1,201						
活動内容							
指標	1	はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数	2		3		
		年度保険加入者実人数					
	予定(目標)	500 人					
	令和2年度実績	464 人					
	令和元年度実績	451 人					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・はいかい高齢者等SOSネットワーク登録者を被保険者とし、被保険者が踏切事故等により他者に負わせた損害を補償する損害賠償責任保険及び交通事故等による本人の死亡等を補償する傷害保険に大和市が保険契約者として加入しました。 <p style="padding-left: 20px;">年度保険加入者実人数 464人【451人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師が認知症サポート医養成研修を受講する費用を負担します。 <p style="padding-left: 20px;">※令和2年度は研修不開催</p> <p style="padding-left: 20px;">研修受講者数 0人【2人】</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険料 890千円 ・研修費 0千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目的により合った補償の保険について随時確認を行っています。 ・令和2年度は年間127名の新規登録がありました。支援を必要とする市民への周知が進んできています。 ・今後も認知症の人は増加することが予想されるため、事業対象となる方々の支援に繋がるよう、地域包括支援センターなどの関係機関との情報共有をさらに行う必要があります。 						

決算書ページ 119	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	05 小児医療費助成事業				担当課	こども総務課
目的	子育て支援策の一環として、小児の健全な育成と健康保持を促進します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					710,135	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 小児医療証を交付し、医療機関での通院、入院について保険適用分医療費の自己負担額を助成します。 				令和2年度 予算現額	
					639,953	
					令和2年度 決算額	
					566,907	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	186,000
					県支出金	91,115
					地方債	0
その他	0					
一般財源	289,792					
令和3年度 予算額						
697,551						
活動内容						
指標	1	医療証交付児童数	2	受診件数	3	4
	医療証を交付した児童数		医療機関で受診した延べ件数			
	予定 (目標)	23,813 人	449,332 件			
	令和2年度 実績	23,821 人	280,250 件			
令和元年度 実績	24,132 人	374,983 件				
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>受給対象者の認定、医療証の交付、医療費の助成を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 助成対象 <ul style="list-style-type: none"> 現物給付（医療証使用） 275,392件【367,576件】 現金給付（償還払い） 4,858件【 7,407件】 ※1歳以上は所得制限あり。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 医療助成費 543,612千円 審査支払手数料 17,106千円 報酬・職員手当等 4,225千円 消耗品・印刷製本費 252千円 その他 1,712千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響と思われる受診件数の減少により、医療助成費が減額となりました。 本制度の適正な執行により、子育て世帯の経済的負担の軽減と子どもの健全な育成・健康保持が推進されています。 市町村により、対象年齢や所得制限の有無が異なるため、国・県で統一した制度とするよう要望しています。 					

決算書ページ 119	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	06 児童手当支給事業				担当課	こども総務課
目的	すべての子どもの良質な成育環境を保護し、子どもの健やかな育ちを社会全体で支援します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					3,613,694	
手段手法	・市内に住所を有し、中学校修了までの児童を監護する父または母などを対象に児童手当を支給します。				令和2年度 予算現額	
					3,630,649	
					令和2年度 決算額	
					3,604,196	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	2,506,194
					県支出金	540,577
					地方債	0
その他	0					
一般財源	557,425					
令和3年度 予算額		3,610,805				
活動内容						
指標	1	対象児童数	2	受給者数	3	4
	手当の支給対象児童数		手当の受給者数			
	予定(目標)	28,270 人	17,878 人			
	令和2年度実績	28,080 人	17,748 人			
令和元年度実績	28,292 人	17,849 人				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>中学校修了までの児童を監護する父母等を対象に、児童手当を支給しました。</p> <p><対象延べ児童数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満 57,620人【58,660人】 ・3歳～小学校修了前 <ul style="list-style-type: none"> 第1子・第2子 169,417人【170,639人】 第3子以降 19,751人【19,602人】 ・中学生 56,032人【55,552人】 ・所得超過者 34,830人【32,838人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・扶助費 3,588,240千円 ・委託料 6,132千円 ・その他 9,824千円 					
評価課題	・税制改正等に適切に対応し、適正に手当を支給することが必要です。					

決算書ページ 119	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	08 子育て支援センター運営事業				担当課	こども総務課
目的	子育て家庭の育児不安等の解消を図り、地域での育児支援を推進します。また、地域の中でゆとりをもって育児が楽しめる環境をつくります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					16,120	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 子育て家庭の親子が、子育てに関する相談をしたり子育ての情報を得たり、気軽に他の親子と交流できる場所を提供します。 子育てに関する情報提供、育児相談・サロンの運営や子育て講座などを開催します。 				令和2年度 予算現額	
					16,120	
					令和2年度 決算額	
					16,120	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	4,794
					県支出金	4,791
					地方債	0
その他	0					
一般財源	6,535					
令和3年度 予算額						
16,120						
活動内容						
指標	1	子育て支援センター利用者数	2	子育て相談(内容別件数)	3	子育て講座参加者数
		常設子育てサロンを利用した親子数		子育てに関する相談の受付件数		子育て支援センター主催の子育て講座に参加した親子組数
	予定(目標)	19,000 人	2,500 件	90 組		
	令和2年度実績	5,607 人	827 件	15 組		
令和元年度実績	12,484 人	1,590 件	107 組			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て何でも相談、子育てサロンの運営、子育てサークル育成支援等について指定管理で運営しました。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月から6月まで常設の子育てサロン及び来所相談を休止し、令和2年7月から予約制・定員制により再開しました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 16,120千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6月末まで常設の子育てサロンを休止しました。再開後も予約制・定員制で運用したことから、利用者数・相談件数ともに大幅に減少しました。 今後も感染症対策を徹底しつつ、講座やイベントの内容のほか利用者への利便性への配慮について検討し、事業内容の更なる充実を図っていきます。 					

決算書ページ 119	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費	
事業名	09 つどいの広場事業				担当課	こども総務課	
目的	子育て中の親の子育てへの負担感の緩和を図り、安心して子育て・子育てができる環境を整備し、もって地域の子育て支援機能の充実を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)		
					16,350		
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 子育て中の親子の交流の場を提供するとともに、子育てに関する相談、地域の子育てに関する情報の提供を行います。 				令和2年度 予算現額		
					17,771		
					令和2年度 決算額		
					14,622		
					令和2年度 財源内訳		
					国庫支出金	5,542	
					県支出金	4,288	
地方債	0						
その他	0						
一般財源	4,792						
令和3年度 予算額		28,688					
活動内容							
指標	1 「こどもーる」来場者数	2 「こどもーる」相談件数	3	4			
	来場した保護者と子どもの延べ人数	保護者等からの相談件数					
	予定(目標)	60,000 人	2,500 件				
	令和2年度実績	17,164 人	2,431 件				
令和元年度実績	59,483 人	5,007 件					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> つどいの広場「こどもーる」事業を市内3か所で開催しました。 利用者：おおむね3歳未満の児童と保護者 施設：こどもーる中央林間 (大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター内) こどもーる鶴間（イオンモール大和内） こどもーる高座渋谷（イオン大和店内） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、こどもーる鶴間とこどもーる高座渋谷は令和2年6月末まで、こどもーる中央林間は令和2年8月末まで事業を休止しました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 役務費（保険料） 507千円 ・ 委託料 14,115千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休所とした期間があり、再開後は時間制・定員制で運用したことから、利用者数・相談件数ともに大幅に減少しました。 今後も感染症対策を徹底しつつ、各施設の特性を活かし、地域との連携を図りながら、利用者の満足度向上に資する事業を行ってまいります。 						

決算書ページ 119	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費		
事業名	11 屋内こども広場管理運営事業					担当課	ほいく課	
目的	多様化する子育てニーズに応え、市民の子育てを支援する拠点のひとつ、また、子育て世代の親子の新たな交流の場となるよう管理運営します。					令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 101,961	
						令和2年度 予算現額	102,961	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 親子が天候にかかわらず安全に安心して過ごせる空間を提供します。 子育て中の親が気軽に他施設を利用できるよう、保育サービス等を提供します。 子育てを支援するため、相談室等を使用して、保育士等による育児相談を実施します。 					令和2年度 決算額	102,579	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金		0
						県支出金		0
						地方債		0
						その他		0
令和3年度 予算額		88,377						
活動内容								
指標	1	げんきっこ広場延べ利用者数	2		3		4	
		利用した児童、保護者の実績延べ人数						
	予定(目標)	63,000 人						
	令和2年度実績	20,983 人						
	令和元年度実績	64,762 人						
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>遊び場を提供する屋内公園事業、保育サービス等を提供する保育施設事業、保育士等による育児相談事業について、指定管理で運営しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 利用実績 げんきっこ広場 20,983人【64,762人】 保育室 543人【1,325人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 100,630千円 光熱水費 1,939千円 その他 10千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する子育てニーズに応えるため、各実施事業の利用者からの意見等を踏まえ、感染対策を継続しながら利用率向上に向けたより良い運営方法について検討する必要があります。 							

決算書ページ 119	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	12 病児保育事業				担当課	ほいく課
目的	病児保育の実施により保護者の就労等を支援します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					49,613	
手段手法	・市内の民間病児保育施設に補助金を交付するほか、市立病院の敷地内に設置する病児保育施設において病児保育を実施します。				令和2年度 予算現額	
					61,409	
					令和2年度 決算額	
					45,489	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	14,625
					県支出金	13,746
					地方債	0
その他	52					
令和3年度 予算額						
53,957						
活動内容						
指標	1 実績延べ人数	2	3	4		
	利用した児童の延べ人数					
	予定(目標)	2,075 人				
	令和2年度実績	410 人				
	令和元年度実績	1,981 人				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>当面症状の急変は認められないが、病気の回復期に至っていない又は病気の回復期であることから、集団保育が困難であり、保護者の勤務等の都合により家庭で保育を行うことが困難な小学校6年生までの児童を対象に実施しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 施設数：3箇所（定員15人×2箇所、4人×1箇所） 利用実績：もみの木医院病児保育室 年間 350人【1,379人】 十六山病児保育室Bambini 年間 34人【323人】 大和市病児保育室ぽかぽか 年間 26人【279人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 病児保育事業費補助金：もみの木医院病児保育室 17,561千円 十六山病児保育室Bambini 9,982千円 病児保育事業委託：大和市病児保育室ぽかぽか 16,405千円 その他： 1,541千円 					
評価課題	・今後の利用実績や市民ニーズ等を踏まえた中で、病児保育事業内容および実施施設等について検討を続ける必要があります。					

決算書ページ	款	項	目	児童福祉費	児童福祉総務費	
119	03	02	01			
事業名	13 子育て支援施設管理運営事業				担当課	ほいく課
目的	幼稚園児等を対象とした送迎ステーションや、預ける理由を問わない託児施設などの管理運営を行います。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 53,738
					令和2年度 予算現額	53,222
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園バスによる送迎を実施し、これまで幼稚園を利用できなかった方のニーズに対応することで、定員に余裕のある幼稚園の利用を促進します。 子育て中の親の育児負担を軽減するため、託児サービスを提供します。 子育てを支援するため、相談室等を使用して、保育士等による育児相談を実施します。 				令和2年度 決算額	53,204
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	13,872
					県支出金	5,611
					地方債	0
その他	0					
令和3年度 予算額	52,448					
活動内容						
指標	1	送迎ステーション事業の実績利用人数	2	託児事業の実績延べ人数	3	4
		児童の在籍人数 (月平均)		利用した児童の延べ人数		
	予定 (目標)	35 人	2,700 人			
	令和2年度実績	31 人	2,098 人			
令和元年度実績	30 人	3,211 人				
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	子育て支援施設において、幼稚園児等を預かる「送迎ステーション事業」、保護者のリフレッシュなど理由を問わず預けることが可能な「託児事業」、リラックスした環境を整えた「子育て相談事業」の管理運営を実施しました。					
	<事業内容>					
	<ul style="list-style-type: none"> 利用実績 送迎ステーション (月平均) 31人【30人】 託児室 2,098人【3,211人】 子育て相談 61人【57人】 					
	<決算額の内訳>					
<ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 42,315千円 使用料及び賃借料 10,814千円 その他 75千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園児等を預かる「送迎ステーション事業」、保護者のリフレッシュなど理由を問わず預けることが可能な「託児事業」やリラックスした環境を整えた「子育て相談事業」などについて利用者からの意見等を踏まえ、感染対策を継続しながら利用率向上に向けたより良い運営方法について検討する必要があります。 					

決算書ページ 119	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	14 認定保育施設運営費助成事業				担当課	ほいく課
目的	認定保育施設の円滑な運営を推進し、保育所入所待機児童の解消を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					18,910	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 本市の児童が入所する認定保育施設から請求を受け、内容を審査後、補助金を交付します。 				令和2年度 予算現額	
					21,888	
					令和2年度 決算額	
					19,946	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	19,946					
令和3年度 予算額						
21,648						
活動内容						
指標	1	市認定保育施設数(雇用助成)	2	市認定保育施設補助対象児童数(保育料助成支援)	3	4
		補助金交付施設数		補助対象児童数(延べ人数)		
	予定(目標)	4箇所	292人			
	令和2年度実績	4箇所	350人			
令和元年度実績	5箇所	292人				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 市が定める保育士配置基準を満たす認定保育施設に対し保育士雇用助成を行い、0～3歳児の認可保育所入所保留児童に対し、月10,000円(上限)の保育料助成を行いました。 令和2年度より、運営費補助の対象を0～3歳児の保育所等保留児童に拡大しました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 保育士雇用補助金 13,248千円 認定施設利用補助金 3,349千円 認定施設運営支援補助金 3,349千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 認定保育施設への助成を行うことにより保育士の雇用を促進するとともに、保護者の経済的負担の軽減を図りました。 今後も、保育所入所待機児童の解消のため事業を継続していきます。 					

決算書ページ 119	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	17 民間保育所建設・増設支援事業				担当課	ほいく課
目的	民間認可保育所の設置等を支援し、保育所等入所待機児童の解消を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					137,859	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人等の保育所設置認可申請等の手続きを支援します。 ・社会福祉法人等に対して補助金を交付します。 				令和2年度 予算現額	
					131,278	
					令和2年度 決算額	
					116,115	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	111,999
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	4,116					
令和3年度 予算額						
173,276						
活動内容						
指標	1 新設保育所	2 既存保育所	3 地域型保育事業	4		
	新設保育所の整備		既存保育所の整備		地域型保育事業所の新設	
	予定 (目標)	2 箇所	0 箇所	3 箇所		
	令和2年度実績	1 箇所	0 箇所	3 箇所		
	令和元年度実績	3 箇所	0 箇所	3 箇所		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>保育所等を整備し、子どもを安心して育てることができる環境の整備を図りました。</p> <p><事業内容（補助金活用実績）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所建設 1施設 定員80名【3施設 180名】 ・小規模保育事業所新設 3施設 定員57名【3施設 57名】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・負担金、補助金及び交付金 116,101千円 ・その他 14千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等の整備を進めた結果、6年連続待機児童ゼロを達成することができました。今後の建設・増設については、必要量をよく見極めた上で、計画を立てていく必要があります。 					

決算書ページ 119	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	18 私立幼稚園等運営支援事業				担当課	ほいく課
目的	私立幼稚園の教職員の資質向上、預かり保育実施、障がい児受け入れ等への支援を通じて、私立幼稚園が実施する教育及び子育て支援の充実を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					25,127	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 私立幼稚園協会に幼児教育研究・研修等のための補助金を交付し、私立幼稚園等に管理運営、預かり保育実施、障がい児受入支援のための補助金を交付します。 				令和2年度 予算現額	
					26,320	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 私立幼稚園協会に幼児教育研究・研修等のための補助金を交付し、私立幼稚園等に管理運営、預かり保育実施、障がい児受入支援のための補助金を交付します。 				令和2年度 決算額	
					19,678	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	3,385
					県支出金	1,678
					地方債	0
その他	0					
一般財源	14,615					
		令和3年度 予算額		38,336		
活 動 内 容						
指標	1	補助金交付件数	2		3	
	同補助金を交付した交付先の件数					
	予定 (目標)	19 件				
	令和2年度実績	18 件				
令和元年度実績	18 件					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>私立幼稚園設置者、大和私立幼稚園協会に対して補助金を交付しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 市内私立幼稚園および認定こども園数 17園【17園】 大和私立幼稚園協会 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 大和私立幼稚園協会 340千円 私立幼稚園等職員研修費及び運営管理費補助金 5,100千円 一時預かり支援事業補助金 7,525千円 長時間預かり保育支援事業補助金 6,713千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の拡大により、預かり保育の利用数が減り、一時預かり支援事業補助金に係る事業費が縮小したことから、決算額が減少しています。 幼児教育保育無償化の開始により、需要の高まった幼稚園・認定こども園における研修や預かり保育に対する支援を行い、施設の体制強化に繋がりました。 					

決算書ページ 121	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	19 私立幼稚園等特別支援教育支援事業				担当課	ほいく課
目的	心身に障がいのある幼児の受入れ及び幼児教育の充実を図ります。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 7,425
					令和2年度 予算現額	8,316
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 心身に障がいのある幼児の受入れ及び幼児教育の充実を図る私立幼稚園等設置者に補助金を交付します。 				令和2年度 決算額	4,722
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
					その他	0
					一般財源	4,722
令和3年度 予算額	0					
活動内容						
指標	1	補助金交付件数	2		3	
	補助金を交付した幼稚園の数					
	予定(目標)	13 件				
	令和2年度実績	11 件				
令和元年度実績	14 件					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>私立幼稚園等が行う障がい児の受入れ及びその教育に対して補助金を交付しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 対象園児数 57人【69人】 園児1人あたり給付月額 9千円【9千円】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園特別支援教育費補助金 4,722千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児教育の充実に対する支援の必要性は大きいため、切れ目なく続けていくことが重要となります。 幼稚園で受け入れを行っている障がい児数は概ね一定の水準を保っているものの年によって変動もあるため、障がい児支援の制度の動向とともに、幼稚園における障がい児受入の状況についても適宜目を向けていく必要があります。 なお、令和3年度から私立幼稚園等運営支援事業に統合して実施します。 					

決算書ページ 121	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	20 保育所等乳児見守り安全対策事業				担当課	ほいく課
目的	保育所等に通う乳幼児を見守るとともに、安心して子どもを預けることができる保育環境を整備します。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 10,823
					令和2年度 予算現額	8,039
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・体動センサを購入し、各施設の乳幼児（主に0歳児）保育に必要な数を配付します。 				令和2年度 決算額	7,428
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
					その他	0
令和3年度 予算額	38,971					
活動内容						
指標	1	体動センサ配付台数	2		3	
	保育施設等に配付した延べ台数					
	予定 (目標)	71 台				
	令和2年度 実績	73 台				
令和元年度 実績	107 台					
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>保育所等（認可保育所、認可外保育施設含む）に、体動センサを導入しました。 （赤ちゃんまもるくん2）</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等 19施設【36施設】 ・体動センサ 73台【107台】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・需用費（体動センサ） 7,428千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・既存園における0歳児入所児童数分の配付は完了しており、令和2年度については新規開設園や0歳児の入所実人数の増加等に合わせた配付となったため、決算額が減少しました。 ・事業実施にあたっては、配付のみならず、機器の適切な取り扱いについて継続して各施設へ周知する必要があります。 					

決算書ページ 121	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	21 公私連携型保育所等整備事業				担当課	ほいく課
目的	保育需要への対応の充実を図るとともに、子どもを安心して育てることができる環境整備を行います。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					0	
手段手法	送迎ステーション及び一時預かり事業等を実施する低年齢児型保育所等を設置するため、民間事業者が整備する施設をリースし、民間の運営法人に土地と施設を貸し付けます。				令和2年度 予算現額	
					9,738	
					令和2年度 決算額	
					4,910	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	2,378
地方債	0					
その他	275					
一般財源	2,257					
					令和3年度 予算額	
					58,910	
活動内容						
指標	1	保育所等整備事業者との打ち合わせ回数	2	保育所等運営法人との打ち合わせ回数	3	4
		実施設計の打ち合わせ及び工事着工中の打ち合わせ		神奈川県への設置届や管理運営に関する打ち合わせ		
	予定(目標)	30 施設	20 回			
	令和2年度実績	36 施設	27 回			
令和元年度実績	15 施設	7 回				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の整備にあたり、整備事業者、運営法人、市の3者で調整しながら設計、工事、管理運営について、打ち合わせを重ねました。 建物は令和3年2月末に完成し、引き渡しを受けました。 令和3年3月から土地と建物の賃貸借を開始しました。 公私連携型子育て支援施設こどもの城の開所は令和3年4月です。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 使用料及び賃借料 4,910千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度より施設の運用を開始したことから、今後は利用者からの意見等を踏まえ、運営法人と課題の共有を行い、複合的な子育て支援施設のより良い運営方法について検討する必要があります。 					

決算書ページ 121	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	23 家庭児童相談事業				担当課	すくすく子育て課
目的	家庭の児童養育における悩みの解消や児童虐待の解決を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					12,526	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 家庭相談員等が電話、面接、訪問等により、子育て等の悩みの相談に応じます。 児童虐待通告を受けたときは職員が訪問し、児童の安全を確認するとともに、必要に応じて保護者に対して注意喚起を行います。 児童虐待の発生予防、早期発見のため、関係機関と連携します。 				令和2年度 予算現額	
					26,247	
					令和2年度 決算額	
					23,212	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	11,365
					県支出金	974
					地方債	0
その他	0					
令和3年度 予算額						
26,958						
活動内容						
指標	1	電話・面接・訪問などによる相談件数	2	児童虐待に関する相談対応世帯数	3	4
	家庭相談員等が受けた相談件数 (関係機関との連絡を含む)		児童虐待に関する対応及び防止のための相談			
	予定 (目標)	9,000 件	250 世帯			
	令和2年度実績	9,037 件	236 世帯			
令和元年度実績	8,450 件	242 世帯				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>令和2年度から、子ども家庭総合支援拠点を設置しました。養育相談や虐待通告に対し、必要に応じて関係機関との連携を図りながら、家庭訪問や電話相談等の対応を行いました。</p> <p><家庭こども相談の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭相談員の体制 週5日 (6名が輪番で勤務) 児童虐待相談対応世帯数 236件 【242件】 (内訳) <ul style="list-style-type: none"> 就学前 106件 【131件】 小学生 89件 【76件】 中学生 31件 【25件】 その他 10件 【10件】 虐待以外の相談世帯数 135件 【144件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 会計年度任用職員報酬・手当 19,922千円、その他 3,290千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 市区町村子ども家庭総合支援拠点の設置に伴い、令和2年度から心理相談員を常時配置としたほか、家庭相談員 (2名分) の人件費を子育て世代包括支援センター事業から移行したため、事業費が増額しました。 支援を必要としている子どもやその世帯等への訪問、見守りを行うとともに、様々な支援策から適切なサービス提供につなげるなど、引き続き、きめ細かな対応を継続的に行います。 学校や保育所、児童相談所などの関係機関とのさらなる連携強化を進めます。 					

決算書ページ 121	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	24 ファミリーサポートセンター事業				担当課	すくすく子育て課
目的	働く人々の仕事と子育ての両立を支援するなど、子育て家庭における育児負担の軽減を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					11,820	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 地域において育児の援助を行うことを希望する者と育児の援助を受けることを希望する者により構成される会員相互間の援助活動を支援します。 				令和2年度 予算現額	
					12,320	
					令和2年度 決算額	
					12,320	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	4,440
					県支出金	3,940
					地方債	0
その他	0					
一般財源	3,940					
令和3年度 予算額						
12,210						
活動内容						
指標	1	支援件数	2		3	
	ファミリーサポートが市民を支援した件数					
	予定(目標)	11,500 件				
	令和2年度実績	10,025 件				
令和元年度実績	9,963 件					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>保育所・幼稚園の登園前及び終了後の預かりや送迎、親の休養や外出に伴う預かりなどを行いました。また、病児お迎えサービスとして、緊急時の病児預かりや病児保育室への送迎等を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 会員数 2,455人【2,292人】 <ul style="list-style-type: none"> うち、病児会員数 1,006人【976人】 活動件数 10,025件【9,963件】 <ul style="list-style-type: none"> うち、病児・病後児の預かり 2件【11件】 うち、病児・病後児の送迎 9件【47件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ファミリーサポートセンター事業委託料 12,320千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 病児・病後児の預かりと送迎は、新型コロナウイルスの感染拡大で利用者が大幅に減少しました。 核家族化や地域ネットワークの希薄化により、子育て家庭の負担感が増しており、今後のニーズの高まりに応えるため、支援会員増を図る必要があります。 					

決算書ページ 121	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費		
事業名	25 子育て世代包括支援センター事業					担当課	すくすく子育て課	
目的	妊娠を考えたときから妊娠・出産・子育て期に切れ目ない相談支援を実施し、安心して妊娠・子育てができる環境をつくります。					令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 6,051	
						令和2年度 予算現額	2,454	
手段手法	国の利用者支援事業に沿って次の内容を行います。 ・妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に係る相談に関する事。 ・支援を必要とする者に対する支援プランの策定及び評価に関する事。 ・母子健康手帳の交付時に全ての妊婦へ面接を実施し、早期より支援を開始する。					令和2年度 決算額	2,196	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金	756	
						県支出金	732	
						地方債	0	
						その他	0	
令和3年度 予算額	2,473							
活動内容								
指標	1	子育て何でも相談・応援センターでの相談受付数	2	母子健康手帳交付時面接件数	3	支援プラン作成件数	4	
		センターで受け付けた電話・来所等の相談件数		母子健康手帳交付時に面接(スクリーニング)した件数		ケース検討会で支援が必要と判定をされ計画立案をした件数		
	予定(目標)	3,700 件	2,100 件	750 件				
	令和2年度実績	3,944 件	1,672 件	1,072 件				
	令和元年度実績	3,482 件	1,924 件	720 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て相談におけるワンストップ機能をもった相談機関として、電話・来所相談に対応しました。 ・母子健康手帳交付時に保健師が面接を行い、支援を必要とする妊婦に対して支援プラン策定などの支援をしました。 人員体制：専任保健師（常勤）1名、会計年度任用職員 保健師 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話、来所相談 3,944件【3,482件】 ・母子健康手帳交付時の妊婦面接件数 1,672件【1,924件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員 報酬 2,196千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、妊婦への感染予防を目的として、妊娠届出、母子健康手帳の交付を郵送でも受け付けました。面接できなかった妊婦に対しては、電話での状況把握を行いました。 							

決算書ページ 121	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	27 発達相談支援システム推進事業				担当課	すくすく子育て課
目的	こどもの発達状況等に応じて、こどもやその家族が充実した社会生活を送ることができるよう支援します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					17,816	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前の乳幼児に対して、相談員、心理士、言語聴覚士、保育士、理学療法士、作業療法士などの専門スタッフが、専門的見地から相談・支援等を行います。 ・軽度・中等度の難聴児に補聴器購入費を助成します。 				令和2年度 予算現額	
					24,552	
					令和2年度 決算額	
					21,432	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	209
					地方債	0
その他	0					
一般財源	21,223					
令和3年度 予算額						
24,430						
活動内容						
指標	1	発達相談件数	2	発達相談個別指導回数	3	発達相談グループ参加延べ人数
		発達相談に関する新規、継続相談件数		発達相談スタッフによる乳幼児への個別指導回数		乳幼児対象のグループ指導への参加者延べ人数
	予定(目標)	570 件	2,400 回	800 人	4	幼稚園・保育所への巡回相談機関数
	令和2年度実績	522 件	2,142 回	426 人	77 園	
令和元年度実績	595 件	2,775 回	831 人	66 園		
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前の乳幼児に対して、専門の職員が相談、支援を行いました。 ・軽度・中等度の難聴児への補聴器購入費を補助しました。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達相談件数 522件【 595件】 ・個別指導回数 2,142回【2,775回】 ・グループ指導 426人【 831人】 ・保育所等巡回相談機関数 77園【 66園】 ・難聴児補聴器購入費等助成 11件【 9件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 18,775千円 ・職員手当等 1,766千円 ・扶助費 422千円 ・需用費ほか 469千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により相談件数等が減少しましたが、相談ニーズが多様化しており、より高い専門性が求められています。 ・保育所の増加などにより機関支援のニーズが高まっていることから、効果的に支援をしていくための手法の検討が必要です。 					

決算書ページ 121	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	28 児童発達支援事業				担当課	すくすく子育て課
目的	障がい児の生活領域の拡大と早期療育を通じて、発達を促します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					723,436	
手段手法	・障がい児の保護者からの申請を受け、障害児通所給付費の支給を行います。				令和2年度 予算現額	
					854,547	
					令和2年度 決算額	
					833,556	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	430,602
					県支出金	214,838
					地方債	0
その他	0					
一般財源	188,116					
令和3年度 予算額		895,639				
活動内容						
指標	1	児童発達支援支給決定者数	2	放課後等デイサービス支給決定者数	3	保育所等訪問支援支給決定者数
	給付の支給を決定した人数		給付の支給を決定した人数		給付の支給を決定した人数	
	予 定 (目 標)	210 人	870 人	50 人	1,080 人	
	令 和 2 年 度 実 績	211 人	860 人	45 人	1,077 人	
令 和 元 年 度 実 績	198 人	784 人	29 人	985 人		
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<p>障がい児の保護者から申請を受け、障害児通所給付費の支給を行いました。</p> <p><事業内容> (支給決定者数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援 211人【198人】 ・放課後等デイサービス 860人【784人】 ・保育所等訪問支援 45人【29人】 ・サービス利用計画作成 1077人【985人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬、需用費ほか 3,336千円 ・児童発達支援 222,908千円 ・放課後等デイサービス 569,847千円 ・保育所等訪問支援 5,871千円 ・サービス利用計画作成 30,543千円 ・高額障害児通所等給付費 1,051千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・通所サービスの提供体制が充実したことに伴い、利用が増加しました。 ・サービス利用者の増加やニーズの多様化により、サービス利用計画を作成する相談支援事業所の業務負荷が年々増加していることから、引き続き、相談支援体制の充実に努める必要があります。 					

決算書ページ 121	款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事業名	29 障がい児自立支援給付事業							担当課	すくすく子育て課
目的	障がい児及び難病等の児童が、日常生活及び社会生活を営むために、必要な支援を受けることができるようにします。							令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	35,647
								令和2年度 予算現額	43,221
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児及び難病等の児童の保護者からの申請を受け、自立支援給付費を支給します。 							令和2年度 決算額	24,966
								令和2年度 財源内訳	
								国庫支出金	12,807
								県支出金	6,316
								地方債	0
								その他	0
令和3年度 予算額	36,580								
活動内容									
指標	1	ホームヘルプ支給決定者数	2	短期入所支給決定者数	3		4		
	給付の支給を決定した人数		給付の支給を決定した人数						
	予定 (目標)	15	70						
	令和2年度 実績	11	63						
	令和元年度 実績	14	68						
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>障がい児の保護者から申請を受け、障がい児自立支援給付を支給しました。</p> <p><事業内容> (支給決定者数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 居宅介護給付 11人 【14人】 ・ 短期入所給付 63人 【68人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 居宅介護給付 9,292千円 ・ 短期入所給付 14,651千円 ・ 高額障害児通所等給付費 1,023千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスの影響によるサービス利用の減少及び高額利用者の減少により、決算額が減少しました。 ・ 障がい児等とその家族のニーズが多様化する傾向にあり、安定したサービス提供体制の確保が必要です。 								

決算書ページ 121	款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事業名	30 障がい児地域生活支援事業							担当課	すくすく子育て課
目的	障がい児及び難病等の児童が、個々の状況に応じ、地域の実態に沿った支援を受け、地域生活を営むことができるようにします。							令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
								10,513	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児及び難病等の児童の保護者からの申請を受け、地域生活支援事業を行います。 							令和2年度 予算現額	
								13,885	
								令和2年度 決算額	
								9,394	
								令和2年度 財源内訳	
								国庫支出金	4,249
								県支出金	2,080
								地方債	0
その他	0								
一般財源	3,065								
令和3年度 予算額									
12,803									
活動内容									
指標	1	移動支援支給決定者数	2	日中一時支援	3		4		
	給付の支給を決定した人数		給付の支給を決定した人数						
	予定 (目標)	100	140						
	令和2年度 実績	94	140						
	令和元年度 実績	90	133						
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>障がい児の保護者から申請を受け、障がい児地域生活支援事業を行いました。</p> <p><事業内容> (支給決定者数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動支援 94人【90人】 ・日中一時支援 140人【133人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料 2,429千円 ・補助金 212千円 ・移動支援 3,424千円 ・日中一時支援 3,329千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児とその家族のニーズが多様化する傾向にあり、安定したサービス提供体制の確保が必要です。 								

決算書ページ 121	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	33 児童館管理運営事業				担当課	こども・青少年課
目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにします。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					65,477	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・コミセン併設児童館20館及び単独児童館2館は、それぞれの指定管理者が地域に密着した管理運営を行います。 ・子どもたちと関わりを持ちながら、様々な季節の事業を通して創造力豊かな発想を導き出すよう、展開していきます。 				令和2年度 予算現額	
					66,850	
					令和2年度 決算額	
					66,405	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	66,405					
令和3年度 予算額						
67,161						
活動内容						
指標	1	利用人数	2	1館あたりの行事実施回数	3	4
	全館における利用者合計		総事業実施回数/22館			
	予定(目標)	130,000 人	12 回			
	令和2年度実績	23,682 人	9 回			
令和元年度実績	95,515 人	11 回				
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・コミセン併設館：20館 ・単独館：2館（子安児童館、上和田東児童館） <決算額の内訳> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料 55,140千円（併設館） 11,110千円（単独館） ・その他 155千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少しましたが、指定管理者が地域の実情に合わせた児童館運営を行うことにより、子どもたちが地域の居場所として児童館での時間を過ごしています。 ・新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底しつつ、子どもたちが充実した時間を児童館で過ごせるよう、指定管理者が行う、来館者ニーズの把握や分析、各種事業等の充実などについて、調整に努めます。 					

決算書ページ 121	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費		
事業名	34 放課後児童クラブ事業					担当課	こども・青少年課	
目的	保護者の就労や疾病等により放課後等に家庭において健全な育成を受けられない児童に対し、適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ります。					令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 401,934	
						令和2年度 予算現額	548,247	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の余裕教室等を活用し、資格を有する支援員等により児童クラブの運営を行います。 ・公営児童クラブのない学区（南林間小学校、西鶴間小学校）については、民営の児童クラブに業務を委託します。 ・公営及び委託民営児童クラブに入会できない児童（入会保留児童）を受け入れた他の民営児童クラブについては、その人数により、市から運営補助金を交付します。 					令和2年度 決算額	502,677	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金	187,783	
						県支出金	120,208	
						地方債	0	
						その他	95,949	
令和3年度 予算額		501,154						
活動内容								
指標	1	入所児童数（公営）	2	入所児童数（民営委託）	3	入所児童数（民営補助）	4	
		（公営）児童クラブ入所児童数の合計		（民営委託）児童クラブ入所児童数の合計		（民営補助）児童クラブ入所児童数の合計		
	予定（目標）	1,500 人	148 人	282 人				
	令和2年度実績	1,591 人	123 人	269 人				
	令和元年度実績	1,420 人	134 人	253 人				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公営児童クラブ 17クラブ（43クラス） 【17クラブ（40クラス）】 ・民営児童クラブ事業委託 2クラブ【2クラブ】 ・民営児童クラブ運営補助 6クラブ【6クラブ】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 246,983千円 ・職員手当等 27,597千円 ・委託料 54,057千円 ・負担金、補助及び交付金 84,119千円 ・その他 89,921千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・決算額が増加した主な要因は、会計年度任用職員制度の施行に伴う期末手当の支給や新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として必要となる衛生用品、空調機器などの購入によるものです。 ・入会児童数が増加しましたが、学校の特別教室や民営児童クラブを活用することにより、希望するすべての児童を受け入れました。今後も入会待機児童を生じさせないために、居室や支援員等の確保に努めます。 ・支援を要する児童については、臨床心理士による児童クラブ巡回訪問の充実と関係部署等との連携を図りながら対応し、保育の質の向上に努めます。 							

決算書ページ 121	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費
事業名	35 こども食堂支援事業				担当課	こども・青少年課
目的	子どもの孤食を減らすとともに、子どもにとって安心できる地域の居場所づくりと保護者の子育て支援を目的とします。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					2,237	
手段手法	・こども食堂を実施する団体に対して補助金を交付します。				令和2年度 予算現額	
					3,321	
					令和2年度 決算額	
					1,533	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	1,533					
令和3年度 予算額		2,400				
活動内容						
指標	1	補助金交付か所	2		3	
	補助金を交付したか所					
	予定 (目標)	5 か所				
	令和2年度 実績	5 か所				
令和元年度 実績	5 か所					
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>こども食堂を実施する団体に対して運営経費（食事提供事業及び学習支援事業・世代間交流事業）を補助しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付対象となるこども食堂数 5 か所【 5 か所】 ・補助金交付対象となるこども食堂参加人数 1,130人【2,617人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大和市こども食堂支援事業補助金 1,533千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、こども食堂の開催に影響が出ましたが、感染防止対策などについて実施団体との調整を行い、可能な範囲でこども食堂を開催することができました。 ・補助金を交付したこども食堂による意見交換会を実施し、こども食堂における課題や運営団体からの要望を把握することで、活動内容が充実するように努めます。 					

決算書ページ 121	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 01	児童福祉総務費	
事業名	36 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業				担当課	こども総務課	
目的	新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として、児童手当を受給する世帯に対し、臨時特別給付金を支給します。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 0	
					令和2年度 予算現額	301,024	
手段手法	児童手当支給における指定口座への振込みにより、支給します。ただし公務員については、本給付金の申請書で指定された口座への振込みにより、支給します。				令和2年度 決算額	292,404	
					令和2年度 財源内訳		
					国庫支出金	292,404	
					県支出金	0	
					地方債	0	
					その他	0	
令和3年度 予算額	0						
活動内容							
指標	1	対象児童数	2		3		
	給付金の支給対象児童数						
	予定 (目標)	29,044 人					
	令和2年度 実績	28,457 人					
令和元年度 実績	0 人						
具体的 内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>児童手当の受給者を対象に、給付金を支給しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給額 対象児童一人当たり 10,000円 ・対象児童数 児童手当受給対象児童 28,457人 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金 284,570千円 ・郵送料及び手数料 3,976千円 ・委託料 3,420千円 ・その他 438千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯の生活を支援しました。令和2年度における単年度事業です。 						

決算書ページ 121	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 02	保育所等給付費		
事業名	01 保育所等施設型給付事業					担当課	ほいく課	
目的	本市の児童が利用する市内公立を除く保育所、認定こども園、幼稚園、地域型保育事業者の安定した運営を図ります。					令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 5,782,900	
						令和2年度 予算現額	6,891,490	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 本市の児童が利用する市内公立を除く保育所、認定こども園、幼稚園、地域型保育事業者の運営に対して給付を行います。 					令和2年度 決算額	6,831,288	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金	3,104,870	
						県支出金	1,488,521	
						地方債	0	
						その他	481,830	
						一般財源	1,756,067	
令和3年度 予算額		7,400,469						
活動内容								
指標	1	施設型給付費等を給付した市内施設数	2	2・3号認定の延べ利用者数	3	1号認定の延べ利用者数	4	
		施設型給付費、地域型保育給付費等を給付した市内施設数		施設型給付費等に関わる2・3号認定の年間の延べ利用者数		施設型給付費等に関わる1号認定の年間の延べ利用者数		
	予定(目標)	78 箇所	48,312 人	21,804 人				
	令和2年度実績	78 箇所	47,093 人	22,398 人				
	令和元年度実績	69 箇所	44,020 人	13,464 人				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>本市の児童が利用する市内公立を除く保育所、認定こども園、幼稚園、地域型保育事業者の設置者等に対して、施設型給付費等を交付しました。</p> <p><事業内容・決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 対象施設数(市外を含む) 私立保育所 100施設【96施設】 4,707,692千円 私立認定こども園 16施設【15施設】 362,273千円 私立幼稚園 23施設【17施設】 930,132千円 私立地域型保育事業 29施設【26施設】 807,438千円 公立保育所等 9施設【12施設】 13,480千円 法外扶助費 42施設【52施設】 10,273千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 将来の保育需要を踏まえ、どこまで施設数・定員数を確保するかが当面の課題です。 							

決算書ページ 121	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 02	保育所等給付費			
事業名	02 民間保育所等運営支援事業					担当課	ほいく課		
目的	民間認可保育所、認定こども園、幼稚園、地域型保育事業の円滑な運営及び、地域における子育て支援を充実させるため、運営費等の補助を行います。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	961,304		
						令和2年度 予算現額	1,198,655		
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 民間認可保育所、認定こども園、幼稚園、地域型保育事業の運営に係る経費に対して、予算の範囲内で補助金を交付します。 					令和2年度 決算額	1,095,778		
						令和2年度 財源内訳			
						国庫支出金	443,285		
						県支出金	103,777		
						地方債	0		
						その他	0		
一般財源	548,716								
						令和3年度 予算額	1,299,714		
活動内容									
指標	1 補助金の交付を受けた市内施設数	2 2・3号認定の延べ利用者数	3 1号認定の延べ利用者数	4 休日保育の延べ利用者数					
	補助金の交付要綱に基づき交付を受けた市内施設数	補助金に関わる2・3号認定の年間の延べ利用者数	補助金に関わる1号認定の年間の延べ利用者数	補助金に関わる休日保育の年間の延べ利用者数					
予定(目標)	85 箇所	48,312 人	21,804 人	929 人					
令和2年度実績	83 箇所	46,769 人	22,341 人	725 人					
令和元年度実績	79 箇所	43,857 人	13,460 人	929 人					
具体的内容	施設及び事業者に対し、運営費補助金を交付しました。								
	<ul style="list-style-type: none"> <事業内容> <ul style="list-style-type: none"> 対象施設数(市外を含む) <ul style="list-style-type: none"> 保育所 47施設【45施設】 認定こども園 4施設【5施設】 幼稚園 26施設【26施設】 小規模保育事業 18施設【15施設】 家庭的保育事業 1施設【0施設】 <決算額の内訳> <ul style="list-style-type: none"> 民間保育所等運営費補助金 1,095,778千円 					【 】内は前年度数値			
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 各施設に対する補助により、保育の質の向上や待機児童の解消などの成果を得られていますが、幼児教育・保育の無償化および新型コロナウイルス感染防止に係る国の施策の影響により補助内容が複雑になったため、国の子育て支援策や保育ニーズの動きを注視しつつ適宜実施方法を見直しながら事務を進めていく必要があります。 								

決算書ページ 123	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 02	保育所等給付費		
事業名	03 認可保育所等運営事務					担当課	ほいく課	
目的	認可保育所等の利用調整及び在園管理を行います。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	28,817	
						令和2年度 予算現額	25,136	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 認可保育所等への申し込みを受け、利用調整を経て利用を決定し、利用開始後の利用者負担金の賦課・徴収を行います。認可保育所等に係る保護者への情報提供や、入所保留児童へのマッチングについては、保育コンシェルジュが中心となって実施します。また、市外の認可保育所等の希望者について、当該市区町村に協議を行います。 					令和2年度 決算額	23,875	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金	2,008	
						県支出金	4,096	
						地方債	0	
						その他	0	
令和3年度 予算額	26,947							
活動内容								
指標	1 申込者数	2 入所決定児童数	3 待機児童数	4 相談件数				
	4月入所申込者数	4月入所児童数	4月1日現在の待機児童の数	保育コンシェルジュ相談件数				
	予定(目標)	4,535 人	4,535 人	0 人	894 件			
	令和2年度実績	4,495 人	4,332 人	0 人	884 件			
令和元年度実績	4,159 人	4,037 人	0 人	883 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 4 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 入所の申込受付・入所決定を行った後、保育料の賦課、徴収を行いました。 保育コンシェルジュが、保育を希望する保護者の相談に応じ、保育所等の施設や保育サービスの情報提供を行いました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 報酬 11,782千円 職員手当等 1,492千円 旅費 45千円 需要費 1,510千円 役務費 2,672千円 委託料 5,190千円 使用料および賃借料 1,148千円 償還金、利子および割引料 36千円 							
	評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 保育所等の整備を進めたことで、施設数及び児童数が増加し、郵送料や消耗品、その他関係経費は増加しました。一方で子ども・子育て支援システム改修費が減額となりました。 認可保育所等の施設整備や、入所保留となった児童に対するアフターフォロー等を実施したことにより、待機児童ゼロを6年連続で達成できました。今後、保護者のニーズを踏まえ、施設整備を進めますが、在園児童や申込児童が増えることに伴う業務量増に対応する必要があります。 						

決算書ページ 123	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 03	母子福祉費
事業名	01 ひとり親家庭等医療費助成事業				担当課	こども総務課
目的	ひとり親家庭等の医療費の負担を軽減します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					133,326	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 申請により、認定を行い、医療証を交付します。 保険診療の医療費のうち自己負担額を助成します。 				令和2年度 予算現額	
					139,058	
					令和2年度 決算額	
					124,410	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	57,350
地方債	0					
その他	0					
一般財源	67,060					
令和3年度 予算額						
132,427						
活動内容						
指標	1	対象者数	2	受診件数	3	4
		対象者の人数		医療機関で受診した延べ件数		
	予定 (目標)	3,683 人	53,146 件			
	令和2年度 実績	3,821 人	45,495 件			
令和元年度 実績	3,825 人	52,860 件				
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>受給対象者の認定、医療証の交付、医療費の助成を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者：ひとり親家庭の父又は母（若しくは養育者）とその児童 対象世帯： <ul style="list-style-type: none"> 母子家庭 1,493世帯【1,503世帯】 父子家庭 42世帯【39世帯】 養育者家庭 14世帯【17世帯】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 医療助成費 121,243千円 審査支払手数料 3,015千円 その他 152千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭等の経済的負担の軽減に寄与しています。 ひとり親家庭等の生活に直結した事業で、市が関与する必要性が高いことから、現状のまま事業を継続していきます。 					

決算書ページ 123	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 03	母子福祉費
事業名	02 ひとり親家庭等家賃助成事業				担当課	こども総務課
目的	ひとり親家庭等の住居に係る費用の負担を軽減します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					93,970	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 申請に基づき、所得等の審査を行い、対象世帯に対して、月額の家賃から24,000円を控除した額(10,000円を上限)を支給します。 				令和2年度 予算現額	
					96,686	
					令和2年度 決算額	
					95,232	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	95,232					
令和3年度 予算額						
94,431						
活動内容						
指標	1 助成世帯数	2	3	4		
	家賃助成を行った世帯数					
	予定(目標)	819 世帯				
	令和2年度実績	826 世帯				
令和元年度実績	817 世帯					
具体的内容	<p>母子・父子家庭等に対し、家賃の一部を助成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 助成世帯数 826世帯【817世帯】 (内訳) 母子世帯 814世帯【810世帯】 父子世帯 9世帯【4世帯】 養育者 3世帯【3世帯】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 家賃助成 95,139千円 その他 93千円 					【 】内は前年度数値
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭への経済的支援は今後も必要であり、引き続き適正に事業を推進していきます。 					

決算書ページ 123	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 03	母子福祉費	
事業名	04 ひとり親家庭等相談事業				担当課	こども総務課	
目的	ひとり親家庭等が抱える不安や悩みを解消します。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 6,087	
					令和2年度 予算現額	6,937	
手段手法	・生活上の問題等様々な相談に対応できるよう母子・父子自立支援員を配置し、福祉事務所等の関係機関と連携を図り、相談業務を行います。				令和2年度 決算額	6,536	
					令和2年度 財源内訳		
					国庫支出金	0	
					県支出金	0	
					地方債	0	
					その他	0	
一般財源	6,536						
					令和3年度 予算額	7,319	
活動内容							
指標	1	相談件数	2		3		
	母子・父子自立支援員が受けた相談の延べ件数						
	予定(目標)	1,500 件					
	令和2年度実績	2,827 件					
	令和元年度実績	2,176 件					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>ひとり親の生活上の様々な問題に母子・父子自立支援員が相談に応じました。</p> <p><相談件数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活一般相談(住宅・就職等) 1, 292件【1, 053件】 ・児童相談(養育・教育等) 314件【 234件】 ・生活援護相談(資金・年金等) 1, 213件【 870件】 ・その他の相談(施設利用等) 8件【 19件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援員報酬 5, 895千円 ・自立支援員期末手当 587千円 ・消耗品 53千円 ・その他 1千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭等の様々な相談等に対応し、必要な制度利用等に繋がるよう支援しています。 ・相談内容が多岐にわたることから、母子・父子自立支援員のさらなるスキルアップと関係する部署との連携強化が必要です。 						

決算書ページ 123	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 03	母子福祉費
事業名	05 児童扶養手当支給事業				担当課	こども総務課
目的	ひとり親家庭等の生活の安定を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					974,347	
手段手法	・申請に基づき、戸籍・所得等の書類を審査し、認定後、申請者に手当証書を交付し、手当を支給します。				令和2年度 予算現額	
					780,613	
					令和2年度 決算額	
					764,742	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	253,645
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	511,097					
令和3年度 予算額		769,439				
活動内容						
指標	1 受給者数	2	3	4		
	児童扶養手当を受給しているひとり親家庭の保護者の人数					
	予定(目標)	1,514 人				
	令和2年度実績	1,484 人				
令和元年度実績	1,497 人					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>父母の離婚、父・母の死亡などにより父親・母親と生計を同じくしていない児童について、児童扶養手当を支給しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受給者数 1,484人【1,497人】 <p><受給者数の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子家庭 1,431人【1,443人】 ・父子家庭 39人【36人】 ・養育者 14人【18人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童扶養手当支給額 762,466千円 ・その他 2,276千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年1月から、手当の支給月を奇数月(年6回)とする改正があったため令和元年度は制度移行のための調整期間となり、15月分を支給しました。令和2年度は、例年どおり12月分を支給したため、令和元年度に比べ、支給額が減額となりました。 ・今後も経済的支援が必要な世帯に対し、適正に手当を支給していく必要があります。 					

決算書ページ 123	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 03	母子福祉費	
事業名	06 母子家庭等自立対策支援事業				担当課	こども総務課	
目的	ひとり親家庭の父または母の就業を効果的に促進します。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 6,864	
					令和2年度 予算現額	9,852	
手段手法	・就職の促進のため、国の事業実施要綱に基づき資格取得や教育訓練、高等学校卒業程度認定試験合格に向けた講座の受講者に対して、申請を基に給付金を支給します。				令和2年度 決算額	8,435	
					令和2年度 財源内訳		
					国庫支出金	5,999	
					県支出金	0	
					地方債	0	
					その他	0	
令和3年度 予算額	15,567						
活動内容							
指標	1	自立支援教育訓練給付金申請者数	2	高等職業訓練促進給付金申請者数	3	高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金の申請者数	
		自立支援教育訓練給付金の申請者数		高等職業訓練促進給付金の申請者数		高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金の申請者数	
	予定(目標)	4 人	7 人	1 人			
	令和2年度実績	7 人	7 人	1 人			
	令和元年度実績	3 人	6 人	1 人			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>ひとり親家庭における雇用機会促進のため、資格取得や教育訓練等の受講者に対して、給付金を支給しました。</p> <p><給付件数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援教育訓練給付金 : 7件【3件】 ・高等職業訓練促進給付金 : 7件【6件】 ・高等職業訓練修了支援給付金 : 0件【2件】 ・高等学校卒業程度認定試験合格支援受講修了時給付金 : 1件【1件】 ・高等学校卒業程度認定試験合格支援合格時給付金 : 1件【1件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・給付金 7,984千円 ・その他 451千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、安定した雇用を求めて申請者が増加したため、給付金が増額となりました。 ・資格の取得が図られることで、就労機会の拡大や就労条件の向上等にもつながり経済的な自立が促進されます。 						

決算書ページ 123	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 03	母子福祉費
事業名	07 児童扶養手当受給者への臨時特別給付金給付事業				担当課	こども総務課
目的	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、児童扶養手当受給者を対象に特別給付金を支給します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					0	
手段手法	児童扶養手当支給における指定口座への振込みにより、支給します。				令和2年度 予算現額	
					116,517	
					令和2年度 決算額	
					112,645	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	112,645
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	0					
令和3年度 予算額		0				
活動内容						
指標	1 受給者数(1回目の支給)	2 受給者数(2回目の支給)	3	4		
	令和2年3~5月分いずれかの児童扶養手当者の人数	令和2年7~10月分いずれかの児童扶養手当者の人数				
	予定(目標)	1,700 人	1,605 人			
	令和2年度実績	1,626 人	1,560 人			
	令和元年度実績	0 人	0 人			
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>児童扶養手当受給者に対し、臨時特別給付金を支給しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度中に2回実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ①児童扶養手当(令和2年3~5月分のいずれか)の受給者に対し支給 <ul style="list-style-type: none"> ・支給金額:1世帯当たり2万円/・対象世帯数:1,626世帯 ②児童扶養手当(令和2年7~10月分のいずれか)の受給者に対し支給 <ul style="list-style-type: none"> ・支給金額:1世帯当たり5万円/・対象世帯数:1,560世帯 ※いずれも申請不要。児童扶養手当支給にける指定口座へ振り込み。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・負担金補助及び交付金 110,520千円 ・委託料 1,369千円 ・役務費 715千円 ・需用費 41千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けたひとり親家庭等を支援しました。令和2年度における単年度事業です。 					

決算書ページ 123	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 03	母子福祉費
事業名	08 ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業				担当課	こども総務課
目的	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、ひとり親家庭等に臨時特別給付金を支給します。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 0
					令和2年度 予算現額	313,907
手段手法	ひとり親家庭等に対し、子育て負担の増加や収入の減少に対する支援を行うため、臨時特別給付金を支給します。 。				令和2年度 決算額	272,856
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	272,856
					県支出金	0
					地方債	0
					その他	0
					一般財源	0
令和3年度 予算額	0					
活動内容						
指標	1	基本給付の受給者数	2	追加給付の受給者数	3	基本給付の再支給の受給者数
		児童扶養手当等の受給者等への給付金の受給者数		収入減少があった基本給付受給者への給付金の受給者数		基本給付受給者への同額再度支給の受給者数
	予定(目標)	2,064 世帯	1,611 世帯	1,597 世帯		
	令和2年度実績	1,712 世帯	958 世帯	1,712 世帯		
	令和元年度実績	0 世帯	0 世帯	0 世帯		
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>ひとり親家庭等に対し、臨時特別給付金を支給しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本給付 支給金額 : 1世帯あたり5万円、児童2人目以降1人につき3万円 ／対象世帯数: 1, 712世帯 追加給付 支給金額 : 1世帯当たり5万円／対象世帯数: 958世帯 再支給 支給金額 : 基本給付と同額／対象世帯数: 1, 712世帯 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 負担金、補助金及び交付金 269,740千円 委託料 1,188千円 役務費 1,042千円 その他 886千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響を受けたひとり親家庭等を支援しました。令和2年度における単年度事業です。 					

決算書ページ 123	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 04	保育所費		
事業名	02 保育事業（市立保育所）					担当課	ほいく課	
目的	市立保育所において適切な保育の体制を維持し、安心して子どもを預けることができる環境を整えます。					令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 74,825	
						令和2年度 予算現額	125,835	
手段手法	・保育士等の体制整備や傷害保険の加入などにより、適切に児童を受け入れるための環境を確保します。					令和2年度 決算額	91,672	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金		0
						県支出金		0
						地方債		0
						その他		0
一般財源		91,672						
						令和3年度 予算額	110,760	
活動内容								
指標	1	入所児童数	2	時間外保育利用児童数	3	延長保育利用児童数	4	障害児数
		1月あたりの入所児童数（平均）		1日あたりの時間外保育利用児童数（10月）		1日あたりの延長保育利用児童数（10月）		入所児童のうちの障害児数（3月）
	予定（目標）	540 人		750 人		120 人		40 人
	令和2年度実績	468 人		690 人		58 人		44 人
	令和元年度実績	479 人		738 人		75 人		40 人
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>保育士等の体制整備や傷害保険の加入などにより、適切に児童を受け入れるための環境を確保しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立保育所： 4園【 4園】 ・入所定員 : 490人【490人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 55,086千円 ・職員手当等 6,280千円 ・需用費 2,322千円 ・委託料 27,481千円 ・その他 503千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員制度の施行に伴う期末手当の支給により職員手当等が増加し決算額が増額となりました。 ・公立保育園は、待機児童解消の為に増加し続ける民間保育施設の保育の質の向上を支援する基幹園としての役割を担っていることから、公立保育園を維持し安定した保育体制を整えることが必要です。 ・様々な保育ニーズに応え、地域の子育て力の向上にむけた支援を行うことで、大和市全体の保育水準を高め、すべての子どもたちが健やかに育つ社会づくりを目指しています。 							

決算書ページ 123	款 03	民生費	項 02	児童福祉費	目 04	保育所費
事業名	03 保育所給食事業（市立保育所）				担当課	ほいく課
目的	市立保育所入所児童の健全な発育並びに健康の保持及び増進を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					95,460	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 所管課の管理栄養士が立案した献立に基づき調理員が調理し、通常保育における昼食、おやつ（0歳から2歳児は午前のおやつも）及び延長保育における補食の提供を行います。 				令和2年度 予算現額	
					101,765	
					令和2年度 決算額	
					93,809	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	25,287					
一般財源	68,522					
令和3年度 予算額						
105,461						
活動内容						
指標	1	年間総給食数	2	一日あたりの平均給食数	3	4
	保育園で提供する給食の年間の総合計食数		平日の年間平均給食数			
	予定(目標)	131,555 食	551 食			
	令和2年度実績	120,469 食	497 食			
令和元年度実績	131,555 食	551 食				
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>入所児童及び一時預かりで受け入れた児童に対し、昼食、おやつ（0歳から2歳児は午前のおやつも）を提供しました。また、延長保育の児童には補食も提供しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 提供する給食の総合計食数 120,469食【131,555食】 平日の年間平均給食数 497食【551食】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 保育所食器類消耗品等 1,478千円 賄材料費 40,071千円 業務委託料 47,678千円 工事請負費 440千円 保育所給食調理業務備品 2,536千円 賃金等、その他 1,606千円 					
	評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策のため、登園自粛要請を依頼したことから、年間総給食数が減少しました。 使用頻度が高く、給食提供に不可欠なスチームコンベクションオーブンやガス回転釜、熱風消毒保管庫等の機械類の定期的な入れ替えを検討する必要があります。 				

決算書ページ 125	款	03	民生費	項	03	生活保護費	目	02	扶助費
事業名	01 生活保護事業						担当課	生活援護課	
目的	生活困窮者の最低限度の生活を保障するとともに、自立の助長を目的として扶助を行います。						令和元年度 決算額 (以下単位:千円)		6,669,807
							令和2年度 予算現額		6,746,738
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 被保護者の困窮の程度に応じて、生活扶助、教育扶助、住宅扶助、医療扶助、介護扶助、出産扶助、生業扶助、葬祭扶助からなる扶助を現物及び金銭にて給付します。 稼働能力のある被保護者に対し、就労支援員による就労支援を行います。 						令和2年度 決算額		6,514,077
							令和2年度 財源内訳		
							国庫支出金	5,026,820	
							県支出金	163,317	
							地方債	0	
							その他	0	
令和3年度 予算額		6,768,916							
活動内容									
指標	1	保護実人数	2	面接相談件数	3	保護開始件数	4	保護廃止件数	
	年度ごとの月平均実人員数		要援護者に対する年間相談面接件数		生活保護年間開始世帯数		生活保護年間廃止世帯数		
	予定(目標)	4,000 人	1,300 件	400 世帯	400 世帯				
	令和2年度実績	3,729 人	1,096 件	387 世帯	389 世帯				
令和元年度実績	3,757 人	971 件	351 世帯	336 世帯					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>被保護者の生活実態に応じた各種扶助を行いました。</p> <p><被保護世帯数及び人数(月平均、停止を除く)> 2,908世帯 3,729人 【2,893世帯 3,757人】</p> <p><扶助別世帯数又は人数(延べ)></p> <ul style="list-style-type: none"> 生活扶助 42,619人 【42,897人】 住宅扶助 32,104世帯 【31,966世帯】 教育扶助 2,811人 【2,976人】 介護扶助 8,379人 【8,006人】 医療扶助 35,525人 【36,135人】 出産扶助 2人 【0人】 生業扶助 951人 【1,027人】 葬祭扶助 59人 【67人】 就労自立給付金 53人 【38人】 進学準備給付金 7人 【8人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 扶助費等 6,441,250千円 その他 72,827千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 被保護者数は減少していますが、生活保護開始件数及び相談面接回数は増加傾向にあります。今後は高齢化のほかコロナ禍における景気変動により一時的な要因でもたらされる被保護者数の増加が予想されます。よって、引き続き動向を注視することが必要です。 働ける世代の被保護者に対しては、就労支援員やハローワークと連携し、本人の職歴や年齢等に応じた個別支援を行い、引き続き自立助長を推進していく必要があります。 								

決算書ページ 127	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 01	保健衛生総務費
事業名	05 女性の健康診査事業				担当課	医療健診課
目的	女性がかかる疾病の早期発見と健康づくりのため、健康診査、保健・栄養指導を行います。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					3,976	
手段手法	・健診を通じて、生活習慣病をはじめとする疾病のリスクを早期発見し、生活習慣を見直す機会となるよう、健康診査、健診当日の栄養相談を実施します。健診受診の結果、特に注意が必要な対象者について、電話による健康相談および健康に関する情報提供をします。				令和2年度 予算現額	
					4,351	
					令和2年度 決算額	
					3,326	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	3,326					
令和3年度 予算額						
4,114						
活動内容						
指標	1	女性健康診査受診者数	2	個別相談実施状況	3	保健指導実施者数
		女性健康診査の受診者数		女性健康診査の当日に、個別相談を実施した人数		女性健康診査の結果郵送時に文書にて指導を実施した数
	予定(目標)	700 人		700 人		700 人
	令和2年度実績	512 人		504 人		512 人
	令和元年度実績	648 人		642 人		648 人
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勤労・妊娠・子育てと多様な役割を持つ世代の女性へ、健康診査を実施しました。受診を通じて、現在の生活習慣が将来の疾病のリスクに繋がることを理解できるよう、健診日に、食生活アンケートに基づいた個別の栄養・保健相談を行いました。また、健康診査の結果に応じて、電話による保健指導や健康に関するリーフレット送付等を行いました。 ・ 継続的に受診する方が増加するよう、受診勧奨通知を8月と3月に発送したほか、年度末発送の検診ガイドにて事業周知を図りました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催回数： 9回【 10回】 ・ 受診者数： 512人【648人】 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により1回中止 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康診査委託 2,975千円 ・ その他 351千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により受診者数が減少したと考えられます。 ・ 前年度の受診者に引きつづき継続受診の呼びかけを行うとともに、新規受診者の増加を目指して、健診の対象となる市民に広く事業周知を行います。 ・ すべての受診者が自主的に健康づくりに取り組むことができるよう、栄養相談等を通じて自身の健康に関心を持てるよう情報提供を行います。 					

決算書ページ 127	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 01	保健衛生総務費	
事業名	06 休日夜間急患診療所運営事業					担当課	医療健診課
目的	休日及び夜間の内科、小児科の軽症患者のために、大和市地域医療センター休日夜間急患診療所で適切な一次救急医療を提供します。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	149,466
						令和2年度 予算現額	163,300
手段手法	・休日夜間急患診療所の運営を大和市医師会に委託します。					令和2年度 決算額	151,379
						令和2年度 財源内訳	
						国庫支出金	0
						県支出金	4,767
						地方債	0
						その他	20,575
						一般財源	126,037
令和3年度 予算額	143,513						
活動内容							
指標	1 診療日数	2 診療件数	3	4			
	休日・夜間の診療日数		休日・夜間の診療件数				
	予定(目標)	365 日	12,300 件				
	令和2年度実績	365 日	2,971 件				
令和元年度実績	366 日	10,532 件					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>一次救急診療（内科・小児科）を大和市医師会への委託で実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施場所 大和市地域医療センター（鶴間1-28-5） ・診療時間 月曜日～土曜日 20時～23時 日曜祝日振替休日 9時～12時 14時～17時 20時～23時 ・診療件数 平日夜間 1,147人【3,600人】 休日昼間 1,379人【5,271人】 休日夜間 445人【1,661人】 合計 2,971人【10,532人】 ※うち、内科 1,690人、小児科 1,281人 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療所の業務委託等 149,973千円 ・その他 1,406千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は受診者数が例年に比べ大幅に減少しており、新型コロナウイルスの感染拡大による受診控え等の影響と考えられます。 ・新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行に備え、年末年始における発熱患者の診療体制を充実させるため、12/29～1/3の期間について医師などを増員し対応しました。 ・今後も引き続き、一次救急医療を適切に提供するよう努める必要があります。 						

決算書ページ 127	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 01	保健衛生総務費
事業名	07 夜間診療所運営支援事業				担当課	医療健診課
目的	休日及び夜間における内科等の入院治療等を必要とする中・重症患者のために、病院群輪番制などにより適切な二次救急医療を提供します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					55,957	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 救急告示病院又は病院群輪番制参加病院の内科等の二次救急医療の提供に係る経費に対して補助金を交付します。 				令和2年度 予算現額	
					59,487	
					令和2年度 決算額	
					59,335	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	59,335					
令和3年度 予算額						
57,688						
活動内容						
指標	1 診療日数	2 診療件数	3	4		
	休日、夜間診療日数		休日、夜間診療受診者数			
	予定(目標)	365 日	25,000 件			
	令和2年度実績	365 日	15,021 件			
令和元年度実績	366 日	19,922 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>休日及び夜間の中・重症患者に対して、病院群輪番制において、二次救急医療が安定して提供されるよう当該医療機関に係る運営費の一部を助成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 輪番病院 (内 科) 中央林間病院、桜ヶ丘中央病院、大和徳洲会病院 南大和病院、大和市立病院 (小児科) 大和市立病院 診療時間 (内 科) 月～金曜日 17時～翌日8時 土曜日 13時～翌日8時 日曜日・祝日・振替休日 8時～翌日8時 (小児科) 24時間 365日 診療件数 当番日 6,556人 【9,670人】 当番日以外 8,465人 【10,252人】 合計 15,021人 【19,922人】 <p><決算額の内訳> ・夜間診療所運営費補助金 34,535千円 ・救急搬送実績補助金 24,800千円</p>					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は受診者数が例年に比べ減少しており、新型コロナウイルスの感染拡大による受診控え等の影響が少なからずあったと考えられます。 二次救急診療件数のうち8割程度ある軽症患者の受診について、不要不急の受診を控える啓発や一次救急(地域医療センター休日夜間急患診療所)利用への誘導を行うなど、適正受診を促す取り組みを更に進める必要があります。 					

決算書ページ 127	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 01	保健衛生総務費
事業名	13 親子de健康診査事業				担当課	医療健診課
目的	多忙な子育て世代を対象として、市民の健康づくり事業の一環として健康診査を行うことにより、子育て中の母親及び父親の健康を保持増進します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					5,697	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 1歳6か月児歯科健康診査を受ける児の母親及び父親を対象に、問診、血液検査を行います。 親が安心して受診できるよう、保育を実施します。 健診結果から保健指導や精密検査の必要があると認められた人に、保健師や管理栄養士による保健指導や受診勧奨を行います。 				令和2年度 予算現額	
					7,540	
					令和2年度 決算額	
					3,090	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	3,090					
令和3年度 予算額						
7,807						
活動内容						
指標	1	親子de健康診査受診率	2	親子de健康診査受診者数	3	面接・電話による事後指導実施率
	親子de健康診査受診者数 / 1歳6か月児歯科健康診査受診者数		親子de健康診査を受診した人数		事後指導実施者数 / 保健指導が必要と判断された人	
	予定(目標)	60 %	1,002 人	70 %		
	令和2年度実績	20 %	274 人	1.8 %		
令和元年度実績	42.8 %	709 人	57.7 %			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催数 : 16回 (1歳6か月児集団歯科健康診査時に実施) 1歳6か月児歯科健康診査対象者数 1,652人【1,878人】 1歳6か月児歯科健康診査受診者数 1,367人【1,658人】 親子de健診受診者数 274人【709人】 事後指導実施者数 1人【86人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 委託料 3,046千円 消耗品 44千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、1歳6か月児集団歯科健康診査が7月まで中止となったことなどにより、大幅に受診率が減少しました。 親子de健診は、子育て世代の親が自身の健康状態に目を向ける機会となり、健診を受ける習慣がつくことが期待できることから、受診に関する周知方法を検討していく必要があります。 					

決算書ページ 127	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 01	保健衛生総務費
事業名	14 がん患者等支援事業				担当課	医療健診課
目的	がん患者や骨髄ドナー等への費用助成を行うことによつて、生活の質の維持・向上や先進医療による治療環境、骨髄提供をしやすい環境を整えます。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					2,651	
手段手法	・がん患者等を支援するための各種助成を行います。				令和2年度 予算現額	
					4,101	
					令和2年度 決算額	
					4,100	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	140
地方債	0					
その他	0					
一般財源	3,960					
令和3年度 予算額		4,008				
活動内容						
指標	1	ウィッグ購入費助成対象者数	2	重粒子線治療費助成対象者数	3	骨髄ドナー支援事業助成対象者数
	助成実績により評価します。		助成実績により評価します。		助成実績により評価します。	
	4	特別の理由による任意予防接種対象者	助成実績により評価します。			
	予 定 (目 標)	80 人	2 人	2 人	2 人	2 人
令 和 2 年 度 実 績	73 人	5 人	2 人	2 人	0 人	
令 和 元 年 度 実 績	74 人	1 人	1 人	1 人	0 人	
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抗がん剤治療等に伴い脱毛症を発症した方を対象に、ウィッグ購入費用の9割(上限3万円)を助成しました。助成件数 73件【74件】 ・重粒子線治療を実施した方を対象に、技術料の1割にあたる35万円を上限として助成しました。助成件数 5件【1件】 ・骨髄バンク事業においてドナーとなった方を対象に、ドナーが通院・入院に要した日数に応じて助成しました。助成件数 2件【1件】 ・特別の理由による任意の予防接種費用への助成に関しては実績無し。助成件数 0件【0件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウィッグ助成 2,070千円 ・重粒子線助成 1,750千円 ・骨髄ドナー助成金 280千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各助成制度の申請件数は、ここ数年概ね安定的に推移しており、利用者に対する周知は進んでいるものと思われます。 ・申請件数や市民からの声を踏まえ、引き続きより良い助成制度のあり方を検討します。 					

決算書ページ 127	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 01	保健衛生総務費
事業名	16 食育推進事業				担当課	健康づくり推進課
目的	食育に関する施策を実施することで、市民の心身の健康増進や生活の質の向上を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					1,316	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体等と連携し食育イベント等（フェアや講演会など）を開催し、食育推進運動を行います。 食に関する正しい知識の普及啓発を行います。 食生活改善推進員（ヘルスメイト）の養成講座を開催します。また、講座修了者が地域のボランティア団体である食生活改善推進協議会入会後に行う、地域の食育アドバイザーとしての活動を支援します。 市内飲食店や企業等と連携し、食環境づくりの支援を行います。 若い世代の健康課題改善に向けた取組を行います。 				令和2年度 予算現額	
					1,984	
					令和2年度 決算額	
					1,080	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	1,080					
令和3年度 予算額						
1,577						
活動内容						
指標	1	養成講座開催数	2	大和市食生活改善推進協議会の活動	3	食育イベント参加数
		食生活改善推進員養成講座開催回数とその補講回数		食育推進活動実施人数		食育フェア、食の安全に関する講座等参加者数
	予定(目標)	8 回	2,100 人	800 人	82 人	
	令和2年度実績	7 回	1,889 人	245 人	83 人	
令和元年度実績	10 回	2,221 人	1,163 人	82 人		
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>関係団体等と連携し、食育推進運動を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> Webで食育フェア：アクセス数＋企画参加 1,061件【1,088人】 食育啓発グッズ配布 11,153個【24,190個】 食育講座・健康づくり料理教室を実施 31回【27回】 やまと食の応援団登録店舗 73店【53店】 WebでHealth&Beautyフェア：アクセス数＋企画参加 485件【—】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 管理栄養士、歯科衛生士等会計年度任用職員報酬 45千円 イベント消耗品、食育推進啓発物 537千円 食育改善活動委託他 450千円 補助金 45千円 その他 3千円 					
	評価課題	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でイベントの実施方法は変更になりましたが、やまと食の応援団登録店が増えたことにより、効果的に食育の普及啓発ができるようになりました。 食生活改善推進員の人数を維持し、新しい活躍の場を広げていくことが課題です。 				

決算書ページ 129	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 01	保健衛生総務費			
事業名	17 健康づくり普及啓発事業					担当課	健康づくり推進課		
目的	地域で健康づくりのリーダーとして活動する健康普及員を支援し健康づくりを推進します。					令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 1,990		
						令和2年度 予算現額	2,210		
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 健康普及員連絡協議会において、活動の検討等を行い、地区の特徴を活かした健康普及活動（ウォーキングや健康測定会等）と市民まつりや健康都市やまとフェアの参加等、市内全域での活動を行います。 OB会が発足する等地域での活動も重層化してきており、協力体制を深めることでウォーキングイベントの強化を図ります。 活動の充実を図ることは、市民の健康意識の向上にもつながり、生活習慣病の一次予防としても大きな役割を担います。 					令和2年度 決算額	1,856		
						令和2年度 財源内訳			
						国庫支出金			0
						県支出金			0
						地方債			0
						その他			0
一般財源			1,856						
						令和3年度 予算額	1,830		
活動内容									
指標	1	健康普及員地区活動	2	講座参加者数	3	地域事業への参加回数	4	地域事業への参加者数	
		健康普及員が11地区で行う健康講座の開催回数		健康普及員が11地区で行う健康講座の参加者数		市民まつり、ふれあい広場等の健康づくり普及・啓発の回数		市民まつり、ふれあい広場等の健康づくり普及・啓発の人数	
	予定(目標)	50 回	1,600 人	80 回	5,500 人				
	令和2年度実績	24 回	431 人	14 回	14 人				
	令和元年度実績	51 回	1,264 人	47 回	5,926 人				
具体的内容	【 】内は前年度数値								
	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり普及啓発事業委託：11地区及び全体活動（年間） 健康普及員による健康講座（食生活改善推進員と協力した料理教室等）の開催 市主催事業（健康都市やまとフェア、食育フェア等）への協力 支援部会によるウォーキングマップを活用したウォーキング活動 								
	<p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 健康普及員育成講座 4回【4回】 健康普及員連絡協議会の活動(会議) 56回【76回】 健康普及員連絡協議会の活動(啓発活動) 5回【32回】 各地区における啓発活動等(健康講座) 24回【51回】 各地区における啓発活動等(その他) 9回【15回】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 健康普及員謝礼 960千円 健康づくり普及啓発委託 658千円 回覧用紙等 223千円 その他 15千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 健康普及員は自治会推薦による選出ですが、選出困難な地区があり担い手が不足しています。自治会連絡協議会に推薦依頼を行うことから、自治会やより多くの市民へ、健康普及員の必要性や活動を周知し、一層地域に根付いた活動ができるよう、地域の関係団体との調整や支援が必要です。 新型コロナウイルス感染症のため、従来通りの活動が困難でしたが、感染症を踏まえた健康普及員活動マニュアルに基づき、今後も引き続き安全に地区活動が行えるよう取り組んでいく必要があります。 								

決算書ページ 129	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 02	予防費
事業名	02 予防接種事業				担当課	医療健診課
目的	予防接種法に基づく各種予防接種を実施し、感染症の発生や蔓延を防止します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					606,863	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種法に基づく予防接種を実施します。 ・特定の任意予防接種の接種費用に対し、助成を行います。 ・接種率向上のため、予防接種スケジュールを自動で作成する予防接種モバイルサービスを提供します。また予防接種の必要性を広報やまとやホームページで周知するとともに、対象者には、個別に勧奨通知を行います。 				令和2年度 予算現額	
					833,840	
					令和2年度 決算額	
					735,401	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	7,071
					県支出金	76,257
地方債	0					
その他	0					
一般財源	652,073					
令和3年度 予算額						
720,645						
活動内容						
指標	1 PR回数	2 予防接種協力医療機関数	3 対象者数 (予防接種法におけるA類疾病)	4 接種者数 (予防接種法におけるA類疾病)		
	個別通知・広報等	予防接種協力医療機関数	定期予防接種 (A類疾病) の対象者数 (IPV, M, R除く)	定期予防接種 (A類疾病) の接種者数 (IPV, M, R除く)		
	予定 (目標)	1,161 回	174 箇所	49,404 人	52,965 人	
	令和2年度実績	1,221 回	175 箇所	51,514 人	48,905 人	
令和元年度実績	1,138 回	172 箇所	47,103 人	47,478 人		
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<p><各予防接種件数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期接種 <ul style="list-style-type: none"> A類: BCG 1,829人 B型肝炎 5,419人 ヒブ 7,475人 小児用肺炎球菌 7,354人 4種混合 7,433人 麻しん風しん 3,788人 水痘 3,821人 日本脳炎 8,025人 2期DT 1,778人 ロタ 1,750人 HPV 233人 5期MR 493人 風しんに関する追加的対策 抗体検査 2,236人 B類: 65歳以上等のインフルエンザ 32,219人 成人用肺炎球菌 1,836人 ・任意接種 成人風しん 214人 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防接種等業務委託料 717,545千円 ・その他 17,856千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザの流行期に、高齢の方が医療機関で新型コロナウイルスに感染するリスクを減らすため、65歳以上のインフルエンザ予防接種費用を無償化しました。これにより、接種件数が大幅に伸び、決算額が増額となりました。 ・令和2年10月にロタウイルスワクチンの定期接種化や、ワクチンの接種間隔の変更があったため、市民に適切に情報提供を行いました。 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、定期予防接種の接種期限を過ぎてしまった方に、接種期限を延長または任意接種の費用の払戻しの制度を設け、該当する可能性のある方に対して個別に通知を行いました。 					

決算書ページ 129	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 02	予防費
事業名	04 感染症予防事業				担当課	医療健診課
目的	感染症の発生や蔓延を防止し、公衆衛生の向上及び増進を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					736	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 感染症に関する正しい知識の普及や情報提供に努めるとともに、16歳以上で健康診断を受ける機会のない方を対象とした結核検診を実施します。 県、厚木保健福祉事務所大和センターと連携し、新型コロナウイルスや新型インフルエンザ、蚊・ダニなどの昆虫を媒介とする感染症等の新たな感染症に対処していきます。 				令和2年度 予算現額	
					58,915	
					令和2年度 決算額	
					6,730	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	1,939
					県支出金	0
地方債	0					
その他	1,053					
一般財源	3,738					
令和3年度 予算額						
5,369						
活動内容						
指標	1	集団検診等実施回数	2	結核検診受診者数	3	4
	集団方式による結核検診を実施した回数		集団方式による結核検診の受診者数			
	予定(目標)	54 回	624 人			
	令和2年度実績	36 回	460 人			
令和元年度実績	54 回	545 人				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 大和ウォークスルーPCR検査プレイス開設時の設置作業や衛生用品の購入等について支援しました。 マスクの寄附を受け、80歳以上の方等にマスクを郵送しました。 介護保険事業者等に対するPCR検査費用の助成を実施しました。 16歳以上で健康診断を受ける機会のない方を対象に胸部X線検査を実施併せて感染症予防の啓発及び情報提供を実施しました。 <p><実施状況> ・介護保険事業者等に対するPCR検査費用の助成件数 : 延べ823人</p> <p>・結核検診受診者数 : 460人【545人】</p> <p><決算額の内訳> ・感染症医療用品 2,053千円</p> <p>・通信運搬費 1,939千円</p> <p>・胸部X線間接撮影業務委託料 593千円</p> <p>・PCR検査費用助成金 2,145千円</p>					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、大和ウォークスルーPCR検査プレイスの設置支援や、介護保険事業者等へのPCR検査助成等の感染対策事業を実施したため、事業費が前年より増額しました。 引き続き新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めるとともに、新たな感染症の発生等に備えて、マスクや防護服等の衛生物品の備蓄や更新を継続する必要があります。 					

決算書ページ 129	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 03	母子保健費
事業名	02 妊婦健康診査事業				担当課	すくすく子育て課
目的	妊婦健康診査に係る費用の一部を負担し、定期的受診を勧めることで、母子の適切な健康管理ができるようにします。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					119,486	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付時に、妊娠中の医療機関への定期受診を促すために、妊婦健康診査費用補助券14回分(多胎児妊娠は17回分)、妊婦歯科健康診査受診券を妊娠期間中に1回分交付し、公費助成します。 受診結果に基づいて、事後指導を行います。 定期的に受診できるよう、随時PR活動を行います。 				令和2年度 予算現額	
					120,355	
					令和2年度 決算額	
					114,791	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	114,791					
令和3年度 予算額						
111,513						
活動内容						
指標	1	周知方法 (PR回数)	2	妊婦健康診査受診率	3	妊婦歯科健康診査受診者数
	母子健康手帳交付時・随時		1回目受診数/妊娠届出数		受診者数	
	予定 (目標)	2,000 回	96 %	600 人		
	令和2年度実績	1,864 回	95.5 %	519 人		
令和元年度実績	1,924 回	94.3 %	568 人			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>医療機関および助産院で受ける妊婦健康診査費用を助成し、事後指導が必要な妊産婦に対して保健指導を実施しました。</p> <p><健診実績 (受診状況)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・10,000円券 (2回) 3,475人【 3,624人】 ・4,000円券 (12回) 18,056人【18,857人】 ・多胎用4,000円券 (3回) 1人【 6人】 ・妊婦歯科健康診査 519人【 568人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健康診査等委託料 109,066千円 ・扶助費 4,193千円 ・会計年度任用職員報酬・期末手当 1,455千円 ・その他 77千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、母子健康手帳交付時の啓発や医療機関等の協力により、受診率の維持向上を図っていく必要があります。 ・新型コロナウイルス感染症拡大により、妊婦歯科健診の受診を控える妊婦がみられました。妊娠中の口腔衛生の向上について普及啓発や受診勧奨に努めていきます。 					

決算書ページ 129	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 03	母子保健費		
事業名	03 4か月児健康診査事業					担当課	すくすく子育て課	
目的	乳児の疾病の早期発見や発育・発達、養育環境を確認するとともに、この時期に適正な保健指導を行います。					令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 5,757	
						令和2年度 予算現額	6,171	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団健診により月4回実施します。疾病の有無や心身の発育発達の状況について診察し、健診の結果を踏まえ、必要な育児支援を行います。 ・ 受診率を高めるために、個別に受診勧奨通知を送ります。未受診家庭には家庭訪問等で状況把握をします。 ・ 健診会場において、育児に役立つ情報提供や子育て支援に関する関係機関等の周知を行い、安心して育児できるよう支援します。 ・ 健診会場において、ブックスタート事業を行います。 					令和2年度 決算額	5,622	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	0	
						地方債	0	
						その他	0	
令和3年度 予算額	6,132							
活動内容								
指標	1	受診案内件数	2	受診率	3	受診児数	4	
		住民基本台帳により把握した対象者に個別通知		受診者数/対象者の割合		保健福祉センターで行う集団健診受診児		
	予定(目標)	1,872 件		98 %		1,872 人		
	令和2年度実績	1,832 件		95.9 %		1,756 人		
	令和元年度実績	1,890 件		98.6 %		1,863 人		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>生後3～4か月児を対象に、地域医療センターで健康診査を実施しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健診方法 : 集団健康診査（地域医療センター） ・ 回数 : 月6～8回（年72回）【 36回】 ・ 対象者数 : 1,832人 【1,890人】 ・ 受診見込者数 : 1,756人 【1,863人】 ・ 受診率 : 95.9% 【98.6%】 ・ ブックスタート事業実施 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師報酬・負担金 1,100千円 ・ 会計年度任用職員報酬 3,470千円 ・ その他 1,052千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症拡大により、一時期、実施を延期しました。再開後は受診人数を少人数化し、回数を増やし、感染対策を徹底しました。延期している期間は、個別の電話による状況把握、育児相談に努めました。 ・ コロナ禍においても、安心して受診できるような環境づくりが求められます。 							

決算書ページ 129	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	母子保健費	
事業名	06 3歳6か月児健康診査事業						担当課	すくすく子育て課		
目的	3歳6か月児の発育や発達等を確認することで、支援が必要な幼児の早期発見や早期対応を行うとともに、保護者の育児不安の解消を図ります。						令和元年度 決算額 (以下単位:千円)		9,754	
							令和2年度 予算現額		10,357	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団健診により月4回実施します。一般健康診査では心身の発育発達や疾病の有無について診察し、歯科健康診査では、むし歯や口腔内の異常等を診察します。 ・ 視聴覚検査は専門機関に委託し精度管理を図ります。 ・ 健康診査の中では育児、栄養、歯科、こども（心理）相談を行います。 ・ 受診率を高めるために、個別に受診勧奨通知を送付します。また、未受診児に対しては、家庭訪問により受診勧奨します。 						令和2年度 決算額		9,078	
							令和2年度 財源内訳			
							国庫支出金			0
							県支出金			0
							地方債			0
							その他			0
一般財源			9,078							
		令和3年度 予算額		15,508						
活動内容										
指標	1	受診案内件数	2	受診児数	3	受診率	4	健診回数		
	住民基本台帳により把握した対象者に個別通知		地域医療センターで行う集団健診の受診児		地域医療センターで行う集団健診の受診率		月4回×12ヶ月			
	予定(目標)	1,957 件	1,889 人	96.5 %	24 回					
	令和2年度実績	1,447 件	1,304 人	90.1 %	48 回					
令和元年度実績	2,002 件	1,915 人	95.7 %	24 回						
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>3歳6か月～3歳11か月児を対象に地域医療センターで健康診査を実施しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健診方法 : 集団健康診査（地域医療センター） ・ 回数 : 月6回（R2年8月～R3年3月）【24回】 ・ 対象者数 : 1,447人【2,002人】 ・ 受診見込者数 : 1,304人【1,915人】 ・ 受診率(見込) : 90.1%【95.7%】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師・歯科医師報酬、負担金 2,640千円 ・ 会計年度任用職員報酬 3,256千円 ・ 精密検査・視聴覚委託料 2,457千円 ・ その他 725千円 									
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症予防対策を講じ、保護者が安心して受診できるよう配慮する必要があります。 ・ 一時期健診を延期していた影響により、3歳6か月を過ぎての受診となっているため、未受診家庭に対しては早期にアプローチし、虐待予防の観点から、未受診児の状況把握に努めます。 									

決算書ページ 129	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 03	母子保健費		
事業名	08 母子保健相談指導事業					担当課	すくすく子育て課	
目的	安全な出産を迎えるために母体の健康管理を行うこと、 出産後の健康管理や育児・健康面における情報提供や相談に対応することで、子育て家庭の支援を行います。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	3,919	
						令和2年度 予算現額	5,720	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届を受理し、母子健康手帳を交付します。 ・妊娠・出産に向けた知識の普及啓発のための各種教室を開催します。 ・2歳児歯科相談および育児相談を開催します。 ・1歳6か月児健康診査後のフォロー教室として「おやこ教室」を開催します。 ・子育て何でも応援メールを、LINE、Twitter、メールで配信します。 					令和2年度 決算額	4,896	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金	67	
						県支出金	0	
						地方債	0	
						その他	0	
令和3年度 予算額	4,829							
令和3年度 予算額							6,368	
活動内容								
指標	1	プレママ・パパ教室、イクメン講座参加者延べ数	2	もぐもぐ教室参加者数	3	1歳児育児教室参加利用者数	4	2歳児歯科相談利用者数
		初妊婦とその夫の教室参加者延べ数		4~8か月児の保護者の離乳食教室参加者数		1歳~1歳3か月児と保護者の育児・幼児食教室参加者数		相談者数
	予定(目標)	1,440 人	600 人	500 人	400 人			
	令和2年度実績	0 人	0 人	0 人	93 人			
令和元年度実績	1,084 人	493 人	417 人	240 人				
具体的内容	【 】内は前年度数値							
	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出があった妊婦に、母子健康手帳を交付しました。 ・「子育て何でも応援メール」について、従来からのメールによる配信だけでなく、7月からLINE、Twitterの配信を開始し、充実しました。 <p><主な事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> プレママ・パパ教室： 0回【45回】 もぐもぐ教室： 0回【22回】 ※新型コロナウイルス感染拡大により、中止となりました。 子育て何でも応援メール配信者延数（3月末現在）： 5,695人【4,090人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師・会計年度任用職員報酬 823千円 ・委託料（子育て支援メール配信委託） 2,697千円 ・その他 1,376千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各種教室・相談事業については、感染症対策を講じながら、妊婦やその夫、保護者が安心して参加できる場となるよう、引き続き運営方法・教室内容の見直しを行い、実施していきます。 ・保護者が子育て情報を得やすいツールとして、子育て何でも応援メールの周知に努めていきます。 							

決算書ページ 129	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 03	母子保健費		
事業名	09 妊産婦・新生児等訪問事業					担当課	すくすく子育て課	
目的	子育て家庭の孤立化を防ぎ、地域の中で子どもが健やかに育成できる環境整備を図ります。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	7,108	
						令和2年度 予算現額	7,872	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・おおむね生後4か月までの乳児がいる家庭を助産師・保健師・管理栄養士・看護師が訪問し、育児環境の確認や育児支援及び情報提供を行います。 ・各種健康診査において、継続支援が必要な妊婦や乳幼児を対象に保健師や管理栄養士が訪問し、必要な支援を行います。 ・産前産後サポート事業として「助産師さん何でも相談」を開設し、電話、面接相談に応じます。 ・「赤ちゃん訪問プラス」として、育児不安のある家庭に保健師等が再度訪問します。 					令和2年度 決算額	6,246	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金	2,626	
						県支出金	1,658	
						地方債	0	
						その他	0	
令和3年度 予算額	6,828							
活動内容								
指標	1 訪問指導数(全数・継続支援)	2 生後4か月までの乳児家庭訪問	3 赤ちゃん訪問プラス訪問指導人数	4 助産師何でも相談支援件数				
	乳幼児家庭訪問および継続支援の訪問指導延べ人数	おおむね生後4か月までの乳児家庭が対象	赤ちゃん訪問プラスでの家庭訪問延べ人数	助産師の所内相談・電話相談や訪問実施数				
	予定(目標)	5,300 人	1,925 件	150 人	1,500 件			
	令和2年度実績	4,290 人	1,619 件	82 人	1,677 件			
令和元年度実績	4,981 人	1,846 件	103 人	1,385 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>子育て何でも相談・応援センター（子育て世代包括支援センター）と連携し、妊産婦・新生児等の家庭訪問を実施しました。</p> <p><実施状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問延べ人数 4,290人【4,981人】 ・生後4か月までの乳児家庭訪問数 1,619人【1,846人】 ・乳児家庭全戸訪問実施率 90.7%【95.3%】 ・赤ちゃん訪問プラスでの訪問数 82件【103件】 ・「助産師さん何でも相談」相談件数 1,677件【1,385件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員報酬 6,005千円 ・その他 241千円 							
	評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「助産師さん何でも相談」は、出産後まもない産婦だけでなく、初妊婦に対し出産前に電話によるアプローチを行い、妊娠中の不安の解消に努めました。 ・新型コロナウイルス感染症への懸念から訪問を控えるケースが多くあり、乳児全戸訪問の実施率が減少しました。適切な時期に訪問し、産後うつ予防、育児不安の軽減や子育ての孤立化を防ぐため、引き続き産科医療機関と連携し、支援に努めます。 						

決算書ページ 131	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 03	母子保健費
事業名	10 不妊治療費助成事業				担当課	すくすく子育て課
目的	不妊に悩む夫婦の経済的負担を軽減し、少子化対策の充実に努めます。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					16,898	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 一般不妊治療費助成 不妊治療期間12ヶ月を1期とし、2期までを助成対象期間とします。1期につき、治療に要した費用の自己負担の2分の1(上限5万円)を助成します。 特定不妊治療費助成 助成回数の算定方法は神奈川県の実定に基づくものとします。治療に要した保険診療外の医療費から、県の助成額を控除した額の2分の1(上限5万円)を助成します。 				令和2年度 予算現額	
					18,118	
					令和2年度 決算額	
					17,597	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	17,597					
令和3年度 予算額						
16,674						
活動内容						
指標	1	一般不妊治療費助成件数	2	特定不妊治療費助成件数	3	4
	助成制度を活用し一般不妊治療を実施した件数		助成制度を活用して特定不妊治療を実施した件数			
	予定(目標)	128 件	237 件			
	令和2年度実績	131 件	216 件			
令和元年度実績	135 件	212 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>一般不妊治療(タイミング法、薬物療法、人工授精等)、特定不妊治療(体外受精顕微授精)に要した医療費の一部を助成しました。</p> <p><一般不妊治療></p> <ul style="list-style-type: none"> 申請件数 131件【136件】 助成決定数 131件【135件】 <p><特定不妊治療費></p> <ul style="list-style-type: none"> 申請件数 218件【212件】 助成決定数 216件【212件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 一般不妊治療助成金 5,723千円 特定不妊治療費助成金 10,413千円 その他 1,461千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 対象となる市民に広報誌やホームページへの掲載、医療機関へポスター掲示を依頼するなど様々な方法で周知をはかりました。 国は不妊治療について公的医療保険の適用とする方針としています。国の動向を注視しながら、対象となる夫婦に対し、より効果的な支援策となるよう検討が必要です。 					

決算書ページ 131	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 03	母子保健費	
事業名	11 不育症治療費助成事業				担当課	すくすく子育て課	
目的	不育症に悩む夫婦の経済的負担を軽減し、少子化対策の充実を図ります。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 786	
					令和2年度 予算現額	787	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 専門の医療機関で受けた不育症の保険診療対象外の治療及びその治療に係る検査に要した費用の自己負担額の一部（年度あたり上限30万円）を助成します。 				令和2年度 決算額	529	
					令和2年度 財源内訳		
					国庫支出金		0
					県支出金		0
					地方債		0
					その他		0
一般財源		529					
					令和3年度 予算額	604	
活動内容							
指標	1	不育症治療費助成件数	2		3		
	助成制度を活用し不育症の治療をした件数						
	予定(目標)	10 件					
	令和2年度実績	4 件					
令和元年度実績	8 件						
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>不育症治療費に要した医療費の一部を助成しました。</p> <p><不育症治療助成></p> <ul style="list-style-type: none"> 申請件数 4件【8件】 助成件数 4件【8件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 不育症治療費助成金 518千円 その他 11千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 広報やホームページへの掲載、医療機関へのポスター掲示等、様々な方法で周知に努めました。今後も不育症という疾患や本事業の周知に努めていく必要があります。 国は不育症治療について、新たな助成制度を設けることとしています。国の動向に注視しながら、対象となる夫婦に対し、より効果的な支援策となるよう検討が必要です。 						

決算書ページ 131	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 03	母子保健費
事業名	13 出産費用助成事業				担当課	すくすく子育て課
目的	第3子以降を出産した世帯の経済的負担を軽減することで、安心して産みやすい環境を整えます。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 5,123
					令和2年度 予算現額	5,449
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産費用（分娩及び入院費）から、加入している健康保険組合が助成した出産育児一時金などを控除した額の2分の1（上限5万円）を助成します。所得制限や市税の滞納がないなどの条件があります。 				令和2年度 決算額	5,448
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
					その他	0
一般財源	5,448					
					令和3年度 予算額	5,040
活動内容						
指標	1	出産費用助成件数	2		3	
	申請を受理し、助成対象となった件数					
	予定(目標)	128 件				
	令和2年度実績	126 件				
令和元年度実績	122 件					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>第3子以降を出産した夫婦に対して、出産費用の一部助成を行ないました。</p> <p>< 出産費用助成 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 申請件数 131件【132件】 ・ 助成決定件数 126件【122件】 <p>< 決算額の内訳 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出産費用助成金 5,434千円 ・ その他 14千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象となる市民へは、母子健康手帳の交付時や乳児家庭全戸訪問時さらには4か月児健康診査受診時などあらゆる機会に周知を図ります。 ・ 今後第3子以降の出産を考えている方にも情報提供ができるよう引き続き市ホームページや広報、子育て情報等の掲載等において広く周知を図ります。 					

決算書ページ 131	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 03	母子保健費	
事業名	14 産後健康診査事業				担当課	すくすく子育て課	
目的	出産後まもない時期の産婦に対する健康診査に係る費用を助成することにより、産後うつ等のリスクが高い産婦の早期把握と支援を行います。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 0	
					令和2年度 予算現額	15,173	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県産婦人科医会への委託及び償還払い ・ 産後2週間、1か月時点で健診を医療機関が実施します。 ・ 医療機関は、精神状態の把握として、エジンバラ産後うつ病の実施、問診、診察などを併せて総合的に評価。セルフケアに関する助言や指導、実施機関での経過観察、精神科に関する情報提供等を行います。 ・ 医療機関は、上記の内容を速やかに市に報告します。市は早急に訪問を行い、家族や精神科医療機関との調整などの支援を開始します。 				令和2年度 決算額	13,747	
					令和2年度 財源内訳		
					国庫支出金	7,406	
					県支出金	0	
					地方債	0	
					その他	0	
令和3年度 予算額	14,325						
活動内容							
指標	1	産後健康診査受診者率	2	産後健康診査受診者延べ数	3	早期に支援が必要な産婦	
		産後健康診査受診者率(1か月健診)		産後健康診査受診者延べ数		医療機関より継続支援依頼人数	
	予定(目標)	80 %	3,064 回	190 人			
	令和2年度実績	82 %	2,693 回	191 人			
	令和元年度実績	0 %	0 回	0 人			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>産後2週間、1か月の時期に受診する産後健康診査費用の助成を行ない、産後うつ等で支援を要する産婦の早期把握に努めます。</p> <p><実績(受診状況)></p> <p>産後2週間 1, 209人</p> <p>産後4週間 1, 484人</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産後健康診査等委託料 13, 128千円 ・ 扶助費 600千円 ・ その他 19千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援を要する産婦191人を早期に把握し、赤ちゃん訪問や産後ケア事業などの支援につなげました。 ・ 今後も産後健康診査の受診勧奨に努めるとともに、産科医療機関と連携し、産後うつ等のリスクが高い産婦の早期把握を行う必要があります。 						

決算書ページ 131	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 03	母子保健費
事業名	15 産後ケア事業				担当課	すくすく子育て課
目的	出産後まもない時期の母子に対して、心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制を確保します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					0	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 市内産科医療機関でデイサービス型支援を実施します 母親の身体的ケア及び保健指導、栄養指導、心理ケア授乳指導、育児相談を行います。 食事や休養の場の提供を行います。 「子育て何でも相談・応援センター」の専任保健師が利用にあたって面接もしくは訪問を実施し、状況を確認、他のサービス利用を含めたコーディネートを実施します。 				令和2年度 予算現額	
					8,284	
					令和2年度 決算額	
					2,873	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	1,436
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	1,437					
令和3年度 予算額						
8,284						
活動内容						
指標	1	産後ケア事業利用者	2	産後ケア利用回数	3	4
	産後ケア事業申請者数					
	予定 (目標)	366 人	366 件			
	令和2年度 実績	93 人	158 件			
令和元年度 実績	0 人	0 件				
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>産後4か月までの母子を対象に、市内産科医療機関1か所でデイサービス型による心身のサポート、食事や休養の場の提供を行いました。</p> <p><利用人数></p> <ul style="list-style-type: none"> 実人数 93人 利用回数 158件 (多胎児1件含む) <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 委託料 2,853千円 需用費 20千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大により、市内産科医療機関2か所で実施予定であったものが、1か所での実施となりました。 出産後の心身のケアが十分に得られず、産後うつのある産婦をサポートするため、今後も支援体制を確保する必要があります。 					

決算書ページ 131	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	04	健康増進費
事業名	01 健康診査事業						担当課	医療健診課	
目的	各種がん検診や特定健康診査を実施し、がんや生活習慣病の早期発見・早期治療につながる機会の確保に努めます。						令和元年度 決算額 (以下単位:千円)		781,057
							令和2年度 予算現額		859,586
手段手法	・健康増進法に基づく各種がん検診（胃、肺、大腸、乳房、子宮）、肝炎ウイルス検診、前立腺がん検診及び骨粗しょう症検診を実施するとともに高齢者の医療の確保に関する法律の対象とならない方に対して、特定健康診査を実施します。						令和2年度 決算額		723,102
							令和2年度 財源内訳		
							国庫支出金	7,692	
							県支出金	7,542	
							地方債	0	
							その他	0	
一般財源	707,868								
		令和3年度 予算額		727,711					
活動内容									
指標	1	集団がん検診受診者数	2	施設がん検診受診者数	3	精検受診未把握者アンケート送付数	4	精検受診未把握者アンケート返信数	
		集団方式のがん検診の受診者数		施設がん検診受診者数		精密検査結果が市に返送されていない方への受診状況の確認		アンケートにより精検結果を把握した数	
	予定(目標)	13,818 人	68,091 人	1,900 人	1,200 人				
	令和2年度実績	9,216 人	56,533 人	1,658 人	858 人				
令和元年度実績	13,259 人	60,993 人	1,925 人	1,079 人					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんの早期発見に繋がるよう、集団がん検診・施設がん検診を実施しました。 ※新型コロナウイルスの緊急事態宣言期間中は、感染拡大により一部期間において集団がん検診を中止しました。 ・乳がん・子宮がんの無料クーポン券を受診券に統合するなど、受診券の利便性向上を図りました。 ・集団がん検診(5がん)の日に保育を実施しました(4回)。 ・5がん検診受診者数(延べ) : 65,749人【74,252人】 ・前立腺がん検診受診者数 : 7,920人【7,827人】 ・肝炎ウイルス検診受診者数 : 1,792人【2,418人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団がん検診 30,563千円 ・施設がん検診 608,055千円 ・特定健康診査 40,132千円 ・その他 44,352千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は受診者数がこれまでで最も多くなりましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少しました。 ・感染症流行下においても、がんの早期発見のため検診受診は重要であることから、検診の重要性について引き続き啓発を行っていく必要があります。 ・検診会場における感染拡大防止に努めつつ、検診を進めていきます。 								

決算書ページ 131	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 04	健康増進費		
事業名	04 健康相談・教育事業					担当課	健康づくり推進課	
目的	健康増進法に基づき、健康診査後の事後指導及び生活習慣病予防のための保健師や管理栄養士等による相談・教育・訪問指導を実施します。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	23,229	
						令和2年度 予算現額	31,826	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防・重症化予防、フレイル予防を目的に健診結果から対象者を抽出し、保健師・管理栄養士による個別訪問等の地区活動を展開します。 健康等に関する不安の解消や市民の健康の維持増進を図るため、24時間健康相談を実施します。 文化創造拠点シリウスの健康度見える化コーナー、市民交流拠点ポラリスの健康度測定コーナーを活用し健康増進及び生活習慣病予防を図ります。 高齢者の保健事業と介護予防事業を一体的に実施します。 					令和2年度 決算額	27,903	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	1,055	
						地方債	0	
						その他	3,384	
令和3年度 予算額	23,464							
令和3年度 予算額							32,413	
活動内容								
指標	1	健康教育参加人数	2	健康相談者数	3	訪問指導件数	4	24時間健康相談入電件数
		市民や地域の団体から依頼があり、開催した健康講座など		電話相談、窓口での来所相談、教室開催時の健康相談		訪問指導を行った延件数		入電延件数
	予定(目標)	14,000 人	9,000 人	1,800 件	18,500 件			
	令和2年度実績	1,206 人	1,238 人	238 件	17,709 件			
	令和元年度実績	17,658 人	11,025 人	1,674 件	17,925 件			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>健康診査の結果から保健指導が必要な対象者を抽出して行う訪問指導や健康相談、集団健康教育を実施しました。また、文化創造拠点シリウス内の健康度見える化コーナーにおいても、健康講座を実施しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 健康相談：相談者延数 1,238人【11,025人】 健康教育：開催回数 72回【444回】 参加者延数 1,206人【17,658人】 訪問指導：被指導者実数 181人【975人】 被指導者延数 238人【1,674人】 やまと24時間健康相談：相談延件数 53,305件【58,100件】 入電件数 17,709件【17,925件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 24時間健康相談業務委託など 21,989千円 その他 5,914千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 24時間健康相談の債務負担行為（3年6か月契約）の切り替えのため、決算額が増額となりました。 新型コロナウイルス感染症のため、従来通りの活動が困難でしたが、電話相談に変更する等実施方法を工夫したり、感染予防対策を徹底して実施しました。 引き続き感染予防対策を徹底したうえで、個人のニーズに合わせて効果的な保健事業を展開できるよう努めます。 							

決算書ページ 131	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 04	健康増進費
事業名	05 大和市健康ポイント事業				担当課	健康づくり推進課
目的	自主的な健康づくりに取り組むためのきっかけをつくる とともに、習慣化されるよう支援します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					4,014	
手段手法	・特定健診や各種がん検診、健康に関する教室、イベントなど、市が指定する健康づくりに係るプログラムへの参加に対してポイントを付与し、一定数のポイントに到達した応募者の中から抽選で景品を交付します。				令和2年度 予算現額	
					6,483	
					令和2年度 決算額	
					5,436	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	605					
一般財源	4,831					
令和3年度 予算額						
5,763						
活動内容						
指標	1	ポイント対象事業数	2	ヤマトン健康ポイントカードの応募枚数	3	ヤマトン健康ポイント協力認定団体数
	ヤマトン健康ポイントが付与されるイベント、教室等の数		応募されたヤマトン健康ポイントカードの総数		ヤマトン健康ポイント協力認定団体として登録した団体の数	
	予定(目標)	330 事業	10,500 枚	70 団体	2,000 人	ヤマトン健康ポイントカードの応募人数
	令和2年度実績	244 事業	5,521 枚	62 団体	1,217 人	ヤマトン健康ポイントカードを応募した市民の実人数
令和元年度実績	268 事業	8,934 枚	58 団体	1,760 人		
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病発症リスクの低い時期から健康づくりの習慣化を促すことを目的に対象者を40歳以上から20歳以上の市民に拡大しました。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ポイント対象事業数 244 事業 【 268 事業】 ポイントカード応募枚数 5,521 枚 【 8,934 枚】 ヤマトン健康ポイント協力認定団体数 62 団体 【 58 団体】 ポイントカード応募実人数 1,217 人 【 1,760 人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 健康ポイント還元物品 1,151 千円 ポイントカード印刷等 555 千円 ポイントカード封入封緘等委託 853 千円 その他 2,877 千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 対象者を40歳以上から20歳以上に拡大したことに伴う業務増加に対応するため、昨年度と比較して決算額が増加しました。 対象者を40歳以上から20歳以上に拡大したことにより、より多くの市民が健康づくりに取り組む機会を得られるようになりました。 新型コロナウイルス感染症により、ポイント対象事業の中止が相次ぎ、事業を縮小せざるを得ない状況になり、応募者数が減少しました。コロナ過においても習慣化支援を継続できるよう、市民がより参加しやすくなる仕組みを検討する必要があります。 					

決算書ページ 131	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 04	健康増進費		
事業名	06 歩く健康づくり事業					担当課	健康づくり推進課	
目的	歩くことによる健康づくりにより、市民の健康増進及び介護予防等の推進を図ります。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	5,974	
						令和2年度 予算現額	7,188	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 市民に歩くことを意識付けし、歩くことの効用について、普及啓発を図ります。 歩くことによる健康づくりの普及定着を図るため、イベントを開催します。 					令和2年度 決算額	4,544	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金		0
						県支出金		0
						地方債		0
						その他		0
一般財源		4,544						
						令和3年度 予算額	5,794	
活動内容								
指標	1	やまとウォーキンピック参加者数	2	普及啓発のためのイベント回数	3	ウォーキングサインの設置件数	4	
				イベント等で歩く健康づくりの普及啓発を行います				
	予定(目標)	3,200 人	6 回		70 箇所			
	令和2年度実績	1,385 人	2 回		48 箇所			
	令和元年度実績	2,972 人	5 回		91 箇所			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩くことの効用について、講演会の開催などにより普及啓発を図ります。 市民に歩くことを意識していただくために、道路沿いにウォーキングサインを設置します。 ウォーキンピックを開催し、歩くことによる健康づくりの普及定着を図ります。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> やまとウォーキンピックの参加者数 1, 385人【2, 972人】 普及啓発のイベント回数 2回【 5回】 ウォーキングサインの設置箇所 48箇所【 91箇所】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 歩数計等 2, 193千円 ・その他 1, 407千円 イベント表彰関係記念品 646千円 ウォーキングサイン設置 298千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> やまとウォーキンピックは、新型コロナウイルス感染症の影響により、年度2回の開催が1回となりましたが、感染対策をし、コロナ禍でも、歩く健康づくりに取り組めるようなイベントとして、実施することができました。 ウォーキングサインを新たに設置したことで、歩く健康づくりを意識していただける環境をより充実することができました。 新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントや講座等が開催できない中でも、市民が自主的に歩く健康づくりに取り組める仕組みを検討する必要があります。 							

決算書ページ 131	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 06	環境対策費
事業名	02 環境意識啓発事業				担当課	環境総務課
目的	市民と事業者の環境問題に関する行動変容を目指して、環境意識の高揚や啓発を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					1,075	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ等で環境行政情報を提供します。 市内小中学校において「かんきょうノート」を配布し、児童・生徒の環境意識を啓発します。 「やまと みどりの学校プログラム」を支援します。 「こどもエコクラブ」を支援します。 市民環境調査（セミのぬけがら調査）を実施します。 				令和2年度 予算現額	
					1,145	
					令和2年度 決算額	
					930	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	930					
令和3年度 予算額						
941						
活動内容						
指標	1	かんきょうノートの配布対象数	2	「やまと みどりの学校プログラム」取組学校数	3	環境省こどもエコクラブ登録団体支援数
	市内公立の中学校生徒数と小学5年生の児童数		自発的に行う身近な環境保全活動への取組学校数		市内の民間非営利団体等で支援を受けた団体数	
	予定(目標)	7,300 部	28 校	1 団体		
	令和2年度実績	7,213 部	22 校	1 団体		
令和元年度実績	7,369 部	28 校	1 団体			
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>環境意識の高揚や環境保全活動の推進に向けて、啓発を図りました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 市民環境調査参加者数 0人【 53人】 (新型コロナウイルス感染症のため中止) やまと みどりの学校プログラム登録件数 28件【 48件】 登録学校数 22校【 28校】 かんきょうノートの配布件数 5,872部【6,028部】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 環境学習支援事業委託料 648千円 やまと みどりの学校プログラム消耗品 277千円 その他 5千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度においては、コロナ禍により、中止や縮小せざるを得ない活動が生じています。 国が新たな温室効果ガス排出量削減目標を示した中、その実現に向けて、市民、児童・生徒、事業者などへのさらなる環境意識啓発が必要です。 みどりの学校プログラムでは、学校における環境教育の普及に伴いテーマが多様化していることから、ニーズに応じた支援を行う必要があります。 市民や事業者にさらに呼びかけ市民環境調査等への参加者を増やしていく必要があります。 					

決算書ページ 133	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 06	環境対策費
事業名	05 太陽光発電等推進事業				担当課	環境総務課
目的	再生可能エネルギー（太陽光）等の利用促進により地球温暖化対策を推進し、脱炭素社会の実現を目指します。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 9,927
					令和2年度 予算現額	9,218
手段手法	・住宅用の太陽光発電システム、リチウムイオン蓄電池、家庭用燃料電池システム等の設置に対し、補助金を交付します。				令和2年度 決算額	5,640
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
					その他	0
					令和3年度 予算額	7,973
活動内容						
指標	1	太陽光発電システム等設置費補助件数	2	家庭用燃料電池システム設置費補助件数	3	太陽熱利用システム設置費補助件数
		住宅用太陽光発電システムの設置費補助金交付件数		家庭用燃料電池システムの設置費補助金交付件数		住宅用太陽熱利用システムの設置費補助金交付件数
	予定(目標)	110 件	90 件	1 件		
	令和2年度実績	66 件	68 件	0 件		
	令和元年度実績	112 件	78 件	0 件		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>住宅用太陽光発電システム、HEMS、リチウムイオン蓄電池、家庭用燃料電池等の設置に対して、補助金を交付します。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電システム設置費補助金交付件数 66件【112件】 ・HEMS設置費補助金交付件数 22件【55件】 ・リチウムイオン蓄電池設置費補助金交付件数 26件【11件】 ・家庭用燃料電池システム設置費補助金交付件数 68件【78件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電システム設置費補助金交付額 2,368千円 ・HEMS設置費補助金交付額 176千円 ・リチウムイオン設置費補助金交付額 1,040千円 ・家庭用燃料電池システム設置費補助金交付額 2,020千円 ・需用費及び役務費 36千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、コロナ禍により住宅工事の着工件数が減少したことにより、補助件数及び補助額が減少し、決算額が減額となりました。 ・普及状況と申請状況を踏まえ、令和2年度をもってHEMSと太陽熱利用システムへの補助を取りやめます。 ・国が表明した2030年度までの温室効果ガス排出量の大幅削減に向けて、本市においても住宅用太陽光発電等システム等の再生可能エネルギー設備の普及を、より一層進める必要があります。 					

決算書ページ 133	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 06	環境対策費
事業名	06 公共施設省エネ推進施設整備事業				担当課	環境総務課
目的	再生可能エネルギーの活用など公共施設の省エネを推進することにより、脱炭素社会の実現を目指します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					14,324	
手段手法	・市内の公共施設に太陽光発電設備を設置します。				令和2年度 予算現額	
					5,525	
					令和2年度 決算額	
					3,960	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	2,900
その他	0					
一般財源	1,060					
令和3年度 予算額						
32,425						
活動内容						
指標	1	太陽光発電設備導入件数	2		3	
	公共施設への太陽光発電設備の導入件数					
	予定(目標)	0 件				
	令和2年度実績	0 件				
令和元年度実績	1 件					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度に完了予定のコミュニティセンター中央林間会館への太陽光発電等設備等の設置工事について、業務委託を実施しました(令和3年度継続事業です)。 令和3年度に実施するコミュニティセンター深見中会館への太陽光発電等設備等の設置工事について、設計業務委託を実施しました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 中央林間会館太陽光発電設備及び蓄電池設置工事 3,069千円 深見中会館太陽光発電設備及び蓄電池設置工事設計業務委託 883千円 その他 8千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 国庫補助の状況により、令和2年度は設置完了がないため、執行額が減額となっています。 2030年度までの温室効果ガス排出量の大幅削減に向けて、公共施設における太陽光発電等設備の設置を進めてまいります。 特定指定避難所であるコミュニティセンターに、停電時にも給電できる太陽光設備等を設置することにより、防災能力の強化につながっています。 					

決算書ページ 133	款 04	衛生費	項 01	保健衛生費	目 06	環境対策費
事業名	08 公害対策調査事業				担当課	生活環境保全課
目的	市内の環境汚染状況の把握及び事業所における法令規制基準の遵守状況の調査・指導を行い、公害防止を図ります。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 14,928
					令和2年度 予算現額	16,127
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 窒素酸化物メッシュ調査、酸性雨調査、河川水質調査、地下水質調査、工場排水調査、道路・事業所の騒音・振動調査、事業所の悪臭調査を実施し、環境汚染の把握及び公害対策の推進を図ります。 				令和2年度 決算額	15,179
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
					その他	0
令和3年度 予算額	15,179					
令和3年度 予算額 14,815						
活動内容						
指標	1 河川の測定	2 地下水の測定	3 道路騒音の測定	4		
	測定した件数	測定した件数	測定した件数			
	予定(目標)	60 件	12 件	6 件		
	令和2年度実績	60 件	12 件	6 件		
	令和元年度実績	60 件	12 件	6 件		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>市内の環境汚染状況を把握するために、各種調査を実施しました。</p> <p><実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 河川水質調査：5地点 地下水質調査：定点4地点他 騒音測定：自動車騒音常時監視 6地点他 環境中のダイオキシン類調査 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 業務委託料 11,246千円 施設管理・保守等委託料 2,807千円 その他 1,126千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 公害関係法令に基づき環境汚染状況を把握し、公害対策の推進を引き続き図ります。 法令改正に合わせて調査項目等が追加されますので、過去の調査結果を元に調査頻度等を検討し、調査の効率化を図ります。 					

決算書ページ 133	款 04	衛生費	項 02	清掃費	目 01	清掃総務費
事業名	04 ごみ減量化推進事業				担当課	廃棄物対策課
目的	ごみの減量化及び資源化の推進を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					4,537	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ごみ量、資源化量の推移等を公開します。 ごみの減量化・資源化の啓発を行うとともに、市民等の協力のもと施策を推進します。 一般廃棄物処理基本計画の目標達成に向け、ごみの減量化・資源化の取組みを進めます。 				令和2年度 予算現額	
					402	
					令和2年度 決算額	
					204	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	204					
令和3年度 予算額						
69						
活動内容						
指標	1	広報等での周知回数	2	市民1人1日当たりの家庭系ごみ排出量	3	リサイクル率
	ごみ減量化・資源化に関する市民への周知回数		家庭系ごみ総排出量/人口/日		(総資源化量/総排出量) × 100	
	予定(目標)	4 回	440 g	31.8 %		
	令和2年度実績	2 回	438 g	29.8 %		
令和元年度実績	4 回	424 g	28.2 %			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>市民や事業者等と協力して、ごみの減量化及び資源化を推進します。また、国の動向等を注視しつつ、必要に応じ資源化品目の見直し等を検討します。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 啓発チラシ等配布人数 2,000人【2,397人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート調査郵送費 204千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 大和市一般廃棄物処理基本計画改定前の、平成26年度に448gであった市民1人1日当たりの家庭系ごみ排出量は、令和2年度は438gで、中間目標値の440g(令和2年度)及び最終目標値の438g(令和7年度)とほぼ同じ水準となっており、引き続きごみの発生抑制の啓発に努めます。 平成26年度に22.2%であったリサイクル率は、令和2年度に29.8%に増加しましたが、中間目標値の31.8%及び最終目標値の32.2%の達成に向けて、資源化を推進する必要があります。 「リデュース」の推進について、新たな啓発手法等を検討していきます。 					

決算書ページ 133	款 04	衛生費	項 02	清掃費	目 01	清掃総務費
事業名	05 資源循環型生ごみ処理事業				担当課	廃棄物対策課
目的	学校給食調理くず等の減量化及び資源化の推進を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					2,668	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・業務用生ごみ処理機で生成された堆肥を使用して収穫した農作物の学校給食への利用を確認するとともに推進します。 ・給食生ごみの堆肥化を起点とした資源循環システムの仕組みを、環境学習における題材として活用するよう学校に働きかけます。 ・前年度の資源循環システムによる堆肥化実績、及び農産物納入実績を単独調理校8校へ報告を行い、環境学習、食育での活用を働きかけます。 				令和2年度 予算現額	
					3,123	
					令和2年度 決算額	
					2,438	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	2,438					
令和3年度 予算額						
2,983						
活動内容						
指標	1	生ごみ処理機への生ごみ投入量	2	生ごみ堆肥利用量	3	4
	生ごみ処理機により資源化できた生ごみの量		生ごみ処理機で処理した生成品を農産物栽培等に利用した量			
	予定(目標)	30 t	6 t			
	令和2年度実績	10.8 t	1.8 t			
令和元年度実績	23.4 t	4.9 t				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>学校給食単独調理校（8校）から排出される調理くず等の生ごみを、各校に設置した業務用生ごみ処理機により堆肥化し、また、協力農家がこれを利用し農作物を栽培して、収穫された農作物を給食食材として利用しました。</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務用生ごみ処理機保守点検等委託費 1,550千円 ・業務用生ごみ処理機修繕 327千円 ・協力農家協定負担金 561千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・設置した業務用生ごみ処理機の適切な維持管理に努め、学校給食単独調理校8校から排出された生ごみ10.8トンが減量するとともに、生成された堆肥1.8トンを協力農家に利用してもらいました。 ・学校給食共同調理場から排出される生ごみの資源化に向け、手法の調査や環境関連計画への位置付け等の支援を行っていきます。 					

決算書ページ 133	款 04	衛生費	項 02	清掃費	目 01	清掃総務費			
事業名	06 路上喫煙防止対策事業					担当課	生活環境保全課		
目的	清潔で安全・安心が感じられる快適な環境を確保するため、路上喫煙防止に取り組みます。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	15,626		
						令和2年度 予算現額	17,806		
手段手法	・路上喫煙防止の周知徹底のため、重点禁止区域である大和駅を中心に、市内各駅等における巡視・指導業務を実施します。					令和2年度 決算額	17,354		
						令和2年度 財源内訳			
						国庫支出金		0	
						県支出金		0	
						地方債		0	
						その他		0	
一般財源		17,354							
						令和3年度 予算額	17,628		
活動内容									
指標	1	路上喫煙の実態調査の回数	2	指導件数	3	路上喫煙防止対策用啓発チラシ	4	路上喫煙禁止路面標示の貼り替え	
		路上喫煙防止対策の推進の効果を確認する調査活動		路上喫煙者に対する指導の件数		春と秋に、市内8駅で行うチラシの配布活動		老朽化した路上喫煙禁止標示の貼り替え	
	予定(目標)	4	回	3,000	件	7,000	枚	226	枚
	令和2年度実績	4	回	2,793	件	0	枚	171	枚
	令和元年度実績	4	回	2,656	件	6,872	枚	202	枚
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>路上喫煙重点禁止区域及び禁止区域での、路上喫煙防止指導及び啓発活動を実施しました。</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・路上喫煙防止指導員報酬 8,907千円 ・喫煙設備清掃業務委託 2,417千円 ・路上喫煙禁止路面標示撤去・設置業務委託 4,796千円 ・その他 1,234千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・路上喫煙防止条例を改正し、市内全域における路上喫煙を禁止することで、更なる路上喫煙防止を進めていきます。 ・路上喫煙防止対策として、市内各駅頭でのチラシ配布等啓発活動を引き続き行う必要があります。 ・路上喫煙防止指導員による巡回・指導、路上喫煙禁止路面標示等を通じて、路上喫煙防止対策の推進に努めていきます。 								

決算書ページ 133	款 04	衛生費	項 02	清掃費	目 01	清掃総務費		
事業名	07 大和市クリーンキャンペーン事業					担当課	生活環境保全課	
目的	地域の方々によって地域美化が図られ、快適な生活環境を保持します。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	4,116	
						令和2年度 予算現額	4,663	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 自治会や各種団体・事業所に対し、地域美化の趣旨にご理解とご協力をいただき、市内の清掃を実施します。 環境サポーターによる地域の環境の見守りを行います。 					令和2年度 決算額	2,253	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金		0
						県支出金		0
						地方債		0
						その他		0
一般財源		2,253						
						令和3年度 予算額	3,998	
活動内容								
指標	1	清掃の日ごみ回収量	2	参加団体数	3	サポーター登録者数	4	
		可燃・不燃ごみ回収量		クリーンキャンペーン参加団体数		環境サポーター活動登録者数		
	予定(目標)	70 t		250 団体		70 人		
	令和2年度実績	0 t		68 団体		56 人		
	令和元年度実績	56 t		210 団体		45 人		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> クリーンキャンペーンを実施します。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 「清掃の日」実施 「美化推進月間」実施 「例月まち並み清掃」実施 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 「清掃の日」可燃・不燃ごみ回収委託 1, 100千円 クリーンキャンペーン回収ごみ処理費 63千円 クリーンキャンペーン消耗品 855千円 その他 235千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙・チラシの配布など、より多くの方々に参加してもらえるような周知活動を行っていきます。 環境サポーター活動に多くの方が参加してもらえるよう周知活動に努めます。 							

決算書ページ 133	款 04	衛生費	項 02	清掃費	目 01	清掃総務費	
事業名	08 不法投棄物未然防止事業				担当課	生活環境保全課	
目的	不法投棄やポイ捨ての未然防止を推進します。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 5,063	
					令和2年度 予算現額	5,543	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 市内全域において、不法投棄及びポイ捨て等の監視パトロールを行います。 公有地の不法投棄物の回収を行います。 不法投棄やポイ捨て等の状況に応じて、不法投棄防止及びポイ捨て防止等の啓発看板の設置を行います。 				令和2年度 決算額	5,072	
					令和2年度 財源内訳		
					国庫支出金	0	
					県支出金	0	
					地方債	0	
					その他	0	
					一般財源	5,072	
令和3年度 予算額	5,439						
活動内容							
指標	1	不法投棄防止パトロールの実施回数	2	不法投棄防止の啓発看板の配布・設置数	3	夜間パトロールの実施回数	
		不法投棄防止パトロールの実施回数		ポイ捨て防止・不法投棄防止の啓発看板の配布・設置枚数		市職員による夜間の市内パトロール回数	
	予定(目標)	200 回	600 枚	4 回			
	令和2年度実績	190 回	853 枚	5 回			
	令和元年度実績	190 回	548 枚	4 回			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>不法投棄等のパトロールを定期的実施し、状況に応じて看板等の設置や不法投棄物の回収を実施しました。また、「大和市ポイ捨て等の防止に関する条例」の周知のため、啓発活動を実施しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 深見西、上草柳等の不法投棄防止重点箇所のパトロール 県との合同パトロールや苦情等の対応 ポイ捨てや犬のふんの放置を防止するため啓発物の配布 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 不法投棄物等回収アルバイト賃金 3,487千円 回収不法投棄物処理 314千円 その他 1,271千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄の未然防止対策として、防止看板の配布または設置、駅頭でのチラシ配布等啓発活動を引き続き行う必要があります。 県と連携した合同パトロール、不法投棄物の迅速な回収や日々の監視活動等を通じて、ごみの捨てられにくい環境づくりに努めていきます。 						

決算書ページ	款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	01	清掃総務費
133									
事業名	10 家庭系ごみ排出抑制推進事業							担当課	廃棄物対策課
目的	家庭系有料指定ごみ袋の制度により、ごみの減量化を図ります。							令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
								122,820	
手段手法	・家庭系ごみの排出に有料指定ごみ袋を使用します。							令和2年度 予算現額	
								124,839	
								令和2年度 決算額	
								123,386	
								令和2年度 財源内訳	
								国庫支出金	0
								県支出金	0
地方債	0								
その他	123,386								
一般財源	0								
							令和3年度 予算額		
							122,364		
活動内容									
指標	1	有料指定ごみ袋販売組数	2		3		4		
	有料指定ごみ袋の販売組数								
	予定(目標)	1,123,430 組							
	令和2年度実績	1,208,410 組							
	令和元年度実績	1,139,440 組							
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>家庭系ごみの減量化を図るため、有料指定ごみ袋によるごみの収集を実施しました。</p> <p><有料指定ごみ袋販売組数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5リットル 155,200組【154,920組】 ・ 10リットル 335,450組【326,380組】 ・ 20リットル 316,630組【302,240組】 ・ 30リットル 183,770組【164,740組】 ・ 40リットル 217,360組【191,160組】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 製造・保管・配送委託 75,100千円 ・ 手数料徴収事務委託 48,040千円 ・ 償還金 193千円 (取扱店閉店等に伴う清算金) ・ その他 53千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業による家庭系有料指定ごみ袋の安定した供給により、ごみの排出量に応じた費用負担が図られており、ごみの排出抑制、負担の公平性が保たれています。 ・ 他自治体からの転入者など、市民への有料指定ごみ袋制度の周知が必要です。 ・ 引き続き、家庭系有料指定ごみ袋の安定供給を実施するとともに、市民への制度の周知を図っていきます。 								

決算書ページ 133	款 04	衛生費	項 02	清掃費	目 01	清掃総務費
事業名	12 生ごみ処理容器等設置支援事業				担当課	廃棄物対策課
目的	ごみの減量化・資源化を図るために、生ごみ処理容器等の設置を推進します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					3,760	
手段手法	・生ごみ処理容器等の設置者に対し、購入費の一部を助成します。				令和2年度 予算現額	
					3,840	
					令和2年度 決算額	
					3,805	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	3,805					
一般財源	0					
令和3年度 予算額						
3,183						
活動内容						
指標	1 補助件数	2	3	4		
	補助対象の市民、事業所、自治会への補助件(基)数					
	予定(目標)	107 基				
	令和2年度実績	123 基				
令和元年度実績	104 基					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>ごみの減量化・資源化を図るため、生ごみ処理容器等の設置者に対し、購入費の一部を助成しました。</p> <p><補助実施件数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭・事業者用生ごみ処理容器 : 18基【16基】(補助率9/10) ・家庭・事業者用電動式生ごみ処理機: 97基【80基】(補助率3/4) ・家庭・事業者・自治会用ガーデンシュレッダー : 8基【8基】(補助率3/4) <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助・交付金 3,790千円 ・その他 15千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理容器等設置補助制度は、ごみの減量化・資源化の推進や市民の環境に対する意識向上に寄与しています。 ・制度開始から30年程度が経過し、当初の目的は概ね達成していることから、実施の意義や受益の公平性などを踏まえ、見直しの検討が必要です。 					

決算書ページ 133	款 04	衛生費	項 02	清掃費	目 01	清掃総務費		
事業名	13 資源分別回収推進支援事業					担当課	廃棄物対策課	
目的	資源分別回収の実施により、ごみの資源化を図ります。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	552,119	
						令和2年度 予算現額	630,604	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・分別された資源をリサイクルステーション、拠点回収場所、資源選別所で回収します。 ・A資源とB資源は、それぞれ月2回(計4回)の回収を行います。 ・その他プラスチック製容器包装は、週1回の回収を行います。 ・回収した資源の選別、圧縮、梱包、保管を行います。 					令和2年度 決算額	613,179	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金		0
						県支出金		0
						地方債		0
						その他		252,269
令和3年度 予算額			614,410					
活動内容								
指標	1	資源回収の回数	2	直接受入件数	3		4	
		回収数の合計 (AB資源48回+プラ52回) ×ステーション数		資源選別所への持込み件数				
	予定(目標)	136,200 回		43,881 件				
	令和2年度実績	137,700 回		46,394 件				
	令和元年度実績	136,200 回		43,881 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>リサイクルステーションでの資源回収業務及び拠点回収業務を実施しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源回収量 10,670 t 【10,157 t】 ・その他プラスチック製容器包装回収量 3,241 t 【3,144 t】 ・リサイクルステーション数 1,377箇所 【1,362箇所】 ・拠点回収場所設置数 8箇所 【8箇所】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源分別回収業務等 441,528千円 ・自治会資源回収報奨金 78,352千円 ・その他プラスチック製容器包装回収業務 75,723千円 ・資源選別所建物及び機械等補修 6,141千円 ・その他 11,435千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のご理解・ご協力により、資源分別回収制度が定着しています。 ・ごみの減量化・資源化の推進、及び資源の分け方・出し方のマナー向上をさらに図るため、引き続き啓発を行うことが必要です。 							

決算書ページ 135	款 04	衛生費	項 02	清掃費	目 02	塵芥処理費		
事業名	03 焼却灰等有効利用事業					担当課	施設課	
目的	一般廃棄物焼却灰の資源化を図ります。					令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 306,047	
						令和2年度 予算現額	319,946	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・焼却灰を安定かつ安全に資源化できる施設の調査と現地確認を行います。 ・搬出先の自治体と、搬出量等の事前協議を行い、焼却灰の資源化を行います。 ・焼却灰を路盤材原料等として有効利用します。 					令和2年度 決算額	318,720	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	0	
						地方債	0	
						その他	136,703	
						一般財源	182,017	
令和3年度 予算額	313,384							
活動内容								
指標	1	資源化箇所数	2	焼却灰有効利用量	3		4	
		資源化先として焼却灰を搬出した事業所数		路盤材原料等により焼却灰の有効利用を行った量				
	予定 (目標)	3 箇所		6,164 t				
	令和2年度 実績	3 箇所		6,142 t				
	令和元年度 実績	3 箇所		5,950 t				
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>焼却灰の資源化を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央電気工業株式会社 (茨城県鹿嶋市) 3, 248 t 【2, 838 t】 ・メルテック株式会社 (栃木県小山市) 1, 598 t 【1, 532 t】 ・中部リサイクル株式会社 (愛知県名古屋市) 1, 296 t 【1, 580 t】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼却灰資源化委託 317, 746 千円 ・その他 974 千円 							
	評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・焼却灰を路盤材等の土木資源材料として有効利用を図りました。 ・今後も焼却灰を安心・安定かつ経済的に資源化するよう努めます。 						

決算書ページ 135	款 04	衛生費	項 02	清掃費	目 02	塵芥処理費		
事業名	09 環境管理センターごみ処理施設維持補修事業					担当課	施設課	
目的	施設の安全かつ安定的な継続運用のために、焼却棟及び粗大棟設備の維持補修を実施します。					令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 342,370	
						令和2年度 予算現額	382,054	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 「環境管理センターごみ処理施設維持補修計画」に基づいて年間スケジュールを組み、公害防止法等法令遵守を最優先に、施設を継続運用するための補修を実施します。 					令和2年度 決算額	381,919	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金		0
						県支出金		0
						地方債		348,100
						その他		9,790
						一般財源		24,029
令和3年度 予算額	1,852,258							
活動内容								
指標	1	計画的な補修の実施	2	ごみ焼却処理施設基幹的設備改良工事進捗率	3		4	
		施設の安全かつ安定的な運転を維持するための補修件数		ごみ焼却処理施設に係る基幹的設備改良工事の進捗率				
	予定(目標)	40 件		0.3				
	令和2年度実績	46 件		0.3				
令和元年度実績	49 件		0					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>「環境管理センターごみ処理施設維持補修計画」に基づき、焼却棟及び粗大棟設備の維持補修を行いました。</p> <p>また、継続費においては、焼却処理施設を令和20年度まで安定的かつ長期的に使用していくため、令和2年度から令和5年度にかけて延命化工事を進めます。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼却施設定期補修、焼却炉壁耐火物補修、バグフィルター補修等 ・粗大ごみ処理施設定期補修等 ・3号ボイラー給水ポンプ製作(継続費) <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・需用費(施設修繕) 361,868千円 ・原材料費(補修用材料) 332千円 ・委託料(投資的委託料) 139千円(継続費) ・工事請負費(修繕工事費) 19,580千円(継続費) 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な更新等により、安全かつ安定した施設の運用が保たれています。 ・維持補修計画に基づき設備の重要度、健全度を考慮し、補修対象が年度で変動することから、引き続き事業費平準化を図る必要があります。 ・焼却処理施設の延命化については、安定的かつ長期的な使用の観点から、計画に沿って適確に進める必要があります。 							

決算書ページ 135	款 04	衛生費	項 02	清掃費	目 02	塵芥処理費		
事業名	12 可燃ごみ焼却処理事業					担当課	施設課	
目的	可燃ごみを焼却処理することにより、衛生的で快適な生活環境を確保します。併せて、ごみ焼却の熱エネルギーにより発電を行います。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	312,876	
						令和2年度 予算現額	327,665	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 搬入された可燃ごみを焼却処理します。 焼却で発生する熱エネルギーを有効利用して経費を削減します。 発生する排ガスに万全な公害防止対策を行います。 					令和2年度 決算額	311,211	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金		0
						県支出金		0
						地方債		0
						その他		195,811
一般財源		115,400						
						令和3年度 予算額	337,673	
活動内容								
指標	1	可燃ごみ焼却量	2	発電電力量	3	塩化水素濃度	4	
		焼却処理する可燃ごみの量		ごみ焼却により発生する電力量		排ガス中に含まれる有害物質濃度		
	予定 (目標)	52,635 t	15,173,000 kwh	50 ppm				
	令和2年度実績	53,084 t	15,980,396 kwh	35 ppm				
令和元年度実績	53,061 t	15,400,510 kwh	35 ppm					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>可燃ごみ焼却を行い、ごみ焼却の熱エネルギーにより発電を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 可燃ごみ焼却量 156.6 t/日 (339日稼働) <li style="padding-left: 20px;">【155.6 t/日 (341日稼働)】 東京電力への売電電力量 4,988,394 kWh <li style="padding-left: 20px;">【4,457,958 kWh】 送電電力 (引地台公園・温水プール・野球場) 1,233,100 kWh <li style="padding-left: 20px;">【1,426,941 kWh】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物焼却炉運転管理等業務委託 217,800千円 排ガス処理薬品、処理施設光熱水費他 93,411千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きごみを適正に処理し、安全かつ安定した焼却施設の運転管理を行います。 焼却施設の運転について、稼働する炉数、焼却するごみ量など、引き続きごみ焼却に伴って発生するエネルギーを効率よく利用できる運転に努め、経費削減を図ります。 							

決算書ページ 135	款 04	衛生費	項 02	清掃費	目 02	塵芥処理費
事業名	13 不燃・粗大ごみ処理事業				担当課	施設課
目的	不燃ごみ・粗大ごみの安全な処理を推進します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					65,864	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 有害物・危険物を取り除いた不燃ごみと粗大ごみを、破砕処理します。 不燃ごみ・粗大ごみに含まれる資源を選別し、回収します。 				令和2年度 予算現額	
					66,632	
					令和2年度 決算額	
					66,595	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	59,430					
一般財源	7,165					
令和3年度 予算額						
67,322						
活動内容						
指標	1	不燃ごみと粗大ごみの搬入量	2	資源の回収量	3	4
	不燃ごみと粗大ごみの搬入量		不燃ごみと粗大ごみに含まれる資源の回収量			
	予定(目標)	2,206 t	894 t			
	令和2年度実績	2,390 t	1,092 t			
	令和元年度実績	2,229 t	949 t			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>不燃ごみ・粗大ごみを適正に処理しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 資源の回収量 鉄 867 t 【755 t】 ガラスビン 24 t 【14 t】 アルミ 75 t 【64 t】 その他 126 t 【116 t】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 不燃物処理業務委託等 65,292千円 その他 1,303千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 不燃ごみから有害物・危険物を回収して環境負荷の低減や事故等を防ぎ、鉄・アルミ・ガラスビン等を分別して資源の有効利用を図っています。 					

決算書ページ 135	款 04	衛生費	項 02	清掃費	目 02	塵芥処理費	
事業名	17 塵芥収集事業					担当課	廃棄物対策課
目的	家庭から排出されるごみを収集し、衛生的で快適な生活環境を確保します。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	309,846
						令和2年度 予算現額	324,394
手段手法	・可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみの戸別収集を行います。					令和2年度 決算額	322,828
						令和2年度 財源内訳	
						国庫支出金	0
						県支出金	0
						地方債	0
						その他	118,982
						一般財源	203,846
令和3年度 予算額	342,623						
活動内容							
指標	1	1日の可燃ごみの総量	2	1日の不燃ごみの総量	3	1日の粗大ごみの総量	4
		家庭の可燃ごみの収集量		家庭の不燃ごみの収集量		家庭の粗大ごみの収集量	
	予定 (目標)	110 t	9 t	3.7 t			
	令和2年度実績	110 t	8 t	4.2 t			
令和元年度実績	106 t	7 t	3.5 t				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可燃ごみ (直営) : 戸別収集 (4班 16台) ・可燃ごみ (委託) : 戸別収集 (3班 12台) ・粗大ごみ (直営) : 戸別収集 ・不燃ごみ (委託) : 戸別収集 <p><収集実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・可燃ごみ 33,993 t 【33,028 t】 310日 ・不燃ごみ 1,796 t 【1,695 t】 239日 ・粗大ごみ 1,296 t 【1,094 t】 310日 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・可燃ごみ収集運搬業務委託 201,344千円 ・不燃ごみ収集運搬業務委託 93,298千円 ・その他 28,186千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・可燃ごみ、不燃ごみの戸別収集、粗大ごみ収集は市民の協力により安全かつ円滑に実施できました。 ・ルール違反、不法投棄に対する意識啓発及び継続的なパトロールが必要です。 						

決算書ページ 137	款 05	労働費	項 01	労働諸費	目 01	労働諸費
事業名	04 障がい者雇用促進支援事業				担当課	産業活性課
目的	障がい者の就労の安定と福祉の向上を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					1,620	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者を雇用している市内事業所に対し、補助金(市内在住の場合1人あたり5万円、市外在住の場合1人あたり3万円)を交付します。 				令和2年度 予算現額	
					3,053	
					令和2年度 決算額	
					1,201	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	1,201					
令和3年度 予算額						
2,623						
活動内容						
指標	1 補助金交付額	2 申請事業所における新規補助対象者数	3	4		
	当該年度の合計額		新規に雇用された障がい者の数			
	予定(目標)	3,040 千円	5 人			
	令和2年度実績	1,190 千円	12 人			
令和元年度実績	1,610 千円	13 人				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>障がい者を雇用している市内事業所に対して補助金を交付しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 交付件数 14社【22社】 対象となった障がい者数 33人【45人】 <p>(内訳)</p> <p>市内在住10人(年額50,000円/人)</p> <p>市外在住23人(年額30,000円/人)</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者雇用促進補助金 1,190千円 現況調査切手代 11千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者の雇用促進に向け、引き続き市内事業所に対して事業内容の周知に努めます。 					

決算書ページ 137	款 05	労働費	項 01	労働諸費	目 01	労働諸費
事業名	06 勤労者生活資金支援事業				担当課	産業活性課
目的	勤労者に対する生活資金の貸付等により市内在住勤労者の福祉増進と生活の安定を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					150,000	
手段手法	・勤労者が生活のための融資を受けやすくするため、中央労働金庫座間支店と預託契約します。				令和2年度 予算現額	
					150,000	
					令和2年度 決算額	
					150,000	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
県支出金	0					
地方債	0					
その他	150,000					
一般財源	0					
令和3年度 予算額		150,000				
活 動 内 容						
指標	1 生活資金融資制度	2	3	4		
	融資実行額：目標は利用可能残高（貸付枠-貸付残高）					
	予定（目標）	46,550千円				
	令和2年度実績	9,270千円				
令和元年度実績	33,900千円					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央労働金庫に勤労者のための生活資金等を預託しました。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般資金（長期）融資実行額 15件 332,791千円 【23件 740,670千円】 （短期）融資実行額 80件 109,615千円 【79件 182,080千円】 ・生活資金 融資実行額 5件 9,270千円 【18件 33,900千円】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・預託額 150,000千円 					
評価課題	・今後もさらなる利用促進を図るため、利用状況を確認しながら検討する必要があります。					

決算書ページ 137	款 05	労働費	項 01	労働諸費	目 01	労働諸費
事業名	07 勤労者サービスセンター支援事業				担当課	産業活性課
目的	中小企業で働く勤労者の福利厚生向上と生活の安定を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					14,600	
手段手法	・大和市勤労者サービスセンターに対し運営費の一部を補助します。				令和2年度 予算現額	
					14,600	
					令和2年度 決算額	
					14,600	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	14,600					
令和3年度 予算額						
14,600						
活動内容						
指標	1	共済給付事業件数	2	人間ドック・生活習慣病検診受検助成金件数	3	4
		全福ネット慶弔共済利用件数		人間ドック・生活習慣病検診受検助成金の利用件数		
	予定(目標)	600 件		100 件		
	令和2年度実績	483 件		58 件		
	令和元年度実績	493 件		61 件		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>市内の中小企業で働いている勤労者と事業主、市外の中小企業で働いている大和市民の福利厚生をサポートする大和市勤労者サービスセンターに対して、運営費の一部を補助しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 勤労者サービスセンター補助金の交付 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 勤労者サービスセンター補助金 14,600千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍による厳しい経済状況においても、会員数の拡大に努め、実施事業の取捨選択をしながら効率的な運営に努めました。 					

決算書ページ 141	款 06	農林費	項 01	農業費	目 03	農業振興費
事業名	03 市民朝霧市支援事業				担当課	農政課
目的	新鮮で安全な地場農産物を市民へ提供します。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 600
					令和2年度 予算現額	600
手段手法	・朝霧市・夕やけ市・おさんぽマート事業に対し補助金を交付します。				令和2年度 決算額	600
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
					その他	0
					一般財源	600
令和3年度 予算額	600					
活動内容						
指標	1	補助金の交付回数	2	自主開催の回数	3	4
	市民朝霧市推進事業補助金		朝霧市・夕やけ市			
	予定 (目標)	1 回	101 回			
	令和2年度 実績	1 回	96 回			
令和元年度 実績	1 回	101 回				
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 朝霧市・夕やけ市などの実施に対して補助金を交付しました。 <p style="margin-left: 40px;">開催予定 朝霧市 : 48回【50回】</p> <p style="margin-left: 40px;">夕やけ市 : 48回【51回】</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 朝霧市補助 600千円 					
評価課題	・端境期における販売品数の減少がみられるため、出店者数の増加、出店内容の充実を図る必要があります。					

決算書ページ 141	款 06	農林費	項 01	農業費	目 03	農業振興費
事業名	04 農業近代化等支援事業				担当課	農政課
目的	農業の近代化を進め、農業経営の安定、生産力の向上を図るとともに、環境保全効果の高い営農活動の普及を推進します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					2,119	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 近代化のための施設整備に対する補助金及び農業近代化資金貸付金に係る利子補給金を交付します。 機械揚水の電気使用料への補助金を交付します。 農業団体等が行う近代化施設整備への補助を行います。 				令和2年度 予算現額	
					7,277	
					令和2年度 決算額	
					6,978	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	3,508
地方債	0					
その他	0					
一般財源	3,470					
令和3年度 予算額						
2,326						
活動内容						
指標	1	機械揚水補助金額	2		3	
		機械揚水電気使用料補助				
	予定(目標)	666,000 円				
	令和2年度実績	591,000 円				
	令和元年度実績	645,000 円				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水稻栽培における機械揚水の電気使用料に対して補助しました。(4水利組合) ・ 下和田水田組合のポンプ小屋等改修に対して補助しました。 ・ 大和市大豆組合の大豆色彩選別機設置に対して補助しました。 ・ 台風で被害を受けた農業者へ農業用ハウス等の撤去、再建及び修繕に対して補助しました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 揚水機械電気料補助 591千円 ・ 多面的機能支払交付金 95千円 ・ ポンプ小屋修繕補助金 359千円 ・ 大豆色彩選別機設置補助金 1,127千円 ・ 被災農業者向け経営体育成支援事業補助金 4,806千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 台風15号及び19号により被災した農業者に対し、早急に支援を行う必要があり農業用ハウスの修繕等に対して補助を行ったため決算額は増額となりました。 ・ 生産者単独で大規模な設備投資をするケースが少なくなっています。 					

決算書ページ 141	款 06	農林費	項 01	農業費	目 03	農業振興費
事業名	05 市民農園運営事業				担当課	農政課
目的	市民が農業に親しむ場を確保するとともに、遊休農地の解消及び緑地の保全を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					5,356	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 市民農園の設置と対象地の整備を行います。 運営管理は、市民農園利用者等で組織する大和市民農園運営委員会に委ねています。 				令和2年度 予算現額	
					6,103	
					令和2年度 決算額	
					4,805	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	4,805					
令和3年度 予算額						
4,854						
活動内容						
指標	1 市民農園設置数	2 広報PR回数	3 市民農園區画数	4		
	設置数累計	募集記事掲載	市民農園として利用している区画数			
	予定(目標)	22 箇所	1 回	966 区画		
	令和2年度実績	21 箇所	1 回	966 区画		
令和元年度実績	21 箇所	1 回	931 区画			
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民農園の管理運営を行いました。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 農園設置数 21 農園【21 農園】 区画数 966 区画【931 区画】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 市民農園土地貸借料 4,805 千円 					【 】内は前年度数値
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者が開設する市民農園の区画数を考慮したうえで、必要が生じた際に適正な用地確保、配置を検討していきます。 					

決算書ページ 141	款 07	商工費	項 01	商工費	目 02	商工振興費
事業名	01 大和商工会議所運営支援事業				担当課	産業活性課
目的	大和商工会議所への支援を行い、市内の商工業の振興・発展を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					69,840	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 大和商工会議所が行う一般事業・相談事業の運営費の一部を補助します。 大和商工会議所が行う融資事業財源の貸付を行います。 各事業の協力・連絡調整等の支援を行います。 				令和2年度 予算現額	
					69,840	
					令和2年度 決算額	
					69,840	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	50,000					
一般財源	19,840					
令和3年度 予算額						
49,840						
活動内容						
指標	1	補助金・貸付金の申請件数	2		3	
	商工会議所への補助金及び貸付金の申請件数					
	予定(目標)	3 件				
	令和2年度実績	3 件				
令和元年度実績	3 件					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>大和商工会議所に対して補助金及び貸付金を交付しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般事業運営費補助金：総合振興事業、産業振興事業、情報化推進事業、調査広報活動事業等に対する補助金 相談事業運営費補助金：経営改善普及事業に対する補助金 貸付金：中小企業支援事業に対する貸付金 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 一般事業運営費補助金 14,937千円 相談事業運営費補助金 4,903千円 貸付金 50,000千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域の総合経済団体である大和商工会議所に対して補助金を交付し、一般事業や相談事業を支援することにより、市内商工業の振興に寄与しました。 大和商工会議所が行う融資財源を貸し付けることにより、制度を利用された事業者を支援しました。 <p>【第2期「健康都市やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】</p>					

決算書ページ 143	款 07	商工費	項 01	商工費	目 02	商工振興費
事業名	05 中小企業事業資金支援事業				担当課	産業活性課
目的	市内で事業を営む中小企業者等の経営基盤の確立を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					1,050,975	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 市内金融機関を通じた間接融資（事業資金・緊急支援資金・起業支援資金）を行います。 融資制度に連動して、利子補給・信用保証料補助を行います。 中小企業信用保険法に基づく認定を行います。 				令和2年度 予算現額	
					1,064,290	
					令和2年度 決算額	
					1,046,046	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	1,000,000					
一般財源	46,046					
令和3年度 予算額						
1,050,306						
活動内容						
指標	1	中小企業事業資金等融資実行額	2	利子補給金額	3	信用保証料補助金額
	目標値は、預託額に目標協調率を乗じた額		目標値は予算額と同額		目標値は予算額と同額	
	予定(目標)	2,075,000 千円	49,171 千円	13,636 千円		
	令和2年度実績	1,127,800 千円	30,808 千円	13,887 千円		
令和元年度実績	1,226,780 千円	36,246 千円	14,665 千円			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>中小企業事業資金融資制度及び各種補助制度を実施しました。また、中小企業信用保険法に基づく認定を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 融資実行（市融資制度） 95件【149件】 利子補給（市融資制度） 391件【386件】 利子補給（県制度融資の一部） 130件【194件】 信用保証料補助（市融資制度） 92件【112件】 信用保証料補助（県制度融資の一部） 28件【81件】 中小企業信用保険法に基づく認定 1871件【97件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 市内金融機関への預託金 1,000,000千円 信用保証料補助金 13,887千円 ・利子補給金 30,808千円 システム改修業務 1,298千円 ・その他 53千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 今後さらに市内中小企業の操業環境や起業家支援の充実を図るため、利用状況等を確認しながら検討を進めます。 					

決算書ページ 143	款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工振興費
事業名	13 企業活動促進支援事業						担当課	産業活性課	
目的	販路拡大や販売促進を支援するなど、企業活動の活性化を図ります。						令和元年度 決算額 (以下単位:千円)		45,528
							令和2年度 予算現額		116,810
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 企業活動振興に関わる奨励金の交付や、自社の製品等をPRするために展示会・商談会・博覧会等に出展する際に、会場使用料や展示・装飾等に係る経費の一部を補助するなど、企業の支援を行います。 						令和2年度 決算額		88,241
							令和2年度 財源内訳		
							国庫支出金	0	
							県支出金	7,428	
							地方債	0	
							その他	0	
令和3年度 予算額		162,270							
活動内容									
指標	1	展示会等出展料補助金申請件数	2		3		4		
	展示会等の出展経費の一部を補助した事業所数								
	予定(目標)	17 件							
	令和2年度実績	2 件							
令和元年度実績	13 件								
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>企業活動振興に関わる奨励金の交付や、展示会等に対する出展料補助により、市内企業への支援を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 展示会等出展料補助件数 2件【13件】 条例に基づく事業計画認定件数 6件【 5件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 展示会出展支援業務委託 300千円 展示会出展支援補助金 200千円 企業活動振興条例奨励金 80,040千円 商工指導専門員報酬 273千円 被災中小企業者復旧支援事業費補助金 7,428千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 大和市企業活動振興条例奨励金の交付額が前年度より増加したため、事業費が増加しました。 大和市企業活動振興条例の奨励制度利用促進を図るため、引き続き広報周知が必要です。 展示会等への出展により新たな契約機会を創出してきていることから、さらなる補助制度の利用促進に向けた広報周知が必要です。 								

決算書ページ	款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工振興費
事業名	14 うまいもの市開催事業							担当課	産業活性課
目的	人々の交流を活発にし、地域の活気と賑わいを高めるとともに本市への集客を図ります。							令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
								7,907	
手段手法	<p>・毎年10月第1土曜日とその翌日曜日に、大和駅東側広場・プロムナードを会場として、大和市主催で全国自治体や市内県人会の出展を中心とした「全国ふるさとまつり うまいもの市」を開催します。</p> <p>※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、うまいもの市は中止しました。</p>							令和2年度 予算現額	
								0	
								令和2年度 決算額	
								0	
								令和2年度 財源内訳	
								国庫支出金	0
								県支出金	0
地方債	0								
その他	0								
一般財源	0								
令和3年度 予算額									
0									
活動内容									
指標	1	「全国ふるさとまつり うまいもの市」参加団体数	2		3		4		
	自治体、県人会、商工会議所、その他合計								
	予定(目標)	35 団体							
	令和2年度実績	0 団体							
令和元年度実績	40 団体								
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>市内の特産品・推奨品や全国各地の物産品・名産品の提供を行うことにより市内商業者の育成、全国自治体や市内県人会との交流、大和駅周辺商店街の活性化を図る予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催予定 10月第1土曜日とその翌日曜日の2日間(中止) ・出店団体数 0団体【 40団体】 ・来場者数 0人【35,000人】 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の開催は中止しました。 ・出店団体数を年々増加させながら開催実績は10回を重ね、市内の大イベントの一つに成長しており、来場者数も増加傾向にありました。 ・開催可能となった時を見据え、来場者の安全面に配慮しつつ、より賑わいを創出できるよう、運営面等の工夫に努める必要があります。 <p>【第2期「健康都市やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】</p>								

決算書ページ 143	款 07	商工費	項 01	商工費	目 02	商工振興費										
事業名	15 さがみロボット産業特区促進支援事業				担当課	産業活性課										
目的	市内ロボット関連企業等への支援を行い、生活支援ロボット関連産業の振興を図ることにより、市内産業をより一層発展させていきます。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)											
					14,684											
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川版オープンイノベーションに参画している企業を対象に、調査研究費や設備導入費を補助するとともに、生活支援ロボット共同研究組織に対する支援を行います。 ・「さがみロボット産業特区」のPRを図るために、「ロボット展示会」開催等を通じ、市民の意識を高めていきます。 				令和2年度 予算現額											
					28,019											
					令和2年度 決算額											
					19,764											
					令和2年度 財源内訳											
					国庫支出金	9,150										
					県支出金	0										
地方債	0															
その他	0															
一般財源	10,614															
令和3年度 予算額																
11,271																
活動内容																
指標	1 「神奈川版オープンイノベーション」参画企業数	2 「ロボットイベント」開催回数	3	4												
	「神奈川版オープンイノベーション」に参画する市内企業の数		展示会等「ロボットイベント」開催回数													
	予定(目標)	20 社	1 回													
	令和2年度実績	15 社	0 回													
令和元年度実績	14 社	2 回														
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援ロボット共同研究組織に対して補助金を交付しました。 ・ロボットイベントの開催や介護に役立つ生活支援ロボット等の導入により、市民のロボットへの意識を高め、さがみロボット産業特区のPRを展開しました。 ・地方創生推進交付金を活用し、ロボット導入支援、ロボット導入セミナーや、ロボット展示事業を実施しました。 <p><決算額の内訳></p> <table border="0"> <tr> <td>・産業用ロボット導入支援業務委託費※</td> <td style="text-align: right;">5,194千円</td> </tr> <tr> <td>・産業用ロボット導入支援補助金※</td> <td style="text-align: right;">10,000千円</td> </tr> <tr> <td>・介護ロボット展示業務委託費※</td> <td style="text-align: right;">3,106千円</td> </tr> <tr> <td>・人型ロボットレンタル料等</td> <td style="text-align: right;">849千円</td> </tr> <tr> <td>・生活支援ロボット研究開発促進事業補助金 他</td> <td style="text-align: right;">615千円</td> </tr> </table> <p>※印は地方創生推進交付金を活用して実施</p>						・産業用ロボット導入支援業務委託費※	5,194千円	・産業用ロボット導入支援補助金※	10,000千円	・介護ロボット展示業務委託費※	3,106千円	・人型ロボットレンタル料等	849千円	・生活支援ロボット研究開発促進事業補助金 他	615千円
・産業用ロボット導入支援業務委託費※	5,194千円															
・産業用ロボット導入支援補助金※	10,000千円															
・介護ロボット展示業務委託費※	3,106千円															
・人型ロボットレンタル料等	849千円															
・生活支援ロボット研究開発促進事業補助金 他	615千円															
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は地方創生推進交付金最終年度にあたり、市内事業者の産業用ロボット導入補助金を交付したため、前年度より決算額が増加しました。 ・引き続き、市内企業の生産性向上に向け、ロボット活用に対する意識啓発を図る必要があります。 ・魅力あるロボットイベントの開催等により、市民の関心を高めることが必要です。 ・ロボットの研究・開発に向けて、市内事業者との連携が必要です。 															

決算書ページ 143	款 07	商工費	項 01	商工費	目 02	商工振興費
事業名	16 起業家支援事業				担当課	産業活性課
目的	起業を促進することにより、市内産業の活性化を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					222	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携し、起業する人または起業して間もない人への支援を行い、市内産業の活性化を図ります。 起業家向けレンタルオフィスの貸出しにより市内での起業を促進します。 				令和2年度 予算現額	
					3,290	
					令和2年度 決算額	
					679	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	679					
令和3年度 予算額						
3,290						
活動内容						
指標	1	やまと起業家支援スペース 使用区画数	2		3	
		やまと起業家支援スペースの 使用者がいる区画数				
	予定 (目標)	5 区画				
	令和2年度 実績	5 区画				
令和元年度 実績	5 区画					
具体的 内容	<p>起業家に事務スペースを貸し出します。 【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 起業家支援スペース使用区画 5 区画 【5 区画】 起業サポートセミナー開催 2 回 【6 回】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 起業家支援助成金 600 千円 起業サポートセミナー講師謝礼 60 千円 事務消耗品 19 千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 支援内容の充実のため、施設利用者のニーズ等も確認しながら検討を進める必要があります。 様々な起業家の支援のため、商工会議所や金融機関等、関係機関との連携が必要です。 					

決算書ページ 143	款 07	商工費	項 01	商工費	目 02	商工振興費
事業名	18 観光等促進事業				担当課	イベント観光課
目的	本市の地域資源や魅力を効果的に活用・発信し、市外からの来訪と人々の活発な交流を促進します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					11,960	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加型の歌謡イベントを実施します。 ・イベントキャラクター「ヤマトン」を活用したPRを行います。 				令和2年度 予算現額	
					6,027	
					令和2年度 決算額	
					1,660	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	1,660					
令和3年度 予算額						
5,441						
活動内容						
指標	1	歌謡イベント実施回数	2		3	
	歌謡イベントの実施回数					
	予定 (目標)	1 回				
	令和2年度 実績	0 回				
令和元年度 実績	2 回					
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響でやまと d e のど自慢が中止になりました。 イベントキャラクター「ヤマトン」を活用しPRを行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマトン貸出件数 33件【113件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光促進イメージキャラクター作製業務委託 579千円 ・歌謡イベント委託料 0千円 ・その他 1,081千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度より本事業にあった各観光イベントを主催する実行委員会への補助金交付事務を観光イベント支援事業として事業化しました。 ・新型コロナウイルス感染症の影響でやまと d e のど自慢が中止となりました。 ・イベントキャラクター「ヤマトン」を活用して、市のPR活動を継続します。 ・本市の資源を生かした観光事業の検討を行っていく必要があります。 					

決算書ページ 143	款 07	商工費	項 01	商工費	目 02	商工振興費
事業名	19 イベント観光協会支援事業				担当課	イベント観光課
目的	本市の観光行政の一翼を担う大和市イベント観光協会の運営を支援します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					17,474	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 大和市イベント観光協会に対して補助金を交付します。 大和市イベント観光協会の運営や事業についての支援、助言、指導を行います。 				令和2年度 予算現額	
					19,298	
					令和2年度 決算額	
					13,834	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	13,834					
令和3年度 予算額						
16,851						
活動内容						
指標	1 補助金交付回数	2 定期監査、理事会、総会	3	4		
	一年間に補助金を交付した回数	定期監査、理事会、総会に出席した回数				
	予定(目標)	1 回	3 回			
	令和2年度実績	1 回	3 回			
令和元年度実績	1 回	3 回				
具体的内容	<p>大和市イベント観光協会に対して補助金を交付しました。</p> <p><主な事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> フィルムコミッション事業 問い合わせ件数： 147件【196件】 撮影成立件数： 49件【28件】 やまとガイドマップ制作 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 大和市イベント観光協会補助金 13,834千円 				【 】内は前年度数値	
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響と職員の欠員により決算額が減少しました。 フィルムコミッション事業において、緊急事態宣言等による厳しい撮影制限がある中で、引地台公園やふれあいの森など、市民が訪れることができる場所での撮影誘致を行うことができました。 今後は撮影の誘致だけではなく、市民エキストラの募集や撮影後のプロモーション、撮影実績の効果的な発信などにも力を注ぐなど、誘致から撮影後のプロモーションまで展開できるよう、協会と連携し事業の拡充に取り組みます。 					

決算書ページ 143	款 07	商工費	項 01	商工費	目 02	商工振興費	
事業名	20 大和市民まつり支援事業				担当課	イベント観光課	
目的	大和市民まつり実行委員会の運営を支援します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	11,500	
					令和2年度 予算現額	1,270	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 大和市民まつり実行委員会に対して、補助金を交付します。 同実行委員会の総括事務局として、まつり全体の運営を支援します。 ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、第43回大和市民まつりは中止となりました。				令和2年度 決算額	1,270	
					令和2年度 財源内訳		
					国庫支出金		0
					県支出金		0
					地方債		0
					その他		0
一般財源		1,270					
					令和3年度 予算額	11,500	
活動内容							
指標	1 実行委員会・部会等開催回数	2 イベント実施日数	3 出店数	4			
	役員会、実行委員会、6部会の開催回数	イベントの実施日数	市民まつりに参加した市民団体等の出店数				
	予定(目標)	25 回	2 日	330 店			
	令和2年度実績	13 回	0 日	0 店			
	令和元年度実績	25 回	2 日	325 店			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 4 】内は前年度数値</p> <p>43回を迎える大和市民まつりでしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止となりました。準備経費として同実行委員会へ補助金を交付するとともに、総括事務局として同まつりの運営支援を行いました。</p> <p><第43回大和市民まつり> (中止)</p> <p>開催日：5月9日(土)、10日(日)</p> <p>会場：引地台公園ほか</p> <p>[実績]</p> <p>来場者数 0人【18万人】</p> <p>参加ボランティア等 0人【268人】</p> <p>出店数 0店【325店】</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 大和市民まつり実行委員会補助金 1,270千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響で第43回大和市民まつりは中止となりました。 市民まつりが円滑に開催され、多くの市民に愛されるイベントとなるよう、実行委員会の運営支援を継続していきます。 新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、来場者や出店者などまつりに関わる全ての方々が安全に安心してまつりを楽しめるような運営方法について検討していきます。 中止になった際の代替企画など、新たなまつりの開催方法について調査・研究していきます。 						

決算書ページ 143	款 07	商工費	項 01	商工費	目 02	商工振興費
事業名	22 新型コロナウイルス感染症拡大防止および雇用維持給付金支給事業				担当課	産業活性課
目的	新型コロナウイルス感染症の拡大防止および雇用維持を図るため。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 0
					令和2年度 予算現額	243,200
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 県の要請に応じ、休業または営業時間を短縮した市内中小企業や個人事業主を対象に基本額20万円を支給したほか、国の雇用調整助成金を受けた事業者には加算額30万円を支給しました。 				令和2年度 決算額	237,732
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	190,974
					県支出金	0
					地方債	0
					その他	0
令和3年度 予算額	0					
活動内容						
指標	1	感染症拡大防止および雇用維持給付金の交付実績 基本額20万円の交付総件数	2		3	4
	予定(目標)	1,100 件				
	令和2年度実績	1,014 件				
	令和元年度実績	0 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>神奈川県は休業・営業時間短縮要請に従って県の感染症拡大防止協力金を受けた市内中小企業及び個人事業主に「新型コロナウイルス感染症拡大防止および雇用維持給付金」を支給しました。(地方創生臨時交付金を活用)</p> <p><事業内容></p> <p>支給額 : 基本額20万円 加算額30万円(国の雇用調整助成金を受けた場合)</p> <p>支給件数: 1,014件 (内訳: 20万円支給898件、50万円支給116件)</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症拡大防止および雇用維持給付金 237,600千円 郵送料 89千円 事務費等 43千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 数多くの市内事業者に対して新型コロナウイルス感染症拡大防止および雇用維持給付金を支給したことにより、感染症の拡大防止のため県の休業や営業時間短縮要請に応じた事業者を支援することができたうえ、各事業所における雇用の維持等にも寄与できたと考えます。 					

決算書ページ 143	款 07	商工費	項 01	商工費	目 02	商工振興費
事業名	23 プレミアム付商品券発行支援事業				担当課	産業活性課
目的	新型コロナウイルス感染症の影響により売上が落ち込んだ市内事業者を応援するとともに、市民の消費活動を拡大させるため。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					0	
手段手法	・市内店舗において使用できるプレミアム付商品券を大和商工会議所が発行することについて支援します。				令和2年度 予算現額	
					235,000	
					令和2年度 決算額	
					226,702	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	226,702					
令和3年度 予算額		0				
活動内容						
指標	1	商品券の発行冊数と販売冊数	2		3	
	1冊あたり500円券26枚入りで、6万冊を発行					
	予定(目標)	60,000 冊				
	令和2年度実績	60,000 冊				
令和元年度実績	0 冊					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>大和市プレミアム付商品券を大和商工会議所が発行することについて支援します。(地方創生臨時交付金を活用)</p> <p><事業内容></p> <p>販売額 : 1冊13,000円(500円券26枚)分を10,000円で販売</p> <p>発行・販売冊数:ともに60,000冊</p> <p>販売対象:市内在住者</p> <p>使用期間:令和2年11月30日~令和3年2月15日</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム付商品券発行事業補助 226,702千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・大和市プレミアム付商品券の発行により、新型コロナウイルス感染症の影響で売上が落ち込んでいた市内事業者を応援するとともに、市民の消費活動を拡大することにも寄与できたと考えます。 					

決算書ページ 143	款 07	商工費	項 01	商工費	目 04	消費生活相談費
事業名	01 消費者啓発事業				担当課	市民相談課
目的	市民が商品やサービスなどの正しい知識を得て判断を行えるよう、消費者意識の啓発を図り、安心、安全な消費生活を送ることができる環境を整えます。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					379	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活啓発リーフレット等の配布及び啓発用ポスターの掲示や消費生活講座を開催します。 みんなの消費生活展を開催します。 				令和2年度 予算現額	
					799	
					令和2年度 決算額	
					647	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	647					
令和3年度 予算額						
649						
活動内容						
指標	1	消費啓発リーフレット等の発行部数	2	消費生活講座総受講者数	3	みんなの消費生活展参加者数
	当該年度発行実績数		当該年度受講者数		当該年度参加者数	
	予定(目標)	2,600 部	56 人	700 人		
	令和2年度実績	6,100 部	5 人	316 人		
令和元年度実績	3,090 部	56 人	727 人			
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<p>消費生活啓発リーフレット等の配布、啓発用ポスターの掲示のほか、消費生活出前講座、みんなの消費生活展等を開催しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 啓発資料等 6,100部【3,090部】 くらしの講座(消費生活出前講座) 1回【1回】 みんなの消費生活展 1回【1回】 消費生活パネル展 0回【1回】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 啓発資料等 636千円 教養講座講師謝礼 10千円 旅費 1千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 商品やサービス、支払方法の多様化に伴い、消費生活の利便性が高まる一方で、その内容が複雑になっている状況や、新しい生活様式によって新たな消費者トラブルが生じている状況を踏まえ、消費者被害の未然防止のために消費者意識の啓発を図ることが求められています。 成年年齢の引き下げや高齢化の加速に伴い、その属性に応じた啓発活動を充実させる必要があります。 					

決算書ページ 143	款 07	商工費	項 01	商工費	目 04	消費生活相談費
事業名	02 消費生活相談事業				担当課	市民相談課
目的	市民が消費生活を送るうえで事業者との取引や契約に関して相談できる体制を整備し、市民が安心して消費生活を送ることができる環境を整えます。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					9,528	
手段手法	・消費生活相談窓口を開設します。				令和2年度 予算現額	
					16,247	
					令和2年度 決算額	
					14,095	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	1
地方債	0					
その他	0					
一般財源	14,094					
令和3年度 予算額						
16,655						
活動内容						
指標	1	消費生活相談の開設日数	2	広報やまとでのPR	3	消費生活相談受理件数
		消費生活相談窓口の開設日数		広報やまとに掲載した件数		消費生活相談件数
	予定 (目標)	243 日	15 件	1,643 件		
	令和2年度 実績	243 日	15 件	1,637 件		
令和元年度 実績	244 日	15 件	1,672 件			
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>消費生活相談の窓口である消費生活センターで、専門の相談員が相談に応じ、助言やあっせんを行い、問題の解決を図りました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間相談受理件数 1,637件【1,672件】 ・相談員 6人【 6人】 ・相談体制 本庁「消費生活センター」(月～金、3人/日) <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費生活相談員報酬 10,907千円 ・事務補助員報酬 1,476千円 ・その他 1,712千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員への任用形態変更に伴う報酬額の見直し及び諸手当により、決算額が増加しています。 ・商品やサービス、支払方法が多様化し、複雑になっていることに伴って、市民と事業者との契約等の問題も高度化しています。また、新しい生活様式の影響で新たな消費者トラブルも生じています。このような背景を踏まえ、消費生活相談の体制をより充実させることが求められています。 ・消費生活相談に迅速かつ適格に対応するためには、研修等により相談員の資質向上に努め、消費生活センターの機能をさらに強化する必要があります。 					

決算書ページ 147	款 08	土木費	項 01	土木管理費	目 02	建築指導費	
事業名	06 建築確認事務				担当課	建築指導課	
目的	良好な住環境の確保と災害に強い街づくりを行います。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 1,310	
					令和2年度 予算現額	1,632	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 建築基準法に基づく確認審査、検査を行い確認済証及び検査済証を交付します。 民間の指定確認検査機関から確認審査等の状況報告を受け、建築行政共用データベースへの入力や建築計画概要書の整理を行い、必要に応じて指導助言を行います。 				令和2年度 決算額	1,610	
					令和2年度 財源内訳		
					国庫支出金	0	
					県支出金	0	
					地方債	0	
					その他	894	
令和3年度 予算額	1,325						
活動内容							
指標	1 確認済証交付件数	2 確認済証交付報告件数	3 完了検査件数	4 中間検査件数			
	確認済証を交付した件数	指定確認検査機関からの確認済の報告を受け内容確認した件数	完了検査済証交付件数	中間検査済証交付件数			
	予定(目標)	30 件	1,100 件	30 件	5 件		
	令和2年度実績	30 件	987 件	19 件	0 件		
令和元年度実績	17 件	1,215 件	20 件	0 件			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築基準法に基づく確認審査、検査を行い確認済証及び検査済証を交付しました。 民間の指定確認検査機関から確認審査等の状況報告を受け、建築行政共用データベースへの入力や建築計画概要書の整理を行い、必要に応じて指導・助言を行いました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 事務消耗品 388千円 建築行政共用データベースシステム利用料 1,103千円 負担金(日本建築行政会議等) 119千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 民間の指定確認検査機関が処分する建築申請の中で、申請者が設計時の調査を十分に実施していない場合、現地や周辺状況が図面と異なることがあります。 建築行政共用データベースを活用し、指定確認検査機関からの建築計画の概要書等の電子化について検討します。 						

決算書ページ 147	款 08	土木費	項 01	土木管理費	目 02	建築指導費
事業名	07 建築物の耐震化等促進事業				担当課	建築指導課
目的	建築物の耐震化等を促進し、地震による倒壊等の被害から市民の生命、財産を保護します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					47,119	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 耐震化の必要性について周知を図るとともに、促進策を講じます。 災害時の住民の安全を確保するため、建築物の不燃化やバリアフリー化を支援するとともに、建築物の倒壊による周辺への影響を軽減する取り組みを進めます。 安全性が確認できないブロック塀等の撤去費及び改善費の補助を行います。 				令和2年度 予算現額	
					37,940	
					令和2年度 決算額	
					34,267	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	3,285
					県支出金	1,682
地方債	0					
その他	0					
一般財源	29,300					
令和3年度 予算額						
29,372						
活動内容						
指標	1	木造建築物精密耐震診断補助件数	2	木造建築物耐震改修工事補助件数	3	マンション耐震診断件数
	精密耐震診断の助成を行う件数		耐震改修工事の助成を行う件数		予備診断・本診断を行う件数	
	4	沿道建築物耐震診断義務対象建築物	緊急輸送路の沿道建築物の耐震診断、耐震改修設計を行う件数			
	予定(目標)	20 件	7 件	4 件	1 件	
令和2年度実績	12 件	1 件	2 件	1 件		
令和元年度実績	17 件	5 件	3 件	1 件		
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<ul style="list-style-type: none"> 耐震診断費の補助を木造住宅、分譲マンション及び耐震診断義務路線沿道建築物に対して行い、さらに、木造住宅には耐震改修工事費への補助、耐震診断義務路線沿道建築物には、耐震改修設計費への補助活用を依頼し、災害に対して自ら備えるための支援、普及啓発を行いました。 また、不燃化・バリアフリー化改修工事費やブロック塀等撤去費及び改善費への支援を行うことにより、避難経路や避難時間の確保を図り、災害発生時における避難の安全性を高めました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 耐震診断、改修工事費補助金及び交付金 29,602千円 啓発・情報提供パンフレット等 96千円 耐震改修促進計画改定業務委託 2,074千円 ブロック塀等調査業務委託 1,275千円 会計年度任用職員報酬、その他 1,220千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 耐震改修費、及びブロック塀撤去費等に係る補助事業において、新型コロナウイルス感染症の影響により、建物内での工事等の作業が見送られるなど、制度の利用が控えられたため決算額が減少しました。 耐震化への住民合意形成に時間を要する分譲マンションについては、まずは、耐震診断の実施を誘導し、診断結果に基づいて、耐震改修工事や建替えの必要性について周知し、耐震化等への意識向上を図る取組が必要です。 木造住宅は、今後、対象建築物の老朽化がさらに進むことから、耐震改修費補助のほか、除却や建替えを誘導することが必要です。 					

決算書ページ 147	款 08	土木費	項 01	土木管理費	目 03	緑化推進費
事業名	02 緑化推進支援事業				担当課	みどり公園課
目的	市民の緑に対する意識の高揚を図るとともに、緑化を推進します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					3,553	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> グリーンアップセンター内「緑の相談コーナー」に相談員を配置し、市民からの緑に関する質問に答えます。 基準を満たす接道部緑化(生垣等)について、現物給付又は設置費用の助成を行います。 				令和2年度 予算現額	
					3,927	
					令和2年度 決算額	
					3,663	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	3,663					
令和3年度 予算額						
1,962						
活動内容						
指標	1 緑化相談	2 生垣設置助成数	3	4		
	緑化相談件数	費用助成、現物給付、ブロック塀撤去助成件数				
	予定(目標)	900 件	4 件			
	令和2年度実績	828 件	2 件			
	令和元年度実績	988 件	0 件			
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>緑に関する相談業務を行いました。 生垣設置への費用助成及び現物支給を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 緑化相談件数 828件【988件】 生垣設置助成数 2件【0件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 業務委託料 3,577千円 需用費 36千円 負担金、補助及び交付金 50千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のため、相談件数は減少傾向となりました。 今後も利用者のニーズに即した事業の展開や業務のPR等を行い、市民の方が緑にふれあう機会を創出します。 生垣設置助成金制度推進のため、今後も広報などを用いたPRを行います。 					

決算書ページ 147	款 08	土木費	項 01	土木管理費	目 03	緑化推進費
事業名	03 緑地保全事業				担当課	みどり公園課
目的	泉の森他 7箇所 緑地を保全します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					31,248	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・保全緑地対象地区内の山林所有者と有償で保全緑地契約を締結し、緑地の管理と保全を行います。 ・必要に応じて緑地を取得します。 				令和2年度 予算現額	
					34,819	
					令和2年度 決算額	
					34,564	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	1,518					
一般財源	33,046					
令和3年度 予算額						
38,328						
活 動 内 容						
指標	1	保全緑地の賃貸借契約面積	2	保全緑地内市有地面積	3	4
		土地所有者と賃貸借契約をしている面積		保全緑地内の市有地面積 (みどり基金買取分を含む)		
	予定 (目標)	230,652 m ²	71,453 m ²			
	令和2年度実績	229,459 m ²	73,762 m ²			
令和元年度実績	230,652 m ²	71,453 m ²				
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	緑地保全契約の更新、賃貸借料の支払い及び保全緑地の管理を行いました。					
	<事業内容>			<賃貸借契約面積>		
	・泉の森	34,774 m ²		【34,969 m ² 】		
・深見歴史の森	53,084 m ²		【53,084 m ² 】			
・谷戸頭・谷戸緑地	42,339 m ²		【43,634 m ² 】			
・上和田野鳥の森	22,317 m ²		【22,020 m ² 】			
・ふれあいの森	4,172 m ²		【4,172 m ² 】			
・中央林間自然の森	26,955 m ²		【26,955 m ² 】			
・上和田境川緑地	16,566 m ²		【16,566 m ² 】			
・下和田境川緑地	29,252 m ²		【29,252 m ² 】			
<決算額の内訳>						
・土地・建物使用料	25,479 千円					
・その他	9,085 千円					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・森林環境譲与税に係る間伐や樹木病虫害防除等の事業については令和元年度から継続的に行っています。 ・市内の8つの大規模緑地の地権者と賃貸借契約し保全管理することにより、市民が緑と触れ合い、やすらぎを感じることができる空間を確保することができました。 ・現存する緑地をの保全を推進していくことで、良好な自然環境を次世代に引き継ぐことができました。 ・緑地所有者と継続的に用地交渉をし、緑地の維持に努めています。 					

決算書ページ 147	款 08	土木費	項 01	土木管理費	目 03	緑化推進費
事業名	04 保存樹林等支援事業				担当課	みどり公園課
目的	市街化区域内に点在する緑（保存樹林、保存生垣、保存樹木の総称）を保存します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					30,364	
手段手法	・保存樹林、保存生垣、保存樹木を一定要件のもとに指定し、それぞれの規定に応じて緑化奨励金を支給します。				令和2年度 予算現額	
					32,729	
					令和2年度 決算額	
					30,991	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	30,991					
令和3年度 予算額						
31,847						
活動内容						
指標	1	保存樹林の指定面積	2	保存生垣の指定箇所数	3	保存樹木の指定本数
		指定している山林の面積		指定している生垣数		指定している樹木数
	予定 (目標)	86,689 m ²	169 箇所	39 本		
	令和2年度 実績	84,768 m ²	162 箇所	38 本		
令和元年度 実績	86,689 m ²	169 箇所	39 本			
具体的 内容	【 】内は前年度数値					
	市街化区域内に残存する山林や樹形が景観上美しい生垣、樹木を保存樹林、保存生垣や保存樹木に指定し、協定を締結しました。また、緑化奨励金を支給しました。 <事業内容> ・保存樹林 84,768 m ² 【86,689 m ² 】 ・保存生垣 162 箇所 【169 箇所】 ・保存樹木 38 本 【39 本】 <決算額の内訳> ・緑化奨励金（保存樹林） 29,886 千円 ・緑化奨励金（保存生垣） 810 千円 ・緑化奨励金（保存樹木） 57 千円 ・その他 238 千円					
評価課題	・市街化区域内に残存する山林、生垣、樹木が保存され、市民が目にする機会の多い街中の緑を残すことができました。 ・相続発生等の理由により、保存樹林の指定解除面積が増加していることから、より効果的に緑地を保全するための施策が必要です。					

決算書ページ 147	款 08	土木費	項 02	道路橋りょう費	目 01	道路橋りょう総務費
事業名	05 自転車利用環境推進事業				担当課	道路安全対策課
目的	低炭素社会構築への社会的要請の実現及び自転車利用者の安全の確保を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					23,073	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 自転車の通行位置を標示することにより、自転車が安全に、安心して通行できる快適な自転車通行空間を確保します。 				令和2年度 予算現額	
					20,834	
					令和2年度 決算額	
					19,840	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	5,800
その他	0					
一般財源	14,040					
令和3年度 予算額						
11,900						
活動内容						
指標	1	自転車マナーアップ対策	2		3	
	自転車 の 車道 通行 を 促す 路面 シート 等の 路 線 的 整 備					
	予定 (目標)	3,400 m				
	令和2年度実績	3,400 m				
令和元年度実績	4,500 m					
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>自転車通行空間を整備しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車マナーアップ対策工事 大和市内 工事延長 3,400m【4,500m】 測量設計業務委託 1箇所【1箇所】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 委託料 5,870千円 工事請負費 13,970千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 決算額の減額は、工事延長の減少によるものです。 自転車利用者のマナー啓発を引き続き行い、歩行者を含め道路利用者が円滑に通行できるよう努めてまいります。 					

決算書ページ 149	款 08	土木費	項 02	道路橋りょう費	目 02	道路維持費	
事業名	04 道路ストック修繕事業					担当課	道路管理課
目的	舗装、橋梁などの道路施設の健全性を確保し、良好な状態を保ちます。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	312,186
						令和2年度 予算現額	871,610
手段手法	・各道路施設の修繕計画に基づき、修繕を実施します。					令和2年度 決算額	637,493
						令和2年度 財源内訳	
						国庫支出金	198,044
						県支出金	4,362
						地方債	425,600
						その他	0
						令和3年度 予算額	0
活動内容							
指標	1	修繕橋梁数	2	舗装修繕延長	3		4
	計画に基づく修繕橋梁数		計画に基づく舗装修繕延長				
	予定 (目標)	2 橋	3,473 m				
	令和2年度実績	2 橋	4,818 m				
令和元年度実績	1 橋	3,999 m					
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>修繕計画に基づき橋梁、舗装の修繕工事を実施しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋梁補修設計積算及び現場管理業務委託 : 1 橋 【 1 橋】 ・橋梁補修詳細設計委託業務 : 1 橋 【 3 橋】 ・橋梁修繕業務委託 (東急電鉄) : 2 橋 【 1 橋】 ・舗装修繕工事 : 1 2 路線 【 1 1 路線】 ・橋梁補修工事 : 2 橋 【 1 橋】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計業務委託・その他 10,675千円 ・舗装修繕工事 207,376千円 ・橋梁補修工事 16,650千円 ・橋梁修繕業務委託 (東急電鉄) 364,760千円 ・橋梁補修工事及び現場管理業務委託 (繰越分) 38,032千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・東急跨線橋 (2 橋) の軌道内における補修について東急電鉄へ委託し、補修工事を実施したことから、決算額が増加しました。 ・道路施設の修繕工事は、施工中施設利用者に与える影響が大きいため、施工期間及び施工方法等について、細かく検討していく必要があります。 						

決算書ページ 149	款 08	土木費	項 02	道路橋りょう費	目 03	道路新設改良費	
事業名	01 福田相模原線（福田地区）道路整備事業				担当課	道路安全対策課	
目的	本市並びに藤沢市及び綾瀬市に連なる福田相模原線の整備を行うことによって、交通の円滑化、安全性の向上及び防災機能の強化を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)		
					11,345		
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 幅員16m（車道9m、歩道3.5m×2）整備区間（原福田跨線橋～藤沢市境）約800mの都市計画道路を整備します。 藤沢市、綾瀬市と連携を図り、同時期の供用に向けて調整します。 				令和2年度 予算現額		
					4,784		
					令和2年度 決算額		
					3,103		
					令和2年度 財源内訳		
					国庫支出金	0	
					県支出金	0	
					地方債	0	
その他	0						
一般財源	3,103						
令和3年度 予算額							
4,546							
活動内容							
指標	1	事業認可に係る設計等業務 都市計画事業認可取得に向けた各種調査設計業務	2	都市計画道路整備に関する協議調整 藤沢市及び綾瀬市、県との都市計画道路整備に関する協議調整	3	交通協議の実施回数 交通協議を実施した回数	4
	予定 (目標)	1 式	2 回	1 回			
	令和2年度 実績	1 式	0 回	1 回			
	令和元年度 実績	1 式	1 回	2 回			
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>福田相模原線（福田地区）に係る道路設計及び関係機関協議を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 事業箇所 大和市福田地内 道路構造設計 設計延長 0.26km【0.76km】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 委託料 3,103千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 決算額の減少は、設計調査業務の延長の減少によるものです。 当該道路は、3市へ繋がる都市計画道路であるため、3市で連携する必要があります。 						

決算書ページ 149	款 08	土木費	項 02	道路橋りょう費	目 03	道路新設改良費
事業名	03 生活道路整備事業				担当課	道路安全対策課
目的	生活道路の整備によって、生活環境の向上を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					38,876	
手段手法	・舗装や側溝の整備を行います。				令和2年度 予算現額	
					46,255	
					令和2年度 決算額	
					45,184	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	44,700
その他	0					
一般財源	484					
令和3年度 予算額		33,500				
活動内容						
指標	1	道路改良延長	2		3	
	道路改良工事実施延長					
	予定 (目標)	392 m				
	令和2年度 実績	392 m				
	令和元年度 実績	324 m				
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>生活道路の舗装及び側溝整備等工事を実施しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備延長 392 m 【324 m】 ・整備箇所 5箇所 【2箇所】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事請負費 45,184千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・決算額の増加は、整備延長の増大によるものです。 ・舗装及び排水施設を整備することで、生活環境が向上しました。 ・側溝整備工事には流末となる雨水管等の整備が先行していることが条件となるため、下水道担当部署との連携が必要です。 					

決算書ページ 149	款 08	土木費	項 02	道路橋りょう費	目 03	道路新設改良費
事業名	04 福田相模原線（南林間地区）道路改良事業				担当課	道路安全対策課
目的	市の骨格をなす都市計画道路の拡幅整備を行い、歩行者の安全確保、交通の円滑化ならびに地域防災性の向上を図ります。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 83,955
					令和2年度 予算現額	57,976
手段手法	・防衛省の補助金制度を活用して、用地買収、改良工事を行います。				令和2年度 決算額	50,861
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	20,373
					県支出金	0
					地方債	14,800
					その他	0
					令和3年度 予算額	315,105
活動内容						
指標	1	用地取得面積	2	道路詳細設計延長	3	4
	取得した道路用地の面積		道路整備を行うための詳細設計の延長			
	予定(目標)	98 m ²	470 m			
	令和2年度実績	98 m ²	470 m			
	令和元年度実績	0 m ²	0 m			
具体的内容	<p>用地買収を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地取得面積 98 m² 【0 m²】 ・物件補償 5件 【0件】 ・道路詳細設計延長 470 m 【0 m】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地買収費 25,157千円 ・物件補償費 4,905千円 ・工事請負費 1,095千円 ・道路詳細設計、物件調査費 17,952千円 ・その他 1,752千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・やまと根岸通り以南の道路整備が令和元年度で完了したため、事業費が減少しました。 ・本路線は、災害時に重要な緊急輸送路を補完する第1次路線であり、早期に事業効果を発揮する必要があります。 ・今後は新型コロナウイルスの影響で事業規模を縮小し、事業期間を延伸しますが、引き続き着実に用地買収を進めていきます。 					

決算書ページ 151	款 08	土木費	項 02	道路橋りょう費	目 04	交通安全施設費	
事業名	01 交差点改良事業（県道丸子中山茅ヶ崎線整備関連）				担当課	道路安全対策課	
目的	県道丸子中山茅ヶ崎線の拡幅事業に合わせて、現道の交差点を改良し、車両や歩行者の円滑な交通の確保及び交通事故の防止を図ります。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 4,540	
					令和2年度 予算現額	35,227	
手段手法	・ 県や関係機関等と協議を行うとともに、市道整備等に関わる業務を行います。				令和2年度 決算額	25,260	
					令和2年度 財源内訳		
					国庫支出金	0	
					県支出金	0	
					地方債	22,700	
					その他	0	
令和3年度 予算額	12						
活動内容							
指標	1	整備事業に係る設計等業務 用地取得に必要な用地測量及び 物件調査など	2	整備事業に係る物件補償 用地取得に伴う物件補償など	3	整備事業に係る用地取得 整備に係る用地取得など	
	4						
	予定 (目標)	0 式	1 件	165 m ²			
	令和2年度 実績	0 式	0 件	166 m ²			
令和元年度 実績	1 式	1 件	0 m ²				
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市道光ヶ丘久田線の市道整備工事について県と協議を行いました。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 用地買収 165.6 m² ・ 交差点改良 1箇所 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土地購入費 13,861千円 ・ 工事負担金 10,383千円 ・ 切廻等補償費 1,016千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 決算額の増加は、令和元年度に用地買収を進める予定でしたが、地権者との調整に時間を要し、令和2年度に繰越明許予算により用地買収等を実施したためです。 ・ 県道拡幅整備に合わせて市道整備をする必要があるため、神奈川県と協調し事業を進める必要があります。 						

決算書ページ 151	款 08	土木費	項 02	道路橋りょう費	目 04	交通安全施設費
事業名	02 福田相模原線歩道整備事業（上草柳地区）				担当課	道路安全対策課
目的	市の骨格をなす都市計画道路の拡幅整備を行い、歩行者の安全確保、交通の円滑化ならびに地域防災性の向上を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					121,891	
手段手法	・用地買収、歩道の拡幅整備を行います。				令和2年度 予算現額	
					208,000	
					令和2年度 決算額	
					125,348	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	28,787
					県支出金	9,045
					地方債	84,300
その他	0					
令和3年度 予算額		26,777				
活動内容						
指標	1	用地取得面積	2	整備延長	3	4
	取得した道路用地の面積		整備を行った延長			
	予定 (目標)	0 m ²	391 m			
	令和2年度 実績	0 m ²	248 m			
令和元年度 実績	0 m ²	168 m				
具体的 内容	<p>上草柳地区の歩道整備工事を実施しました。</p> <p><事業内容></p> <p>・工事延長 248m【168m】</p> <p><決算額の内訳></p> <p>・工事請負費 125,348千円</p>				【 】内は前年度数値	
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 未取得用地については、用地協議を継続し、土地収用法による法的手続きも検討します。用地取得後、歩道未整備箇所の工事を行う予定です。 国道246号バイパス南側のテニスクラブ交差点から東名高速道路北側区間の歩道整備工事については、占用事業者の地下埋設物移設の遅延で年度内に工事が完了できなかったため、繰越明許となりました。 					

決算書ページ 151	款 08	土木費	項 02	道路橋りょう費	目 04	交通安全施設費
事業名	03 交通安全施設整備事業				担当課	道路安全対策課
目的	交通の円滑化と安全性の向上を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					65,553	
手段手法	・交差点の改良、カーブミラー、道路照明灯、カラー舗装等の整備を行います。				令和2年度 予算現額	
					108,077	
手段手法	・交差点の改良、カーブミラー、道路照明灯、カラー舗装等の整備を行います。				令和2年度 決算額	
					104,538	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	1,284
					県支出金	0
					地方債	29,500
					その他	0
令和3年度 予算額						
57,758						
活動内容						
指標	1	交通安全施設整備箇所	2		3	
	カーブミラー・道路照明灯等交通安全施設の整備を行った箇所					
	予定(目標)	100箇所				
	令和2年度実績	81箇所				
令和元年度実績	75箇所					
具体的内容	<p>交通安全施設整備を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道改良等 22箇所【 13箇所】 ・カーブミラー設置 21箇所【 21箇所】 ・道路照明灯設置 6箇所【 6箇所】 ・カラー舗装 (カラー舗装面積) 24箇所【 35箇所】 1,185㎡【2,410㎡】 ・大和駅前照明灯設置 8箇所【 0箇所】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料 7,291千円 ・工事請負費 97,247千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・決算額の増加は、大和駅前道路照明灯設置工事等を新規に実施したためです。 ・カーブミラーの設置や歩道の改良などを行うことで、道路の安全性が向上しました。 ・市民等からの交通安全要望に対し、速やかに対応できるように務めています。 					

決算書ページ 151	款 08	土木費	項 02	道路橋りょう費	目 04	交通安全施設費
事業名	04 歩道セーフティーアップ事業				担当課	道路安全対策課
目的	狭あい歩道の改善を行い、歩行者等の安全確保を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					17,811	
手段手法	・横断防止柵、カラー舗装、歩道改良等の整備を行います。				令和2年度 予算現額	
					21,664	
					令和2年度 決算額	
					21,663	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	20,700
その他	0					
一般財源	963					
令和3年度 予算額		0				
活動内容						
指標	1	歩道改良延長	2		3	
	マウントアップの歩道を段差の少ない歩道に改良等をする延長					
	予定 (目標)	217 m				
	令和2年度実績	217 m				
令和元年度実績	178 m					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>歩道の改良を実施しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道セーフティーアップ工事 <ul style="list-style-type: none"> 整備延長 216.6m【177.9m】 道路幅員 6.5~7.0m【7.0m】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事請負費 21,663千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・決算額の増加は、整備延長の増大によるものです。 ・歩道改良を実施することで、歩行者の安全性、利便性が向上しました。 ・今後、適切な手法・手段を検討し、重要度の高い路線より順次進めてまいります。 					

決算書ページ 153	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 01	都市計画総務費
事業名	04 鉄道輸送円滑化促進事業				担当課	街づくり総務課
目的	鉄道輸送力の増強や駅施設の整備、改善を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					35,274	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道事業者及び国に対し、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じて、駅施設の改善や運行に関する要望活動を行います。 ・ホームドア等の設置を促進するため、鉄道事業者に対して補助を行います。 				令和2年度 予算現額	
					22,274	
					令和2年度 決算額	
					22,265	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	22,265					
令和3年度 予算額						
22,024						
活動内容						
指標	1	県鉄道輸送力増強促進会議等の会議出席回数	2	県鉄道輸送力増強促進会議(部会)	3	ホームドア等設置に係る補助金交付決定回数
		県鉄道輸送力増強促進会議等の会議出席回数		各部会(小田急・東急・相鉄)を通じた要望回数		ホームドア等設置促進事業費補助金交付要綱に基づく交付決定
	予定(目標)	3回	3回	3回	1回	
	令和2年度実績	3回	3回	3回	1回	
	令和元年度実績	3回	3回	3回	1回	
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道事業者に対し、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じて要望活動を行いました。 ・相鉄線大和駅ホームドア整備費に対する補助を行いました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームドア等設置事業補助金 22,250千円 ・その他 15千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・大和市ホームドア等設置促進事業費補助要綱に基づき、相鉄線大和駅へのホームドア等設置事業に対し補助金を交付した結果、事業費が令和元年度と比べ減少しました。 ・より一層進展する超高齢社会に対応していくため、駅施設等のバリアフリー化や安全対策について、着実に推進する必要があります。 					

決算書ページ 153	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 01	都市計画総務費
事業名	05 コミュニティバス運行事業				担当課	街づくり総務課
目的	生活交通を確保・維持する交通ネットワークを形成し、身近な移動手段を持たない市民の移動手段の確保と、市内における地域間移動の円滑化を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					317,472	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス「のろっと」を市内2地域で、「やまとんGO」を市内4地域で運行します。 				令和2年度 予算現額	
					339,127	
					令和2年度 決算額	
					336,468	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	2,022					
一般財源	334,446					
令和3年度 予算額						
338,343						
活動内容						
指標	1	コミュニティバス運行本数	2	コミュニティバス利用者数	3	4
	6路線の年間運行本(便)数		6路線の年間利用者数(前年実績を目標値に設定)			
	予定(目標)	73,851 本	715,000 人			
	令和2年度実績	73,851 本	515,671 人			
令和元年度実績	73,845 本	704,562 人				
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>コミュニティバスを運行しました。</p> <p><運行概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス「のろっと」 運行本数 : 北部16本、南部11本(35人乗り車両) 利用者数 : 276,460人【366,194人】 ・コミュニティバス「やまとんGO」 運行地域 : 中央林間西側、相模大塚、深見、桜ヶ丘 運行本数 : 各地域44本(13人乗り車両) 利用者数 : 239,211人【338,368人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス運行委託 335,894千円 ・その他 574千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「のろっと」及び「やまとんGO」の利用者数が前年度から約27%減少していますが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う外出自粛などの影響と考えられます。 ・持続可能なサービス提供のため、利用状況を分析し、利便性が低下しないよう、運行の効率化を図る必要があります。 					

決算書ページ 153	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 01	都市計画総務費
事業名	06 地域公共交通施策事業				担当課	街づくり総務課
目的	「誰もが使いやすい移動サービス」及び「誰もが徒歩と自転車で安全に移動できる環境」を実現します。 「誰もが取り組める移動手段転換」を推進します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					41,714	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 大和市総合交通施策に沿った施策展開に向けて関係団体等との連携を図るため協議等を行います。 住民組織による移動手段創出の取り組みに対して支援を行うとともに、バス運行を業務委託します。(西鶴間・上草柳地域) 市内民間事業者の所有する送迎バス等を活用し、65歳以上の市民の移動を支援します。 				令和2年度 予算現額	
					63,564	
					令和2年度 決算額	
					52,789	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	3,000
					県支出金	3,345
地方債	0					
その他	0					
一般財源	46,444					
令和3年度 予算額						
60,887						
活動内容						
指標	1	協働事業に係る会議回数	2	大和市地域公共交通協議会	3	のりあい利用者数
		運営会議12回、役員会6回開催見込み(令和2年度より)		関係機関との会議回数(H29より分科会、書面協議を含む)		のりあいを利用した人数(前年実績を目標値に設定)
	予定(目標)	18回	4回	26,849人	185人	
	令和2年度実績	3回	5回	20,395人	48人	
令和元年度実績	14回	7回	26,849人	185人		
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域乗合交通創出支援事業実施にかかる支援(協働事業負担金) 「のりあい」運行業務委託 運行本数 : 18便(9人乗り車両) 利用者数 : 20,395人【26,849人】 高齢者お出かけ支援事業実施にかかる送迎用自動車搭乗中傷害保険 大和市総合交通施策改定に伴う調査委託 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 「のりあい」協働事業負担金 561千円 「のりあい」運行委託 41,835千円 送迎用自動車搭乗中傷害保険 185千円 大和市総合交通施策改定に伴う調査委託 9,517千円 その他 691千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 大和市総合交通施策改定に向けた基礎調査を委託したことにより、事業費が令和元年度と比べ増加しました。 地域乗合交通創出支援事業(のりあい)について、引き続き地域と市の役割分担を協議していく必要があります。 今年度実施している大和市総合交通施策の改定作業を完了させた後の進行管理を着実に実施する必要があります。 					

決算書ページ 153	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 01	都市計画総務費
事業名	07 中央林間駅周辺まちづくり事業				担当課	街づくり総務課
目的	中央林間地区街づくりビジョンの方針を踏まえ、中央林間駅周辺のまちづくりを進めます。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					72,999	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 駅を中心とした都市機能誘導区域や、誘導すべき都市機能などを立地適正化計画で定め、鉄道事業者との連携のもと、社会資本整備総合交付金などの国庫補助金を活用しながら中央林間駅周辺のまちづくりを進めます。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、鉄道事業者との調整が困難であり、事業の進捗にも影響がありました。 				令和2年度 予算現額	
					520,097	
					令和2年度 決算額	
					256,960	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	230,000
その他	0					
一般財源	26,960					
令和3年度 予算額						
10,020						
活動内容						
指標	1	1 庁内検討会議の開催回数	2	2 鉄道事業者との協議・調整回数	3	4
		庁内関係各課との事前打合せや調整を踏まえた協議の場		拠点施設整備や駅施設改修に伴う協議・調整の場		
	予定(目標)	15 回	20 回			
	令和2年度実績	3 回	18 回			
	令和元年度実績	11 回	15 回			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>中央林間地区街づくりビジョンに基づき、中央林間駅周辺のまちづくりを進めました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 中央林間駅周辺 <ul style="list-style-type: none"> 東林間7号踏切拡幅整備 小田急中央林間駅改善事業 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 東林間7号踏切拡幅整備委託 246,958千円 小田急中央林間駅改善事業補助金 10,000千円 その他 2千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 東林間7号踏切拡幅整備工事や小田急中央林間駅の改良工事が本格的に始動したことにより、令和2年度の決算額が増加しました。 今後も中央林間地区街づくりビジョンの実現に向けて、鉄道事業者をはじめとする関係主体と意見交換しながら、連携を深めていく必要があります。 					

決算書ページ 153	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 01	都市計画総務費	
事業名	09 空家等対策事業				担当課	建築指導課	
目的	空家等の適正管理を促進することにより、防災、衛生、景観面等に与える影響の未然防止や抑制に努め、生活環境の保全を図ります。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 6,626	
					令和2年度 予算現額	415	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、空家等の所有者に適正管理を促すため、情報提供等の啓発や助言を行い、空家等の管理不全を抑制します。 空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく空家等対策計画の策定に向けた検討作業を進めます。 空き家や所有者不明土地の発生を抑制するための譲渡に係る所得税及び個人住民税の特例措置の適用に当たり、被相続人居住用家屋等確認書及び低未利用土地等確認書を交付します。 				令和2年度 決算額	25	
					令和2年度 財源内訳		
					国庫支出金	0	
					県支出金	0	
					地方債	0	
					その他	0	
令和3年度 予算額	156						
活動内容							
指標	1 空家台帳管理件数	2 適正管理依頼件数	3 被相続人居住用家屋等確認書処理件数	4			
	台帳により経過管理している空家等の件数		空家等に対する適正管理依頼文書の送付件数(3年度追加)	目標値は前年度実績値と同数に設定			
	予定(目標)	146 件	0 件	27 件			
	令和2年度実績	114 件	39 件	26 件			
令和元年度実績	116 件	0 件	27 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>管理不全となっている空家等の所有者へ適正管理を促すとともに、被相続人居住用家屋等確認書交付等により空家等の発生を抑制しながら、空家等実態調査の結果に対して分析・考察を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 空家等相談件数 32件【 46件】 空家等適正管理依頼書送付 39件【 59件】 空家等解消数 34件【 76件】 被相続人居住用家屋等確認書交付 26件【 27件】 低未利用土地等確認書交付 0件【制度未実施】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 講習会負担金、その他 25千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度には空家等対策計画に向けた空家等実態調査業務委託を実施したため、令和2年度決算額は大幅な減額となっています。 引き続き周辺の生活環境に影響を及ぼしている空き家の所有者への適正管理を促しながら管理不全の空家等を解消するとともに、空家等実態調査の結果を分析・考察し、空家等の適正管理促進や発生抑制に活かすとともに、法改正の動向を見据えながら空家等対策計画の策定をはじめとした今後の空家等対策の方向性や具体策を検討していく必要があります。 						

決算書ページ 153	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 01	都市計画総務費	
事業名	10 都市計画決定事務					担当課	街づくり計画課
目的	総合計画及び都市計画マスタープランで示されたまちづくりの方向性を法定都市計画に定めます。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	2,591
						令和2年度 予算現額	23,480
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な市街地の形成を図るために、線引き・用途地域などの「区域区分・地域地区」や、道路・公園などの「都市施設」、土地区画整理事業・市街地再開発事業などの「市街地開発事業」について見直す必要があるものに関して、都市計画の手続きを行います。 					令和2年度 決算額	14,365
						令和2年度 財源内訳	
						国庫支出金	0
						県支出金	0
						地方債	0
						その他	0
令和3年度 予算額	20,158						
活動内容							
指標	1	法手続きの回数	2		3		4
	都市計画審議会を開催した回数						
	予定(目標)	4 回					
	令和2年度実績	3 回					
令和元年度実績	4 回						
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産緑地地区の都市計画の変更の手続きを行いました。 地形図及び都市計画図の作成、用途地域界線形指導図の作成を行いました。 令和4年以降に申出基準日を迎える生産緑地地区について、特定生産緑地の指定に向けて、都市計画審議会の意見聴取等の事務を行いました。 <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 生産緑地地区の都市計画の変更 1回【1回】 都市計画審議会を開催した回数 3回【4回】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 会計年度任用職員報酬 772千円 用途地域界線形指導図作成委託費 1,529千円 地形図・都市計画図等作成業務委託 11,308千円 都市計画審議会報酬、その他 756千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 5年毎に行っている地形図（都市計画基本図）作成業務委託を実施したことにより決算額が増加しました。 市で定める都市計画について、都市計画案の段階から、説明会や市HP等を通して分かりやすい周知に努めるとともに、計画内容を正確に情報提供していきます。 地震火災による延焼被害を最小限とするため、不燃化対策に関する都市計画の検討を進めます。 特定生産緑地の指定に向けた事務を適正に進めます。 						

決算書ページ 153	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 01	都市計画総務費
事業名	12 特定地域土地利用誘導事業（内山地区）				担当課	街づくり推進課
目的	内山地区の市街化調整区域について、市街化区域編入を目指し、計画的かつ段階的な市街地整備の誘導を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					6,178	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 土地所有者等の意向や現在の土地利用の状況等を踏まえ、地元の誘導方策を検討し、実施します。 勉強会等の啓発活動を行うことにより、街づくりに対する地元の意識が高まるよう働きかけます。 				令和2年度 予算現額	
					13,278	
					令和2年度 決算額	
					10,343	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	10,343					
令和3年度 予算額						
243						
活動内容						
指標	1	勉強会等の開催回数	2	地元の会合への市職員出席回数	3	4
	地元の権利者を対象とする街づくりの勉強会等の開催回数		地元の街づくり組織の総会や幹事会等への市職員出席回数			
	予定(目標)	2 回	10 回			
	令和2年度実績	0 回	7 回			
令和元年度実績	0 回	13 回				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>内山地区の市街化区域編入に向けた関係機関との協議や業務委託による交通協議資料作成を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 業務委託等による交通協議資料作成業務 神奈川県警本部との交通協議事前相談（令和3年1月6日） <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 業務委託料 10,186千円 その他 157千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 県警などの関係機関との協議に必要な資料作成を業務委託したことにより、事業費が令和元年度に比べ増加しました。 アンケート未回答権利者に対し、個別訪問等を行ったことにより賛同率が微増しました。引続き賛同率8割を目標に合意形成を図る必要があります。 					

決算書ページ 153	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 01	都市計画総務費	
事業名	13 特定地域土地利用誘導事業（中央森林地区）				担当課	街づくり推進課	
目的	中央森林地区の市街化調整区域について、緑の拠点として、市民の憩いの場を確保するとともに、複合的な街づくりを誘導します。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 6,736	
					令和2年度 予算現額	36	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 土地所有者等の意向を踏まえ、市街地整備の誘導方策を検討し、実施します。 勉強会等の啓発活動を行うことにより、街づくりに対する地元の意識が高まるよう働きかけます。 				令和2年度 決算額	2	
					令和2年度 財源内訳		
					国庫支出金	0	
					県支出金	0	
					地方債	0	
					その他	0	
令和3年度 予算額	3,930						
活動内容							
指標	1	勉強会等の開催回数	2	打ち合わせ回数	3	地元の会合への市職員出席回数	
		地元の権利者を対象とする街づくりの勉強会等の開催回数		関係機関との打ち合わせ回数		地元の街づくり組織の総会や役員会等への市職員出席回数	
	予定(目標)	2 回	5 回	5 回	5 回		
	令和2年度実績	0 回	5 回	0 回	0 回		
	令和元年度実績	1 回	1 回	1 回	1 回		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>中央森林東側地区の市街化区域編入に向けた関係機関との協議を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 県警との交通協議（令和2年8月） 県都市計画課との都市計画協議（令和2年8月、令和3年3月） 県河川課との治水等対策協議（令和2年10月、令和3年1月） <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 消耗品 2千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 委託業務費の皆減により、事業費が令和元年度に比べ減少しました。 市街化区域編入における課題であった公園の配置について、県都市計画課との協議により調整が進みました。 県河川課と治水等対策協議を行い、協議完了の目途が立ちました。 県都市計画課や地元と調整しながら土地利用計画及びその実現手法（用途地域、地区計画）を考える必要があります。 関係機関との協議をさらに進め、その進捗に合わせて市の地区計画（案）を作成し、地元の合意形成を図る必要があります。 						

決算書ページ 155	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 04	公園管理費
事業名	08 ゆとりの森管理運営事業				担当課	みどり公園課
目的	ゆとりの森をスポーツとレクリエーションの場として、安全で快適に利用できるよう管理運営します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					57,997	
手段手法	・指定管理者制度を活用し、施設の維持管理及び運営を行います。				令和2年度 予算現額	
					60,748	
					令和2年度 決算額	
					60,748	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	60,748					
令和3年度 予算額						
60,748						
活動内容						
指標	1	管理日数	2	3	4	
	ゆとりの森の管理日数					
	予定 (目標)	365 日				
	令和2年度 実績	365 日				
令和元年度 実績	366 日					
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>指定管理者制度を活用し、施設の維持管理及び運営を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の運営に関する事 365日【366日】 ・維持管理に関する事 365日【366日】 ・自主事業に関する事 39件【47件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料 60,748千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・施設を適正に管理することにより、市民が安心して利用できる環境を維持することができました。 ・遊具やスポーツ施設等の老朽化による補修が増えてきており、今後、大規模な改修が必要になることも想定されます。 					

決算書ページ 155	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 04	公園管理費
事業名	10 大和スタジアム・つきみ野野球場・宮久保野球場施設管理運営事業				担当課	スポーツ課
目的	野球場施設を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					55,979	
手段手法	・野球場施設の維持管理及び運営を指定管理により実施します。				令和2年度 予算現額	
					57,042	
手段手法	・野球場施設の維持管理及び運営を指定管理により実施します。				令和2年度 決算額	
					56,822	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	56,822					
				令和3年度 予算額		
				63,047		
活動内容						
指標	1	利用者数	2	利用可能日数	3	4
	3施設年間利用総人数		利用可能日数(大和スタジアム)			
	予定(目標)	110,000 人	307 日			
	令和2年度実績	50,497 人	256 日			
令和元年度実績	107,061 人	311 日				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数(3施設合計) 1,022件【 1,437件】 ・利用人数(3施設合計) 50,497人【107,061人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料(大和スタジアム、つきみ野野球場、宮久保野球場) 56,606千円 ・野球場定期点検委託 216千円 					
評価課題	・施設を良好なスポーツ施設として市民に提供するため、適切な時期に適切な維持補修や改修等を継続していく必要があります。					

決算書ページ 155	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 04	公園管理費
事業名	12 ゆとりの森スポーツ施設管理運営事業				担当課	スポーツ課
目的	ゆとりの森スポーツ施設を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					37,962	
手段手法	・施設の維持管理及び運営を指定管理により実施します。				令和2年度 予算現額	
					32,562	
					令和2年度 決算額	
					32,560	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	32,560					
令和3年度 予算額						
31,920						
活動内容						
指標	1	利用可能日数	2	利用者数	3	4
	施設の利用可能日数		施設の利用者数			
	予定 (目標)	355 日	130,000 人			
	令和2年度 実績	296 日	117,129 人			
令和元年度 実績	352 日	128,651 人				
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>ゆとりの森スポーツ施設の管理運営を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数 19,328件【24,910件】 ・利用人数 117,129人【128,651人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理委託料 31,920千円 ・手数料 632千円 ・その他 8千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設全般について、良質な利用環境の維持に努めます。 ・今後、さらに施設利用者の増加や、利用者からのニーズの増加が見込まれることから、指定管理者と連携し、より快適にスポーツが行えるよう、施設の管理運営を行っていく必要があります。 					

決算書ページ 155	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 05	公園建設費
事業名	02 既設公園等大規模改修事業				担当課	みどり公園課
目的	利用者の安全を確保し、利便性を向上させる改修工事を行います。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					176,221	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 公園内の老朽化及び破損した遊具、設備等を撤去・新設します。 利用者の要望等により、既設公園内に新たな遊具、設備などを設置します。なお、軽微な補修については、維持管理事業において対応しています。 				令和2年度 予算現額	
					204,648	
					令和2年度 決算額	
					167,978	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	10,000
					県支出金	0
					地方債	129,400
その他	0					
令和3年度 予算額						
142,182						
活動内容						
指標	1	改修又は新設した施設数	2	改修又は新設した遊具等の数	3	公園施設長寿命化計画に伴い改築した遊具の数
	1年間に改修・新設した施設数		1年間に改修・新設した遊具等の数		1年間に改築した遊具の数	
	予定(目標)	22箇所	15箇所	3	基	
	令和2年度実績	31箇所	15箇所	3	基	
令和元年度実績	36箇所	19箇所	3	基		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>公園施設長寿命化改修工事については「大和市公園施設長寿命化計画」に基づき老朽化した遊具等の改修工事を計画的に実施しました。</p> <p>既設公園等施設改修・設置工事では破損及び老朽化激しい遊具または、老朽化が進み危険なため既に撤去した遊具など、緊急性の高い施設の改修工事を行いました。</p> <p><事業内容、決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 防球ネット設置工事 76,966千円 公園施設長寿命化計画改修工事 24,981千円 公園施設長寿命化計画補修工事 14,775千円 ふれあいの森東ヶ里ふれあい橋改修工事 15,323千円 泉の森展望デッキ改修工事 10,995千円 星の子ひろばシェルター設置工事 12,092千円 その他事業費 12,846千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 森林環境譲与税に係る事業費（ふれあいの森東ヶ里ふれあい橋改修工事、泉の森展望デッキ改修工事）が加わり令和元年度に比べ増加しました。 子どもたちがボール遊びもできる環境を整備するため、防球ネット設置工事を充実させました。 整備後20年以上が経過した都市公園が8割を占め、施設の損傷や老朽化が進んでいることから、今後も公園施設の長寿命化計画に基づき計画的な遊具等の修繕更新を行い利用者が安全で快適に利用できる環境を整えていきます。 					

決算書ページ 155	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 05	公園建設費
事業名	03 大規模緑地整備事業				担当課	みどり公園課
目的	市内に残る貴重な資産である大規模緑地を、将来にわたって保全していくための整備を進めます。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					1,158	
手段手法	・用地買収、賃貸借契約、市民緑地、借地公園等の手段を効果的に組み合わせて、緑地を確保していきます。				令和2年度 予算現額	
					2,152	
					令和2年度 決算額	
					1,650	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	1,650					
令和3年度 予算額						
2,102						
活 動 内 容						
指標	1	大規模緑地内の市所有緑地等面積	2		3	
	将来にわたって永続的に保全が可能な形態になった緑地の面積					
	予定(目標)	26.2 h a				
	令和2年度実績	26.5 h a				
令和元年度実績	26.2 h a					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>大規模緑地保全のため用地買収事務を行いました。</p> <p><事業内容></p> <p>・泉の森内、上草柳字篠山1803 900.14m²【195.54m²】</p> <p><決算額の内訳></p> <p>・不動産鑑定料 319千円</p> <p>・用地測量 1,320千円</p> <p>・その他 11千円</p>					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・泉の森の保全緑地地区内の用地を取得することで、貴重な自然環境の保全に繋がりました。 ・今後も土地所有者との用地取得交渉を進めるとともに、県との協議連携を図っていく必要があります。 					

決算書ページ 157	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 05	公園建設費
事業名	04 街区公園等整備事業				担当課	みどり公園課
目的	周辺住民に憩いや遊びの場を提供します。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 28,227
					令和2年度 予算現額	137,459
手段手法	・新たに公園用地として確保した市有地や借用地を、法令に基づき、街区公園や緑の広場として整備します。				令和2年度 決算額	116,986
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	60,788
					県支出金	0
					地方債	49,300
					その他	0
					令和3年度 予算額	3,653
活動内容						
指標	1	公園整備面積	2	公園整備進捗率	3	4
		公園整備面積(年間)		進捗率(年間の整備公園数÷計画整備公園数×100)		
	予定(目標)	0.98 ha		100 %		
	令和2年度実績	0.98 ha		100 %		
	令和元年度実績	0 ha		100 %		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>令和元年度から2年度の継続事業として実施した、上草柳最終処分場跡地での公園整備工事が完了し、令和3年1月5日に「ふれあいの森スカイ広場」として供用を開始しました。</p> <p><事業内容></p> <p>・整備面積 0.98 ha</p> <p><決算額の内訳></p> <p>・(仮称)ふれあいの森草柳第2広場整備工事 111,296千円</p> <p>・公園台帳作成委託費 4,400千円</p> <p>・その他 1,290千円</p>					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度から2年度での継続事業として実施した(仮称)ふれあいの森草柳第2広場整備工事について、全体額の8割を令和2年度に計上していたため前年度決算額に対し事業費が増額したものです。 整備した公園は「ふれあいの森スカイ広場」として令和3年1月5日に供用を開始しました。 今後も新規公園整備の際には、防衛8条補助金等の国庫補助金を活用した整備を進めていく必要があります。 					

決算書ページ 157	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 05	公園建設費
事業名	05 やまと公園改修整備事業				担当課	みどり公園課
目的	供用開始から45年以上経ち施設が老朽化していることから、利用者の安全を確保し、公園の魅力や利便性を向上させる大規模改修整備工事を行います。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					0	
手段手法	隣接する旧商工会議所跡地等についても公園として拡張し、大規模改修整備工事の中で整備を行います。大規模改修整備にあたっては、芝生広場や休憩所の整備を行い、憩いや賑わいのある誰もが足を運びたくなる公園の整備を行います。				令和2年度 予算現額	
					62,182	
					令和2年度 決算額	
					56,982	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	16,463
地方債	32,200					
その他	0					
一般財源	8,319					
令和3年度 予算額						
239,665						
活動内容						
指標	1	事業進捗率	2		3	
	進捗率(累計計画事業額÷全体計画事業額×100)					
	予定(目標)	9 %				
	令和2年度実績	5.8 %				
令和元年度実績	0 %					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>やまと公園の実施設計業務を行うとともに、撤去造成工事に着手しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備面積 1.19ha <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまと公園大規模改修工事 34,910千円 ・やまと公園大規模改修実施設計業務委託 10,877千円 ・やまと公園休憩所建築設計業務委託 10,519千円 ・その他 676千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度から事業着手したため、事業費は皆増となりました。 ・令和2～3年度の継続、令和3～4年度の継続、令和4年度単年と多くの工事を実施するため、関係各所や工事間での調整を適切に行う必要があります。 ・改修工事に対する市民の関心も高いことから、しっかりと情報発信していく必要があります。 					

決算書ページ 157	款 08	土木費	項 04	都市計画費	目 06	引地川公園関連事業費
事業名	01 ゆとりの森整備事業				担当課	みどり公園課
目的	ゆとりの森の広々とした空間を活かし、市民にスポーツとレクリエーションの場を提供します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					36,547	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画、実施計画に基づきスポーツ施設、レクリエーション施設を整備します。 				令和2年度 予算現額	
					25,970	
					令和2年度 決算額	
					25,567	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	6,610
					地方債	14,900
その他	0					
令和3年度 予算額						
5,477						
活動内容						
指標	1 整備面積	2 整備進捗率	3	4		
	ゆとりの森整備完了面積 (年間)		累計整備進捗率 (整備済み面積 ÷ 計画面積 × 100)			
	予定 (目標)	0 ha	91 %			
	令和2年度実績	0 ha	91 %			
令和元年度実績	0 ha	91 %				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>令和2年度は園地の芝生保護材の設置や、駐輪場拡張整備等を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 公園整備工事：芝生保護材整備 駐輪場拡張整備 四阿園路整備 残土仮置場整備 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ゆとりの森整備工事 25,355千円 その他 212千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 整備工事量が減少したため、前年度決算額に対し減額となりました。 利用者が多いわんぱく広場の芝生保護材設置や駐輪場拡張整備等を実施したことにより、公園利用者の安全性や利便性が向上しました。 残る大規模多目的スポーツ広場整備に向け、国による用地取得の動向に注視する必要があります。 					

決算書ページ 159	款 09	消防費	項 01	消防費	目 01	常備消防費
事業名	07 消防職員研修事業				担当課	消防総務課
目的	消防大学校、消防学校への派遣研修等を通じ、知識・技術の習得を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					10,303	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得研修や消防学校、消防大学校等の教育機関に派遣するとともに、消防本部においても職員の知識、技術の習得のため自主研修を実施します。 				令和2年度 予算現額	
					10,132	
					令和2年度 決算額	
					7,404	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	7,404					
令和3年度 予算額						
9,267						
活動内容						
指標	1	研修への派遣人数	2	資格取得派遣	3	4
	消防大学校等の教育機関への派遣		各種資格取得のための派遣			
	予定(目標)	33 人	45 人			
	令和2年度実績	19 人	37 人			
令和元年度実績	34 人	56 人				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>専門的知識・技術の習得と資格取得等のために関係機関へ職員を派遣しました。</p> <p><事業内容></p> <p>派遣研修（専門的知識・技術）</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防学校 2科目 18人【12科目 31人】 消防大学校 1科目 1人【3科目 3人】 <p>資格取得等（資格・特別教育の受講）</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急救命士資格 2人【2人】 大型自動車免許 2人【4人】 その他資格取得 7科目 33人【13科目 50人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 職員研修旅費等 1,487千円 各種教育機関養成研修負担金等 5,414千円 その他 503千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、多くの研修が中止となったため、事業費が令和元年度に比べ減少しました。 今後も引き続き消防職員がその任務の遂行に必要な専門的知識及び技術の習得を図り、確固たる使命感と倫理観を持った職員育成のため派遣を実施する必要があります。 研修修了者が、所属職員に研修内容を報告することにより、説明能力の向上や職員全体のレベルアップに努める必要があります。 					

決算書ページ 159	款 09	消防費	項 01	消防費	目 01	常備消防費
事業名	17 住宅防火対策事業				担当課	予防課
目的	火災による人的被害を低減するため、住宅の防火対策を推進します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					515	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 住宅防火訪問診断を実施します。 各種広報媒体を活用し、住宅防火思想の普及啓発を行います。 				令和2年度 予算現額	
					480	
					令和2年度 決算額	
					287	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	287					
令和3年度 予算額						
368						
活動内容						
指標	1	住宅防火訪問診断数	2	住宅用火災警報器広報	3	住宅防火対策に係る講話
		住宅防火訪問診断の実施件数		住宅用火災警報器普及啓発に係る広報実施回数		住宅防火対策に係る講話等の実施回数
	予定(目標)	176 件	8 回	4 回	7,000 件	
	令和2年度実績	2 件	6 回	1 回	4,715 件	
令和元年度実績	122 件	8 回	4 回	3,042 件		
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<p>火災による人的被害を低減するため、住宅防火の広報等を実施しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅防火訪問診断の実施(事業は中止。公募のみ) 2件【122件】 地域の住民を対象に防火講話の実施 1回【4回】 住宅用火災警報器の適正な維持管理と、未設置世帯への設置促進及び設置支援の実施 1世帯【6世帯】 住宅用火災警報器の設置と維持管理についての横断幕を設置(市内3か所) 各種広報媒体を活用した住宅防火に関する市民への啓発 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 消耗品 287千円 印刷製本 0千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> より多くの市民に対し効率的な住宅防火対策の普及啓発が行えるよう、広報の方法、場所、内容を見直し、特に住宅防火訪問診断の公募、住宅防火に関する講話の開催、住宅用火災警報器の設置と維持管理について積極的なアピールを行います。 					

決算書ページ 161	款 09	消防費	項 01	消防費	目 01	常備消防費	
事業名	27 応急手当普及啓発事業				担当課	救急救命課	
目的	救命率の向上を図ります。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 3,801	
					令和2年度 予算現額	4,782	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・市民、事業所及び団体を対象に、各種救命講習会を開催します。 ・事業所などに設置されているAED（自動体外式除細動器）を、緊急時に提供していただけるよう「やまとAED救急ステーション」として認定します。 ・シリウス4階の健康テラスで、応急手当が学べる「救急ミニ講座」を開催し、更なるAEDの普及啓発に努めます。 				令和2年度 決算額	2,857	
					令和2年度 財源内訳		
					国庫支出金	0	
					県支出金	424	
					地方債	0	
					その他	0	
令和3年度 予算額	1,778						
活動内容							
指標	1	普通救命講習会参加数	2	上級救命講習会参加数	3	応急手当講習会参加数	
		国が定めた3時間の救命講習		国が定めた8時間の救命講習		3時間に満たない救命講習	
	4	応急手当普及員講習会参加数	国が定めた応急手当普及員を養成する24時間の講習				
	予 定 (目 標)	3,120 人	720 人	4,100 人	60 人		
令 和 2 年 度 実 績	291 人	0 人	1,527 人	0 人			
令 和 元 年 度 実 績	3,369 人	447 人	4,107 人	66 人			
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>市内在住・在勤・在学の中学生以上を対象に、各種救命講習会を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通救命講習会 46回【152回】 ・上級救命講習会 0回【23回】 ・応急手当講習会 50回【114回】 ・応急手当普及員講習会 0回【7回】 ・応急手当普及員再講習会 1回【1回】 <p>市内中学校及び小学校の授業内で、救命講習会を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校 5校【9校】 ・小学校 1校【11校】 <p>やまとAED救急ステーション 4事業所【8事業所】</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種講習会消耗品 687千円 ・備品及びその他 2,170千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、救命講習会の開催や受講者数に制限を設けて実施したため、受講者数は大幅に減少しましたが、救命に関する動画配信やWEB講習等を有効に活用して、市民への普及啓発に努めていく必要があります。 ・応急手当の知識を必要としているものの、国が定める3時間以上の普通救命講習会に参加できない市民に対しては、市民ニーズに合わせた講習会を開催していく必要があります。 ・小、中学校での救命講習会の実施に向け、校長会での説明等により、全校実施を目指します。 						

決算書ページ 161	款 09	消防費	項 01	消防費	目 01	常備消防費
事業名	28 メディカルコントロール推進事業				担当課	救急救命課
目的	救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置の知識・技術の維持及び向上を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					8,076	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な教育研修・訓練に救急救命士を含む救急隊員を派遣します。 神奈川県メディカルコントロール協議会指導救命士制度運用要綱に基づき、指導救命士の認定を行います。 県北・県央地区メディカルコントロール協議会で定める実施基準に基づき、救急救命士を含む救急隊員の研修に伴うポイントを適切に管理します。 				令和2年度 予算現額	
					5,783	
					令和2年度 決算額	
					1,900	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	1,900					
令和3年度 予算額						
5,421						
活動内容						
指標	1	救急救命士就業前、生涯研修実施割合	2	気管挿管認定救急救命士資格取得割合	3	教育研修回数
		救急救命士として現場活動するための研修		救急救命士の気管挿管認定資格の割合		消防本部主催回数
	予定(目標)	70 %	70 %	2 回		
	令和2年度実績	8 %	86 %	2 回		
令和元年度実績	100 %	97 %	2 回			
具体的内容	<p>救急救命士の各種研修を実施しました。</p> <p><研修実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 就業前研修 2人【7人】 生涯研修 1人【25人】 <p><新資格研修></p> <ul style="list-style-type: none"> 気管挿管認定救命士 1人【3人】 認定資格者合計38人【39人】 拡大2行為認定救命士 1人【0人】 認定資格者合計44人【43人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 研修負担金 776千円 県北・県央地区メディカルコントロール協議会負担金 592千円 その他 532千円 					【 】内は前年度数値
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の認定資格取得研修や生涯研修等への派遣が、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、事業費が令和元年度に比べ減少しました。 救急業務に携わる救急隊員の知識・技術の向上のためには、救急救命士を含む救急隊員が病院実習を受けられる体制を継続していく必要があるため、県北・県央地区メディカルコントロール協議会と連携して、救急救命士を含む救急隊員に必要な教育体制の確保を図ります。 					

決算書ページ 161	款 09	消防費	項 01	消防費	目 01	常備消防費
事業名	29 救護活動用機材整備事業				担当課	救急救命課
目的	心肺停止状態の傷病者が、早期に除細動の処置を受けることができる環境を整備します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					8,526	
手段手法	・市内の24時間営業のコンビニエンスストア、公共施設、郵便局及び大規模集合住宅等にAED（自動体外式除細動器）を設置し、維持管理します。				令和2年度 予算現額	
					8,153	
					令和2年度 決算額	
					7,792	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	7,792					
令和3年度 予算額						
9,299						
活動内容						
指標	1	AEDの定期点検	2		3	4
	維持管理確認のための動作点検 (6ヶ月毎)					
	予定 (目標)	250 回				
	令和2年度 実績	240 回				
令和元年度 実績	236 回					
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストア、郵便局及び大規模集合住宅に設置しているAED（自動体外式除細動器）の定期的な点検を実施しました。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストア 6社102店舗【6社104店舗】 ・郵便局 14箇所【14箇所】 ・大規模集合住宅 43箇所【43箇所】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストア、郵便局及び大規模集合住宅等のAED使用料 7,792千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗にAED（自動体外式除細動器）が常設されていることが救命率の向上につながることから、開店、閉店または移転の情報を早期に収集する必要があります。 ・設置したAEDについては、定期点検を含めた適切な維持管理を図っていく必要があります。 ・市民が24時間AEDを使用でき、心肺停止状態の傷病者に対し、早期に除細動が実施できる環境を継続して整備する必要があります。 					

決算書ページ 161	款 09	消防費	項 01	消防費	目 01	常備消防費
事業名	34 救急活動事業				担当課	消防署管理課
目的	病気又は怪我による傷病者に、救命処置等を実施しながら、医療機関に搬送することで、救命率の向上を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					8,435	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 救急隊を6隊配置し、傷病者に応急処置又は救命処置を行い、迅速に医療機関へ搬送します。 重度傷病者の収容時及び心肺機能停止状態の傷病者が発生した時などは、消防隊との連携により救急活動を行っています。 				令和2年度 予算現額	
					12,752	
					令和2年度 決算額	
					11,415	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	3,854
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	7,561					
令和3年度 予算額						
12,321						
活動内容						
指標	1	救急出動時の現場到着時間	2	救急車定期消毒回数	3	救急資機材点検日数
		指令から現場到着までの平均所要時間 (10進法)		救急車両内及び資機材定期消毒回数		救急資機材の日常点検日数
	予定 (目標)	5.89 分	84 回	365 日		
	令和2年度実績	6.18 分	84 回	365 日		
令和元年度実績	5.89 分	84 回	366 日			
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<p><実績の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 救急出動件数 <ul style="list-style-type: none"> 急病 6,870件【7,544件】 一般負傷 1,682件【1,769件】 交通事故 736件【839件】 その他 1,559件【1,725件】 救急搬送人員 <ul style="list-style-type: none"> 急病 6,531件【7,089件】 一般負傷 1,596件【1,654件】 交通事故 695件【794件】 その他 1,029件【1,224件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 救急隊管理消耗品 8,887千円 酸素容器検査等 520千円 その他 2,008千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染防止対策のため隊員防護に係る消耗品や感染性廃棄物等の処理に伴う経費が前年度と比較して増額となりました。 救急出動件数は若干の減少傾向になりましたが、未だ1万件を超える高い水準になっています。 新型コロナウイルスは未だ終息の目途が立っていない状態です。引き続き感染防止対策を行いながら、傷病者に適切な処置を行い医療機関へ早期に搬送できるよう努めます。 					

決算書ページ 161	款 09	消防費	項 01	消防費	目 01	常備消防費
事業名	36 地域防災訓練事業				担当課	消防署管理課
目的	地震災害などに備えるため、市民の防火防災に対する知識や技術を高めます。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					10,003	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の要望により訓練習熟度に合わせて初期消火訓練、負傷者救護訓練、心肺蘇生訓練、地震体験訓練等の地域防災訓練を指導します。 				令和2年度 予算現額	
					4,554	
					令和2年度 決算額	
					3,857	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	644
					地方債	0
その他	0					
一般財源	3,213					
令和3年度 予算額						
3,353						
活動内容						
指標	1 訓練実施数	2 訓練実施組織数	3 訓練参加者数	4		
	訓練申込件数	訓練参加延べ組織数	訓練参加延べ人数			
	予定(目標)	55 件	150 組織	5,500 人		
	令和2年度実績	2 件	8 組織	208 人		
令和元年度実績	34 件	83 組織	3,322 人			
具体的内容	<p>【 4 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 放水訓練 50人【2,142人】 心肺蘇生訓練 0人【2,835人】 震度体験訓練 0人【1,429人】 AED取扱訓練 0人【2,870人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 備品購入費 1,594千円 消耗品 1,169千円 保険料、その他 1,094千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> スタンドパイプ消火資機材や可搬ポンプの市内設置が完了したため、備品購入費が大幅に減額されました。 新型コロナウイルス感染拡大に伴い地域防災訓練の実施率が大幅に減少しています。 市内に設置してあるスタンドパイプ消火資機材の認知度が令和2年度に実施したeモニターアンケート調査で6割となっています。しかし、認知度を高める余地があるため、生産年齢人口にあたる30代～50代に向けた普及啓発活動を行い認知度を高める必要があります。 					

決算書ページ 161	款 09	消防費	項 01	消防費	目 02	非常備消防費
事業名	03 消防団員被服貸与事務				担当課	警防課
目的	消防団員と災害消防協力隊の災害活動時の安全を確保します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					9,703	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員に被服及び防火衣等を貸与します。 被服は損傷状態に応じて、消防団員に再貸与します。 				令和2年度 予算現額	
					15,457	
					令和2年度 決算額	
					12,911	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	3,167
					地方債	0
その他	0					
一般財源	9,744					
令和3年度 予算額						
6,882						
活動内容						
指標	1	消防団員被服整備実績	2	防火帽・防火衣(上衣)・防火ズボンの整備数	3	防火長靴の整備数
	消防団員への被服一式貸与実績数		災害現場での安全を確保する被服の整備		災害現場での安全を確保する被服の整備	
	予定(目標)	30 式	51 式	51 足		
	令和2年度実績	30 式	51 式	51 足		
令和元年度実績	11 式	7 式	107 足			
具体的内容	<p>消防団員の被服を整備しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 消防団員活動用被服一式 30式【11式】 防火帽・防火衣(上衣)・防火ズボン 51式【7式】 防火長靴 51足【107足】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 消防団員被服整備 12,891千円 消防団操法大会用被服、その他 20千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害等による火災に備え整備した消防団専用スタンドパイプ消火資機材を使用するために必要な防火衣一式の経費が増加したことにより、決算額が増額しました。 					

決算書ページ 161	款 09	消防費	項 01	消防費	目 02	非常備消防費
事業名	05 消防団活動用資機材整備事業				担当課	警防課
目的	消防団員の災害活動の充実、強化を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					9,675	
手段手法	消防団が行う災害活動に対し、適切な資機材を選定し整備します。				令和2年度 予算現額	
					16,669	
					令和2年度 決算額	
					16,335	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	5,098
地方債	4,200					
その他	0					
一般財源	7,037					
令和3年度 予算額		5,631				
活動内容						
指標	1	消火用資機材	2		3	
	消防用ホースを計画的に整備します。					
	予定(目標)	51 本				
	令和2年度実績	51 本				
令和元年度実績	51 本					
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	消防団活動用消耗品を整備しました。					
	<事業内容>					
	・消防用ホース	51 本	【	51 本	】	
・ヘッドライト、ゴーグル	各30個	【	各15個	】		
・切創防止用保護衣	17着	【	0着	】		
消防団員用の資機材を整備しました。						
<事業内容>						
・バルーン型投光器	5式	【	12式	】		
・消防団専用スタンドパイプ消火資機材	17式	【	0式	】		
<決算額の内訳>						
・消防団活動用消耗品、その他	2,803千円					
・消防団員用資機材購入費	13,532千円					
評価課題	・消防団専用スタンドパイプ消火資機材に係る経費が増加したことにより、決算額が増額しました。					
	・活動用資機材は、使用年数の限られているものが多いため、更新整備を計画的に実施する必要があります。					
	・発生が懸念されている大規模災害に対応するために、資機材の整備や強化が必要です。					

決算書ページ 163	款 09	消防費	項 01	消防費	目 03	消防施設費
事業名	02 消防活動用資機材整備事業				担当課	警防課
目的	安全かつ迅速な消防活動と、効果的な災害防ぎょ活動を行うために必要な資機材の整備を行います。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					18,357	
手段手法	消防活動に必要な資機材及び装備品を計画的に整備します。				令和2年度 予算現額	
					17,921	
					令和2年度 決算額	
					17,609	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	17,609					
令和3年度 予算額						
9,243						
活動内容						
指標	1	空気呼吸器用ボンベ購入	2	消防用ホース購入	3	4
	空気呼吸器の交換用ボンベを整備します。		消火活動に欠かせない消防用ホースを整備します。			
	予定(目標)	17 本	100 本			
	令和2年度実績	17 本	100 本			
令和元年度実績	13 本	128 本				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>消防活動消耗品を整備しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・救助ロープ 4コイル【4コイル】 ・消防用ホース 100本【128本】 <p>消防・救助・救急用資機材を整備しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空気呼吸器用ボンベ 17本【13本】 ・多数傷病者対応資機材一式 1式【0式】 ・赤外線ドローン一式 2式【2式】 <p>(災害情報機器等整備管理事務より、同事業科目へ移管)</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防活動消耗品 6,428千円 ・消防・救助・救急用資機材購入費 11,181千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・資機材の更新整備における方針に沿って、耐用年数が定められている資機材の更新、労働安全衛生規則等の関係法令改正内容に則した資機材の整備及び全国各地で発生した特異災害事象等を注視した資機材を整備しました。 ・消防活動用資機材整備計画に基づき、消防活動用資機材を計画的に更新整備をします。 					

決算書ページ 163	款 09	消防費	項 01	消防費	目 03	消防施設費
事業名	03 消防車両整備事業				担当課	警防課
目的	災害活動の中心となる消防車両を整備し、消防力の向上を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					105,902	
手段手法	複雑多様化する災害に対応するため、また車両の老朽化に伴う消防力の低下を防ぐため、消防車両等更新基本計画に基づき、各車両の更新・整備を行います。				令和2年度 予算現額	
					123,976	
					令和2年度 決算額	
					123,957	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	83,800					
その他	38,940					
一般財源	1,217					
令和3年度 予算額		334,104				
活動内容						
指標	1 購入車両数	2	3	4		
	整備の必要のある車両数					
	予定(目標)	2 台				
	令和2年度実績	2 台				
令和元年度実績	4 台					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>消防車両を整備しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高規格救急自動車 1台【1台】 ・多目的災害対策車 1台【0台】 ・小型水槽付消防ポンプ自動車 0台【1台】 ・消防団車両(小型動力ポンプ付積載車) 0台【1台】 ・消防団資機材搬送車 0台【1台】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・投資的備品購入費 123,640千円 ・普通旅費及びその他 317千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・更新対象車両の総事業費に係る経費が増額したことにより、決算額が増額しました。 ・消防力の低下を防ぐため、消防車両等更新基本計画に基づき消防車両を適正かつ計画的に新規更新整備をします。 					

決算書ページ 165	款 10	教育費	項 01	教育総務費	目 03	教育研究費
事業名	05 情報教育推進事業				担当課	教育研究所
目的	教育の情報化に関する知識・技能習得の場を提供し、ICT機器を活用した授業での指導力向上を図り、教職員が様々な教育の情報化の課題に対応できるようにします				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					5,075	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 教育の情報化有識者及び授業実践者を招き、ICT機器を活用した様々な授業実践に関する研修講座の開催や、調査研究を行います。 教育の情報化推進校研究委託は指導講師の提言を受け学校をあげて2年間実践研究を行い、研究の成果を公開授業として発表します。 市立小中学校における情報モラル教育を支援します。 教育の情報化を推進するため、教育の情報化プロジェクト委員会やネットワークリーダー会議を開催します。 				令和2年度 予算現額	
					6,231	
					令和2年度 決算額	
					6,077	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	6,077					
令和3年度 予算額						
5,232						
活動内容						
指標	1	研修講座開催数	2	調査研究部会開催数	3	教育の情報化プロジェクト委員会開催数
	教職員の資質・能力向上のための研修講座の開催数		教育の情報化についての調査研究部会の開催数		教育の情報化プロジェクト委員会の会議開催数	
	4	ネットワークリーダー会議開催数	ネットワークリーダー会議の会議開催数			
	予定(目標)	92 回	12 回	2 回	3 回	3 回
令和2年度実績	86 回	8 回	4 回	3 回	3 回	
令和元年度実績	43 回	10 回	4 回	3 回	3 回	
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育の情報化に関する調査研究と研修を行いました。 教育の情報化に関する実践研究の成果を、委託校によるオンライン発表会として市立全小中学校に配信しました。 教育の情報化に関する基本方針や方向性について検討することを目的とした、大和市教育の情報化プロジェクト委員会を開催しました。 教育の情報化に関する情報提供及び支援の場として、ネットワークリーダー会議を開催しました。 市立全小中学校における情報モラル教育を支援しました。 児童生徒1人1台端末の活用に向けて、研修講座を開催しました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 業務委託料 4,954千円 その他 1,123千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き、児童生徒1人1台端末の学校での効果的な活用に向けて、研修や調査研究を実施します。 ICT機器の活用が進む中で、児童生徒が情報モラルについて主体的に考えていけるよう、情報モラル教育を支援していきます。 					

決算書ページ 167	款 10	教育費	項 01	教育総務費	目 04	教育指導費
事業名	04 外国人児童生徒教育推進事業				担当課	指導室
目的	外国につながりを持つ児童生徒が、日本語で教育内容を理解できるようにします。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					17,775	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校に日本語指導員及び外国人児童生徒教育相談員を派遣します。 ・外国につながりを持つ児童生徒と保護者用に教育委員会や学校からの通知文書等を各言語に翻訳します。 ・「楽しい学校」改訂版を残部に応じて増刷します。 ・日本語教育アドバイザー、日本語指導巡回教員、外国人児童生徒支援コーディネーターを配置します。 ・編入児童・生徒への拠点方式による日本語指導を行います。(プレクラスの開設) ・プレスクールを実施します。 				令和2年度 予算現額	
					21,786	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校に日本語指導員及び外国人児童生徒教育相談員を派遣します。 ・外国につながりを持つ児童生徒と保護者用に教育委員会や学校からの通知文書等を各言語に翻訳します。 ・「楽しい学校」改訂版を残部に応じて増刷します。 ・日本語教育アドバイザー、日本語指導巡回教員、外国人児童生徒支援コーディネーターを配置します。 ・編入児童・生徒への拠点方式による日本語指導を行います。(プレクラスの開設) ・プレスクールを実施します。 				令和2年度 決算額	
					20,159	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	20,159					
				令和3年度 予算額		
				21,272		
活動内容						
指標	1	日本語指導員の派遣回数	2	外国人児童生徒教育相談員派遣回数	3	通知文書の翻訳枚数
		外国人児童・生徒に対して日本語指導等を行った回数		外国人児童・生徒に対して教科指導等を行った回数		通知文書等を各言語等に翻訳した枚数
	予定(目標)	450 回	500 回	350 枚	100 セット	
	令和2年度実績	411 回	496 回	372 枚	50 セット	
令和元年度実績	341 回	438 回	333 枚	50 セット		
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校に日本語指導員及び外国人児童生徒教育相談員を派遣しました。(日本語指導員：7名、外国人児童生徒教育相談員：22名) ・国際教室担当教員の指導力向上に資する研修会の実施及び国際教室未設置校に在籍する児童生徒への支援体制の充実を図りました。 ・日本語教育アドバイザー、日本語指導巡回教員及び外国人児童生徒支援コーディネーターを配置し、支援・助言指導体制の充実を図りました。 ・編入児童・生徒への拠点方式による日本語指導(プレクラス)を行いました。 ・国際化協会と連携し、プレスクールを開催しました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人児童生徒教育相談員謝礼 4,712千円 ・日本語指導員講師等謝礼 2,736千円 ・筆耕翻訳料・保険料 1,583千円 ・会計年度任用職員報酬・手当・旅費 10,029千円 ・委託料(プレスクール)、その他 1,099千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な国籍を有した、外国につながりのある児童生徒の在籍数は増加傾向にあります。また、入管法の改定により、今後も増加することが予想されます。 ・外国につながりのある児童生徒に対して、日本語能力向上や学校生活を円滑に送るための支援が必要です。 ・言語習得状況に応じた個別の支援を実施するため、さらなる支援体制の充実が必要です。 					

決算書ページ 167	款 10	教育費	項 01	教育総務費	目 04	教育指導費
事業名	06 英語教育推進事業				担当課	指導室
目的	外国語を通して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度、言語、文化について理解を深めるコミュニケーション力の向上を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					40,211	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校外国語活動を充実させるため、外国語の音声や基礎的な表現に慣れ親しむことを目的に、外国語を母語とする外国語活動指導助手を配置します。 ・中学校の英語指導を助けるため、外国人の英語指導助手が各中学校を巡回し、指導にあたります。 				令和2年度 予算現額	
					63,088	
					令和2年度 決算額	
					56,823	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	56,823					
令和3年度 予算額						
66,046						
活動内容						
指標	1	外国語活動指導助手派遣回数 対象：小学校	2	英語指導助手派遣回数 対象：中学校	3	小学校英語学習実施校数 小学校における英語学習活動の実施校数
	4					
	予定(目標)	2,280 回	630 回	19 校		
	令和2年度実績	2,465 回	684 回	19 校		
令和元年度実績	1,600 回	564 回	19 校			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の全中学校へ英語指導助手を派遣しました。 ・市内の全小学校へ外国語活動指導助手を派遣しました。 5、6年生：年間70時間【35時間】 ※小学校英語専科担当教員のクラスは35時間 3、4年生：年間35時間【17時間】 1、2年生：年間5時間【5時間】 特別支援級：年間 2時間程度【2時間程度】 ・中学校外国語教育、小学校外国語教育の充実に向けて、引き続き英語教育スーパーバイザーを設置します。 ・夏休みのイングリッシュ・デイは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催を中止しました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤特別職報酬、会計年度任用職員報酬・手当 56,693千円 ・その他 130千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校における新学習指導要領の全面実施に伴い、高学年において教科化された外国語科や、中学年に新設された外国語活動の授業がしっかりと行われるよう、外国語活動指導助手を3人増員しました。これに伴う報酬等の増加が、決算額の増加の要因となりました。 ・中学校において、令和3年度より新学習指導要領が全面実施されますが、指導内容の増加などの観点から、支援をしていく必要があります。 ・義務教育9年間を見据えた英語教育を推進するため、新学習指導要領の検討と、小・中学校が連携した英語教育の研究を継続することが必要です。 					

決算書ページ 167	款 10	教育費	項 01	教育総務費	目 04	教育指導費
事業名	07 就学相談事業				担当課	指導室
目的	教育上配慮を要する児童生徒が、適切な就学ができるようにします。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					3,828	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育担当指導主事及び特別支援教育相談員が保護者からの相談を受けます。 教育的なニーズに対する適切な支援を進めるために情報収集に努めます。 関係機関と連携を図りながら、最も適正な教育のあり方と就学先について、処遇委員会の意見を踏まえ保護者に助言します。 				令和2年度 予算現額	
					8,556	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育担当指導主事及び特別支援教育相談員が保護者からの相談を受けます。 教育的なニーズに対する適切な支援を進めるために情報収集に努めます。 関係機関と連携を図りながら、最も適正な教育のあり方と就学先について、処遇委員会の意見を踏まえ保護者に助言します。 				令和2年度 決算額	
					8,213	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
					その他	0
令和3年度 予算額	9,041					
活動内容						
指標	1	相談件数	2	就学相談説明会	3	4
	教育上配慮を必要とする児童生徒の保護者からの相談件数		入学前から入学までに関する就学相談説明会の実施件数			
	予定(目標)	240 件	4 件			
	令和2年度実績	256 件	1 件			
令和元年度実績	241 件	4 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 就学相談説明会を書面にて実施しました。 特別支援教育担当指導主事及び特別支援教育相談員が、保護者の相談を受け、適切な情報提供を行いました。 関係機関と連携し、必要な情報を収集しました。 処遇委員会や関係機関の意見を就学先に伝え、学校の支援体制が整うよう助言しました。 <p><実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 就学相談 256件【241件】 就学相談説明会 1件【 4件】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 特別教育相談員報酬・手当(3人) 8,188千円 旅費 25千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育相談員を1名増員したことにより、決算額が増加しました。今後は3名体制の元、効果的な相談体制を充実させていく必要があります。 教育的ニーズの高い子どもの就学相談の際には関係機関との連携や調整が必要です。 保護者との信頼関係を築きつつ、子どもの状況を的確に把握し、情報を提供する必要があります。 相談内容の多様化により、より専門的知識が求められます。 学校や関係機関と連携を取りながら、就学後もフォローアップが必要です。 					

決算書ページ 167	款 10	教育費	項 01	教育総務費	目 04	教育指導費
事業名	08 ことばの教室運営事業				担当課	指導室
目的	ことばと聞こえの障がいを改善するため、その児童の症状に合わせた指導を行い、会話などを通じたコミュニケーション能力の向上を図ります。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 370
					令和2年度 予算現額	346
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 市立小学校3校（草柳小・渋谷小・林間小）のことばの教室へ対象児童を通級させ、障がいを改善するための指導を行います。 				令和2年度 決算額	343
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
					その他	0
					一般財源	343
令和3年度 予算額	520					
活動内容						
指標	1	ことばの教室在籍児童数	2	ことばの教室設置校	3	ことばの教室修了者
	対象：ことばの発達に心配のある児童		草柳小・渋谷小・林間小		初期の目的を達成した児童数	
	予定(目標)	230 人	3 校	51 人		
	令和2年度実績	202 人	3 校	43 人		
令和元年度実績	161 人	3 校	39 人			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 在籍する小学校で通常の学習を続けながら、障がいの程度によりことばの教室に通級させ、障がいを改善するための指導を行いました。 個々のニーズに応じたきめ細やかな支援・指導の充実のため、指導に使用する備品を整備しました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 備品購入費 148千円 オーディオメーター及び騒音計点検校正料 195千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ことばや聞こえの障がいについては、早期からの適切な指導や訓練が効果的とされており、早期の入級が求められます。 就学する子どもたちの多様な学びの場として、広く周知を図ることが必要とされます。 個々の教育的ニーズに対応するため、指導に使用する視聴覚機器の入れ替えが必要です。 児童生徒の実態把握のため、防音設備の整った場所での検査が求められます。 					

決算書ページ 167	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	04	教育指導費
事業名	09 特別支援教育推進事業						担当課	指導室	
目的	教育上配慮を要する児童生徒に対し、教育的ニーズに応じたきめ細やかな支援を行うことにより、特別支援教育の充実を図ります。						令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 92,592	
							令和2年度 予算現額	123,311	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 市内の小中学校を対象に、必要に応じて特別支援教育ヘルパーを配置します。 市内の小中学校を対象に、特別支援教育スクールアシスタントを配置します。 大和市特別支援教育巡回相談チームを各学校の要請を受け派遣します。 医療的ケアの必要な児童・生徒が在籍する学校に看護師を派遣します。 特別支援教育における専門的な研修の充実を図ります。 						令和2年度 決算額	109,991	
							令和2年度 財源内訳		
							国庫支出金	4,205	
							県支出金	0	
							地方債	0	
							その他	0	
令和3年度 予算額	128,430								
活動内容									
指標	1	特別支援教育ヘルパーの配置人数	2	特別支援教育スクールアシスタントの配置人数	3	特別支援教育巡回チームの派遣回数	4	特別支援学級新1年生に関する関係機関との連絡会	
		大和市立小中学校に配置した人数		大和市立小中学校に配置した人数		支援を必要とする児童生徒に対するアドバイス回数		就学前所属施設の関係者と学校との情報の共有件数	
	予定(目標)	96 人	36 人	150 回	7 件				
	令和2年度実績	96 人	36 人	103 回	9 件				
令和元年度実績	87 人	36 人	114 回	7 件					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育ヘルパーを配置し、特別支援学級に在籍する児童生徒の介助にあたりました。 特別支援教育スクールアシスタントを配置し、教員とともに通常の学級に在籍する発達障害等の児童生徒の指導にあたりました。 特別支援教育巡回相談チームを派遣し、教職員への助言や保護者への相談支援を行いました。 医療的ケアの必要な児童生徒への支援の充実を図るため、看護師を5校に派遣しました。 特別支援教育における研修の充実を図りました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育ヘルパー、スクールアシスタント報酬 95,124千円 看護師派遣費用 12,616千円 その他 2,251千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 教育的ニーズの高い児童生徒が特別支援学級に在籍し、多岐にわたる支援が求められるため、教職員に対する専門的知識及びスキルの向上が必要です。 通常の学級に在籍し支援を必要とする児童生徒の数が増加する中、児童生徒一人一人のニーズに応じた支援が求められています。 特別支援学級への巡回相談の依頼が増加傾向にあり、より専門的な知識が求められています。 医療的ケアの必要な児童生徒に対応するため、今後も継続的に看護師派遣を行う必要があります。 								

決算書ページ 167	款 10	教育費	項 01	教育総務費	目 04	教育指導費
事業名	10 人権教育推進事業				担当課	指導室
目的	学校教育における人権教育を推進し、教職員の人権意識を高めます。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					271	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育に係る研修を実施します。 人権に関する各種研修会に参加します。 各学校の校内研修会等への支援をします。 人権教育啓発に関する情報資料提供を行います。 				令和2年度 予算現額	
					282	
					令和2年度 決算額	
					249	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	249					
令和3年度 予算額						
282						
活動内容						
指標	1	人権教育の研修会実施回数	2	校内研修会の支援件数	3	研修会参加回数
	各種研修会において人権教育に関する研修を実施します。		各校の校内研修会等への講師派遣、情報提供を実施します。		研修会等へ参加し、人権教育に対する理解を深めます。	
	予定 (目標)	4 回	25 件	20 回		
	令和2年度 実績	2 回	9 件	20 回		
令和元年度 実績	4 回	25 件	15 回			
具体的 内容	【 】内は前年度数値					
	<ul style="list-style-type: none"> 教職員向けに、人権・同和教育に係る研修会を開催しました。 人権同和団体等が主催する人権に関する各種研修会は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から令和2年度は中止となりましたが、人権・同和問題に関する各種資料を入手し、各学校へ配付しました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 消耗品費（冊子購入等） 2 4 4 千円 その他（旅費等） 5 千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 人権に関する各種研修会で得られた情報資料を各学校へ提供してまいります。 教職員の人権意識をより高めるために、各学校におけるさまざまな人権教育に係る研修の充実を図ります。 					

決算書ページ 167	款 10	教育費	項 01	教育総務費	目 04	教育指導費
事業名	11 児童生徒安全対策事業				担当課	指導室
目的	犯罪等から子どもの安全を守り、保護者が安心して学校に通わせられるよう、安全対策を強化します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					4,336	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> メール配信システムを活用し、犯罪・不審者・自然災害等の情報を、利用登録した保護者へ迅速に伝達します。 学校ごとの連絡事項をメール配信で保護者へ伝達します。 市内小学校の新1年生を対象に防犯ブザーを配布します。 見守り活動を視覚的にアピールするため「大和市子ども見守り隊」のベストを購入します。 				令和2年度 予算現額	
					6,704	
					令和2年度 決算額	
					5,513	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	3,023
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	2,490					
令和3年度 予算額						
2,975						
活動内容						
指標	1	学校P Sメール実施学校数	2	学校P Sメール配信件数	3	学校P Sメール世帯普及率
	大和市内全公立小中学校		不審者・登下校・行事・その他について配信		児童生徒在籍世帯数における学校P Sメール登録世帯数の割合	
	4	防犯ブザー配布校数				
	新1年生へ防犯ブザーを配布した小学校数					
予定(目標)	28	校	735	件	93	%
令和2年度実績	28	校	2,221	件	97.6	%
令和元年度実績	28	校	1,425	件	93	%
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大に伴う小中一斉臨時休業中に、各校が児童生徒の自宅学習のための教材等を郵送できるよう、切手を購入し、各校に配付しました。 犯罪、不審者、自然災害等の情報を、利用登録をした保護者へ電子メールで迅速に伝達しました。 学校ごとの連絡事項をメール配信で伝達しました。 市内小学校の新1年生を対象に防犯ブザーを配付しました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 防犯ブザー等消耗品 1,728千円 メール配信サービス使用料 762千円 小中一斉臨時休業に係る通信費 3,023千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 小中一斉臨時休業中の学習支援等に伴う書類送付用として、切手を購入したことにより、決算額が増加しました。 学校P Sメールは緊急時の連絡手段としての重要性が高いため、今後も学校P Sメール世帯普及率を高い水準で維持する必要があります。 防犯ブザーの継続的な配付と効果的な使用方法の周知が必要です。 					

決算書ページ 167	款 10	教育費	項 01	教育総務費	目 04	教育指導費						
事業名	12 いじめ等対策事業				担当課	指導室						
目的	市立小中学校におけるいじめの撲滅を目指すとともに、子どもたちが安心して学校生活を送れるような学校づくりに取り組みます。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 19,706						
					令和2年度 予算現額	20,276						
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止を学校指導者・地域で考え、行動に移せるよう教育フォーラムを開催します。 児童支援中核教諭に伴う非常勤講師を配置します。 全小中学校に対して児童・生徒指導研修会（訪問研修）を実施します。 スマートフォン用の匿名報告・相談アプリ「STOP it」を市内全生徒が使用できる環境を整備します。 ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、フォーラムの開催を中止しました。				令和2年度 決算額	18,347						
					令和2年度 財源内訳							
					国庫支出金	0						
					県支出金	0						
					地方債	0						
					その他	0						
					一般財源	18,347						
令和3年度 予算額	16,823											
活動内容												
指標	1	リーフレットの配付枚数	2	フォーラムの開催回数	3	1人1台端末用アプリケーション登録率	4	スマートフォン用アプリケーション登録率				
		いじめ撲滅や不登校対策の啓発リーフレットの配布枚数		いじめ撲滅や不登校対策のフォーラムの開催回数		1人1台端末用の匿名報告・相談アプリ「STOP it」登録率		スマートフォン用の匿名報告・相談アプリ「STOP it」登録率				
	予定(目標)	4,500 枚	1 回	100 %	8 %							
	令和2年度実績	4,500 枚	0 回	100 %	6.36 %							
令和元年度実績	4,500 枚	1 回	0 %	7.27 %								
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 全小学校において指導体制の充実を図るため、児童支援中核教諭を校内から選任し、その授業代替要員として非常勤講師を県費と市費で配置しました。 大和市いじめ防止基本方針に基づき、いじめ問題対策協議会（書面開催1回、集合開催1回）や、いじめ問題対策調査会（書面開催2回）を開催しました。 いじめ・不登校の更なる減少を図るため、全小学校5年生及び全中学校1年生を対象に学級集団アセスメントテスト（hyper-QUテスト）を実施しました。 スマートフォン用の匿名報告・相談アプリ「STOP it」を市内全生徒が使用できる環境を整備しました。 <決算額の内訳> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">・児童支援中核教諭に伴う非常勤講師報酬</td> <td style="text-align: right;">14,794千円</td> </tr> <tr> <td>・委託料（hyper-QUテスト、STOP it）</td> <td style="text-align: right;">3,458千円</td> </tr> <tr> <td>・いじめ・不登校ポスターコンクール参加記念品・その他</td> <td style="text-align: right;">95千円</td> </tr> </table>						・児童支援中核教諭に伴う非常勤講師報酬	14,794千円	・委託料（hyper-QUテスト、STOP it）	3,458千円	・いじめ・不登校ポスターコンクール参加記念品・その他	95千円
・児童支援中核教諭に伴う非常勤講師報酬	14,794千円											
・委託料（hyper-QUテスト、STOP it）	3,458千円											
・いじめ・不登校ポスターコンクール参加記念品・その他	95千円											
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題への啓発活動を行うとともに、いじめについてのアンケートを実施することで、いじめの早期発見・早期対応につながりました。 いじめ防止対策推進法はいじめの定義に基づく、いじめの認知について浸透してきているため、より精度の高い児童生徒理解と認知後の丁寧な対応ができるよう、いじめ防止基本方針の共通理解が必要です。 匿名報告・相談アプリ「STOPit」を、全中学校の生徒の端末からも利用ができるよう整備を行いました。相談が必要な時に、スマートフォン等からいつでも利用可能であることを広く周知し、活用を促進させる取り組みが必要です。 											

決算書ページ 167	款 10	教育費	項 01	教育総務費	目 04	教育指導費
事業名	13 学力向上対策推進事業				担当課	指導室
目的	児童生徒への学習支援を行うとともに、特に小学校の若手教員の指導力を養うことで、総合的に学力の向上を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					139,120	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において「放課後寺子屋やまと」「夏休み寺子屋やまと」「放課後子ども教室(ひろば)」を開催します。 ・小学校教員の指導力向上のための支援を行います。 ・中学校において「中学校寺子屋やまと」「長期休業期間中における学習支援」を開催し、授業中、放課後及び長期休業期間中の学習支援を行います。 				令和2年度 予算現額	
					227,093	
					令和2年度 決算額	
					206,546	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	45,628
					地方債	0
その他	0					
一般財源	160,918					
令和3年度 予算額						
233,180						
活動内容						
指標	1	放課後寺子屋やまとの開催校	2	中学校放課後寺子屋やまとの開催校	3	4
	小学校空き教室を利用し、学習支援を行った校数		中学校空き教室を利用し、学習支援を行った校数			
	予定(目標)	19 校	9 校			
	令和2年度実績	19 校	9 校			
令和元年度実績	19 校	9 校				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全小学校において、学校の空き教室等を活用した「放課後寺子屋やまと」「放課後子ども教室」を開催し、児童の学習支援を行いました。 ・経験年数の少ない教員に対する指導を実施し、授業力・指導力の向上を図りました。(授業参観・面談 5, 108回) ・全中学校において、放課後学習支援(「放課後寺子屋やまと」)を開催し、授業中及び放課後に生徒の学習支援を行いました。 ・中学校において、冬休みに学習支援(「冬休み寺子屋やまと」)を開催し、長期休業期間中における学習支援を行いました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後寺子屋やまと関連報酬・手当 (85人) 90,883千円 ・中学校学習支援関連報酬・手当 (36人) 64,079千円 ・放課後子ども教室関連報酬・手当 (118人) 43,398千円 ・教材等消耗品購入費、保険料、その他 8,186千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・こども・青少年課より、放課後子ども教室事業を指導室へ移管しました。これにより、決算額が増加しました。 ・小学校放課後寺子屋やまと及び放課後子ども教室について、引き続き適切な人員配置を行います。 ・小学校放課後寺子屋やまと、中学校寺子屋やまと、放課後子ども教室における支援の充実を図るため、適切な環境整備が必要です。 ・中学校寺子屋やまとが各学校に浸透してきており、参加生徒数増加傾向にあるため、より一人ひとりのニーズに併せた学習支援体制の充実を図ります。 					

決算書ページ 167	款 10	教育費	項 01	教育総務費	目 04	教育指導費
事業名	16 教育用コンピュータ整備事業				担当課	教育研究所
目的	教育の情報化を推進するため、教育ネットワークに接続するコンピュータ機器等の整備と保守を行います。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					307,610	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校のコンピュータ教室等に設置した教育用コンピュータの保守管理を業者に委託します。 校務用及び教育用コンピュータを教員数や児童生徒数、及び活用方法により適性な配置、整備を行います。 				令和2年度 予算現額	
					370,479	
					令和2年度 決算額	
					369,110	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	30,951
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	338,159					
令和3年度 予算額						
349,452						
活動内容						
指標	1	保守管理コンピュータ台数	2	校務用コンピュータ台数	3	教育用コンピュータ台数
		市内市立小中学校保守対象コンピュータ数		市内教職員が使用する校務用コンピュータ台数		児童生徒が使用する教育用コンピュータ台数
	予定(目標)	22,428 台	1,236 台	21,192 台		
	令和2年度実績	22,646 台	1,236 台	21,410 台		
令和元年度実績	3,768 台	1,140 台	2,628 台			
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校のコンピュータ教室等に設置した教育用コンピュータ及び周辺機器の更新、保守管理を行いました。 ICT機器を有効活用するため、ICT支援員を配置しました。 校務用コンピュータの更新、保守管理を行いました。 中学校2、3年生の全クラスにプロジェクタを整備しました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 業務委託料 (ICT支援業務委託等) 34,195千円 施設管理・保守等委託料 35,376千円 情報機器賃借料 221,806千円 中学校普通教室用プロジェクタ購入費 73,582千円 その他 4,151千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 中学校2、3年生の普通教室に新たに中学校普通教室用プロジェクタを整備するとともに、教職員数の増加に伴い、校務用コンピュータについて台数を増やして更新したため、事業費が増加しました。 GIGAスクール構想に基づき、児童生徒1人1台の端末が整備されたことに伴い、ICT機器を活用した授業も増加しているため、引き続きICT支援員の日常的な配置が必要です。 					

決算書ページ 167	款 10	教育費	項 01	教育総務費	目 04	教育指導費
事業名	17 G I G Aスクール端末整備事業				担当課	教育研究所
目的	国のG I G Aスクール構想に基づき、児童生徒1人1台端末の整備を推進します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					0	
手段手法	学校における1人1台環境を実現するための教育I C T環境の整備を行います。				令和2年度 予算現額	
					1,248,747	
					令和2年度 決算額	
					1,245,735	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	1,245,735
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
令和3年度 予算額		0				
活 動 内 容						
指標	1	G I G Aスクール端末台数	2		3	
	児童生徒1人1台及び教職員端末					
	予定(目標)	18,660				
	令和2年度実績	18,660				
	令和元年度実績	0				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>G I G Aスクール構想に基づき、児童生徒1人1台の端末を整備しました。また同端末を活用したオンライン学習の早期実現と授業での積極的な端末の活用を推進するため、G I G AスクールコーディネーターとG I G AスクールI C T支援員を配置しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備台数18,660台 <li style="padding-left: 20px;">内訳：児童生徒17,447台 教員用1,186台 他拠点分27台 ・G I G Aスクールコーディネーター1名 期間：10月～3月末日 ・G I G AスクールI C T支援員 5名 期間：10月～3月末日 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品購入費 1,223,506千円 ・業務委託料 21,978千円 ・その他 251千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・G I G Aスクール構想に基づく、児童生徒1人1台端末の早期実現のため、国の補助金や臨時交付金を活用して、令和2年度に同端末の整備を行いました。 ・端末の耐用年数の経過に伴う更新時には、国の財政措置も含めて、財源確保が課題となります。 					

決算書ページ 167	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	05	青少年相談費
事業名	02 青少年相談・街頭補導事業						担当課	青少年相談室	
目的	青少年やその家庭が抱える課題の解消を図ります。						令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 48,179	
							令和2年度 予算現額	63,229	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 電話や来室で相談を受け、課題解消に向けた支援を行います。 スクールソーシャルワーカー、青少年心理カウンセラーを中心に家庭環境の改善等の支援を行います。 青少年街頭指導員と青少年相談員による街頭補導を行います。 青少年の健全育成のため、社会環境実態調査・有害看板撤去活動等を行います。 						令和2年度 決算額	56,887	
							令和2年度 財源内訳		
							国庫支出金	0	
							県支出金	0	
							地方債	0	
							その他	0	
令和3年度 予算額	64,684								
活動内容									
指標	1	年間の新規相談受理件数	2	年間の継続相談件数	3	少年補導回数	4	有害看板等撤去活動回数	
		年間の電話・来室新規相談件数の合計		年間の継続相談件数の合計		補導(指導・声かけ等)した回数		関係団体と協力して実施した回数	
	予定(目標)	600 件	600 件	300 回	3 回				
	令和2年度実績	525 件	838 件	271 回	1 回				
令和元年度実績	624 件	644 件	284 回	3 回					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>電話や来室により相談を受け、必要に応じて継続相談や学校との連携を図り、問題解決につなげました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話相談受理件数 206件【265件】 来室相談受理件数 100件【359件】 年間相談継続件数 838件【644件】 メール相談件数 5件【7件】 <p>街頭指導員が毎日午前と午後の2回、街頭補導を行います。また各地区の青少年相談員とともに月2回、街頭補導を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 街頭補導回数 271回【284回】 街頭補導従事者数 824人【968人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 相談員等報酬・手当 53,634千円 その他 3,253千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 市内全小学校に派遣されている教育相談員の活動が定着し、学校と連携して初期対応にあたることで、相談に対して早期に、適切な対応ができています。 各地区に青少年心理カウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを配置したことで、学校と関係機関との連携がよりスムーズになり、複雑なケースにも対応できています。 学校主体の相談体制をより一層支えるために、教育相談員の資質向上を図りつつ、教育相談アドバイザーの助言を生かした連携の在り方を今後もいっそう検討していく必要があります。 								

決算書ページ 167	款 10	教育費	項 01	教育総務費	目 05	青少年相談費
事業名	03 不登校児童生徒援助事業				担当課	青少年相談室
目的	不登校児童生徒の社会的自立に向けて支援します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					22,174	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒が通室する学校外の施設として、教育支援教室を開設します。 小中学校には登校できるが、教室で授業を受けることができない児童生徒への学習支援及び相談・家庭訪問を通して支援する不登校生徒支援員・不登校児童支援員を配置します。 				令和2年度 予算現額	
					28,797	
					令和2年度 決算額	
					27,278	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	27,278					
令和3年度 予算額						
29,983						
活動内容						
指標	1	教育支援教室開室日数	2	教育支援教室行事回数	3	4
	教育支援教室の年間開室日数		教育支援教室が実施した教室行事の年間回数			
	予定(目標)	200 日	40 回			
	令和2年度実績	183 日	16 回			
令和元年度実績	180 日	41 回				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>不登校児童生徒が通室する学校外の施設として教育支援教室を開設しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 不登校を考える保護者会参加人数 18人【32人】 医療相談員による個別面談者数 9人【10人】 <p>教育支援教室では、通室児童生徒に対して、カウンセリング・学習支援・人間関係づくりの補助等を行い、社会的自立を目指した支援を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育支援教室への通室児童生徒数 33人【43人】 通室児童生徒のうち学校復帰した人数 16人【30人】 <p>全中学校に不登校生徒支援員と小学校重点校に不登校児童支援員を配置し、不登校の解消を目指しています。</p> <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 教育支援教室指導員報酬・手当 10,319千円 不登校児童生徒支援員報酬・手当 16,479千円 その他 480千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 会計年度任用職員制度の開始により、期末手当の支給等が発生したため、決算額が増加しました。 各学校にスクールソーシャルワーカーや青少年心理カウンセラー、指導主事が訪問し、個別のケースへの対応について相談・支援を進めて、学校主体の支援体制のより一層の充実に努めます。 不登校児童生徒支援員の児童生徒への対応や支援の進め方について、研修や事例等情報の共有を行い、不登校の早期対応に努めます。 					

決算書ページ 169	款 10	教育費	項 02	小学校費	目 02	教育振興費		
事業名	02 小学校学用品等就学援助事業					担当課	学校教育課	
目的	経済的理由により、小学校への就学が困難な家庭の負担を軽減します。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	200,795	
						令和2年度 予算現額	174,181	
手段手法	・保護者からの申請をもとに、要保護・準要保護基準に合うか審査し、認定者に給食費や学用品費等の援助を行います。					令和2年度 決算額	160,146	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金	10	
						県支出金	222	
						地方債	0	
						その他	0	
						一般財源	159,914	
令和3年度 予算額	197,678							
活動内容								
指標	1	就学援助の申請・審査件数	2	就学援助の認定・支給件数	3		4	
		就学援助の申請を受け審査した件数		就学援助対象として認定し、就学援助費を支給した件数				
	予定(目標)	3,200 人	2,305 人					
	令和2年度実績	2,863 人	2,346 人					
令和元年度実績	3,102 人	2,505 人						
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>受給申請書等を審査し、認定者に給食費等を援助しました。</p> <p><給食費等を援助した人数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食費 2,336人【2,479人】 ・学用品費 2,346人【2,493人】 ・新入学学用品費 355人【350人】 ・修学旅行費 254人【414人】 ・宿泊を伴う校外活動費 179人【415人】 ・入学準備金(新小1) 230人【370人】 ・入学準備金(新中1) 397人【413人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学用品等経費 159,989千円 ・事務費等 157千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための学校臨時休業により、給食費の支給が発生しなかった期間があったこと、また修学旅行などの宿泊を伴う行事が実施されなかったことから、決算額が減少しました。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、世帯所得が著しく減少する世帯が想定されるため、その世帯への対応策の検討が必要です。 							

決算書ページ 169	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費	
事業名	04 小学校特別支援教育就学奨励事業							担当課	学校教育課	
目的	特別支援学級への就学や「ことばの教室」「はぐくみの教室」に通級する家庭に援助を行うとともに、特別支援教育就学奨励費の普及を図ります。							令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 7,506	
								令和2年度 予算現額	8,775	
手段手法	・保護者からの申請に対し、どの所得基準に該当するか審査し、所得に応じて給食費や学用品費、通学費等の援助を行います。							令和2年度 決算額	6,220	
								令和2年度 財源内訳		
								国庫支出金	3,122	
								県支出金	0	
								地方債	0	
								その他	0	
								一般財源	3,098	
令和3年度 予算額	8,181									
活動内容										
指標	1	就学奨励費申請・審査件数	2	就学奨励費認定・支給件数	3		4			
		就学奨励費の申請を受け、審査した件数		就学奨励費の支給対象として認定した件数						
	予定(目標)	233 件		233 件						
	令和2年度実績	289 件		289 件						
令和元年度実績	256 件		256 件							
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>保護者からの申請を審査し、所得基準に応じて給食費等を援助しました。</p> <p><実績の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食費 215人【224人】 ・学用品費 215人【224人】 ・新入学学用品費 40人【43人】 ・修学旅行費 15人【27人】 ・宿泊を伴う校外活動費 15人【30人】 ・通学費 21人【42人】 ・交流・共同学習費 0人【7人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学用品費等経費 6,220千円 									
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への周知及び申請受領までは、原則学校が実施するため、さらに効率的かつ正確に事務処理が行えるよう共同学校事務室を活用し、検討・協議する必要があります。 									

決算書ページ 169	款 10	教育費	項 02	小学校費	目 02	教育振興費
事業名	06 小学校地域教育力活用推進事業				担当課	指導室
目的	学校評議員をはじめ、地域の人材を積極的に活用し、家庭・地域と一体となって開かれた学校運営を図ることにより、学校教育の充実を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					1,032	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 学校評議員を依頼します。 各学校に対し、地域教育力を活用した教育活動を支援します。 教育委員会で作成した学校支援ボランティア人材バンクのファイルを各校へ配付します。 コミュニティスクールの導入を検討します。 				令和2年度 予算現額	
					1,195	
					令和2年度 決算額	
					1,048	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	1,048					
令和3年度 予算額						
1,146						
活動内容						
指標	1	学校評議員の人数	2	地域教育力活用実施校数	3	学校支援人材ボランティア登録者数
	小学校における学校評議員の人数		地域教育力を活用して教育活動を進める学校数		地域教育力活用として学校運営に携わるボランティア登録者数	
	予定(目標)	115 人	19 校	70 人		
	令和2年度実績	109 人	19 校	37 人		
令和元年度実績	109 人	19 校	64 人			
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> 学校評議員を依頼しました。 地域教育力を活用した教育活動を支援しました。 学校支援ボランティア人材バンクのファイルを各校へ配付しました。 コミュニティスクール導入に向けた検討をしました。(文ヶ岡小) <決算額の内訳> <ul style="list-style-type: none"> 学校評議員、地域教育力謝礼 1,048千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 学校評議員による外部の立場からの助言は、教育活動を展開していくうえでも重要であることから、これまで以上に学校評議員を活用した学校運営が望まれます。 更なる地域を活用した、学校運営を行うためコミュニティスクール導入に向けた検討が必要です。 					

決算書ページ 169	款 10	教育費	項 02	小学校費	目 02	教育振興費		
事業名	10 小学校図書館教育推進事業					担当課	指導室	
目的	学校図書館の機能を十分発揮できるよう、図書環境の充実を図ります。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	50,078	
						令和2年度 予算現額	57,603	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 国が定める学校図書館図書標準に基づき、計画的に図書を購入します。 各小学校の学校図書館に学校司書を配置します。 学校図書館に配架している新聞を普通教室に配架します。 子どもたちの読書活動推進のため、読書フェスティバル及び調べる学習コンクールを開催します。 					令和2年度 決算額	56,735	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	0	
						地方債	0	
						その他	0	
令和3年度 予算額	48,809							
活動内容								
指標	1	学校図書館蔵書数	2	学校図書館図書標準充足校	3		4	
	全19校合計		国が定める蔵書冊数を満たしている学校数					
	予定(目標)	214,520 冊	19 校					
	令和2年度実績	218,524 冊	19 校					
	令和元年度実績	217,577 冊	19 校					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 国が定める学校図書館図書標準に基づき、計画的に図書を購入しました。 各小学校に学校司書を1人配置しました。 蔵書の電算管理システムを用いて、データの活用を進めました。 図書館、小学校の5、6年生及び特別支援級の教室に新聞を配架しました。 調べる学習コンクールを開催しました。 調べる学習の促進のため、全学校図書館に百科事典セットを配架しました。 学校図書館の安全対策及び環境整備のため備品の購入を行いました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校図書館スーパーバイザー報酬 1,712千円 学校司書報酬・手当(19人) 27,886千円 新聞配架 1,837千円 図書館用図書等需用費 19,950千円 図書館システム利用料、その他 5,350千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 蔵書の充足率と鮮度を踏まえた選書を継続実施してまいります。 児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の実現のため、学校図書館に「学習センター」及び「情報センター」としての機能を充実させてまいります。 各教科の特質を踏まえつつ新聞を有効活用することで、児童の豊かな人間性の育成に取り組んでまいります。 							

決算書ページ 171	款 10	教育費	項 02	小学校費	目 03	学校建設費
事業名	01 小学校大規模改修事業				担当課	教育総務課
目的	児童及び学校関係者の学校生活における教育環境の向上を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					281,867	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 建設年度及び現在の状況を総合的に判断し、学校施設の改善や設備の新設・更新を行います。 文部科学省「学校施設環境改善交付金」の対象事業となるものについては、「施設整備計画」を策定し、整備を行います。 				令和2年度 予算現額	
					189,253	
					令和2年度 決算額	
					185,870	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	29,961
					県支出金	0
					地方債	127,200
その他	0					
令和3年度 予算額						
15,000						
活動内容						
指標	1	小学校大規模施設改修等の整備・改善件数	2	施設整備計画	3	4
	大規模な老朽施設等の改修等		交付金申請に必要な施設整備計画の策定			
	予定(目標)	7 件	1 件			
	令和2年度実績	3 件	1 件			
令和元年度実績	16 件	1 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>市立小学校における老朽化した施設の整備・改善を行いました。</p> <p><事業内容及び決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 外壁改修工事(上和田小) 40,286千円 体育館屋根及び照明設備改修工事(下福田小、文ヶ岡小) 94,099千円 プール受水槽改修工事(文ヶ岡小) 19,182千円 プールろ過装置交換工事(桜丘小) 9,020千円 防火シャッター改修工事(北大和小、林間小、大和小、南林間小、中央林間小) 19,488千円 給水設備改修工事(柳橋小) 3,251千円 その他(南林間小) 544千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度でインターホン設置工事が完了したため、事業費が減少しました。 建設後40年を経過する施設が約9割を占める中、教育環境の維持向上を図るうえでは、経年による劣化を計画的に改修し、建物の延命化を図るため、今後も文部科学省の学校施設環境改善交付金を活用しながら、適切な施設改修を実施していく必要があります。 					

決算書ページ 171	款 10	教育費	項 02	小学校費	目 03	学校建設費
事業名	02 小学校防音設備整備事業				担当課	教育総務課
目的	厚木基地の航空機騒音による影響を軽減し、教育環境の向上を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					1,063,604	
手段手法	・老朽化してきている防音設備(建具、内装、空調)の機能復旧を計画的に行っていきます。				令和2年度 予算現額	
					129,712	
					令和2年度 決算額	
					118,657	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	31,636
					県支出金	0
					地方債	73,600
その他	0					
令和3年度 予算額						
177,246						
活動内容						
指標	1	設計実施校数	2	工事实施校数	3	4
		防音・空調設備整備のための設計		防音・空調設備整備のための工事		
	予定(目標)	0校	1校			
	令和2年度実績	0校	1校			
	令和元年度実績	1校	1校			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>大野原小学校校庭整備工事、文ヶ岡小学校復旧防音工事及び文ヶ岡小学校復旧温度保持除湿工事(令和2~3年度)を実施しました。</p> <p><事業内容及び決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・校庭整備工事(大野原小) 76,886千円 ・復旧温度保持除湿工事(文ヶ岡小) 36,572千円 ・復旧温度保持除湿工事付帯工事(文ヶ岡小) 3,988千円 ・その他(賃借料等)(文ヶ岡小) 1,211千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・大野原小学校復旧防音・大規模改修工事が完了したため、事業費が減少しました。 ・防音機能低下に伴い、教育環境が劣悪な状況になることが想定されるため、計画的に改修を行っていく必要があります。 ・事業費が多額になるため、補助金を活用するなど市の財政負担を軽減しながら計画的に事業を進めていく必要があります。 					

決算書ページ	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	03	学校建設費
171									
事業名	03 北大和小学校増築事業						担当課	教育総務課	
目的	児童数の増加に伴う教室不足を解消し、快適な教育環境を確保します。						令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 946,164	
							令和2年度 予算現額	83,497	
手段手法	・敷地西側に校舎を増築し、また、既存プレハブやプールの解体、体育館の建替え、校庭整備等を行います。						令和2年度 決算額	46,966	
							令和2年度 財源内訳		
							国庫支出金	0	
							県支出金	0	
							地方債	30,800	
							その他	0	
							一般財源	16,166	
令和3年度 予算額	97,288								
活動内容									
指標	1	工事実施校数	2		3		4		
	教室不足を解消するための増築工事								
	予定(目標)	1 校							
	令和2年度実績	1 校							
	令和元年度実績	1 校							
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>北大和小学校の増築工事に伴い、仮設プレハブ校舎の賃借、及び付帯工事等を行います。</p> <p><事業の内容及び決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存校舎教室改修工事 32,991千円 ・仮設校舎賃借料(債務負担行為) 13,557千円 ・その他(運搬委託料等) 418千円 								
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度で増築工事が完了したため、事業費が減少しました。 ・令和2年度中に、既存校舎の教室改修工事を実施しました。 ・児童数の増加に伴う教室不足等を解消し、快適な教育環境を確保するよう努めます。 ・児童、教員等の安全を確保し、学校生活への影響を最小限にできるよう、学校、施工者との調整を密にする必要があります。特に、児童の通学時等における交通安全に関する対策をさらに重視していく必要があります。 								

決算書ページ 171	款 10	教育費	項 02	小学校費	目 03	学校建設費
事業名	04 中央林間小学校増築事業				担当課	教育総務課
目的	児童数の増加に伴う教室不足を解消し、快適な教育環境を確保します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					8,484	
手段手法	・敷地西側に校舎を増築します。				令和2年度 予算現額	
					185,970	
手段手法					令和2年度 決算額	
					184,582	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	48,147
					県支出金	0
					地方債	111,300
					その他	0
				令和3年度 予算額		
				549,950		
活 動 内 容						
指標	1	設計実施校数	2	工事实施校数	3	4
	教室不足を解消するための増築 工事に伴う設計		教室不足を解消するための増築 工事			
	予定 (目標)	0 校	1			
	令和2年度 実績	0 校	1			
令和元年度 実績	1 校	0				
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>中央林間小学校の増築工事に伴い、設計業務及び付帯工事等を行いました。</p> <p><事業内容及び決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・増築併行防音工事設計業務委託 30,213千円 ・増築併行防音工事 142,000千円 ・増築平行防音工事付帯工事 8,147千円 ・増築併行防音工事監理業務委託 3,700千円 ・構造計算適合性判定業務委託 448千円 ・アスベスト定性分析業務委託 66千円 ・その他(交通費、消耗品) 8千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度から増築工事を開始したため、事業費が増加しました。 ・児童数の増加に伴う教室不足を解消し、快適な教育環境を確保するよう、努めます。 ・児童・教員等の安全を確保し、学校生活への影響を最小限にできるよう、学校、施工者との調整を密にする必要があります。特に、児童の通学時等における交通安全に関する対策を、さらに重視していく必要があります。 					

決算書ページ 171	款 10	教育費	項 02	小学校費	目 03	学校建設費
事業名	05 小学校G I G Aスクールネットワーク整備事業				担当課	教育総務課
目的	国のG I G Aスクール構想に基づき、市立小学校のネットワーク環境の強化を行います。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 0
					令和2年度 予算現額	240,402
手段手法	高速通信ネットワーク整備、端末充電設備設置に係る設計施工を専門業者に委託します。				令和2年度 決算額	240,402
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	118,062
					県支出金	0
					地方債	115,900
					その他	0
					令和3年度 予算額	0
活動内容						
指標	1	G I G Aスクールネットワーク整備実施校	2		3	
		高速通信ネットワークの整備実施校				
	予定(目標)	19 校				
	令和2年度実績	19 校				
	令和元年度実績	0 校				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>すべての小学校19校に、高速通信ネットワーク整備、端末充電設備設置に係る設計施工を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校G I G Aスクールネットワーク整備業務委託 : 小学校全19校 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校G I G Aスクールネットワーク整備業務委託 240,402千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度内にネットワーク整備を完了し、運用を開始しました。 ・課題としては、文部科学省G I G Aスクール構想の実現は、国の単年度補助金を受け、多くの自治体を実施するため、今後設置箇所を増設する場合に、委託事業者の確保と施工に懸念があります。 					

決算書ページ 173	款 10	教育費	項 03	中学校費	目 02	教育振興費
事業名	02 中学校学用品等就学援助事業				担当課	学校教育課
目的	経済的理由により、中学校への就学が困難な家庭の負担を軽減します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					123,463	
手段手法	・保護者からの申請をもとに、要保護・準要保護基準に合うか審査し、認定者に給食費や学用品費等の援助を行います。				令和2年度 予算現額	
					93,078	
					令和2年度 決算額	
					81,469	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	2
					県支出金	89
					地方債	0
その他	0					
一般財源	81,378					
令和3年度 予算額						
117,860						
活動内容						
指標	1	就学援助の申請・審査件数	2	就学援助の認定・支給件数	3	4
		就学援助の申請を受け審査した件数		就学援助対象として認定した件数		
	予定(目標)	1,700 件	1,164 件			
	令和2年度実績	1,491 件	1,166 件			
令和元年度実績	1,653 件	1,339 件				
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>受給申請書等を審査し、認定者に給食費等を援助しました。</p> <p><給食費等を援助した人数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食費 1,156人【1,252人】 ・学用品費 1,166人【1,272人】 ・新入学学用品費 390人【419人】 ・修学旅行費 55人【410人】 ・宿泊を伴う校外活動費 24人【377人】 ・通学費 1人【1人】 ・体育実技用具費 15人【45人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学用品等経費 81,412千円 ・事務費等 57千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための学校臨時休業により、給食費の支給が発生しなかった期間があったこと、また修学旅行などの宿泊を伴う行事が実施されなかったことから、決算額が減少しました。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、世帯所得が著しく減少する世帯が想定されるため、その世帯への対応策の検討が必要です。 					

決算書ページ 173	款 10	教育費	項 03	中学校費	目 02	教育振興費
事業名	04 中学校特別支援教育就学奨励事業				担当課	学校教育課
目的	特別支援学級へ就学する家庭に援助を行うとともに、特別支援教育就学奨励費の普及を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					3,533	
手段手法	・保護者からの申請に対し、どの所得基準に該当するか審査し、所得に応じて給食費や学用品費、通学費等の援助を行います。				令和2年度 予算現額	
					4,393	
					令和2年度 決算額	
					2,646	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	1,322
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
令和3年度 予算額						
4,531						
活動内容						
指標	1	就学奨励費申請・審査件数	2	就学奨励費認定・支給件数	3	4
	就学奨励費の申請を受け、審査をする件数		就学奨励費の支給対象として認定する件数			
	予定 (目標)	77 件	77 件			
	令和2年度 実績	100 件	100 件			
	令和元年度 実績	66 件	66 件			
具体的 内容	【 】内は前年度数値					
	<p>保護者からの申請を審査し、所得基準に応じて給食費等を援助しました。</p> <p><実績の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食費 66人【 66人】 ・学用品費 66人【 63人】 ・新入学学用品費 21人【 23人】 ・修学旅行費 3人【 18人】 ・宿泊を伴う校外活動費 0人【 18人】 ・通学費 13人【105人】 ・体育実技用具費 0人【 2人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学用品費等経費 2,646千円 					
評価課題	・保護者への周知及び申請受領までは、原則学校が実施するため、さらに効率的かつ正確に事務処理が行えるよう共同学校事務室を活用し、検討・協議する必要があります。					

決算書ページ 173	款 10	教育費	項 03	中学校費	目 02	教育振興費		
事業名	06 中学校地域教育力活用推進事業					担当課	指導室	
目的	学校評議員をはじめ、地域の人材を積極的に活用し、家庭・地域と一体となって開かれた学校運営を図ることにより、学校教育の充実を図ります。					令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 630	
						令和2年度 予算現額	755	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 学校評議員を依頼します。 各学校に対し、地域教育力を活用した教育活動を支援します。 教育委員会で作成した学校支援ボランティア人材バンクのファイルを各学校へ配付します。 コミュニティスクールの導入を検討します。 					令和2年度 決算額	648	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金	0	
						県支出金	0	
						地方債	0	
						その他	0	
						一般財源	648	
令和3年度 予算額	755							
活動内容								
指標	1	学校評議員の人数	2	地域教育力活用実施校数	3	学校支援人材ボランティア登録者数	4	職業体験及び職業講話の実施校数
		中学校における学校評議員の人数		地域教育力を活用して教育活動を進める学校数		地域教育力活用として学校運営に携わるボランティア登録者数		職業体験及び職業講話を実施した学校数
	予定(目標)	50 人	9 校	70 人	9 校	37 人	4 校	
	令和2年度実績	48 人	9 校	64 人	9 校	37 人	4 校	
	令和元年度実績	48 人	9 校	64 人	9 校	9 校		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校評議員を依頼しました。 地域教育力を活用した教育活動を支援しました。 学校支援ボランティア人材バンクのファイルを各校へ配付しました。 コミュニティスクール導入に向けた検討をしました。(つきみ野中) <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校評議員、地域教育力謝礼 648千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 学校評議員による外部の立場からの助言は、教育活動を展開していくうえでも重要であることから、これまで以上に学校評議員を活用した学校運営が望まれます。 更なる地域を活用した、学校運営を行うためコミュニティスクール導入に向けた検討が必要です。 							

決算書ページ 173	款 10	教育費	項 03	中学校費	目 02	教育振興費
事業名	07 中学校部活動等支援事業				担当課	指導室
目的	中学校の部活動の振興を図り、体力向上や社会性を養います。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					16,380	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 各中学校に補助金を交付します。 部活動の外部指導者へ謝礼金を支給します。 全国大会等への出場にあたって派遣費用を支給します。 				令和2年度 予算現額	
					16,785	
					令和2年度 決算額	
					15,271	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	15,271					
令和3年度 予算額						
16,835						
活動内容						
指標	1	部活動補助金の交付学校数	2	外部指導者の人数	3	外部指導者の派遣日数
	対象：大和市立中学校		指導者が必要な中学校に対し外部指導者を派遣します		外部指導者1人当たりの派遣日数	
	予定(目標)	9校	30人	52日		
	令和2年度実績	9校	29人	52日		
令和元年度実績	9校	30人	52日			
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> 部活動振興のため、全中学校へ補助金を交付しました。 部活動の地域指導者へ謝礼金を支給しました。 大和市中学校体育連盟へ補助金を交付しました。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動補助金の交付学校数 9校【9校】 外部指導者の人数 29人【30人】 外部指導者の派遣日数 52日【52日】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者への謝礼 4,946千円 負担金、補助及び交付金 10,325千円 					【 】内は前年度数値
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 外部指導者の派遣による専門的な指導を行うことにより、市内学校の部活動が活発に進められております。 経験の浅い教員や臨時的任用職員の増加、教職員の高齢化等により専門的な技術指導ができる顧問の確保が困難な学校もあるため、引き続き要望を伺いながら外部指導者の配置を行う必要があります。 					

決算書ページ 173	款 10	教育費	項 03	中学校費	目 02	教育振興費
事業名	11 中学校図書館教育推進事業				担当課	指導室
目的	学校図書館の機能を十分発揮できるよう、図書環境の充実を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					33,222	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 国が定める学校図書館図書標準に基づき、計画的に図書を購入します。 各中学校の学校図書館に学校司書を配置します。 学校図書館に配架している新聞を普通教室に配架します。 子どもたちの読書活動推進のため、読書フェスティバル及び調べる学習コンクールを開催します。 				令和2年度 予算現額	
					35,974	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 国が定める学校図書館図書標準に基づき、計画的に図書を購入します。 各中学校の学校図書館に学校司書を配置します。 学校図書館に配架している新聞を普通教室に配架します。 子どもたちの読書活動推進のため、読書フェスティバル及び調べる学習コンクールを開催します。 				令和2年度 決算額	
					35,455	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
					その他	0
一般財源	35,455					
				令和3年度 予算額		
				33,028		
活動内容						
指標	1	学校図書館蔵書数	2	学校図書館図書標準充足校	3	4
	全9校合計		国が定める蔵書冊数に達している学校数			
	予定(目標)	123,880 冊	9	校		
	令和2年度実績	137,286 冊	9	校		
	令和元年度実績	134,163 冊	9	校		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 国が定める学校図書館図書標準に基づき、計画的に図書を購入しました。 各中学校に学校司書を1人配置しました。 蔵書の電算管理システムを用いて、データの活用を進めました。 図書館、全普通教室及び特別支援学級に、新聞を配架しました。 調べる学習コンクールを開催しました。 調べる学習の促進のため、全学校図書館に百科事典セットを配架しました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校図書館スーパーバイザー報酬・手当 856千円 学校司書報酬(9人) 13,066千円 新聞配架 3,622千円 図書館用図書等需要費 16,357千円 図書館システム利用料・その他 1,554千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 蔵書の充足率と鮮度を踏まえた選書を継続実施してまいります。 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の実現のため、学校図書館に「学習センター」及び「情報センター」としての機能を充実させてまいります。 各教科の特質を踏まえつつ新聞を有効活用することで、生徒の豊かな人間性の育成に取り組んでまいります。 					

決算書ページ 175	款 10	教育費	項 03	中学校費	目 03	学校建設費
事業名	01 中学校大規模改修事業				担当課	教育総務課
目的	生徒及び学校関係者の学校生活における教育環境の向上を図ります。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 84,303
					令和2年度 予算現額	96,828
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 建設年度及び現在の状態を総合的に判断し、学校施設の改善や設備の新設・更新を行います。 文部科学省「学校施設環境改善交付金」の対象事業となるものについては、「施設整備計画」を策定し、整備を行います。 				令和2年度 決算額	92,251
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	12,011
					県支出金	0
					地方債	66,400
					その他	0
					令和3年度 予算額	23,287
活動内容						
指標	1	中学校大規模施設改修等の整備・改善件数	2	施設整備計画	3	4
	大規模な老朽施設等の整備・改修等		交付金申請に必要な施設整備計画の策定			
	予定(目標)	4 件	1 件			
	令和2年度実績	4 件	1 件			
令和元年度実績	2 件	1 件				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>市立中学校における老朽化した施設の整備・改善を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 体育館照明設備改修工事 : 渋谷中 体育館屋根及び照明設備改修工事 : 上和田中 プールろ過装置交換工事 : 渋谷中 防火シャッター改修工事 : 上和田中、南林間中、下福田中 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 体育館照明設備改修工事 18,304千円 体育館屋根及び照明設備改修工事 52,230千円 プールろ過装置交換工事 13,353千円 防火シャッター改修工事 8,364千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 建設後40年を経過する施設が約7割を占める中、教育環境の維持向上を図るうえでは、経年による劣化を計画的に改修し、建物の延命化を図るため、今後も文部科学省の学校施設環境改善交付金を活用しながら、適切な施設改修を実施していく必要があります。 					

決算書ページ 175	款 10	教育費	項 03	中学校費	目 03	学校建設費
事業名	02 中学校防音設備整備事業				担当課	教育総務課
目的	厚木基地の航空機騒音による影響を軽減し、教育環境の向上を図ります。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 24,783
					令和2年度 予算現額	314,684
手段手法	・老朽化してきている防音設備（建具、内装、空調）の機能復旧を計画的に行っていきます。				令和2年度 決算額	289,572
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	123,430
					県支出金	0
					地方債	69,900
					その他	0
					令和3年度 予算額	1,695,905
活動内容						
指標	1	設計実施校数	2	工事実施校数	3	4
		防音・空調設備整備のための設計		防音・空調設備整備のための工事		
	予定 (目標)	1 校	1 校			
	令和2年度 実績	1 校	1 校			
	令和元年度 実績	1 校	0 校			
具体的 内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>鶴間中学校の復旧防音・大規模改修工事、及び引地台中学校の復旧防音・大規模改修工事の設計業務等を行いました。</p> <p><事業内容及び決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・復旧防音・大規模改修工事（鶴間中） 178,426千円 ・仮設校舎賃借料（鶴間中） 67,059千円 ・工事に伴う付帯工事（鶴間中） 3,842千円 ・仮設校舎備品（鶴間中） 3,904千円 ・仮設校舎消耗品（鶴間中） 1,894千円 ・仮設校舎への引越運搬業務委託（鶴間中） 3,630千円 ・アスベスト定性分析業務委託（引地台中） 500千円 ・復旧防音・大規模改修工事設計業務委託（引地台中） 30,250千円 ・その他（旅費、消耗品） 67千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度から鶴間中学校の復旧防音・大規模改修工事を開始したため、事業費が増加しました。 ・令和2～3年度にかけて、鶴間中学校で工事を実施します。 ・防音機能低下に伴い、教育環境が劣悪な状況になることが想定されるため、計画的に改修を行っていく必要があります。 ・事業費が多額になるため、補助金を活用するなど市の財政負担を軽減しながら計画的に事業を進めていく必要があります。 					

決算書ページ 175	款 10	教育費	項 03	中学校費	目 03	学校建設費
事業名	03 中学校G I G Aスクールネットワーク整備事業				担当課	教育総務課
目的	国のG I G Aスクール構想に基づき、市立中学校のネットワーク環境の強化を行います。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 0
					令和2年度 予算現額	117,099
手段手法	高速通信ネットワーク整備、端末充電設備設置に係る設計施工を専門業者に委託します。				令和2年度 決算額	117,098
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	57,508
					県支出金	0
					地方債	56,700
					その他	0
					令和3年度 予算額	0
活動内容						
指標	1	G I G Aスクールネットワーク整備実施校	2		3	
	高速通信ネットワークの整備実施校					
	予定(目標)	9 校				
	令和2年度実績	9 校				
令和元年度実績	0 校					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>すべての中学校9校に、高速通信ネットワーク整備、端末充電設備設置に係る設計施工を行いました。</p> <p><事業内容></p> <p>・中学校G I G Aスクールネットワーク整備業務委託 : 中学校全9校</p> <p><決算額の内訳></p> <p>・中学校G I G Aスクールネットワーク整備業務委託 117,098千円</p>					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度内にネットワーク整備を完了し、運用を開始しました。 課題としては、文部科学省G I G Aスクール構想の実現は、国の単年度補助金を受け、多くの自治体を実施するため、今後設置箇所を増設する場合に、委託事業者の確保と施工に懸念があります。 					

決算書ページ 177	款 10	教育費	項 04	社会教育費	目 02	青少年育成費
事業名	07 青少年育成事業				担当課	こども・青少年課
目的	大和ユースクラブの各種活動を通して、若者の健全育成と能力開発を図ります。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 816
					令和2年度 予算現額	897
手段手法	・大和ユースクラブに青少年に関わる事業を委託し、自主企画・自主運営を促進します。				令和2年度 決算額	54
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
					その他	0
令和3年度 予算額	238					
活動内容						
指標	1 ユースクラブ活動日数	2	3	4		
	ユースクラブが実施した研修・ボランティア活動等の日数					
	予定(目標)	90 日				
	令和2年度実績	22 日				
令和元年度実績	79 日					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>大和ユースクラブの各種活動を通し若者の健全育成と能力開発を図りました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年社会・自然体験推進事業委託 (大和ユースクラブ) <ul style="list-style-type: none"> わくわく冒険隊 (小学5・6年生) : 0回 0人 【 7回 218人】 ジュニアシニアクラブ (中・高生) : 11回 51人 【34回 199人】 ユースボランティア (青年) : 11回 37人 【34回 72人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年社会・自然体験推進事業委託 54千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・大和ユースクラブ会員の確保と会員それぞれの資質向上、実践力を高めるため、活動の運営方法や事業の周知方法等を引き続き検討するとともに、アフターコロナを見据えた事業の在り方についても再構築していく必要があります。 					

決算書ページ 177	款 10	教育費	項 04	社会教育費	目 02	青少年育成費
事業名	08 青少年指導者育成支援事業				担当課	こども・青少年課
目的	地域で青少年健全育成を進める団体の協議会活動を支援し、指導者を養成することで、青少年が活動しやすい環境を構築します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					6,795	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 地域で青少年の健全育成を進める3団体については、補助金による運営費の支援と、行政内に事務局を置く人的な支援を行っています。 青少年育成団体や中高生ボランティア等が主体となり、青少年を対象としたイベントを開催します。 さらに指導者の資質向上のための研修も開催しています。 				令和2年度 予算現額	
					7,686	
					令和2年度 決算額	
					4,817	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	289
地方債	0					
その他	0					
一般財源	4,528					
令和3年度 予算額						
7,151						
活動内容						
指標	1	青少年指導員年間活動数	2	市子ども会連絡協議会加入数	3	青少年センターまつり参加団体数
	各地区での活動数+専門部会開催数+連協事業数		市子ども会連絡協議会加入子ども会数		青少年センターまつりのステージや出店等の参加団体数	
	4	子どもの外遊び地域イベント開催地区数	子どもの外遊び地域イベントを開催した地区数			
	予 定 (目 標)	420 回	27 団体	3 団体	12 地区	
令 和 2 年 度 実 績	86 回	27 団体	0 団体	0 地区		
令 和 元 年 度 実 績	430 回	29 団体	3 団体	12 地区		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>青少年育成を進める3団体に対して補助金交付等の支援を行い、青少年健全育成を推進しました。</p> <p><補助金交付団体></p> <ul style="list-style-type: none"> 青少年指導員連絡協議会 年度末青少年指導員数：96人【107人】 子ども会連絡協議会 母親クラブ連絡協議会 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 青少年指導員謝礼 3,537千円 青少年指導員活動用消耗品 314千円 補助金(青少年指導員、子ども会、母親クラブ) 845千円 その他 121千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くのイベントや事業が中止となりましたが、各団体で感染症対策をした上で、実施可能な活動を工夫して行いました。 今後も新型コロナウイルス感染症の影響下においても実施できる事業について協議するほか、アフターコロナを見据えた取り組みについて検討していく必要があります。 					

決算書ページ 177	款 10	教育費	項 04	社会教育費	目 02	青少年育成費	
事業名	09 大和市家庭・地域教育活性化会議支援事業				担当課	こども・青少年課	
目的	学校と地域・家庭の連携を強化し、家庭や地域の教育力を高めるとともに、地域の連帯感を高め、地域ぐるみの青少年健全育成活動を推進します。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 1,530	
					令和2年度 予算現額	1,540	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・地区活性化会議については、推進委員会をとおして事業内容に応じた運営費の支援を補助金によって行っています。また、各種団体代表及び地区代表から成る推進委員会との連絡調整を行っています。 				令和2年度 決算額	1,095	
					令和2年度 財源内訳		
					国庫支出金	0	
					県支出金	547	
					地方債	0	
					その他	0	
令和3年度 予算額	1,945						
活動内容							
指標	1	推進委員会開催回数	2	研修会等への役員参加地区数	3	環境浄化活動の実施地区数	
		推進委員会と研修会等の開催回数		研修会等に役員が参加した地区数		環境浄化活動に関わる事業を実施した地区数	
	予定(目標)	4 回	9 地区	7 地区			
	令和2年度実績	3 回	0 地区	5 地区			
令和元年度実績	4 回	9 地区	7 地区				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>推進委員会、地域青少年健全育成会に対して補助金を交付するとともに、地区活動を支援しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進委員会開催回数 3回【4回】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭・地域教育活性化会議推進委員会（9地区）補助金 951千円 つきみ野中学校区、南林間地区、鶴間中学校区、和中地区、光中地区、引地台地区、上和田中学校区、高座渋谷地区、下福田中学校区 ・地域青少年健全育成会（3地区）補助金 144千円 「愛の一声をかける運動」をすすめる会 中央林間連合自治会環境浄化推進協議会 大和東小学校区青少年を健やかに育てる会 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、役員研修会が中止となりましたが、各地区で感染対策を行った上で、工夫して活動を行いました。今後も感染防止対策を行った上で、活動を充実させることが必要です。 						

決算書ページ -	款 10	教育費	項 04	社会教育費	目 02	青少年育成費
事業名	10 こども体験事業				担当課	こども・青少年課
目的	様々な体験を通し、豊かな感性やリーダーシップ等を育み、主体的に活動できる青少年を育成します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					1,730	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の被災地において、地域の人達との交流や被災地体験プログラムなどを行います。 企画運営は、青少年（高校生以上）を中心とした実行委員会によって行います。 青少年健全育成基金を活用します。 ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、こども体験事業は中止しました。				令和2年度 予算現額	
					1,895	
					令和2年度 決算額	
					0	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	0					
令和3年度 予算額						
0						
活動内容						
指標	1	公募による実行委員数	2	実行委員会開催回数	3	4
	実行委員のうち、公募による青年の実行委員の数		事業の企画等を検討するための会議回数			
	予定(目標)	10 人	4	回		
	令和2年度実績	0 人	0	回		
令和元年度実績	15 人	4	回			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>令和2年度についても、東日本大震災の被災地において2泊3日の宿泊研修（夏休み期間）及び事前・事後研修の実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、事業を中止しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者数 小学校5・6年生0人、中学生0人 【小学校5・6年生17人、中学生8人】 事前研修実施回数 0回【3回】 宿泊研修 中止 【8月7日～9日（2泊3日）】 事後研修実施回数 0回【5回】 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業を中止しました。 引き続き事業に関する情報を収集する等、新型コロナウイルス感染症が収束した後には事業を充実できるよう、検討を進めていきます。 					

決算書ページ 177	款 10	教育費	項 04	社会教育費	目 03	公民館費		
事業名	02 健康都市大学事業				担当課	図書・学び交流課		
目的	学びを通じた、市民の新たな居場所づくり、市民どうしの繋がり創出を図るとともに、市民の充実した学習環境を整備します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)			
					4,436			
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 市や外郭団体などが実施する講座等に共通のポイント制度を設定するほか、当事業を構成する多種多様な講座を広く周知することなどにより、市民の学びの意欲の向上を図ります。 市民が講師を務め、市民どうしで学び合える場「市民でつくる健康学部」の講義を実施します。 				令和2年度 予算現額			
					6,025			
					令和2年度 決算額			
					4,052			
					令和2年度 財源内訳			
					国庫支出金	0		
					県支出金	0		
					地方債	0		
その他	0							
一般財源	4,052							
令和3年度 予算額								
6,495								
活動内容								
指標	1	市民講師登録者数	2	「市民でつくる健康学部」講座開催回数	3	ガイドブック発行回数	4	PR手段数
		年度末時点での市民講師登録者数		一年間で「市民でつくる健康学部」の講座を開催した回数		一年間に健康都市大学ガイドブックを発行した回数		一年間に事業を周知宣伝したメディア等の数 (HP、広報等)
	予定 (目標)	120 人	241 回	2 回	9 種類			
	令和2年度実績	118 人	96 回	1 回	17 種類			
令和元年度実績	104 人	309 回	2 回	14 種類				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民が講師を務める「市民でつくる健康学部」を運営しました。 市や外郭団体などが実施する講座等の情報をまとめたガイドブックの発行や、受講ポイントの管理運営を行いました。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 「市民でつくる健康学部」の受講者数 延べ2,419人【9,535人】 健康都市大学ガイドブック発行部数 3,000部【2,400部】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 報酬 3,585千円 印刷製本費 293千円 報償費 97千円 その他 77千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 「市民でつくる健康学部」は、新型コロナウイルス感染症拡大による2度の休講にもかかわらず、延べ2,419人もの受講がありました。 これは、徹底した感染防止策を講じながら、市民講師との協力体制のもと、魅力的な講座が行われた結果であり、市民の居場所としての役割を發揮できたものと捉えています。 コロナ禍において、「市民でつくる健康学部」の安全安心な運営を行うための環境整備に努めるとともに、より多くの市民が学ぶ楽しさに触れ、学習意欲が継続されるよう、講座の工夫ときめ細かな情報提供に努める必要があります。 							

決算書ページ 177	款 10	教育費	項 04	社会教育費	目 03	公民館費
事業名	03 生涯学習センター管理運営事業				担当課	図書・学び交流課
目的	生涯学習センターの円滑な管理運営を行います。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					394,494	
手段手法	・指定管理者による管理運営を行います。				令和2年度 予算現額	
					412,619	
					令和2年度 決算額	
					408,020	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	192					
一般財源	407,828					
令和3年度 予算額						
334,198						
活動内容						
指標	1	指定管理者との協議回数	2		3	
	指定管理者と運営に関する協議・会議等を行った回数					
	予定(目標)	12 回				
	令和2年度実績	9 回				
令和元年度実績	11 回					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>指定管理者制度を活用し、市内5館の学習センターの管理運営を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による管理運営の実施 生涯学習センター、北部文化・スポーツ・子育てセンター、地区館(つきみ野・桜丘・渋谷学習センター) <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 366,549千円 光熱水費 12,374千円 その他 29,097千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 各学習センターにおいて、地域の実情等に応じた、さまざまな生涯学習、社会教育事業を展開し、市民が身近な場所で学習することのできる機会を提供しました。 今後は、すべての学習センターが指定管理者による運営であることを踏まえ、市の監督機能を高めるため、指定管理者との情報共有や連絡調整をより密接に行っていく必要があります。 					

決算書ページ 179	款 10	教育費	項 04	社会教育費	目 04	図書館費
事業名	01 図書館管理運営事業				担当課	図書・学び交流課
目的	図書館の円滑な管理運営を行います。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					561,929	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による管理運営を行います。 図書館の運営に必要なインフラの管理をします。 				令和2年度 予算現額	
					591,938	
					令和2年度 決算額	
					581,691	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	20,718
					県支出金	0
					地方債	0
その他	2,547					
一般財源	558,426					
令和3年度 予算額						
591,229						
活動内容						
指標	1	指定管理者との協議回数	2		3	
	指定管理者と図書館運営に関する協議・会議等を行った回数。					
	予定(目標)	12 回				
	令和2年度実績	9 回				
令和元年度実績	14 回					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>指定管理者制度を活用し、市内3館の図書館の管理運営を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による管理運営の実施 大和市立図書館、中央林間図書館、渋谷図書館 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 412,656千円 光熱水費 11,420千円 システム使用料 101,862千円 その他 55,753千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 市立図書館のほか、中央林間図書館、渋谷図書館の3館を中心に図書館サービスをさまざまな形で展開し、市民に身近な場所で本に親しむ機会を提供することができました。 指定管理者の更新により、市内すべての図書館を同一の運営者、期間で管理運営を行うこととなったため、一体運営のさらなる充実を図り、図書館城下町施策の推進に努めます。 					

決算書ページ 179	款 10	教育費	項 04	社会教育費	目 04	図書館費
事業名	03 図書カード配付事業				担当課	図書・学び交流課
目的	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、外出を自粛している子どもたちの読書活動を推進することを目的として、図書カードを配付します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					0	
手段手法	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、対象者へ5,000円分の図書カードを配付します。				令和2年度 予算現額	
					199,335	
					令和2年度 決算額	
					187,752	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	186,594
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	1,158					
令和3年度 予算額		0				
活動内容						
指標	1	図書カード配付数	2		3	
	対象者へ図書カードを配付した枚数					
	予定(目標)	36,631 枚				
	令和2年度実績	36,507 枚				
	令和元年度実績	0 枚				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、対象者へ5,000円分の図書カードを配付しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内在住の0～18歳の市民(令和2年8月31日終了時点)へ5,000円分の図書カードを配付。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・需用費 175,187千円 ・役務費 12,258千円 ・印刷製本費 307千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年10月から令和3年2月にかけて、市内の対象者36,631人に図書カードを郵送し、最終的に、36,507人(99.7%)の子どもに配付することができました。 ・配布できずに残ったカードについては、児童生徒向けの図書に替え、市内小中学校の学校図書館に配架しました。 					

決算書ページ 181	款 10	教育費	項 04	社会教育費	目 05	文化財保護費
事業名	15 郷土民家園施設整備事業				担当課	文化振興課
目的	施設の適正な水準を維持し、気軽に郷土の文化財に触れることができる環境を整えます。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					0	
手段手法	経年劣化による旧小川家の屋根茅の葺き替え工事を行います。				令和2年度 予算現額	
					9,447	
					令和2年度 決算額	
					8,140	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	7,600					
その他	0					
一般財源	540					
令和3年度 予算額		19,801				
活動内容						
指標	1	施設整備件数	2		3	
	工事調整、屋根茅の調達、葺き替え工事等を実施した件数					
	予定(目標)	1 件				
	令和2年度実績	1 件				
令和元年度実績	0 件					
具体的内容	<p>旧小川家住宅の屋根茅の葺き替え工事を行いました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋根材(茅)の調達を行いました。 ・古い屋根材と下地の撤去を行いました。 ・新しい屋根材を葺きはじめました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事請負費 8,140千円 					【 】内は前年度数値
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2、3年度に郷土民家園旧小川家住宅の劣化した屋根の全面葺き替え工事を実施します。葺き替えにより来園者が安全に昔の暮らしに接することができるようになり、また、貴重な文化財を将来に継承することができます。 ・期間中は来園者の安全を適切に確保する必要があります。また、昔ながらの手法で実施する工事の様子を見学できる機会を設けるなどし、市民の学習機会の充実を図る必要があります。 					

決算書ページ 181	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 01	保健体育総務費	
事業名	03 スポーツ大会開催事業				担当課	スポーツ課	
目的	市民の体力向上及び競技力向上を図ります。				令和元年度 決算額	(以下単位:千円) 4,266	
					令和2年度 予算現額	3,032	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 大和市民総合スポーツ選手権大会、大和市駅伝競走大会、スポーツフェスタを開催します。 大和市民ゴルフ大会(年2回)、大和市民まつりスポーツイベントの開催を支援します。 ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で大和市民総合スポーツ選手権大会の一部、大和市駅伝競走大会、スポーツフェスタ、ランニングイベント等は中止しました。				令和2年度 決算額	1,570	
					令和2年度 財源内訳		
					国庫支出金	0	
					県支出金	0	
					地方債	0	
					その他	0	
令和3年度 予算額	1,570						
令和3年度 予算額 4,089							
活動内容							
指標	1	大会等開催回数	2	広報掲載回数	3	4	
		主催・委託・支援した大会の回数		大会の告知及び結果の掲載			
	予定(目標)	7回	9回				
	令和2年度実績	3回	8回				
	令和元年度実績	4回	7回				
具体的内容	【 】内は前年度数値 <事業内容> <ul style="list-style-type: none"> 大和市民総合スポーツ選手権大会 選手:約2,900人【選手:約7,300人】 大和市駅伝競走大会 中止【参加:約110チーム】 スポーツフェスタ 中止【来場者:約1,500人】 ランニングイベント(新規) 中止 <決算額の内訳> <ul style="list-style-type: none"> 大和市民総合スポーツ選手権大会 1,570千円 大和市駅伝競走大会 0千円 スポーツフェスタ 0千円 ランニングイベント 0千円 						
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止のため多くの事業が中止となる中、実施にあたってはガイドラインを遵守し感染対策を講じた上で大会を実施することにより、引き続きスポーツへの関心を高めます。 						

決算書ページ 181	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 01	保健体育総務費
事業名	05 スポーツ教室開催事業				担当課	スポーツ課
目的	スポーツに関心をもち、親しむ機会を提供します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					5,118	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体が独自で取り組むことが難しい種目、また市の施策に発展的につながるスポーツ教室を開催します。 				令和2年度 予算現額	
					5,378	
					令和2年度 決算額	
					4,778	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	4,778					
令和3年度 予算額						
5,406						
活動内容						
指標	1 開催種目数	2 開催延べ教室数	3	4		
	各教室で開催した種目数		開催延べ教室数			
	予定 (目標)	12 種目	17 教室			
	令和2年度実績	3 種目	6 教室			
令和元年度実績	7 種目	16 教室				
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ教室を開催します。(12種目全17~20回) スポチャレ 中止【2回】 親子ふれあいサッカー教室 1回【1回】 障がい者サッカー教室 1回【1回】 総合型地域スポーツクラブ連携教室3団体 4回【9回】 ファミリースポーツ教室 中止【中止】 オリンピック種目体験教室 中止【1回】 ラグビー体験教室 中止【中止】 親子のスポーツ教室(新規) 中止 ボランティアサミット(新規) 中止 障がい者フライングディスク体験教室 中止【1回】 アクアスポーツ教室 中止【1回】 					
	<p>【 】内は前年度数値</p> <p><決算額の内訳>スポーツ教室委託 4,778千円</p>					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 東京2020オリンピック・パラリンピック等、大規模スポーツ大会の動向を注視し、ニーズの高い魅力的な教室を開催します。 運動機会が得にくい子育て世代、働く世代にも広く参加いただけるよう設備や開催日程に配慮します。 委託先であるスポーツ・よか・みどり財団が中心となり、総合型地域スポーツクラブ等との連携を図りスポーツ教室での体験から、引き続き地域で継続的にスポーツを楽しむことができる環境を整えます。 教室実施の際には、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分に行います。 					

決算書ページ 181	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 01	保健体育総務費
事業名	06 スポーツ関係団体支援事業				担当課	スポーツ課
目的	市民の体力向上、スポーツ精神の養成、青少年の健全育成等を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					4,001	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 大和市社会体育関係団体補助金交付要綱により大和市地区体育振興会、大和市体育協会、大和市スポーツ少年団本部、大和市レクリエーション協会、大和市軽スポーツ協会に補助金を交付します。 				令和2年度 予算現額	
					4,228	
					令和2年度 決算額	
					3,995	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	3,995					
令和3年度 予算額						
4,225						
活動内容						
指標	1	スポーツ少年団本部登録団体数	2	体育協会加盟団体数	3	4
	スポーツ少年団本部への総登録団体数		大和市体育協会への各種目加盟団体総数			
予定(目標)	13 団体		24 団体			
令和2年度実績	13 団体		24 団体			
令和元年度実績	13 団体		24 団体			
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> 次の団体に対して補助金を交付します。 <ul style="list-style-type: none"> 大和市体育協会（24協会及び連盟）：約19,300人 大和市スポーツ少年団（13団）：団員数約250人 指導者約140人 大和市レクリエーション協会（2協会）：約190人 大和市軽スポーツ協会：約190人 大和市地区体育振興会（10地区） 					
	<p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 大和市体育協会（24協会及び連盟） 1,680千円 大和市スポーツ少年団（13団体） 70千円 大和市レクリエーション協会（2協会） 30千円 大和市軽スポーツ協会 15千円 大和市地区体育振興会（10地区） 2,200千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 団体の自主性や独自性強化のための支援策を検討する必要があります。 					

決算書ページ 181	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 01	保健体育総務費
事業名	09 学校施設スポーツ開放事業				担当課	スポーツ課
目的	学校施設を利用してスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					39,471	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 小・中学校の校庭及び体育館等を登録団体に開放します。 学校施設を利用したい団体の登録手続を行います。 				令和2年度 予算現額	
					7,882	
					令和2年度 決算額	
					6,963	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	2,663					
一般財源	4,300					
令和3年度 予算額						
7,840						
活動内容						
指標	1	校庭開放延件数	2	体育館・武道場開放延件数	3	プール開放延日数
	小・中学校すべての校庭開放の延べ件数		小・中学校すべての体育館・武道場開放の延べ件数		小学校のすべてのプール開放の延べ日数	
	4	登録団体数	小・中学校の開放利用登録団体数(夜間開放を除く)			
	予定(目標)	3,000 件	10,000 件	216 日	430 団体	
令和2年度実績	1,721 件	5,484 件	0 日	414 団体		
令和元年度実績	2,939 件	10,340 件	204 日	390 団体		
具体的内容	【 】内は前年度数値					
	<p>スポーツ及びレクリエーション活動の場として市内小、中学校の校庭・体育館・武道場を開放しました。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 校庭開放 利用人数 60,143人【113,435人】 体育館、武道場 利用人数 97,988人【212,152人】 プール開放 開放校 中止【17校】 開放期間 中止 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校開放事業管理運営委託 4,902千円 学校プール開放管理業務委託 0千円 その他 2,061千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校プール開放を中止したことから、事業費の大幅な減となりました。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校施設スポーツ開放の中止期間があり、利用件数や利用人数が昨年度と比べ、大幅な減となりました。 地区ごとの問題に関しては、各地区学校開放事業実施委員会との連携を密に行い、課題解決を図ります。 また、老朽化した備品の更新等、地区を横断した課題については、学校開放事業実施委員会連絡協議会と連携し、事業の効果的な運営に努めます。 					

決算書ページ 181	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 01	保健体育総務費
事業名	15 地域スポーツ推進事業				担当課	スポーツ課
目的	市民が主体的にスポーツに取り組み、世代を超えた交流が促進されるよう、地域スポーツの推進を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					11,918	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ関連イベントを実施し様々な場面で「する」「みる」「ささえる」「つながる」それぞれの分野からスポーツに親しむことができる機会を提供します。 ・総合型地域スポーツクラブの活動を支援します。 ・本市をホームタウンとする「横浜F・マリノス」との連携を図り、スポーツへの関心を高めます。 				令和2年度 予算現額	
					1,110	
					令和2年度 決算額	
					1,100	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	1,100					
令和3年度 予算額						
1,909						
活動内容						
指標	1	総合型地域スポーツクラブ設置数	2	「夢の教室」実施クラス数	3	出前講座「スポーツだいすき！」実施回数
	総合型地域スポーツクラブの設置数		「夢の教室」を実施したクラス数		出前講座「スポーツだいすき！」を実施した回数	
	予定(目標)	3 団体	106 クラス	15 回		
	令和2年度実績	3 団体	0 クラス	1 回		
令和元年度実績	3 団体	112 クラス	15 回			
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「夢の教室」の実施 中止【112クラス3,844人】 ・「トップスポーツ観戦デー」の開催 日本女子ソフトボールリーグ1部2日間(新規) 3,205人 ・出前講座「スポーツだいすき！」の開催 1回16名【15回378人】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「夢の教室」開催事業 0千円 ・「トップスポーツ観戦デー」 1,100千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「夢の教室」を中止したことから、事業費の大幅な減となりました。 ・スポーツ庁が生涯スポーツ社会の実現を掲げる中推し進める総合型地域スポーツクラブに対して、会員拡大や人材育成につながる支援を継続します。 ・東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成につながるスポーツ教室や観戦スポーツの開催など、多角的にスポーツの魅力を発信し、引き続きスポーツへの関心を高めます。 ・熱中症、感染症等に配慮しながら、安全に事業を実施できるよう努めます。 					

決算書ページ 181	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 01	保健体育総務費		
事業名	16 女子サッカー推進事業					担当課	スポーツ課	
目的	地域スポーツの推進を図るため、女子サッカーに取り組む市民の活動を支えます。					令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	5,319	
						令和2年度 予算現額	6,110	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 「大和なでしこカップ」等、女子サッカーに関するイベントを開催します。 ホームタウンチーム「大和シルフィード」の活動を通じたシティセールスを展開するための支援を行います。 女子サッカーの環境整備を行うための調査、研究を行います。 					令和2年度 決算額	3,205	
						令和2年度 財源内訳		
						国庫支出金		0
						県支出金		0
						地方債		0
						その他		0
一般財源		3,205						
						令和3年度 予算額	5,310	
活動内容								
指標	1	女子サッカー関連のイベント回数	2	女子サッカー関連イベントの参加者数	3	「大和シルフィード」ホームゲーム平均来場者数	4	
		女子サッカー関連のイベントの実施回数		女子サッカー関連イベントの参加者数		「大和シルフィード」ホームゲーム平均来場者数		
	予定(目標)	30 回	7,000 人	700 人				
	令和2年度実績	14 回	1,879 人	304 人				
	令和元年度実績	27 回	11,861 人	613.6 人				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 大和なでしこカップ (U-15) 中止【900人】 大和なでしこカップ (U-12) 中止【840人】 「女子サッカー観戦デー(なでしコレジェンドイベント他)」の開催 1,824人【10,035人】 女子小中学生体験会の実施 4回【9回】 55人【86人】 女子サッカークラブの活動を通じたシティセールス 大和なでしこサッカーフェスティバル 中止【中止】 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 大和なでしこカップ2020開催事業委託 67千円 大和シルフィードシティセールス広告料 3,000千円 その他女子サッカー推進事業 138千円 							
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 女子サッカー人口の裾野を広げるために、「大和なでしこカップ」の開催や女子小中学生を対象とした体験会を継続的に開催し、女子サッカー事業の取り組みを定着させ、認知拡大を図ります。 「女子サッカーのまち大和」の実現のため、ホームタウンチーム「大和シルフィード」のプロ化に向けて、継続的な支援を行います。 女子サッカー事業の成果を検証するとともに、「女子サッカーのまち大和」の将来的なビジョンについて検討していきます。 							

決算書ページ 181	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 02	体育施設費
事業名	01 下福田野球場施設改修事業				担当課	スポーツ課
目的	施設の適正な水準を維持し、安全で快適なスポーツ環境を整えます。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					17,662	
手段手法	・野球場の施設を適正な状況に維持します。				令和2年度 予算現額	
					38,772	
					令和2年度 決算額	
					36,609	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	34,100
その他	0					
一般財源	2,509					
令和3年度 予算額		0				
活動内容						
指標	1	工期内工事等の完了件数	2		3	
	予定した工期内に工事や委託業務が完了した件数					
	予定(目標)	1 件				
	令和2年度実績	1 件				
令和元年度実績	2 件					
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p><事業内容> ・下福田野球場の不陸整正工事を実施しました。</p> <p><決算額の内訳> ・グラウンド改修工事費 36,609千円</p>					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> グラウンド全体に係る不陸整正工事を実施したため、前年度に比べ決算額が増加したものです。 今後とも利用者により良い施設環境を提供していくため、計画的に改修を行っていく必要があります。 					

決算書ページ 183	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 03	学校給食管理費
事業名	05 北部学校給食共同調理場運営事業				担当課	保健給食課
目的	北部学校給食共同調理場における給食調理業務が円滑に実施されるように、適切な運営管理の推進を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					162,089	
手段手法	・安全で良質な学校給食を提供するため、学校給食衛生管理基準に基づく給食調理業務を実施します。				令和2年度 予算現額	
					175,552	
					令和2年度 決算額	
					162,722	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	162,722					
令和3年度 予算額		171,416				
活動内容						
指標	1	検食の実施回数	2	食に関する指導	3	4
		受入校に給食を配送する前に調理場で行う検食の回数		栄養士によるティームティーチング等による指導を行った回数		
	予定(目標)	191 回	31 回			
	令和2年度実績	159 回	0 回			
令和元年度実績	179 回	26 回				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>給食調理業務等の委託、施設の運営管理を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象校：大野原小、文ヶ岡小学校、中央林間小学校 大和中、つきみ野中学校 令和2年度食数：3,835食【3,835食】（5月1日現在） <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 給食業務委託 132,441千円 光熱水費、燃料費 16,393千円 食器等消耗品費 10,623千円 その他 3,265千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 食品の搬入から調理、保管、配食における衛生管理を徹底し、安全で良質な学校給食の提供を維持する必要があります。 					

決算書ページ 183	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 03	学校給食管理費
事業名	06 中部学校給食共同調理場運営事業				担当課	保健給食課
目的	中部学校給食共同調理場における給食調理業務が円滑に実施されるように、適切な運営管理の推進を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					180,600	
手段手法	・安全で良質な学校給食を提供するため、学校給食衛生管理基準に基づく給食調理業務を実施します。				令和2年度 予算現額	
					192,987	
					令和2年度 決算額	
					178,581	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	178,581					
令和3年度 予算額		181,461				
活動内容						
指標	1	検食の実施回数	2	食に関する指導	3	4
		受入校に給食を配送する前の調理場での検食の実施		栄養士によるティームティーチング等による指導を行った回数		
	予定(目標)	191 回		45 回		
	令和2年度実績	159 回		24 回		
	令和元年度実績	179 回		60 回		
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>給食調理業務等の委託、施設の運営管理を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象校：柳橋小、南林間小、緑野小学校 光丘中、鶴間中、南林間中学校 令和2年度食数：4, 357食【4, 309食】（5月1日現在） <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 給食業務委託 144,901千円 光熱水費、燃料費 18,264千円 食器等消耗品費 11,700千円 その他 3,716千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 食品の搬入から調理、保管、配食における衛生管理を徹底し、安全で良質な学校給食の提供を維持する必要があります。 					

決算書ページ 183	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 03	学校給食管理費
事業名	07 南部学校給食共同調理場運営事業				担当課	保健給食課
目的	南部学校給食共同調理場における給食調理業務が円滑に実施されるように、適切な運営管理の推進を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					187,309	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 安全で良質な学校給食を提供するため、学校給食衛生管理基準に基づく給食調理業務を実施します。 				令和2年度 予算現額	
					204,021	
					令和2年度 決算額	
					185,501	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	185,501					
令和3年度 予算額						
201,046						
活動内容						
指標	1	検食の実施回数	2	食に関する指導	3	4
	受入校への配送前に、調理場で給食の検食を実施する。		栄養士によるティームティーチング等による指導を行った回数			
	予定(目標)	191 回	30 回			
	令和2年度実績	159 回	2 回			
令和元年度実績	179 回	18 回				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>給食調理業務等の委託、施設の運営管理を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象校：上和田小、福田小、下福田小、引地台小、大和東小学校 渋谷中、引地台中、上和田中、下福田中学校 令和2年度食数：4, 212食【4, 201食】（5月1日現在） <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 給食業務委託 148,989千円 光熱水費、燃料費 18,894千円 食器等消耗品費 11,202千円 その他 6,416千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 食品の搬入から調理、保管、配食における衛生管理を徹底し、安全で良質な学校給食の提供を維持する必要があります。 					

決算書ページ 183	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 03	学校給食管理費
事業名	08 単独調理校運営事業				担当課	保健給食課
目的	単独調理校8校における給食調理業務が円滑に実施されるように、適切な運営管理の推進を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					222,873	
手段手法	安全で良質な学校給食を提供するため、学校給食衛生管理基準に基づく給食調理業務を実施します。				令和2年度 予算現額	
					236,093	
					令和2年度 決算額	
					226,897	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	226,897					
令和3年度 予算額						
246,606						
活動内容						
指標	1	給食の検食実施回数	2	食に関する指導	3	4
	児童への給食提供前に、学校長が検食を行います。		栄養士によるティームティーチング等による指導を行った回数			
	予定(目標)	191 回	100			
	令和2年度実績	158 回	37			
令和元年度実績	175 回	67				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>給食調理業務等の運営（2校）・委託（6校）、施設の運営管理を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象校：北大和小、林間小、大和小、草柳小、深見小、桜丘小、渋谷小、西鶴間小学校 令和2年度食数：6,373食【6,269食】（5月1日現在） <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 給食業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 北大和小 43,334千円 大和小 38,740千円 渋谷小 24,766千円 林間小 39,587千円 桜丘小 23,633千円 西鶴間小 27,279千円 光熱水費、燃料費 12,332千円 食器等消耗品費 3,712千円 学校給食調理補助員報酬 4,424千円 その他 9,090千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 正職調理員の定年退職の時期を見据え、委託の拡大について検討する必要があります。 					

決算書ページ 183	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 03	学校給食管理費
事業名	13 学校給食施設大規模改修事業				担当課	保健給食課
目的	学校給食施設の大規模な改修を行い、安全で良質な学校給食を提供します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					8,845	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食施設設備の老朽化に対応するために、安全で衛生的な施設改善として大規模な改修を行います。 				令和2年度 予算現額	
					155,113	
					令和2年度 決算額	
					148,740	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	137,500
その他	0					
一般財源	11,240					
令和3年度 予算額						
92,638						
活動内容						
指標	1	大規模改修件数	2		3	
	給食施設に係る改修工事を行った件数					
	予定(目標)	9 件				
	令和2年度実績	8 件				
令和元年度実績	1 件					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学校給食施設の老朽化等に伴う整備・改善を行いました。 南部調理場中規模改修工事（建築及びボイラー設備）を行いました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 単独調理校空調設備工事 25,717千円 中部調理場屋上防水工事 9,522千円 中部調理場エロフィンヒーター交換工事 5,189千円 中部調理場洗浄室冷暖房機器更新工事 7,040千円 渋谷小学校グリストラップ更新工事 1,265千円 南部調理場中規模改修工事（建築） 69,709千円 南部調理場中規模改修工事付帯工事 818千円 南部調理場中規模改修工事（ボイラー設備 令和2年度～3年度） 29,480千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に実施設計を行った南部調理場中規模改修工事の実施や、優先的に整備、改修が必要な施設等の増加により、事業費が増加しました。 各給食施設の老朽化が進んでいることから、引き続き計画的に施設の整備、改修を進めていきます。 					

決算書ページ 183	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 03	学校給食管理費
事業名	14 学校給食食育推進事業				担当課	保健給食課
目的	健全で豊かな人間性を育むため、学校給食における食育を推進します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					390	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 食育の推進を図る重要性から、学校給食の環境整備に取り組みます。 学校給食への理解を深めるため、学校給食展を開催するほか、調理従事者等の資質向上を図るため、研修会等を実施します。 				令和2年度 予算現額	
					270	
					令和2年度 決算額	
					31	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	31					
令和3年度 予算額						
484						
活動内容						
指標	1	米飯給食の週平均回数	2	夏休み親子料理教室実施回数	3	4
	給食で米飯を提供した、週当たりの平均回数		児童・生徒と保護者を対象とした料理教室の実施回数			
	予定(目標)	4 回	2 回			
	令和2年度実績	4 回	0 回			
令和元年度実績	4 回	2 回				
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校給食展は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。 学校給食ポスター展は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、WEB開催としました。(2月22日～3月25日) 親子料理教室は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。 学校給食講習会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 消耗品 30千円 その他 1千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止により、多くの事業が中止となりました。 今後は、感染防止対策を考慮した上で、工夫しながら事業実施に向けた検討を行うなど、引き続き食育を推進していく必要があります。 					

決算書ページ 183	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 03	学校給食管理費
事業名	15 学校給食設備整備事業				担当課	保健給食課
目的	学校給食施設の給食設備を整備します。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					63,383	
手段手法	<ul style="list-style-type: none"> 衛生管理の改善充実を行うために、耐用年数を超過した設備機器を順次買い替えます。 耐用年数を経過した学校給食設備の交換などを行い、安心、安全な給食の提供ができる環境を整えます。 				令和2年度 予算現額	
					83,967	
					令和2年度 決算額	
					83,357	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
地方債	0					
その他	0					
一般財源	83,357					
令和3年度 予算額						
36,462						
活動内容						
指標	1 購入備品数	2	3	4		
	購入した給食調理用備品の数					
	予定 (目標)	36 台				
	令和2年度実績	20 台				
令和元年度実績	24 台					
具体的内容	<p style="text-align: right;">【 】内は前年度数値</p> <p>各学校給食共同調理場等における調理機器等及び給食用備品を更新しました。</p> <p><実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 食器消毒保管機 6 台 真空冷却機 3 台 食器洗浄機 2 台 食器食缶洗浄機 1 台 スプーン洗浄機 1 台 他 <p><決算額の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> 備品購入費 76,201 千円 工事請負費 6,911 千円 消耗品費 245 千円 					
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 前年度と比較して更新が必要な給食用調理機器が多かったため事業費が増加しました。 今後も調理用機器については、既存機器の経過年数や総合点検の結果、機器の使用状況を踏まえ、計画的に更新していく必要があります。 					

決算書ページ 183	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 03	学校給食管理費
事業名	16 学校給食費助成事業				担当課	保健給食課
目的	第3子以降の児童生徒に係る学校給食費を助成し、保護者の経済的負担の軽減を図ります。				令和元年度 決算額 (以下単位:千円)	
					10,076	
手段手法	・申請に基づき、支払った学校給食費実費を年2回に分けて保護者に支払います。				令和2年度 予算現額	
					12,517	
					令和2年度 決算額	
					8,954	
					令和2年度 財源内訳	
					国庫支出金	0
					県支出金	0
					地方債	0
その他	0					
一般財源	8,954					
令和3年度 予算額						
11,478						
活動内容						
指標	1	補助金交付決定件数	2		3	
	補助金を交付した件数					
	予定(目標)	266 件				
	令和2年度実績	224 件				
	令和元年度実績	232 件				
具体的内容	<p>【 】内は前年度数値</p> <p>市立小中学校及び特別支援学校の小学部又は中学部に在籍する児童生徒を同時に3人以上養育する保護者に助成しました。</p> <p><実績></p> <p>・補助金交付決定件数 224件【232件】</p> <p><決算額の内訳></p> <p>・補助金 8,914千円</p> <p>・印刷製本費 40千円</p>					
評価課題	<p>・保護者に対し様々な機会を捉えて周知を図る必要があります。</p>					

3. 令和2年度国民健康保険事業特別会計決算

歳入総額は、21,293,016千円で前年度(22,283,359千円)と比較して990,343千円、4.4%の減少で、収入率は91.4%となりました。一方、歳出総額は21,045,205千円で、前年度(22,032,937千円)と比較して987,732千円、4.5%の減少で、執行率は96.3%となりました。

歳入の主なものは、国民健康保険税が対前年度比2.3%減の4,618,436千円(構成比21.7%)で、1人当たり93,106円となりました。県支出金は対前年度比3.8%減の14,282,982千円(構成比67.1%)となりました。

歳出の主なものは、保険給付費が対前年度比3.5%減の14,125,671千円(構成比67.1%)となり1人当たりの費用額は284,769円で、前年度に対し5,393円の減となりました。

なお、本年度の年間平均被保険者数は、49,604人となり、前年度比1.6%の減となりました。

ア 歳 入

(単位:千円、%)

区 分	最終予算額	決算額	構成割合	前年度決算額	比 較	増減率
1. 国民健康保険税	4,479,340	4,618,436	21.7	4,729,432	△ 110,996	△ 2.3
2. 県 支 出 金	14,949,267	14,282,982	67.1	14,839,832	△ 556,850	△ 3.8
3. 財 産 収 入	625	60	0.0	101	△ 41	△ 40.6
4. 繰 入 金	2,250,561	2,179,876	10.2	2,446,640	△ 266,764	△ 10.9
5. 繰 越 金	44,236	44,237	0.2	149,795	△ 105,558	△ 70.5
6. 諸 収 入	120,592	131,547	0.6	113,820	17,727	15.6
7. 国 庫 支 出 金	—	35,878	0.2	3,739	32,139	859.6
合 計	21,844,621	21,293,016	100.0	22,283,359	△ 990,343	△ 4.4

イ 歳 出

(単位:千円、%)

区 分	最終予算額	決算額	構成割合	前年度決算額	比 較	増減率
1. 総務費	266,024	221,498	1.1	224,607	△ 3,109	△ 1.4
2. 保険給付費	14,762,913	14,125,671	67.1	14,631,420	△ 505,749	△ 3.5
3. 国民健康保険事業費納付金	6,456,013	6,440,628	30.6	6,866,058	△ 425,430	△ 6.2
4. 保健事業費	298,809	210,369	1.0	221,977	△ 11,608	△ 5.2
5. 積立金	625	60	0.0	101	△ 41	△ 40.6
6. 諸支出金	54,293	46,979	0.2	88,774	△ 41,795	△ 47.1
7. 予備費	5,944	0	0.0	0	0	—
合 計	21,844,621	21,045,205	100.0	22,032,937	△ 987,732	△ 4.5

国民健康保険加入状況（年間平均）

（単位：世帯、人、％）

区 分	令和2年度	令和元年度	比 較	増減率
国保加入世帯	33,139	33,277	△ 138	△ 0.4%
被保険者数	49,604	50,425	△ 821	△ 1.6%

国民健康保険税の収入状況

（単位：千円、％）

種別	令和2年度決算額		令和元年度 決算額(C)	比 較 (B)－(C)	徴 収 率	
	調定額(A)	収入済額(B)			令和2年度	令和元年度
現年度分	4,781,575	4,304,133	4,364,534	△ 60,401	90.0%	89.4%
滞納繰越分	1,786,843	314,303	364,898	△ 50,595	17.6%	18.8%
計	6,568,418	4,618,436	4,729,432	△ 110,996	70.3%	69.3%

保険給付の状況

（単位：千円、％）

種別	令和2年度		令和元年度	比 較	増減率
	予算現額	決算額	決算額		
療養諸費	12,774,111	12,210,460	12,721,467	△ 511,007	△ 4.0%
高額療養費	1,863,985	1,818,117	1,806,027	12,090	0.7%
移送費	6,300	6,273	0	6,273	—
出産育児諸費	96,649	73,054	89,076	△ 16,022	△ 18.0%
葬祭諸費	15,200	15,200	14,850	350	2.4%
傷病手当金	6,668	2,567	—	2,567	—
計	14,762,913	14,125,671	14,631,420	△ 505,749	△ 3.5%

4. 令和2年度介護保険事業特別会計決算

歳入総額は16,487,250千円で、前年度(15,779,443千円)と比較して707,807千円、4.5%の増加で、収入率は99.0%となりました。一方、歳出総額は16,097,253千円で、前年度(15,461,145千円)と比較して636,108千円、4.1%の増加で、執行率は96.6%となりました。

歳入の主なものは、介護保険料が対前年度比0.9%減の3,844,871千円(構成比23.3%)、支払基金交付金が対前年度比5.4%増の4,157,510千円(構成比25.2%)、国庫支出金が対前年度比6.3%増の3,438,059千円(構成比20.9%)、繰入金が対前年度比7.3%増の2,638,009千円(構成比16.0%)、県支出金が対前年度比6.4%増の2,292,663千円(構成比13.9%)となりました。また、保険料徴収率は96.2%でした。

歳出の主なものは、保険給付費が対前年度比4.5%増の14,790,151千円(構成比91.9%)で、そのうち居宅介護サービス費が対前年度比4.1%増の6,491,606千円、施設介護サービス費が対前年度比4.3%増の4,364,471千円、地域密着型サービス費が対前年度比4.2%増の2,200,671千円でした。また、地域支援事業費は、対前年度比1.4%減の754,917千円(構成比4.6%)となりました。

第一号被保険者は、年度末では前年度比1.0%増の57,603人で、そのうち65歳から74歳までの前期高齢者は0.3%増の28,047人、75歳以上の後期高齢者は、1.7%増の29,556人でした。

また、要支援・要介護認定者数は年度末では10,489人となり、令和2年4月から令和3年3月の月平均数では、10,343人で、認定者1人当たりの保険給付額は、1,429,967円となりました。

ア 歳 入

(単位：千円、%)

区 分	最終予算額	決算額	構成割合	前年度決算額	比較	増減率
1. 介護保険料	3,855,160	3,844,871	23.3	3,878,983	△ 34,112	△ 0.9
2. 国庫支出金	3,358,218	3,438,059	20.9	3,234,446	203,613	6.3
3. 支払基金交付金	4,228,054	4,157,510	25.2	3,945,728	211,782	5.4
4. 県支出金	2,322,966	2,292,663	13.9	2,154,881	137,782	6.4
5. 財産収入	1,106	118	0.0	135	△ 17	△ 12.6
6. 繰入金	2,793,089	2,638,009	16.0	2,459,578	178,431	7.3
7. 繰越金	103,297	103,298	0.6	79,942	23,356	29.2
8. 諸収入	4,283	12,722	0.1	25,750	△ 13,028	△ 50.6
合 計	16,666,173	16,487,250	100.0	15,779,443	707,807	4.5

イ 歳 出

(単位：千円、%)

区 分	最終予算額	決算額	構成割合	前年度決算額	比較	増減率
1. 総務費	561,058	459,362	2.9	463,932	△ 4,570	△ 1.0
2. 保険給付費	15,116,674	14,790,151	91.9	14,159,607	630,544	4.5
3. 地域支援事業費	885,110	754,917	4.6	765,399	△ 10,482	△ 1.4
4. 積立金	1,106	118	0.0	135	△ 17	△ 12.6
5. 諸支出金	92,732	92,705	0.6	72,072	20,633	28.6
6. 予備費	9,493	0	0.0	0	0	-
合 計	16,666,173	16,097,253	100.0	15,461,145	636,108	4.1

介護保険料の収入状況

(単位：千円、%)

区 分	令和2年度決算額		令和元年度 決算額 (C)	比 較 (B) - (C)	徴収率		
	調定額 (A)	収入済額 (B)			令和2年度	令和元年度	
現年度分	特別徴収	3,413,313	3,413,694	3,508,086	△ 94,392	100.0	100.0
	普通徴収	463,781	410,837	353,826	57,011	88.6	86.1
	計	3,877,094	3,824,531	3,861,912	△ 37,381	98.6	98.5
滞納繰越分	普通徴収	119,614	20,340	17,071	3,269	17.0	13.9
計		3,996,708	3,844,871	3,878,983	△ 34,112	96.2	96.0

保険給付の状況

(単位：千円、%)

区 分	令和2年度	令和元年度	比 較	増 減 率
居宅介護サービス費	6,491,606	6,238,232	253,374	4.1
地域密着型サービス費	2,200,671	2,112,535	88,136	4.2
施設介護サービス費	4,364,471	4,184,902	179,569	4.3
福祉用具購入費	15,932	14,862	1,070	7.2
住宅改修費	48,542	56,997	△ 8,455	△ 14.8
サービス計画給付費	826,631	767,032	59,599	7.8
審査支払手数料	12,447	12,024	423	3.5
高額サービス費	489,430	442,854	46,576	10.5
特定入所者介護サービス等諸費	340,247	330,015	10,232	3.1
被災利用者負担支援経費	174	154	20	13.0
計	14,790,151	14,159,607	630,544	4.5

第一号被保険者 (年度末)

(単位：人、%)

区 分	令和2年度	令和元年度	比 較	増 減 率
前期高齢者 (65～74歳)	28,047	27,958	89	0.3
後期高齢者 (75歳以上)	29,556	29,065	491	1.7
計	57,603	57,023	580	1.0

要支援・要介護認定者 (年度末)

(単位：人)

区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
認定者数 (年度末)	1,204	1,470	2,325	1,966	1,362	1,303	859	10,489

5. 令和2年度後期高齢者医療事業特別会計決算

歳入総額は3,157,466千円で前年度(2,881,686千円)と比較して275,780千円、9.6%の増加で、収入率は98.8%となりました。一方、歳出総額は3,020,076千円で、前年度(2,776,932千円)と比較して243,144千円、8.8%の増加で、執行率は91.9%となりました。

歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料が対前年比9.1%増の2,610,594千円(構成比82.7%)で、一人当たり91,555円となりました。繰入金是对前年比12.5%増の432,664千円(構成比13.7%)となりました。

歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金が対前年比8.4%増の2,956,755千円(構成比97.9%)となりました。

なお、本年度の年間平均被保険者数は28,514人で、前年度と比較して2.7%の増加となりました。

ア 歳 入

(単位：千円、%)

区 分	最終予算額	決 算 額	構成割合	前年度決算額	比 較	増減率
1. 後期高齢者医療保険料	2,698,717	2,610,594	82.7	2,393,742	216,852	9.1
2. 繰 入 金	471,904	432,664	13.7	384,740	47,924	12.5
3. 繰 越 金	104,753	104,753	3.3	94,121	10,632	11.3
4. 諸 収 入	11,894	9,337	0.3	9,083	254	2.8
5. 国庫支出金	—	118	0.0	0	118	—
合 計	3,287,268	3,157,466	100.0	2,881,686	275,780	9.6

イ 歳 出

(単位：千円、%)

区 分	最終予算額	決 算 額	構成割合	前年度決算額	比 較	増減率
1. 総 務 費	64,708	60,819	2.0	48,006	12,813	26.7
2. 後期高齢者医療広域連合納付金	3,216,359	2,956,755	97.9	2,727,243	229,512	8.4
3. 諸 支 出 金	4,205	2,502	0.1	1,683	819	48.7
4. 予 備 費	1,996	0	0.0	0	0	—
合 計	3,287,268	3,020,076	100.0	2,776,932	243,144	8.8

後期高齢者医療加入状況（年間平均）

（単位：人、％）

区 分	令和2年度	令和元年度	比 較	増減率
被保険者数	28,514	27,753	761	2.7

後期高齢者医療保険料の収入状況

（単位：千円、％）

区分 種別	令和2年度決算額		令和元年度 決算額(C)	比 較 (B)－(C)	徴 収 率	
	調定額(A)	収入済額(B)			令和2年度	令和元年度
現年度分	2,616,166	2,601,944	2,387,135	214,809	99.5	99.3
滞納繰越分	31,929	8,650	6,607	2,043	27.1	22.1
計	2,648,095	2,610,594	2,393,742	216,852	98.6	98.4

索引

担当課別の索引です。

担当部・課		事業名	掲載ページ
市長室	広報広聴課	市政等PR事業	20
市長室	基地対策課	基地対策渉外・要請等活動事業	41
市長室	基地対策課	大和市基地対策協議会活動支援事業	42
市長室	基地対策課	騒音測定事業	43
市長室	危機管理課	自主防災組織支援事業	52
市長室	危機管理課	総合防災訓練運営事業	53
市長室	危機管理課	防災備蓄品等維持管理事業	54
市長室	危機管理課	災害対策本部運営等事業	55
政策部	総合政策課	健康都市推進事業	21
政策部	デジタル戦略課	ITサービス運用管理事業	22
政策部	デジタル戦略課	IT推進事業	23
総務部	人財課	一般研修事業	18
総務部	人財課	職員健康管理事務	19
総務部	収納課	収納サービス向上推進事業	57
総務部	収納課	滞納整理・処分事務	58
市民経済部	市民活動課	市民活動推進事業	27
市民経済部	市民活動課	市民活動センター管理運営事業	28
市民経済部	市民活動課	特別定額給付金給付事業	56
市民経済部	市民相談課	市民相談支援事業	29
市民経済部	市民相談課	消費者啓発事業	174
市民経済部	市民相談課	消費生活相談事業	175
市民経済部	生活あんしん課	地域防犯活動支援事業	30
市民経済部	生活あんしん課	地域防犯活動推進事業	31
市民経済部	生活あんしん課	防犯灯設置事業	32
市民経済部	生活あんしん課	自治会活動支援事業	33
市民経済部	生活あんしん課	自治会活動推進事業	34
市民経済部	生活あんしん課	コミュニティセンター管理運営事業	35
市民経済部	生活あんしん課	コミュニティセンター施設整備事業	36
市民経済部	生活あんしん課	街頭防犯カメラ整備事業	37
市民経済部	生活あんしん課	大和駅周辺防犯特別対策事業	38
市民経済部	産業活性課	障がい者雇用促進支援事業	157
市民経済部	産業活性課	勤労者生活資金支援事業	158

担当部・課		事業名	掲載ページ
市民経済部	産業活性課	勤労者サービスセンター支援事業	159
市民経済部	産業活性課	大和商工会議所運営支援事業	163
市民経済部	産業活性課	中小企業事業資金支援事業	164
市民経済部	産業活性課	企業活動促進支援事業	165
市民経済部	産業活性課	うまいもの市開催事業	166
市民経済部	産業活性課	さがみロボット産業特区促進支援事業	167
市民経済部	産業活性課	起業家支援事業	168
市民経済部	産業活性課	新型コロナウイルス感染症拡大防止および雇用維持給付金支給事業	172
市民経済部	産業活性課	プレミアム付商品券発行支援事業	173
環境施設農政部	環境総務課	環境意識啓発事業	140
環境施設農政部	環境総務課	太陽光発電等推進事業	141
環境施設農政部	環境総務課	公共施設省エネ推進施設整備事業	142
環境施設農政部	生活環境保全課	公害対策調査事業	143
環境施設農政部	生活環境保全課	路上喫煙防止対策事業	146
環境施設農政部	生活環境保全課	大和市クリーンキャンペーン事業	147
環境施設農政部	生活環境保全課	不法投棄物未然防止事業	148
環境施設農政部	みどり公園課	緑化推進支援事業	178
環境施設農政部	みどり公園課	緑地保全事業	179
環境施設農政部	みどり公園課	保存樹林等支援事業	180
環境施設農政部	みどり公園課	ゆとりの森管理運営事業	198
環境施設農政部	みどり公園課	既設公園等大規模改修事業	201
環境施設農政部	みどり公園課	大規模緑地整備事業	202
環境施設農政部	みどり公園課	街区公園等整備事業	203
環境施設農政部	みどり公園課	やまと公園改修整備事業	204
環境施設農政部	みどり公園課	ゆとりの森整備事業	205
環境施設農政部	農政課	市民朝霧市支援事業	160
環境施設農政部	農政課	農業近代化等支援事業	161
環境施設農政部	農政課	市民農園運営事業	162
環境施設農政部	施設課	焼却灰等有効利用事業	152
環境施設農政部	施設課	環境管理センターごみ処理施設維持補修事業	153
環境施設農政部	施設課	可燃ごみ焼却処理事業	154
環境施設農政部	施設課	不燃・粗大ごみ処理事業	155
環境施設農政部	廃棄物対策課	ごみ減量化推進事業	144
環境施設農政部	廃棄物対策課	資源循環型生ごみ処理事業	145

担当部・課		事業名	掲載ページ
環境施設農政部	廃棄物対策課	家庭系ごみ排出抑制推進事業	149
環境施設農政部	廃棄物対策課	生ごみ処理容器等設置支援事業	150
環境施設農政部	廃棄物対策課	資源分別回収推進支援事業	151
環境施設農政部	廃棄物対策課	塵芥収集事業	156
健康福祉部	健康福祉総務課	民生委員児童委員活動支援事業	59
健康福祉部	健康福祉総務課	災害時避難行動要支援者対策事業	60
健康福祉部	健康福祉総務課	自殺対策事業	62
健康福祉部	おひとりさま政策課	おひとり様などの終活支援事業	61
健康福祉部	医療健診課	女性の健康診査事業	117
健康福祉部	医療健診課	休日夜間急患診療所運営事業	118
健康福祉部	医療健診課	夜間診療所運営支援事業	119
健康福祉部	医療健診課	親子de健康診査事業	120
健康福祉部	医療健診課	がん患者等支援事業	121
健康福祉部	医療健診課	予防接種事業	124
健康福祉部	医療健診課	感染症予防事業	125
健康福祉部	医療健診課	健康診査事業	136
健康福祉部	健康づくり推進課	生きがい対応型デイサービス事業	73
健康福祉部	健康づくり推進課	食育推進事業	122
健康福祉部	健康づくり推進課	健康づくり普及啓発事業	123
健康福祉部	健康づくり推進課	健康相談・教育事業	137
健康福祉部	健康づくり推進課	大和市健康ポイント事業	138
健康福祉部	健康づくり推進課	歩く健康づくり事業	139
健康福祉部	介護保険課	老人福祉施設建設等支援事業	74
健康福祉部	人生100年推進課	シルバー人材センター支援事業	75
健康福祉部	人生100年推進課	老人クラブ育成支援事業	76
健康福祉部	人生100年推進課	高齢者見守り事業	77
健康福祉部	人生100年推進課	施設入所等措置事業	78
健康福祉部	人生100年推進課	認知症施策推進事業	79
健康福祉部	障がい福祉課	自立支援給付事業	65
健康福祉部	障がい福祉課	地域生活支援事業	66
健康福祉部	障がい福祉課	自立支援医療等給付事業	67
健康福祉部	障がい福祉課	在宅重度障がい者サポート事業	68
健康福祉部	障がい福祉課	市障害者福祉手当支給事業	69
健康福祉部	障がい福祉課	心身障害者医療費助成事業	70

担当部・課		事業名	掲載ページ
健康福祉部	障がい福祉課	障がい者地域作業所等運営支援事業	71
健康福祉部	障がい福祉課	松風園防音設備整備事業	72
健康福祉部	生活援護課	配偶者暴力等相談支援事業	63
健康福祉部	生活援護課	生活困窮者自立支援事業	64
健康福祉部	生活援護課	生活保護事業	116
こども部	こども総務課	小児医療費助成事業	80
こども部	こども総務課	児童手当支給事業	81
こども部	こども総務課	子育て支援センター運営事業	82
こども部	こども総務課	つどいの広場事業	83
こども部	こども総務課	子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	103
こども部	こども総務課	ひとり親家庭等医療費助成事業	107
こども部	こども総務課	ひとり親家庭等家賃助成事業	108
こども部	こども総務課	ひとり親家庭等相談事業	109
こども部	こども総務課	児童扶養手当支給事業	110
こども部	こども総務課	母子家庭等自立対策支援事業	111
こども部	こども総務課	児童扶養手当受給者への臨時特別給付金給付事業	112
こども部	こども総務課	ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業	113
こども部	ほいく課	屋内こども広場管理運営事業	84
こども部	ほいく課	病児保育事業	85
こども部	ほいく課	子育て支援施設管理運営事業	86
こども部	ほいく課	認定保育施設運営費助成事業	87
こども部	ほいく課	民間保育所建設・増設支援事業	88
こども部	ほいく課	私立幼稚園等運営支援事業	89
こども部	ほいく課	私立幼稚園等特別支援教育支援事業	90
こども部	ほいく課	保育所等乳児見守り安全対策事業	91
こども部	ほいく課	公私連携型保育所等整備事業	92
こども部	ほいく課	保育所等施設型給付事業	104
こども部	ほいく課	民間保育所等運営支援事業	105
こども部	ほいく課	認可保育所等運営事務	106
こども部	ほいく課	保育事業(市立保育所)	114
こども部	ほいく課	保育所給食事業(市立保育所)	115
こども部	すくすく子育て課	家庭児童相談事業	93
こども部	すくすく子育て課	ファミリーサポートセンター事業	94
こども部	すくすく子育て課	子育て世代包括支援センター事業	95

担当部・課		事業名	掲載ページ
こども部	すくすく子育て課	発達相談支援システム推進事業	96
こども部	すくすく子育て課	児童発達支援事業	97
こども部	すくすく子育て課	障がい児自立支援給付事業	98
こども部	すくすく子育て課	障がい児地域生活支援事業	99
こども部	すくすく子育て課	妊婦健康診査事業	126
こども部	すくすく子育て課	4か月児健康診査事業	127
こども部	すくすく子育て課	3歳6か月児健康診査事業	128
こども部	すくすく子育て課	母子保健相談指導事業	129
こども部	すくすく子育て課	妊産婦・新生児等訪問事業	130
こども部	すくすく子育て課	不妊治療費助成事業	131
こども部	すくすく子育て課	不育症治療費助成事業	132
こども部	すくすく子育て課	出産費用助成事業	133
こども部	すくすく子育て課	産後健康診査事業	134
こども部	すくすく子育て課	産後ケア事業	135
こども部	こども・青少年課	児童館管理運営事業	100
こども部	こども・青少年課	放課後児童クラブ事業	101
こども部	こども・青少年課	こども食堂支援事業	102
こども部	こども・青少年課	青少年育成事業	248
こども部	こども・青少年課	青少年指導者育成支援事業	249
こども部	こども・青少年課	大和市家庭・地域教育活性化会議支援事業	250
こども部	こども・青少年課	こども体験事業	251
文化スポーツ部	文化振興課	地域歴史資料整理・保存事業	44
文化スポーツ部	文化振興課	文化芸術振興事業	47
文化スポーツ部	文化振興課	文化創造担い手育成事業	48
文化スポーツ部	文化振興課	美術鑑賞推進事業	49
文化スポーツ部	文化振興課	芸術文化ホール管理運営事業	50
文化スポーツ部	文化振興課	郷土民家園施設整備事業	256
文化スポーツ部	国際・男女共同参画課	海外友好都市交流事業	17
文化スポーツ部	国際・男女共同参画課	男女共同参画意識啓発事業	24
文化スポーツ部	国際・男女共同参画課	国際化推進事業	25
文化スポーツ部	国際・男女共同参画課	平和都市推進事業	26
文化スポーツ部	国際・男女共同参画課	人権啓発事業	39
文化スポーツ部	国際・男女共同参画課	人権相談支援事業	40
文化スポーツ部	図書・学び交流課	文化創造拠点シリウス管理運営事業	51

担当部・課		事業名	掲載ページ
文化スポーツ部	図書・学び交流課	健康都市大学事業	252
文化スポーツ部	図書・学び交流課	生涯学習センター管理運営事業	253
文化スポーツ部	図書・学び交流課	図書館管理運営事業	254
文化スポーツ部	図書・学び交流課	図書カード配付事業	255
文化スポーツ部	スポーツ課	大和スタジアム・つきみ野野球場・宮久保野球場施設管理運営事業	199
文化スポーツ部	スポーツ課	ゆとりの森スポーツ施設管理運営事業	200
文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ大会開催事業	257
文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ教室開催事業	258
文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ関係団体支援事業	259
文化スポーツ部	スポーツ課	学校施設スポーツ開放事業	260
文化スポーツ部	スポーツ課	地域スポーツ推進事業	261
文化スポーツ部	スポーツ課	女子サッカー推進事業	262
文化スポーツ部	スポーツ課	下福田野球場施設改修事業	263
文化スポーツ部	イベント観光課	観光等促進事業	169
文化スポーツ部	イベント観光課	イベント観光協会支援事業	170
文化スポーツ部	イベント観光課	大和市民まつり支援事業	171
街づくり施設部	街づくり総務課	鉄道輸送円滑化促進事業	190
街づくり施設部	街づくり総務課	コミュニティバス運行事業	191
街づくり施設部	街づくり総務課	地域公共交通施策事業	192
街づくり施設部	街づくり総務課	中央林間駅周辺まちづくり事業	193
街づくり施設部	建築指導課	建築確認事務	176
街づくり施設部	建築指導課	建築物の耐震化等促進事業	177
街づくり施設部	建築指導課	空家等対策事業	194
街づくり施設部	街づくり計画課	都市計画決定事務	195
街づくり施設部	街づくり推進課	特定地域土地利用誘導事業(内山地区)	196
街づくり施設部	街づくり推進課	特定地域土地利用誘導事業(中央森林地区)	197
街づくり施設部	道路安全対策課	交通安全啓発事業	45
街づくり施設部	道路安全対策課	放置自転車対策事業	46
街づくり施設部	道路安全対策課	自転車利用環境推進事業	181
街づくり施設部	道路安全対策課	福田相模原線(福田地区)道路整備事業	183
街づくり施設部	道路安全対策課	生活道路整備事業	184
街づくり施設部	道路安全対策課	福田相模原線(南林間地区)道路改良事業	185
街づくり施設部	道路安全対策課	交差点改良事業(県道丸子中山茅ヶ崎線整備関連)	186
街づくり施設部	道路安全対策課	福田相模原線歩道整備事業(上草柳地区)	187

担当部・課		事業名	掲載ページ
街づくり施設部	道路安全対策課	交通安全施設整備事業	188
街づくり施設部	道路安全対策課	歩道セーフティーアップ事業	189
街づくり施設部	道路管理課	道路ストック修繕事業	182
教育部	教育総務課	小学校大規模改修事業	235
教育部	教育総務課	小学校防音設備整備事業	236
教育部	教育総務課	北大和小学校増築事業	237
教育部	教育総務課	中央林間小学校増築事業	238
教育部	教育総務課	小学校GIGAスクールネットワーク整備事業	239
教育部	教育総務課	中学校大規模改修事業	245
教育部	教育総務課	中学校防音設備整備事業	246
教育部	教育総務課	中学校GIGAスクールネットワーク整備事業	247
教育部	学校教育課	小学校学用品等就学援助事業	231
教育部	学校教育課	小学校特別支援教育就学奨励事業	232
教育部	学校教育課	中学校学用品等就学援助事業	240
教育部	学校教育課	中学校特別支援教育就学奨励事業	241
教育部	保健給食課	北部学校給食共同調理場運営事業	264
教育部	保健給食課	中部学校給食共同調理場運営事業	265
教育部	保健給食課	南部学校給食共同調理場運営事業	266
教育部	保健給食課	単独調理校運営事業	267
教育部	保健給食課	学校給食施設大規模改修事業	268
教育部	保健給食課	学校給食食育推進事業	269
教育部	保健給食課	学校給食設備整備事業	270
教育部	保健給食課	学校給食費助成事業	271
教育部	指導室	外国人児童生徒教育推進事業	218
教育部	指導室	英語教育推進事業	219
教育部	指導室	就学相談事業	220
教育部	指導室	ことばの教室運営事業	221
教育部	指導室	特別支援教育推進事業	222
教育部	指導室	人権教育推進事業	223
教育部	指導室	児童生徒安全対策事業	224
教育部	指導室	いじめ等対策事業	225
教育部	指導室	学力向上対策推進事業	226
教育部	指導室	小学校地域教育力活用推進事業	233
教育部	指導室	小学校図書館教育推進事業	234

担当部・課		事業名	掲載ページ
教育部	指導室	中学校地域教育力活用推進事業	242
教育部	指導室	中学校部活動等支援事業	243
教育部	指導室	中学校図書館教育推進事業	244
教育部	教育研究所	情報教育推進事業	217
教育部	教育研究所	教育用コンピュータ整備事業	227
教育部	教育研究所	GIGAスクール端末整備事業	228
教育部	青少年相談室	青少年相談・街頭補導事業	229
教育部	青少年相談室	不登校児童生徒援助事業	230
消防本部	消防総務課	消防職員研修事業	206
消防本部	警防課	消防団員被服貸与事務	213
消防本部	警防課	消防団活動用資機材整備事業	214
消防本部	警防課	消防活動用資機材整備事業	215
消防本部	警防課	消防車両整備事業	216
消防本部	予防課	住宅防火対策事業	207
消防本部	救急救命課	応急手当普及啓発事業	208
消防本部	救急救命課	メディカルコントロール推進事業	209
消防本部	救急救命課	救護活動用機材整備事業	210
消防署	消防署管理課	救急活動事業	211
消防署	消防署管理課	地域防災訓練事業	212